

長岡市 文化財 保存活用 地域計画

【案】

令和 8 年 3 月
新潟県長岡市

例 言

- 1 本書は新潟県長岡市が作成した長岡市文化財保存活用地域計画である。
- 2 本計画の作成は、文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受け、令和 5（2023）年度から令和 7（2025）年度の 3 年間で実施した。
- 3 本計画は、長岡市文化財保護審議会の意見を聞きながら作成した。
- 4 本計画は、長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会を組織し、意見を聞きながら作成した。
- 5 長岡市の関係部局による庁内ワーキンググループを組織し、計画作成に関わる連絡調整や会議を行った。
- 6 事務局は、長岡市教育委員会科学博物館に置いた。
- 7 本計画における時代区分の定義は表①のとおりとする。
- 8 本計画における地域の区分は図①のとおりとする。

表① 時代区分の定義

区分	時代
原始	旧石器時代～古墳時代
古代	飛鳥時代～平安時代中期
中世	平安時代後期～安土・桃山時代
近世	江戸時代
近代	明治時代～昭和 20（1945）年終戦
現代	昭和 20（1945）年終戦以降

※『長岡市史』通史編の時代区分による。



図① 長岡市の地域区分図（11 地域）

はじめに

長岡市は、新潟県のほぼ中央に位置する人口約 25 万 3 千人の都市です。市の中央部を日本一の大河・信濃川が縦断し、両岸に肥沃な沖積平野が広がり、東西には東山連峰と西山丘陵が連なります。急峻な山岳地から丘陵、平坦な平野、海岸部など、変化に富んだ地形があり、人々は、それぞれの地域で自然の恩恵を受け、また、自然の脅威に対応しながら暮らしてきました。豪雪がもたらす豊かな水や森が多種多様な動植物を育み、その恩恵を受けて縄文時代には多数の集落が営まれ、「火焰土器」に代表される火焰型土器が登場しました。信濃川水系で獲れる鮭などの川魚は原始古代より貴重な食糧源として利用され、川の豊富な水は農業だけでなく、交通や産業に重要な役割を担いました。海岸に近い地域では、古代の古志郡の官衙（役所）や幹線道路である北陸道が整備されて、交通の結節点として重要な役割を果たしました。長い歴史の中で、自然の恩恵や脅威に応じて、各地域で特色ある生活様式や伝統行事などが生まれ、有形・無形の文化財として守り伝えられてきました。

本市の歴史文化を物語る文化財は郷土の魅力を身近に感じる「地域の宝」として、あるいは観光振興・まちづくりの柱として、本市の発展に大きな役割を果たすなど、まちづくりにおいて文化財の重要性は、年々高まっています。

今後、本計画が将来像として掲げた「ふるさとの歴史文化を守り、伝え、愛着と誇りをもてる長岡 ～誰もがまちの魅力発信者へ～」を目指して、地域住民や関係団体と連携し、歴史文化・文化財の保存・活用に取り組んでまいります。

結びに、本計画の作成にあたり、御尽力を賜りました長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会の委員の皆様、御助言・御指導を賜りました長岡市文化財保護審議会、文化庁文化資源活用課や新潟県観光文化スポーツ部文化課の皆様、また、貴重な御意見をお寄せいただいた関係者並びに市民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和 8 年 3 月

長岡市長

磯田 達伸

長岡市文化財保存活用地域計画

目 次

例言

はじめに

序 章	・・・・・・・・	6
1 計画作成の背景と目的		6
2 計画期間		7
3 地域計画の位置づけ		8
4 計画作成の体制		15
5 計画作成の経過		17
6 計画の対象		18
第1章 長岡市の概要	・・・・・・・・	19
1 自然的・地理的環境		19
2 社会的状況		23
3 歴史的背景		34
第2章 長岡市の文化財の概要	・・・・・・・・	43
1 指定等文化財		43
2 未指定文化財		57
3 関連する制度		61
第3章 長岡市の歴史文化の特性	・・・・・・・・	65
第4章 文化財に関する既往の把握調査	・・・・・・・・	72
第5章 文化財の保存・活用に関する将来像	・・・・・・・・	74
第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針	・・・・・・・・	76
1 文化財の保存・活用に関する課題		76
2 文化財の保存・活用に関する方針		81

第7章 文化財の保存・活用に関する事業		86
第8章 関連文化財群		92
1 関連文化財群に関する事項		92
2 関連文化財群の保存・活用に関する課題・方針・事業		93
第9章 文化財の保存・活用の推進体制		113
別添資料		115
資料編1 指定等文化財リスト		115
資料編2 未指定文化財リスト		127
資料編3 歴史文化資源の把握に関する情報資源一覧表		182

序 章

1 計画作成の背景と目的

長岡市は、新潟県のほぼ中央にあり、日本一の大河・信濃川が流れる越後平野や日本海、守門岳を望む東山連峰など変化に富んだ地形が広がる自然豊かなまちです。平成 17 ～ 22（2005 ～ 2010）年にかけて行われた市町村合併により、11 の地域からなる新たな長岡市が誕生し、広大な市域と個性豊かな歴史文化をもつこととなりました。各地域には旧石器時代から現代にいたるまでの多くの文化財が残されており、そのうち 358 件が国・県・市から指定を受けております。

本市ではまちづくりを行うための最上位計画「長岡市総合計画」（以下、総合計画という）を策定し、様々な施策に取り組んでおります。歴史文化に関する政策では「歴史・文化や伝統の継承」を掲げ、地域の文化財を適切に保存・活用し、歴史・文化・伝統を後世に伝えていくことで、市民の郷土への愛着や誇りを醸成し、魅力的なまちを目指すこととしております。

本市の歴史文化を物語る文化財は郷土の魅力を身近に感じる「地域の宝」として、あるいは観光振興・まちづくりの柱として、本市の発展につながる重要な役割を担っています。さらに近年では、地域の歴史的魅力や特色、地域独自の伝統的農林水産業とそれを営む地域など、文化財を取り巻く環境にも注目が集まり、日本遺産や日本農業遺産といった関連制度の認定も受けました。文化財は、教育、地域活性化、観光振興、そして地域固有のアイデンティティの醸成といった市政の様々な分野でその重要性が高まっています。

しかし、全国で急速に進行している人口減少・少子高齢化は、本市においても例外ではなく、文化財を何世代にもわたって継承する担い手の確保は喫緊の課題となっています。

こうした文化財を取り巻く社会情勢を踏まえつつ、本市が直面する課題への対応と総合計画における文化財、あるいは歴史・文化・伝統の継承に向けた政策を推進するため、長岡市文化財保存活用地域計画を作成しました。本市の歴史文化を文化財所有者・市民・学校・行政・専門機関等が一体となって支え、まちの魅力発信と保存・活用を図り、次世代へ継承するための様々な取組を進めてまいります。

2 計画期間

本計画の計画期間は、令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度の 10 年間です。令和 8（2026）年策定の最上位計画である「長岡市総合計画」と整合性を図ったものとします。また、本計画の改訂にあたっては、次期長岡市総合計画との調整を図ることとします。

本計画に下記①～③の変更がある場合には、当該変更内容について文化庁長官の認定を受けることとします。これ以外の変更については、新潟県及び文化庁へ報告を行います。

①計画期間の変更

②市の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更

③本計画の実施に支障が生じるおそれのある変更



図1 総合計画と本計画の計画期間

3 地域計画の位置づけ

本計画は「文化財保護法」第183条の3に基づくもので、長岡市における文化財の保存・活用に関する総合的な法定計画として位置づけるものです。作成にあたっては、新潟県の基本的な方針を示す「新潟県文化財保存活用大綱」との整合を図りました。また、本市の最上位計画である「長岡市総合計画」や、教育分野の上位計画である「米百俵のまち長岡 教育大綱」、「長岡市教育振興基本計画」との整合、文化財の保存・活用の推進に関わる関連計画との整合・連携を図りました。

上位計画と関連計画等における文化財の保存・活用に関する取組状況については、以下のとおりです。

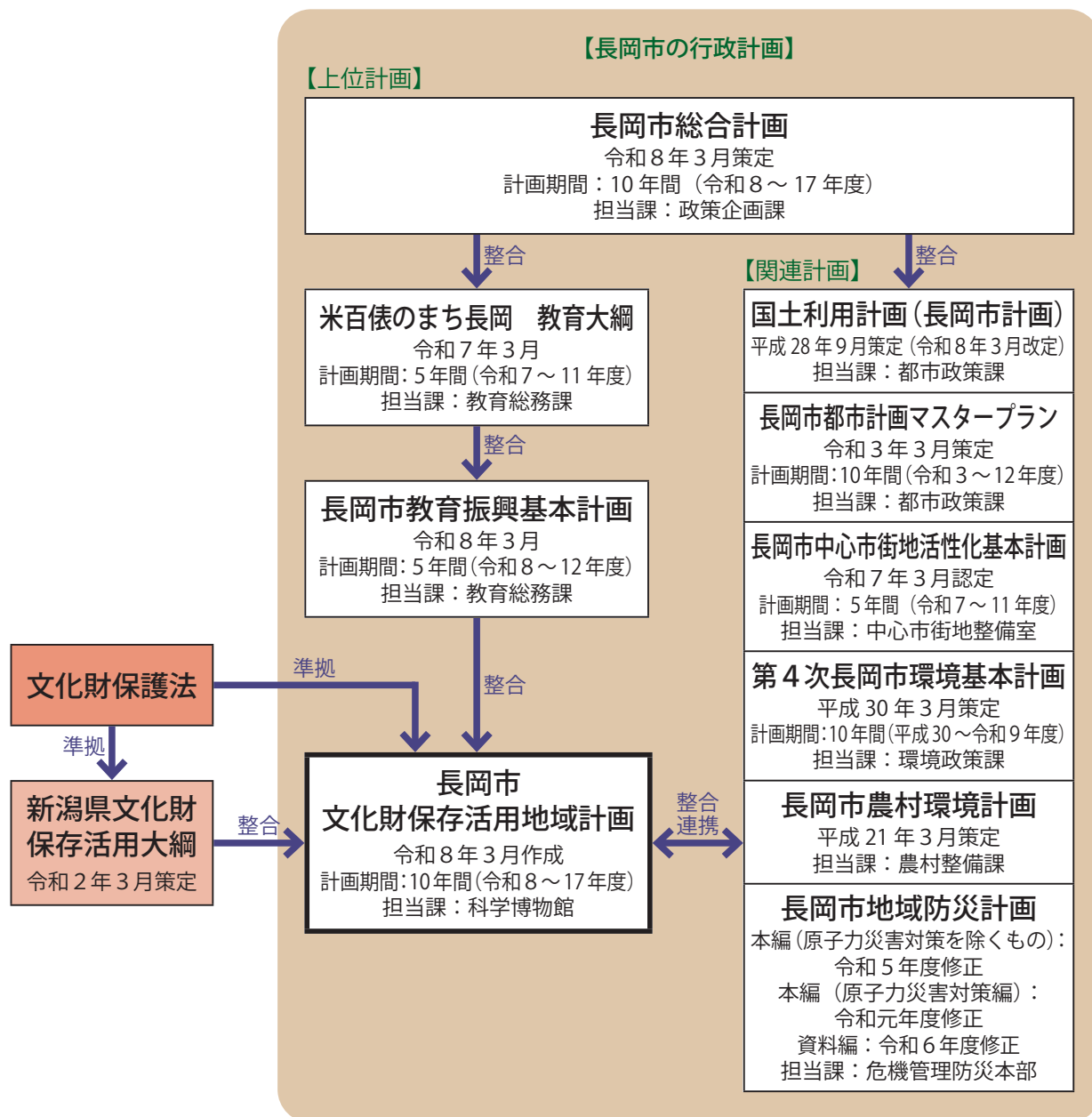


図2 長岡市文化財保存活用地域計画の位置づけ

1) 新潟県文化財保存活用大綱

「新潟県文化財保存活用大綱」は、新潟県における文化財の保存・活用の基本的な方針を明示するもので、県内の市町村が相互に矛盾なく、文化財の各種取組を進めていく上で、共通の基盤となるものです。将来像（基本理念）と方向性を以下のように掲げています。

将来像（基本理念）	日々の生活の中に文化財がある新潟
方向性	・文化財を適切に保存し、積極的な活用により文化財愛護精神とふるさとを愛する心の醸成を図る。 ・地域固有の文化財の魅力向上と発信により人々の関心を高め、個性的で活力あるまちづくりに寄与することで、文化財を未来に継承する。

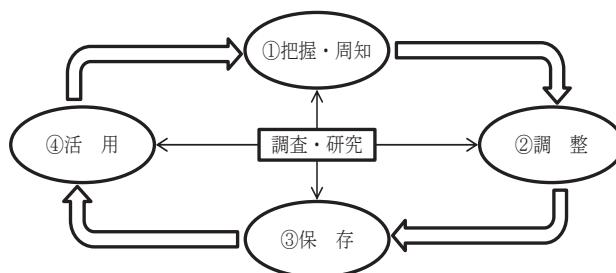


図3 文化財の保存と活用のサイクル
（「新潟県文化財保存活用大綱」より抜粋）

表1 新潟県文化財保存活用大綱の概要（新潟県作成より抜粋）

趣旨	過疎化・少子高齢化等を背景に、文化財の保存・継承が危ぶまれています。地域の宝である文化財を未来につなぐため、文化財の保存と活用の基本方針として策定しました。
基本方針	「日々の生活の中に文化財がある新潟」を目指し、文化財の把握から保存・活用を生み出すサイクルを構築します。
県取組	・文化財を未来に継承する人材を育成します（文化財の継承者、県・市町村の専門人材）。 ・景観とともに味わう文化財の活用を強化します。
市町村への支援	○市町村の役割 地域の文化財を地域で守るため、文化財の把握や保存・活用を計画的に推進します。 ○県の支援 ・専門人材の配置及び育成を支援します。 ・市町村による「文化財保存活用地域計画」の作成を支援します。
文化財の危機管理	・保存を脅かす危険等に備え、日頃から組織的な管理に取り組みます。 ・災害で被災した文化財を救済する仕組みを作ります（文化財レスキュー）。
推進体制	・県民、専門家、県・市町村が総がかりで、地域の文化財の保存・活用や地域づくりに取り組んでいきます。
期待される効果	市町村による「文化財保存活用地域計画」の作成を促進し、文化財を活用した地域振興や文化財の次世代への継承につなげます。

2) 長岡市総合計画

「長岡市総合計画」は、長期的・総合的な展望に立った市政運営の指針であり、市のあらゆる計画の最上位に位置づけるもので、以下の将来像を掲げています。

変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～

基本目標	誰にも優しく寄り添う共生社会のまち
	子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち
	災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち
	産業が成長し活力を創出するまち
	にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち
	市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち
政策を推進する5つの視点	1. 市民一人ひとりの幸せを強く意識する 2. 市民と行政が協働して取り組む 3. 女性活躍をはじめとする多様性の尊重 4. イノベーションを推進し、新たな成果を生み出す 5. DXの推進により、市民生活を快適にする

3) 米百俵のまち長岡 教育大綱

「米百俵のまち長岡 教育大綱」は、教育の目標や施策の基本的な方針を示すもので、以下の基本理念を掲げています。

子ども一人ひとりの個性が輝き、幸せな社会を創り出していける教育の推進

表2 「教育大綱」と「教育振興基本計画」の体系（概要）

長岡市教育大綱の方針		長岡市教育振興基本計画の施策	
方針1	ふるさと長岡に誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育を推進する	施策1	郷土愛をもち、支え合う人材の育成
方針2	子ども一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びを切れ目なく支援する	施策2	多様な育ちと学びを大切にする一貫した支援の充実
方針3	子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てる	施策3	子どもの個性と可能性を伸ばす教育の推進
方針4	安心して子育てができるよう、みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境を創る	施策4	子ども・子育て支援の充実
方針5	子どもたちに安全・安心で誰もとり残されない質の高い教育環境を提供する	施策5	質の高い教育を実現する教育環境の充実

4) 国土利用計画（長岡市計画）

「国土利用計画（長岡市計画）」は、本市の区域における国土（以下「市土」という。）の利用に関する基本的な事項について定めたもので、以下に示した五つの基本方針を示しています。

表3 市土利用の基本方針

(ア)	地勢上のつながりを踏まえた土地利用
(イ)	コンパクトで、広域的な拠点性を高める土地利用
(ウ)	各地域の多様性を活かし、長岡の総合的な魅力を発揮する土地利用
(エ)	豊かさや安全・安心を支える土地利用
(オ)	みんなで考え実践する土地利用

5) 長岡市都市計画マスタープラン

「長岡市都市計画マスタープラン」は、概ね 20 年後の都市の姿を見据えつつ、実現可能な 10 年間の「都市づくりの方針」を総合的・体系的に示すもので、以下の将来都市像を掲げています。

安全・安心で、持続可能なコンパクトなまち長岡

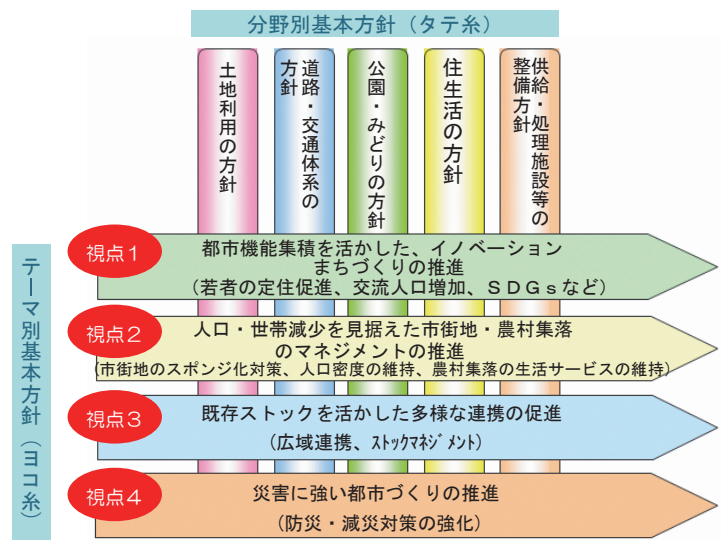


図4 「長岡市都市計画マスタープラン」全体構想（概要版抜粋）

表4 「長岡市都市計画マスタープラン」地域別構想の取組（抜粋）

川東地域 (長岡地域)	街なみ環境整備をはじめとした歴史・観光資源を活用したまちづくり ・旧三国街道の摂田屋地区街なみ環境整備の推進 ・旧機那サフラン酒製造本舗の整備の推進
越路地域	観光資源の更なる活用と交流機会の拡大 ・土木遺産を活用したインフラツーリズムの展開
与板地域	城下町の街なみ・歴史を活かした更なる魅力の創出 ・城下町の街なみや本与板城址・与板城址・楽山苑の維持保全 ・越後与板打刃物の保存・継承・PR
栃尾地域	地元特産品・歴史資源を活かした地域づくり ・雁木通りの維持保全
山古志地域	市内観光資源との連携強化による交流人口の拡大 ・農村景観（棚田・棚池）の保全・活用
和島地域	観光資源を活かした交流人口の拡大 ・良寛を核とした観光振興策の検討 ・はちすば通りや国指定史跡八幡林官衙遺跡など、観光資源の周知・PR

6) 長岡市中心市街地活性化基本計画

「長岡市中心市街地活性化基本計画」は、中心市街地の構造を抜本的に見直すため策定したもので、令和7（2025）年3月に内閣総理大臣認定を受けた中心市街地活性化基本計画の第4期計画です。

中心市街地活性化に向けて、以下の目標を掲げています。

みんなが創るまちなかの価値
～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

第2期計画では、まちを「つかう」をテーマとし、市民協働による市民の居場所づくりによって、新たな「まちなかの価値」が加えられました。

第3期計画では、まちを「つなぐ」をテーマとし、今後も多様な取組を実施することで、新たな「まちなかの価値」を積み重ね、輝きを増した「まちなかの価値」を未来へつなぎ、持続可能な地方都市の再生を図ることとしました。

第4期計画では、以下の計画のテーマを掲げています。

まちを「つくる」、「つかう」、「つなぐ」そして ひろげる

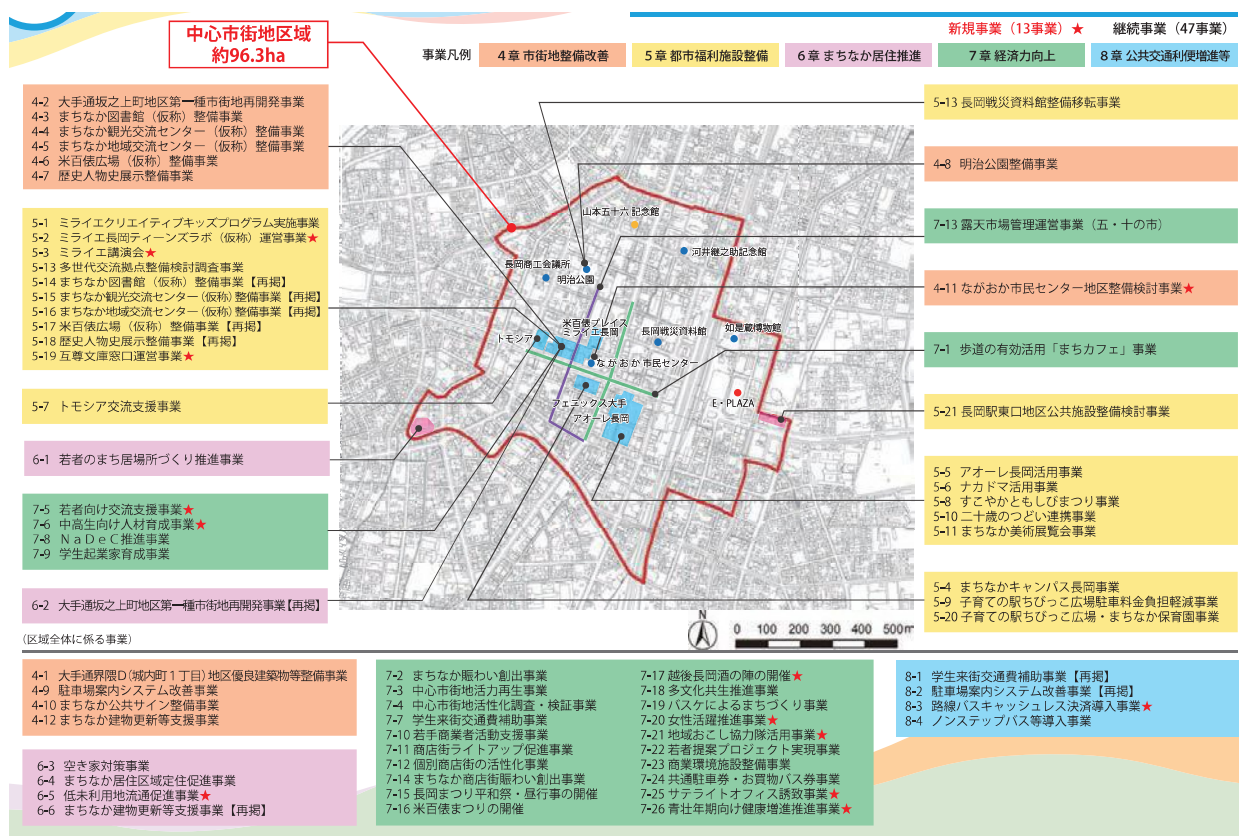


図5 「長岡市中心市街地活性化基本計画」事業概要（概要版抜粋）

7) 第4次長岡市環境基本計画

「第4次長岡市環境基本計画」は、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために定めたもので、以下の基本理念を掲げています。

良好な環境の将来世代への継承

表5 第4次長岡市環境基本計画の施策の体系

望ましい環境像		施策の方向	
Ⅰ	低炭素・資源循環型のまち	1	地球温暖化対策の推進
		2	ごみの減量と資源循環の推進
Ⅱ	人と自然が共生するまち	3	自然環境の保全と活用
		4	生物多様性の保全・管理
Ⅲ	環境汚染のない安全なまち	5	大気汚染・悪臭の防止
		6	水質汚濁の防止
		7	土壌環境の保全
		8	静けさの保持
		9	化学物質による環境汚染の防止
		10	廃棄物の適正処理
Ⅳ	心の豊かさが感じられる快適で魅力的なまち	11	快適で魅力的なまちの創造
		12	環境に配慮した土地利用と開発の推進
Ⅴ	協働で良好な環境を未来につなぐ人づくり	13	人づくりの推進
		14	市民、事業者、NPO等の参画と協働

8) 長岡市農村環境計画

「長岡市農村環境計画」は、ほ場や農業用排水路、農道などの農業生産基盤や、農村部の生活環境の整備を進めるにあたっての基本的な方針を定めています。

悠久のながれとともに 豊かな自然と美しい故郷づくりを
～都市と農村が共栄する長岡～

表6 環境保全の基本方針と環境保全・整備目標

基本方針		環境保全・整備目標	
基本方針1	豊かで美しい田園を守り育て、生き物との共生を図る	①	里地里山の生物多様性の保全
		②	農村景観の保全・形成
		③	水と緑のネットワークづくり
		④	環境教育や自然とのふれあいの推進
基本方針2	地域活動の活性化をさらに進め、農村の文化・伝統の保存・活用を図る	①	地域活動の意識の醸成、交流の促進
		②	文化・伝統の利活用と継承
基本方針3	安全・安心な農作物づくりに努め、持続可能な農業を展開する	①	環境保全型農業の推進
		②	農業生産性の向上、経営基盤の強化
		③	食育・地産地消の推進
		④	農業・農村体験への取組の展開

9) 長岡市地域防災計画

「長岡市地域防災計画」は、本市の地域に係る災害対策に関する計画で、本編（原子力災害対策を除くもの）、本編（原子力災害対策編）、資料編の3部で構成されています。

表7 長岡市地域防災計画 文化財に関わる記載のある箇所（抜粋）

本編（原子力災害対策を除くもの）		
第2編 各災害に係る共通事項	第1章 災害予防	第31節 文化財の保護対策
	第2章 災害応急対策	第4節 災害情報の収集・伝達
		第48節 文化財応急対策
	第3章 災害復旧・復興計画	第3節 公共施設等災害復旧対策

4 計画作成の体制

本計画の作成にあたっては、長岡市文化財保護条例に基づいて設置された附属機関である「長岡市文化財保護審議会」から計画案に対する意見聴取を行いました。

また、文化財保護法第183条の9に基づく協議会として、有識者などで構成される「長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会」を設置し、計画案の検討や意見聴取を行いました。

協議会と並行して、関係部局による庁内ワーキンググループを組織し、計画作成に関わる連絡調整や会議を行いました。

協議会と庁内ワーキンググループの事務局は、いずれも長岡市教育委員会科学博物館に置きました。

○長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会 委員名簿

役職	選出区分	氏名	所属	備考
委員長	(3)	平山 育男	長岡造形大学 学長（建築史）	
副委員長	(3)	飯島 康夫	前新潟大学 元准教授（民俗学）	
委員	(1)	目黒 麻子	地方創生推進部 政策企画課 課長	令和5年度
委員	(1)	五十嵐 智行	地方創生推進部 政策企画課 課長	令和6年度
委員	(1)	中村 真理子	地方創生推進部 政策企画課 課長	
委員	(1)	関 和仁	地域振興戦略部 地域プロジェクト担当課長	令和6年度まで
委員	(1)	岩本 操	地域振興戦略部 地域プロジェクト担当課長	
委員	(1)	高野 徹也	観光・交流部 観光企画課 課長	令和5年度
委員	(1)	野澤 由香	観光・交流部 観光企画課 課長	
委員	(1)	平澤 裕介	都市整備部 都市政策課 課長	令和6年度まで
委員	(1)	有賀 伸幸	都市整備部 都市政策課 課長	
委員	(1)	桜井 秀行	教育部 教育総務課 課長	令和6年度まで
委員	(1)	佐藤 陽子	教育部 教育総務課 課長	
委員	(2)	茂野 由美子	新潟県観光文化スポーツ部参事（文化課 課長）	令和6年度まで
委員	(2)	萬歳 真紀	新潟県観光文化スポーツ部文化課 課長	
委員	(3)	坂井 秀弥	新潟市歴史博物館 館長（考古学）	
委員	(3)	田中 聡	長岡工業高等専門学校 教授（歴史学）	
委員	(3)	新野 義弘	朝日酒造(株)（旧平澤家住宅所有者） 総務部	令和7年9月まで
委員	(3)	西山 拓	朝日酒造(株)（旧平澤家住宅所有者） 総務部 課長	
委員	(3)	松井 富栄	山古志闘牛会 会長	
委員	(3)	鷺津 和義	馬高・三十稲場遺跡保存会 会長	令和6年12月まで
委員	(3)	宮下 敦	馬高・三十稲場遺跡保存会 会長	
委員	(3)	佐藤 敏明	（一社）長岡観光コンベンション協会 専務理事	
委員	(3)	小林 雅典	長岡商工会議所 営業サービスグループ 担当係長	

※選出区分（長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会開催要領（抜粋））

- （1）長岡市の文化財担当部局やまちづくり、観光、教育等関係部局の担当職員
- （2）新潟県の文化財担当部局や関係部局の担当職員
- （3）文化財の所有者、学識経験者、商工関係団体、観光関係団体

○長岡市文化財保護審議会 委員名簿

役職	氏名	担当分野	備考
委員長	平山 育男	歴史的建造物	
副委員長	三富 良晴	文化財一般	
委員	飯島 康夫	民俗文化財	令和5年度
委員	加賀谷 真梨	民俗文化財	令和6年度
委員	田中 和代	文化財教育普及	
委員	鳴海 忠夫	史跡	
委員	西田 泰民	考古資料	
委員	長谷川 一夫	歴史資料	
委員	羽鳥 仁一	文化財一般	
委員	深澤 三枝子	美術工芸	
委員	星野 紀子	民俗文化財	
委員	山田 祐紀	民俗文化財	令和7年度

○事務局

氏名	所属	備考
金澤 俊道	長岡市教育委員会 教育長	
竹内 正浩	長岡市教育委員会 教育部長	令和5・6年度
曾根 徹	長岡市教育委員会 教育部長	令和7年9月まで
江田 佳史	長岡市教育委員会 教育部長	
小熊 博史	長岡市教育委員会 科学博物館 館長	令和5年度
金垣 孝二	長岡市教育委員会 科学博物館 館長	
神保 亜由美	長岡市教育委員会 科学博物館 館長補佐	令和5・6年度
五井 篤也	長岡市教育委員会 科学博物館 館長補佐	
鳥居 美栄	長岡市教育委員会 文化財係 係長	
丸山 一昭	長岡市教育委員会 文化財係 主査	

○庁内ワーキンググループ

部	課
地方創生推進部	政策企画課
	広報・魅力発信課
	ミライエ長岡企画推進室
総務部	人事課
	行政管理課
	庶務課
地域振興戦略部	地域プロジェクト担当
市民協働推進部	市民協働課
	文化振興課
商工部	産業支援課
観光・交流部	観光企画課
農林水産部	農水産政策課
都市整備部	都市政策課
	都市施設整備課
消防本部	予防課
教育委員会	教育総務課
	学校教育課
	中央図書館
	科学博物館

5 計画作成の経過

計画作成の経過を年度ごとに整理し、[表8]に示します。

表8 長岡市文化財保存活用地域計画 作成の経過

期日			項目	内容
令和5 (2023) 年度	令和5年 (2023)	11月20日	文化庁協議	・作成スケジュールの確認 ・認定手続きに関する注意点などの説明 ・素案に関する指導
		3月28日	第1回協議会	・文化財保存活用地域計画の概要について ・長岡市文化財保存活用地域計画作成のスケジュールについて ・長岡市の文化財保護行政の現状について ・令和5年度調査の概要について
令和6 (2024) 年度	令和6年 (2024)	7月25日	第2回協議会	・長岡市の文化財の概要について ・長岡市の歴史文化の特性について ・文化財の保存・活用に関する目標（将来像）について
		8月23日	長岡市文化財保護審議会	・長岡市文化財保存活用地域計画について（経過報告）
		9月後半～ 10月	アンケート調査の実施	・文化財の保存・活用に関するアンケート （文化財の所有者・管理者対象）
		10月28日	第3回協議会	・文化財の保存・活用に関するアンケートについて ・長岡市の歴史文化の特性について ・文化財の保存・活用に関する目標（将来像）について ・文化財保存活用の課題・方針・事業について
令和7 (2025) 年度	令和7年 (2025)	3月26日	第4回協議会	・歴史文化の特性について ・文化財の保存・活用に関する目標について ・文化財保存活用の課題・方針・事業について ・関連文化財群・文化財保存活用区域（案）について ・市民ワークショップの実施成果について
		5月22日	文化庁協議	・素案に関する指摘など ・スケジュール確認
		7月1日	第5回協議会	・市民ワークショップ、団体ヒアリングの実施成果について ・歴史文化の特性（修正案）について ・文化財保存活用の課題・方針・事業（修正案）について ・関連文化財群・文化財保存活用区域（案）について ・文化財の保存・活用の推進体制（案）について
		8月25日	文化庁協議	・素案に関する指摘など ・スケジュール確認
		9月5日	長岡市文化財保護審議会	・計画作成の進捗報告
		10月14日	第6回協議会	・素案全体（修正案）について
	令和8年 (2026)	1月9日～ 29日	パブリックコメント	・計画案に対する意見募集
		2月24日	第7回協議会	・計画の承認
		3月4日	長岡市文化財保護審議会	・計画作成の報告

6 計画の対象

文化財 文化財保護法では、我が国にとって歴史上・芸術上価値の高いものや、学術上価値の高いもの、国民生活の推移を理解するために欠くことのできないものなどを「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」の6類型と定義し（法第二条）、文化財の保存と活用を図ることで、国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを定めています。

そのほかに、土地に埋蔵されている文化財を「埋蔵文化財」と定義し（法第九十二条―第一百八条）、保存のために必要な措置を講じることを定めているほか、文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術又は技能で、保存の措置を講ずる必要があるものを「文化財の保存技術」として選定し（法第一百四十七条―第一百五十二条）、その保持者及び保存団体を認定しています。

これらの文化財は、国・新潟県・長岡市それぞれにとって重要なものとして、文化財保護法、新潟県文化財保護条例、長岡市文化財保護条例で保護されています。

歴史文化 本計画では、地域固有の風土の下で、先人によって生み育まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動等の成果及びそれらが存在する環境を総体的に把握した概念を「歴史文化」と呼びます。

計画の対象 本計画では、法令によって指定等を受けている文化財だけでなく、未指定の文化財や「その他の文化財」を含め、「歴史文化」を形成するさまざまな要素を「文化財」と捉えて、計画の対象とします。

文化財の定義			
文化財保護法が対象とする文化財	文化財保護法第2条の6類型の文化財	有形文化財	歴史上、芸術上、学術上価値の高い有形の文化的所産 建造物／絵画／彫刻／工芸品／書跡／典籍／古文書／考古資料／歴史資料 等
		無形文化財	歴史上、芸術上価値の高い無形の文化的所産 演劇／音楽／工芸技術／生活文化 等
		民俗文化財	国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの 〈有形〉 衣服／器具／家屋 等 〈無形〉 衣食住／生業／信仰／年中行事 等
		記念物	歴史上または学術上価値の高い遺跡 芸術上または鑑賞上価値の高い名勝地 学術上価値の高い動物、植物、地質鉱物 〈遺跡〉 貝塚／古墳／都城跡／旧宅 等 〈名勝地〉 庭園／橋梁／峡谷／海浜／山岳 等 〈動物・植物・地質鉱物〉
		文化的景観	人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地 棚田／里山／用水路 等
		伝統的建造物群	周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群 宿場町／城下町／農漁村 等
		埋蔵文化財	土地に埋蔵されている文化財
		文化財の保存技術	文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術または技能

図6 本計画で対象とする「文化財」

第1章 長岡市の概要

1 自然的・地理的環境

1-1 位置・面積

長岡市は、新潟県のほぼ中央部、越後平野の南端部に位置しており、「長岡地域」、「中之島地域」、「越路地域」、「三島地域」、「山古志地域」、「小国地域」、「和島地域」、「寺泊地域」、「栃尾地域」、「与板地域」、「川口地域」の11の地域に広がっています。総面積は891.26km²で、うち可住地面積(居住可能な条件を備えた土地の面積)は約5割となっています。

◆市章



魅力ある地方中核都市として限りなく発展する長岡市を、不撓不屈の不死鳥の姿に託して表現したものである。

1-2 地形・地質

1) 地形

本市の中央部を南北に延びる信濃川には、刈谷田川、猿橋川、栖吉川、柿川、太田川、魚野川、黒川、澁海川等の河川が流れ込み、日本一の長さで流量を誇る大河となっています。信濃川の両岸には、長岡地域から中之島地域に至る比較的平坦な沖積平野が広がっています。その東西には、東山連峰と西山丘陵が連なっています。

本市の東部に位置する山古志地域や栃尾地域の一部は、起伏に富んだ山岳地形となっており、栃尾地域南東部には越後山脈の一角を占める守門岳(1,537 m)がそびえています。一方、日本海に面する寺泊地域には南北約16 kmにわたって延びる海岸線があります。

このように、急峻な山岳地から丘陵、平坦な平野、海岸に至る変化に富んだ地形が本市の特徴であり、信濃川とその支流に広がる水辺や緑豊かな山々等、豊かな自然環境に恵まれています。

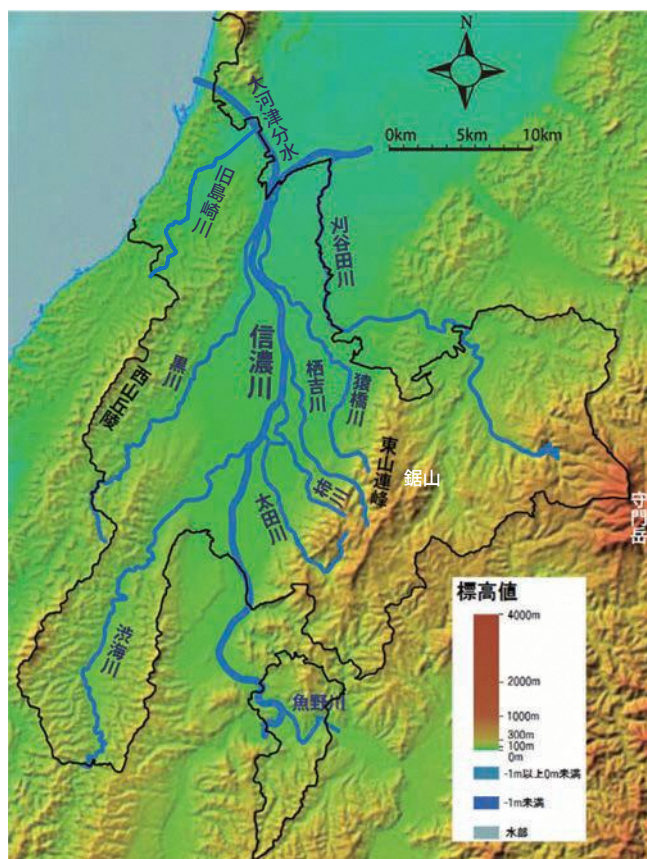


図 1-1 標高区分と主な河川

国土地理院：「色別標高図」を基に長岡市作成

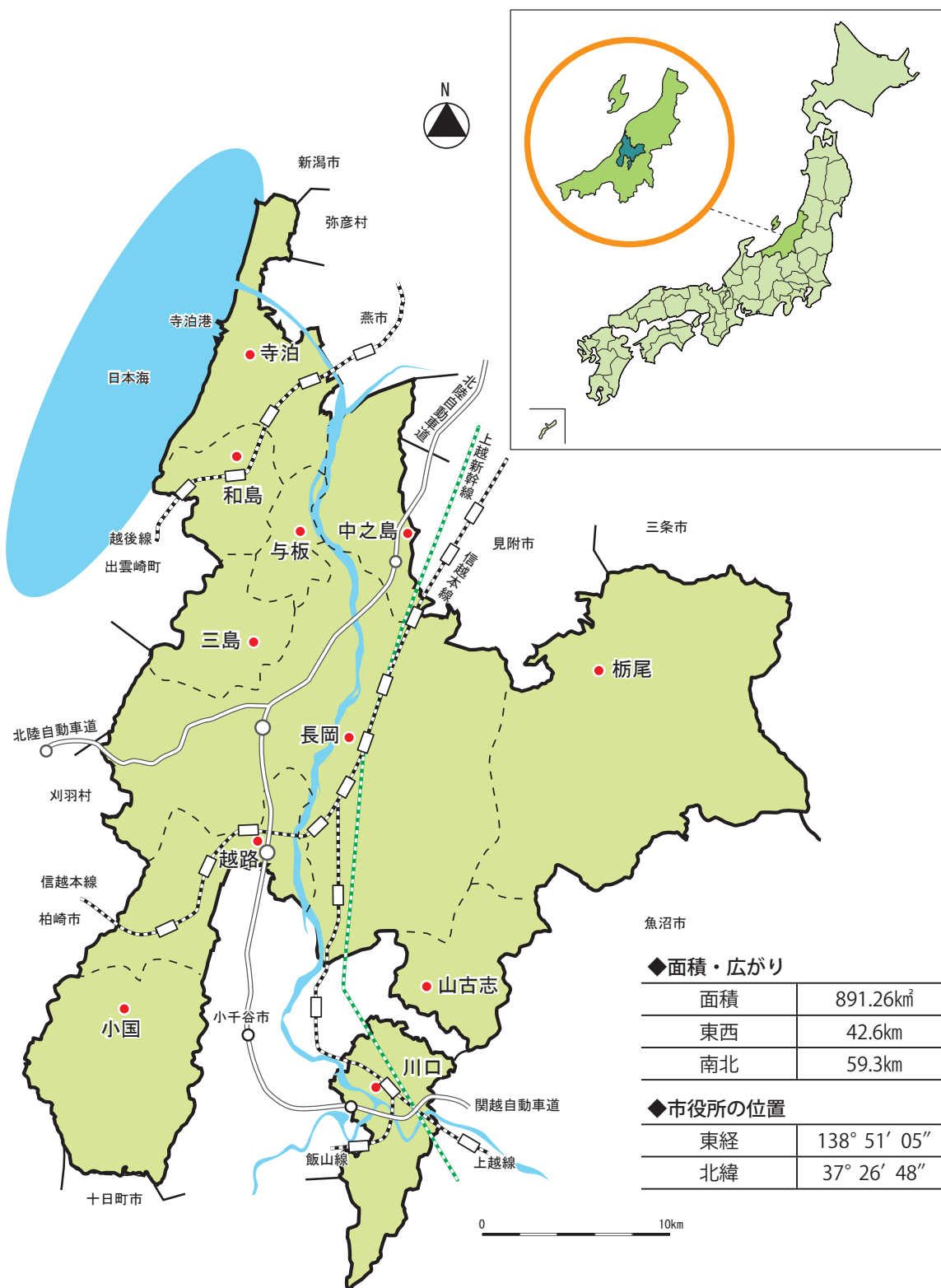


図 1-2 長岡市の全体図と地域

◆市の魚	錦鯉（にしきごい）	長岡市と小千谷市にまたがる、かつての「二十村郷」が発祥。世界へ輸出されるなど、重要な産業として発展しています。
◆市の花	ツツジ（ツツジ科）	春から夏にかけて見頃を迎えます。大積の大ツツジ、悠久山公園や楽山苑のツツジなどが知られています。
◆市の木	ケヤキ（ニレ科）	春の新緑や秋の紅葉が美しいケヤキ。堂々たる姿を誇る JR 長岡駅前の大ケヤキは、長岡市のシンボルとして来訪者を迎えています。

2) 地質

本市の地質は、東山連峰と西山丘陵ではともに新生代中新世の寺泊層から第四紀更新世の御山層に相当する堆積岩類が広く分布し、これらに挟まれた平野部には第四紀完新世の堆積物が平坦部を形成し、一部は軟弱な地盤となっています。東山連峰の鋸山（764m）を主峰として新生界から構成されており、その一部は東山油田として採油されてきました。また、守門岳山麓部には火山噴出物が広く分布しています。西山丘陵では標高が300m程度の山稜が連なり、主として第四系から構成されています。

地質構造は、海岸線とほぼ平行する数多くの褶曲軸と断層の発達が顕著であり、特に丘陵地と平野の境界付近には比較的規模の大きい活断層が伏在しています。この複雑な地質構造は活発な構造運動の跡を示しています。丘陵部では、融雪等による地すべりが発生し、新旧数多くの地すべり地形が見られます。平野部では、標高15～35m程度の低平な地形であり、未固結の礫、砂、シルト、粘土で構成されています。このうち、砂礫層は、地下水の滞水層となっています。

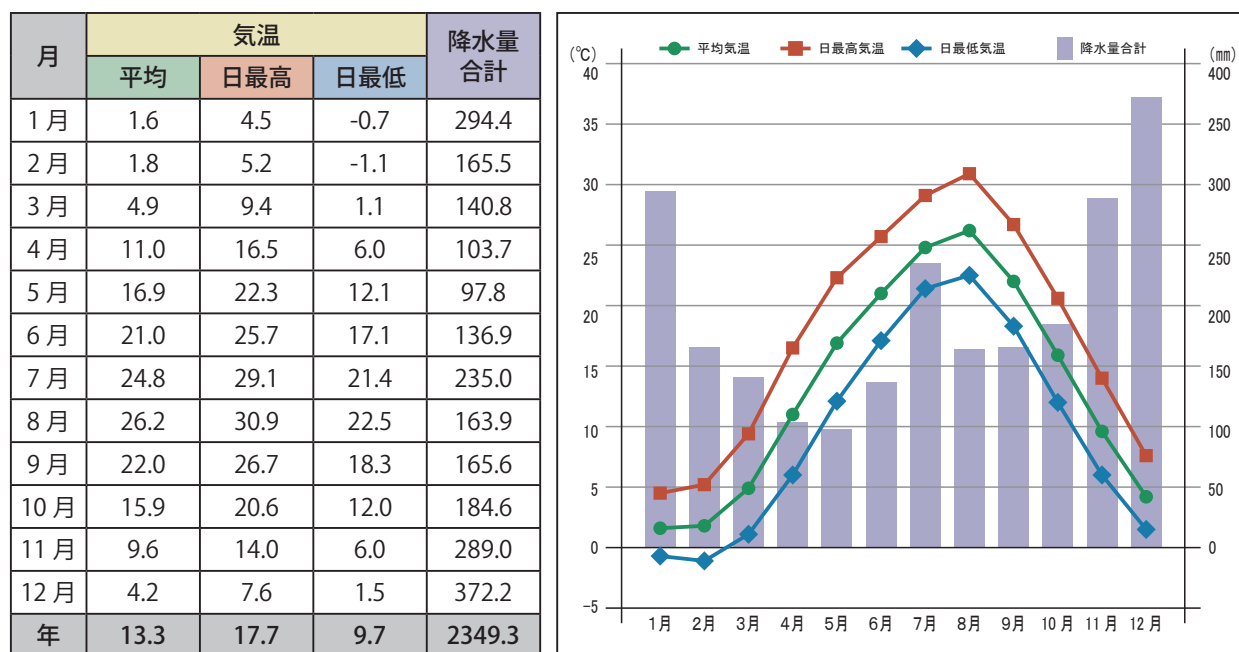
本市の丘陵部の地質構造は比較的複雑であり、風化しやすい岩石で構成されていることもあって、地すべり等の自然災害が発生することもあります。学術的には貴重な地形・地質が数多く存在しています。

1-4 気候

長岡市は、夏は高温多湿、冬は気温が低く北西の季節風が強く吹き、降雪があるという、日本海側特有の傾向が見られます。夏と冬の気温差が大きいため、四季の変化がはっきりしており、このことが豊かな自然環境を育む要因のひとつとなっています。

また、降水量は梅雨期と秋から冬にかけての期間に多く、年間降水量の約50%は冬期に降り、その大部分は降雪によるものです。

なお、平野部や海岸、山沿いといった本市の地勢の違いにより、降雪量には地域差が見られ、山古志地域、小国地域、栃尾地域、川口地域などの山間部は県内でも有数の豪雪地帯ですが、和島地域、寺泊地域などの平野部や海岸部では比較的降雪が少ない傾向にあります。



【出典／気象庁（観測地点：長岡）】※統計期間は平成3（1991）～令和2（2020）年

表 1-1・図 1-3 月ごとの年平均値（単位／気温：℃、降水量：mm）

1-5 自然環境

1) 動物・植物

長岡市は、山岳、丘陵、河川、海岸など多彩な自然に恵まれており、そこには多様な動植物の生息が確認されています。また、里山といわれる身近な自然においても多様な生態系が育まれています。

本市の植生は、市街地に近いため全般に人為的影響を受けている部分が多くあり、東山連峰や西山丘陵には主にスギやアカマツの植林、平野部では水田雑草群落、海岸線に沿ってはハマボウフウなどの砂浜植生などが見られます。

市内には、オオミスミソウ（雪割草）、シラネアオイをはじめ希少な植物が自生し、守門岳等にはブナ林、低山にはユキツバキの群生等豊かな植生が分布しています。一方、外来生物のセイタカアワダチソウやオオキンケイギク等が分布域を広めてきており、その駆除が課題となっています。

また、生物では、ホンドキツネなどの哺乳類をはじめ、鳥類、両生類などの動物はもちろん、ゲンジボタル等の昆虫類や、溪流魚であるイワナなど、多様な生物が丘陵から山岳の良好な自然に広く生息しています。

標高の高い守門岳周辺や東山連峰の主峰である鋸山の山頂付近ではニホンカモシカの生息が知られているほか、鳥類ではイヌワシなど自然性の高い地域に生息する野生生物も確認されています。本市が基産地のホトケドジョウ等、希少な動物も市内に生息しています。一方、外来生物法によって飼育や野外に放つことが禁止されているオオクチバス等について、市内の河川や湖沼で生息が確認されており、生態系への影響が懸念されています。

その他、本市は佐渡におけるトキの飼育・繁殖及び野生復帰事業を支援、補完し、トキの安定的存続を目標に掲げる我が国のトキ保護増殖事業に貢献するため、寺泊夏戸地域において、平成23（2011）年からトキ分散飼育事業に取り組んでいます。



写真 1-1 オオミスミソウ



写真 1-2 ホトケドジョウ



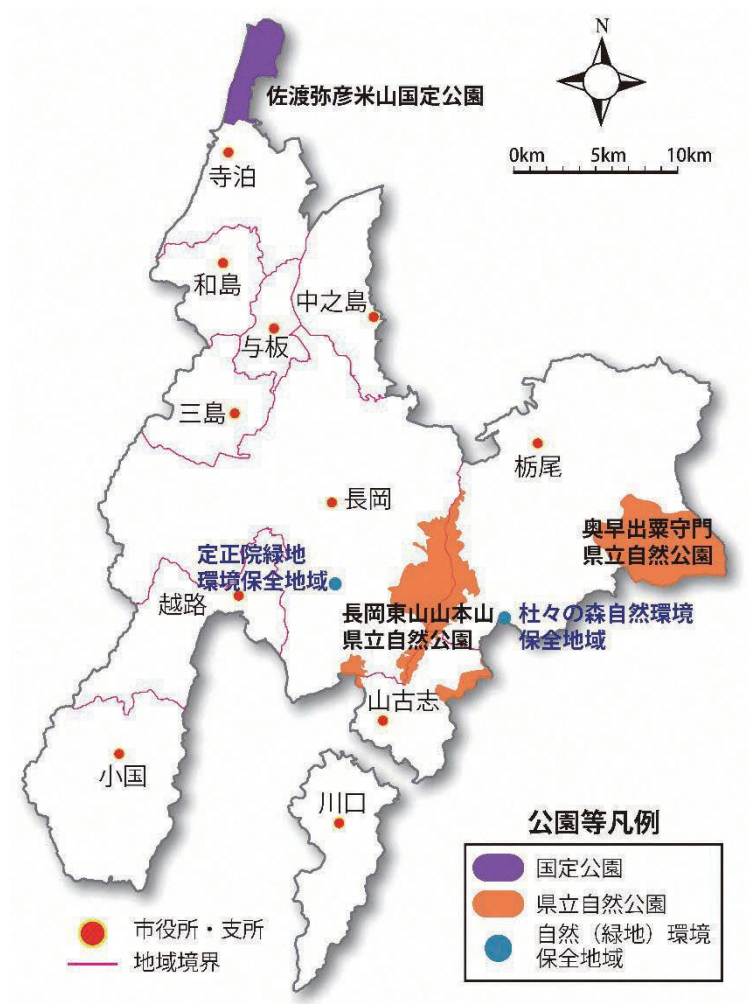
写真 1-3 イヌワシ



写真 1-4 トキ

2) 自然公園

市内には、優れた自然環境を適切に保全し、これと触れあう機会の創出を図ることを目的とした、国定公園と県立自然公園等があります。自然公園では、優れた自然景観の保護のため、工作物の建築や木材の伐採等の開発行為等が規制されています。また、県では、新潟県自然環境保護員を委嘱し、県立自然公園の監視を定期的に行っています。



【国定公園】

- ・佐渡弥彦米山国定公園（寺泊地域）

全体面積	29,464ha
市内面積	1,213ha

【県立自然公園】

- ・奥早出粟守門県立自然公園（栃尾地域）

全体面積	34,155ha
市内面積	2,736ha

- ・長岡東山山本山県立自然公園（長岡地域、山古志地域、栃尾地域）

全体面積	3,892ha
市内面積	2,816ha

【自然（緑地）環境保全地域】

- ・杜々の森自然環境保全地域（栃尾地域）

面積	2.6ha
----	-------

- ・定正院緑地環境保全地域（長岡地域）

面積	0.8ha
----	-------

図 1-4 国定公園・県立自然公園等の位置と面積

2 社会的状況

2-1 人口推移

本市の人口は令和8（2026）年3月現在、251,688人です。5年ごとに行われる国勢調査結果によると、平成7（1995）年の約29.3万人をピークに、その後は人口減少が続いています。

年少人口（0～14歳）は、昭和60（1985）年以降、一貫して減少を続けており、平成7（1995）年からは、老年人口（65歳以上）を下回り続けています。生産年齢人口（15歳～64歳）も、1990年代のピーク時は約19.2万人でしたが、その後は減少傾向が続き、令和2（2020）年では約14.9万人になっています。老年人口は昭和60（1985）年以降、一貫して増加を続けています。

表 1-2 人口推移（単位／人口：人、構成比：％）

年次	総人口	年少人口 (0～14 歳)		生産年齢人口 (15～64 歳)		老年人口 (65 歳以上)	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
昭和 55 (1980) 年	289,234	65,300	22.6	191,826	66.3	32,103	11.1
昭和 60 (1985) 年	291,251	61,973	21.3	192,079	65.9	37,199	12.8
平成 2 (1990) 年	290,923	54,710	18.8	192,279	66.1	43,934	15.1
平成 7 (1995) 年	293,250	48,124	16.4	192,145	65.5	52,974	18.1
平成 12 (2000) 年	292,887	43,387	14.8	188,621	64.4	60,773	20.8
平成 17 (2005) 年	288,457	39,885	13.8	181,650	63.0	66,731	23.2
平成 22 (2010) 年	282,674	37,312	13.3	172,717	61.3	71,710	25.4
平成 27 (2015) 年	275,133	34,483	12.5	161,168	58.6	79,482	28.9
令和 2 (2020) 年	266,936	31,332	11.8	151,731	56.8	83,873	31.4
2025 (推計)	256,456	27,318	10.7	144,843	56.5	84,295	32.9
2030 (推計)	245,260	23,902	9.7	138,006	56.3	83,352	34.0
2035 (推計)	233,826	21,871	9.4	129,200	55.3	82,755	35.4
2040 (推計)	221,942	20,842	9.4	116,829	52.6	84,271	38.0
2045 (推計)	209,566	19,598	9.4	106,282	50.7	83,686	39.9
2050 (推計)	197,104	17,862	9.1	98,143	49.8	81,099	41.1

※「年齢不詳」の区分があるため、総人口と各年齢区分の合計は一致しません。構成比は「年齢不詳」を含みません。

【出典／人口：国勢調査 ※平成 17（2005）年以前は合併前市町村を含めた合算値
推計人口：国立社会保障・人口問題研究所（令和 5（2023）年推計）】

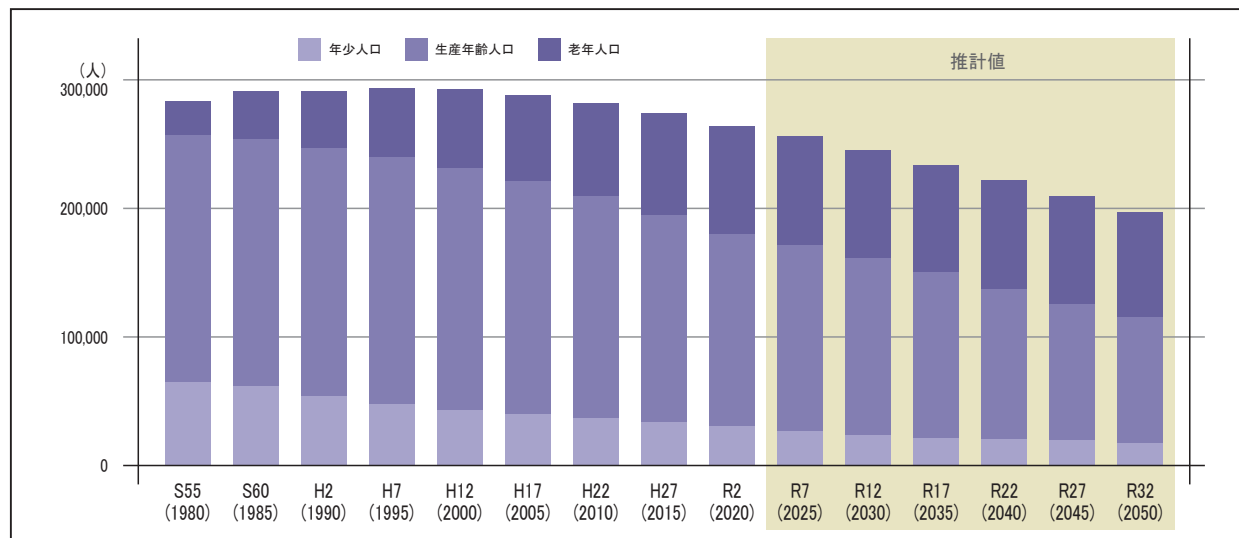


図 1-5 人口推移

国立社会保障・人口問題研究所の調査結果によると、今後も人口の減少は続き、2050年には、総人口が約19.7万人になるものと推計され、生産年齢人口が順次、老年人口へ移行するため、老年人口の割合が増加し続けることが見込まれています。

表 1-3 地域別人口（令和2（2020）年度）

	合計	長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口
総人口	266,936	191,859	10,790	13,144	6,738	809	4,742	3,676	8,694	16,440	5,957	4,087
年少人口	31,270	23,700	1,224	1,758	718	37	330	347	720	1,403	639	394
生産年齢人口	149,389	110,873	5,966	7,025	3,507	325	2,210	1,868	4,578	7,840	3,148	2,049
老年人口	83,371	54,502	3,561	4,337	2,488	447	2,200	1,459	3,388	7,181	2,164	1,644

【出典／国勢調査】

2-2 産業

本市は、高度なものづくり産業の一大集積地であり、県内第二の商圏の中心地であるとともに、優良な米産地でもあり、バランスのとれた産業構造を有するまちです。

表 1-4 産業別就業者数の推移

年次	第一次産業		第二次産業		第三次産業		分類不能産業		総数
	人	構成比(%)	人	構成比(%)	人	構成比(%)	人	構成比(%)	
昭和 55 (1980) 年	22,963	15.2	54,399	36.0	73,864	48.8	26	—	151,252
昭和 60 (1985) 年	16,891	11.3	57,902	38.6	75,046	50.1	35	—	149,874
平成 2 (1990) 年	12,163	8.0	60,692	40.1	78,619	51.9	19	—	151,493
平成 7 (1995) 年	10,897	7.0	61,122	39.3	83,616	53.7	65	—	155,700
平成 12 (2000) 年	7,808	5.2	56,701	37.7	85,543	56.8	391	0.3	150,443
平成 17 (2005) 年	8,103	5.5	51,269	34.8	87,289	59.3	618	0.4	147,279
平成 22 (2010) 年	6,049	4.3	43,718	31.4	86,516	62.2	2,925	2.1	139,208
平成 27 (2015) 年	5,243	3.8	42,259	31.1	86,610	63.7	1,878	1.4	135,990
令和 2 (2020) 年	4,324	3.4	38,888	30.2	83,070	64.6	2,261	1.8	128,543

【出典／国勢調査 ※平成 17（2005）年以前は合併前市町村を含めた合算値】

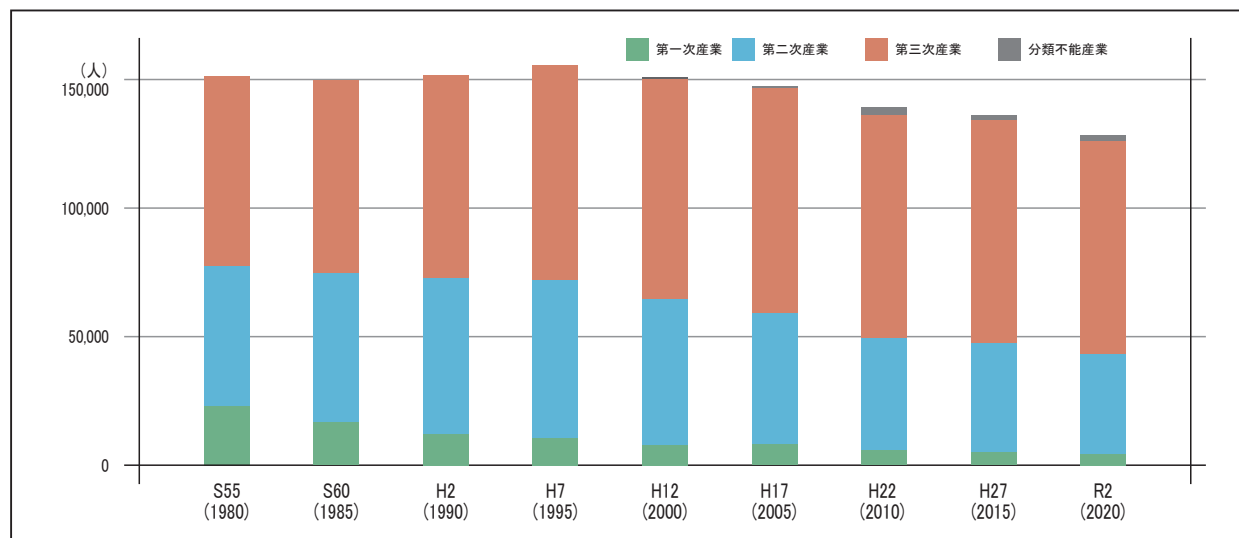


図 1-6 産業別就業者数の推移

工業では、古くから栄えた工作機械関連をはじめ、近年では電子・精密機械や液晶・半導体など高度なものづくり産業が集積しています。また、良質な米や水といった地域資源を活かした醸造や米菓などの食料品製造や、世界トップレベルの技術を誇るスポーツ用品製造、さらに産地を形成している繊維や打刃物といった特色を持つ新潟県を代表する工業都市となっています。

商業では、JR 長岡駅周辺や千秋が原・古正寺地区を中心に、中越地域全体を商圈とする広域的な商業拠点形成しています。

また、高度に整った高速交通体系を活かした卸売業の集積が見られ、物流拠点の機能も発揮しています。年間商品販売額は卸売業が約7割、小売業が約3割となっています。

農業では、信濃川兩岸に広がる肥沃な越後平野で、コシヒカリに代表される稲作が営まれています。市の農作物収穫面積の約9割を稲が占め、米は全国有数の収穫量となっており、環境保全型農業にも力を入れています。

それ以外では主に豆類、野菜の生産が行われ、近年、巾着なす、かぐらなんばん、枝豆などは長岡ブランドの自慢の野菜として生産の強化を図っています。

林業では、市の総面積のおよそ50%を森林が占め、豊富な森林資源に恵まれています。木材価格の低迷や林業従事者の高齢化など、林業全体としての課題があるなか、バイオマスエネルギー利用となる、間伐材を使用した木質ペレット原料の生産も行われています。

地方港湾の寺泊港を拠点として漁業が営まれているほか、市の魚に制定した錦鯉の養殖が山古志地域を中心として盛んに行われ、国内はもちろん国外からも多くのバイヤーが訪れています。一大産地を形成しています。平成29(2017)年には、新潟県中越地域(長岡市・小千谷市)の「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」が「日本農業遺産」に認定されました。

表 1-5 長岡市の名産

番号	品名	主な生産地域	概要
1	米		米どころ新潟県内でも有数の産地。豊かな水と恵まれた気候風土で育てられた良質のお米は土産品や贈答品としても人気が高い。
2	味噌・醤油	長岡・三島・栃尾	厳選された素材と熟練の技で、豊かな風味を醸し出す。長岡地域では、摂田屋地区に江戸時代から続く醸造業が軒を連ねる。
3	大口れんこん	中之島	大口地区の特産品。稲作に不向きな土壌がれんこん栽培に適したことがわかって以来、90年以上にわたり栽培が続けられる。
4	越後姫		新潟のブランド苺。雪国でじっくり育つため、酸味は控えめで、芳醇な香りと甘みが特徴。
5	かぐらなんばん	山古志	コロッと丸い唐辛子。肉厚でピリリとした爽やかな辛みが特徴。山古志地域では昔から自家用野菜として栽培されてきた。
6	畜産品(肉)		長岡の豊かな自然環境で、コシヒカリやその稲わらなどを食べて育てる。
7	地酒	長岡・越路・三島・和島・栃尾	長岡市は酒どころ新潟県で最多の16の日本酒蔵元数を誇る。「日本酒で乾杯を推進する条例」を制定した。
8	米菓	長岡・越路・三島	米どころ長岡は全国にも類を見ないほど米菓が豊富。「柿の種」発祥の地。
9	しょうゆ赤飯	長岡	長岡赤飯は全国でも珍しい醤油味で、もち米の甘みと食感が醤油の香りと調和する。小豆ではなく、いんげん豆を使う。
10	長岡の伝統野菜		信濃川が培った肥沃な土壌を長岡ならではの気候風土の中で育ち、昔から地元で生産され、食されてきた野菜。

11	枝豆		長岡の夏の定番。長岡在来の品種として、9月下旬から10月上旬に収穫される「越一寸」や「肴豆」がある。
12	なす		新潟県は、なすの在来品種数が国内最多。長岡では、巾着なすや梨なす、八石なすなどが味わえる。
13	鮮魚	寺泊	魚の市場通りは、魚貝の宝庫で、新鮮な海の幸と旬の味が店内に並ぶ。
14	浜焼き	寺泊	新鮮な魚介を焼いた寺泊地域の名物。一年を通じて、イカ、ホタテ、ツブガイ、エビ、サバ、アカウオなどの浜焼きを提供する。
15	番屋汁	寺泊	旬の野菜とカニ、魚を味噌仕立てでいただく汁料理。昔は番屋鍋といい、浜の番小屋で漁師が毎日のように食べたもの。
16	えご	寺泊	えご草をよく洗い、水を加えて煮とかし、箱に入れて冷して固めたもの。酢みそやしょうゆをつけて食べる。
17	おこわだんご	寺泊	餡入りの団子を醤油味の「しょうゆおこわ」で包んだ伝統的なおやつ。
18	羊かん	寺泊	独特な製法で羊かんを製造している所がいくつかある。
19	ワイン風れんこん酒 「蓮の花」	中之島	「大口れんこん」を原料にした、新しい中之島地域の特産品ワイン風れんこん酒。
20	銀杏	小国	小国地域の銀杏の年間生産量及び出荷量は10tで、「小国ぎんなん」の名で親しまれる。ぎんなんアイスクリームなどの加工品が人気。
21	ガンジー牛乳製品	和島	貴重なガンジー牛は栄養価も高く、濃厚なのにさっぱりとした味わい。ソフトクリームやジェラートも人気。
22	そば	越路	越路原ではその自然環境を生かしたそばの生産が盛んで、秋には、白いじゅうたんを敷いたようにそばの花が咲く。
23	栃尾あぶらげ	栃尾	栃尾の方言では「油揚げ」のことを「あぶらげ」と呼ぶ。一般の油揚げとは比べ物にならないほど大きく味も美味しい。
24	丸鯛・巻鯛	栃尾	鯛を象った丸い形の粉菓子。中に餡が入り、色合いも美しく、昔からお土産やお祝い事の式菓子として用いられてきた。
25	えのき茸	川口	川口地域は良質なきのこが生産される。特にえのき茸は生産量が多く、広域に出荷されている。

表 1-6 長岡市の特産・伝統工芸

番号	品名	主な生産地域	概要
1	長岡仏壇	長岡・三島	17世紀頃、寺院建設に全国から集まった宮大工や仏師の冬の内職として始まる。その後、長岡藩が行った浄土真宗の保護政策、各家庭で位牌をまつる習慣が定着し、仏壇を求める人が増えたことで広まった。
2	琴	越路	職人の卓越した技が、美しい音色を生み出す。
3	のこぎり	三島	脇野町鋸の元祖中屋庄兵衛からの伝統の技を受け継ぎ、本職大工用、替刃式鋸、園芸、華道、枝打ち、土木、精密細部工作、穴あけなど、あらゆるニーズに対応する鋸を製造している。
4	小国和紙	小国	300年以上の歴史をもつ手漉き和紙。和紙の原料である楮(コウゾ)から自家栽培を行い、冬季間の原料加工作業では、雪を活用した伝統製法で真っ白な和紙を生産している。
5	寺泊山田の曲物	寺泊	一口に曲物といってもその種類は多く、ふるい・わっぱ・せいろなどのほか、花立、茶道具などがある。手作業のため大量生産ができないが、長年使える伝統の逸品。

6	栃尾てまり	栃尾	子どものおもちゃや祖父母から孫への節句の祝い品に用いられた手がかりてまりは、山里の女達が紬を織った残りの絹糸を利用して作ったのが始まりといわれる。
7	繊維	栃尾	江戸時代、飢饉に備えるため長岡藩が稲作以外の産業を振興したことから繊維の産地として全国に広まった。現在は加工織を中心に付加価値の高い製品を生産している。
8	越後与板打刃物	与板	上杉謙信の家臣が16世紀頃に刀職人を招いて、打刃物を作ったのが起源とされ、刀鍛冶の高度な技術が受け継がれ、江戸中期には大工道具の産地として名声を誇った。

2-3 観光

過去10年間の観光客入込数は平成27（2015）年をピークに減少傾向にあります。令和2（2020）年は新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、観光客入込数が激減しましたが、現在は感染症の沈静化とともに回復傾向にあります。

令和6（2024）年において、年間入込数5万人を超えた観光地点は、歴史・文化関連として「県立近代美術館」、「宝徳山稲荷大社」、「もみじ園（越路もみじまつり含む）」、「寺泊水族博物館」、「吉乃川 酒ミュージアム醸蔵」の5地点、行祭事・イベント関連では「長岡まつり（平和祭・昼行事）」、「長岡まつり大花火大会」、「悠久山桜まつり」の3地点があります。また、都市型観光関連では「寺泊魚の市場通り」、「道の駅ながおか花火館」、「道の駅 R290 とちお」、「道の駅良寛の里わしま」、「道の駅越後川口あぐりの里」の5地点があり、地域の観光情報発信や物産販売を担う施設に人気が集まっています。

同年の長岡市の観光客入込数を月別に見ると、8月に約140万人が来訪しており、年間入込数の20%にあたります。「長岡まつり大花火大会」および「長岡まつり（平和祭・昼行事）」が開催される3日間で、約41万人の来場があり、8月の来訪者の3割を占めています。

一方、歴史・文化に分類される施設のうち、博物館や美術館などの個別施設で年間入込数が5万人を超えた年は令和元（2019）年の5地点を記録して以来、3地点前後で推移しており、上記分野における入込数の回復が望まれます。

表 1-7
月別観光客入込数
(単位：人)

令和6（2024）年	
1月	210,199
2月	363,052
3月	375,158
4月	613,664
5月	781,873
6月	582,724
7月	483,337
8月	1,446,068
9月	541,309
10月	747,798
11月	741,505
12月	492,619

表 1-8 分類別観光客入込数（単位：人）

年	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	行祭事・イベント	合計
平成27（2015）年	64,768	773,439	771,825	1,235,462	2,066,299	774,320	2,033,034	7,719,147
平成28（2016）年	54,876	966,231	857,931	1,118,103	1,938,139	783,200	1,810,683	7,529,163
平成29（2017）年	55,602	718,522	767,027	1,009,831	1,875,640	788,739	1,938,675	7,154,036
平成30（2018）年	62,996	742,894	791,870	972,942	2,537,046	0	1,898,203	7,005,951
令和元（2019）年	62,261	775,930	718,679	911,406	2,542,297	0	1,914,581	6,925,154
令和2（2020）年	59,828	536,644	456,057	607,833	2,396,175	0	67,676	4,124,213
令和3（2021）年	89,649	518,614	434,232	735,119	2,949,729	0	30,000	4,757,343
令和4（2022）年	81,491	643,612	484,025	773,106	3,618,239	0	512,950	6,113,423
令和5（2023）年	44,509	609,561	538,178	753,349	3,966,738	0	1,123,274	7,035,609
令和6（2024）年	34,925	777,255	556,186	677,729	3,991,882	11,493	1,329,836	7,379,306

【出典：新潟県観光入込客数統計調査】

表 1-9 長岡市の主なイベント・祭り・伝統行事（※太字は指定された無形の民俗文化財を示す）

月	地域	イベント・祭り	月	地域	イベント・祭り
1月	栃尾	岩戸舞	8月	寺泊	寺泊港まつり
2月	栃尾	とちお遊雪まつり		三島	三島まつり
	越路	スノーキャンプフェスティバル in 越路		小国	おぐに夏まつり
	栃尾	栃堀巣守神社裸押合大祭		和島	ふるさとわしままつり 弓踊り
	長岡	ながおかウィンターフェス		越路	飯塚巫女爺と若衆の手踊り
	小国	おぐに雪まつり		越路	不動沢巫女爺
	川口	えちごかわぐち雪洞火ぼたる祭		中之島	中之島諏訪神社灯籠神事（灯籠押し合い）
3月	栃尾	ほだれ祭り		栃尾	とちお祭
4月	長岡	悠久山桜まつり		栃尾	栃尾謙信公祭
	栃尾	栃堀神楽舞 （4月・9月）	9月	与板	与板十五夜まつり
	栃尾	菅畑神楽舞 （4月・9月）		長岡	越後長岡酒の陣
	栃尾	荷頃神楽舞 （4月・8月）		和島	はちすば通り良寛てまり座
	小国	巫女爺踊り	10月	長岡	米百俵まつり
	栃尾	諏訪神社春季大祭神輿渡御行列（大名行列）		栃尾	栃尾あぶらげ地酒フェア
5月	寺泊	白山媛神社春季大祭		与板	与板天地人行列
	山古志	越後山古志 牛の角突き （～11月）		栃尾	とちお自慢市 & あぶらげまつり
	中之島	中条日枝神社春秋祭禮御神輿巡行神事		山古志	やまあかり
	与板	楽山苑ライトアップ		寺泊	農と魚のフェスティバル in 寺泊
	寺泊	寺泊観光まつりよさこいと踊りのフェスティバル		中之島	中之島産業まつり
	栃尾	守門山開き		栃尾	栃尾地域農業まつり
6月	栃尾	栃尾てまりまつり		山古志	長岡市錦鯉品評会
	中之島	見附今町・長岡中之島大風合戦		川口	えちご川口秋まつり
	越路	越路ホタルまつり	11月	越路	越路もみじまつり
7月	長岡	金峯神社の流鏝馬		三島	みしま産業まつり
	栃尾	秋葉の火祭り		山古志	山古志産業まつり
	川口	川口まつり		小国	おぐに秋まつり
8月	長岡	長岡まつり		長岡	王神祭
	中之島	中之島夏まつり		栃尾	来伝天神合格祈願祭
	三島	全日本丸太早切選手権大会	12月		



写真 1-5 越後山古志 牛の角突き



写真 1-6 見附今町・長岡中之島大風合戦



写真 1-7 金峯神社の流鏝馬

2-4 土地利用

長岡市の地形は、市中央部を日本一の大河信濃川が流れ、その流域の平野部、東山連峰や西山丘陵地などの山間地、さらには日本海沿岸など、多様な地形から成り立っています。行政区域面積891.05km²のうち、林野が49%、田・畑などの農業地域が24%、宅地が6%を占めています。

本市では、これまで計画的な市街化を進め、良好な居住環境を有する住宅地の形成に取り組んできました。

しかし、現在は人口減少局面を迎えており、住宅地の供給量も十分にあることから、住居系市街地の拡大は行わず、低未利用地や空き家を有効に活用することとしています。

また、中山間地域では、過疎化・高齢化等の進行に伴う農村集落機能の低下により、身近な自然環境である水田・里山の保全管理が課題となっています。その一方で、国が選定する「日本の生物多様性保全上重要な里地里山」に、小国町法末集落が選定されるとともに、新潟県中越地域（長岡市・小千谷市）の「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」が「日本農業遺産」に認定されるなど、本市の中山間地域の価値が高まりつつあります。

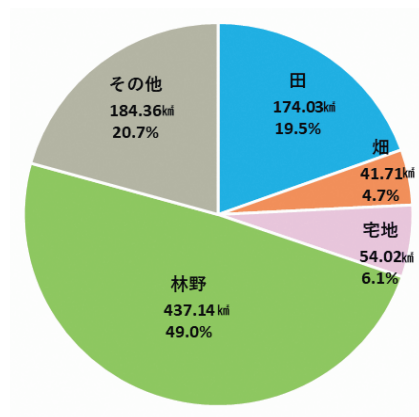


図 1-7 土地利用区分割合

表 1-10 土地利用区分割合

地目	総面積	田	畑	宅地	林野	その他
面積 (km ²)	891.26	174.03	41.71	54.02	437.14	184.36
割合 (%)	100	19.5	4.7	6.1	49.0	20.7

【出典／田・畑・宅地面積：新潟県統計年鑑 2024、林野面積：農林業センサス 2020
 その他は総面積から上記数値を差し引いたものとする】

2-5 交通機関

高速交通網は、上越新幹線と関越・北陸自動車道が整備されており、首都圏や北陸・東北方面と本市とを結んでいます。

上越新幹線は長岡駅を発着し、在来線への乗り換えが可能となっています。在来線は東日本旅客鉄道（JR 東日本）1社のみが運営しており、信越本線・上越線・飯山線・越後線の計4路線があります。

長岡ジャンクションは、北陸自動車道と関越自動車道の2路線が接続しています。市内には複数のインターチェンジが設置されており、一般国道や県道などと結ばれています。

一般路線バスは、越後交通が運行しており、長岡駅を中心に、市内各地や近郊各市町村とを結んでいます。また、小国・川口・山古志・栃尾・寺泊・和島地域では地域生活交通（コミュニティバス・デマンド型乗合タクシー）が運行されています。



図 1-8 高速交通網の状況

2-6 文化財関連施設

長岡市に所在する文化財関連施設を以下に整理しました。

表 1-11 長岡市の文化財関連施設

番号	施設名	概要
【長岡地域】		
1	新潟県立歴史博物館	新潟県の歴史や民俗、信濃川沿いの肥沃な台地に栄えた縄文文化を紹介する。
2	新潟県立近代美術館	19世紀以降の「世界の美術」と明治以降の「日本の美術」、そして「新潟の美術」を柱にした一級のコレクションを展示する。
3	長岡市立科学博物館	複合施設「さいわいプラザ」1階。動植物や地学といった自然分野だけでなく歴史や民俗、考古など人文分野も豊富に取り扱う。
4	長岡市立中央図書館	市内各図書館の中核として、市民の文化、情報センターとしての役割を果たす（※長岡・中之島・寺泊・栃尾に地域図書館を設置）。
5	長岡市歴史文書館	長岡市の古文書や行政資料を公開するほか、県内の歴史関係の文献を備える。
6	長岡藩主牧野家史料館	複合施設「さいわいプラザ」3階。牧野家に伝わる歴代長岡藩主の資料や長岡城の復元模型を展示する。
7	馬高縄文館 (火焰土器ミュージアム)	火焰土器の発見地、史跡「馬高・三十稲場遺跡」にかかわる資料を紹介する。
8	郷土史料館	近世から近代にかけて長岡の文化の礎を築き、活躍した郷土出身の先人の業績や史料を展示する。
9	藤橋歴史の広場	長岡の縄文文化を学習する史跡公園。国史跡・藤橋遺跡を保護するとともに、出土品や建物遺構を展示する。
10	北越戊辰戦争伝承館	新組地域に伝わる北越戊辰戦争の資料を展示し、地域住民から見た戦争の様子を紹介する。
11	長岡戦災資料館	長岡空襲の惨禍を記録・保存し、伝えていくための資料館。長岡空襲を語り継いでいくための市民活動の場。
12	山本五十六記念館	第二次世界大戦下の日本海軍で、連合艦隊司令長官として活躍した長岡出身の山本五十六元帥の記念館。
13	河井継之助記念館	幕末の長岡藩筆頭家老・河井継之助の生涯と人物像を紹介。継之助ゆかりの品 30 点を展示する。
14	如是蔵博物館	互尊文庫を長岡市に寄附した野本恭八郎（互尊翁）に関する資料のほか、長岡ゆかりの人物に関する資料を展示する。
15	駒形十吉記念美術館	故駒形十吉氏の収集した明治以降の国内作家作品（加山又造、平山郁夫など）を展示する。
16	水道公園	旧中島浄水場跡地に整備された公園で、国登録有形文化財（水道タンク、ポンプ室棟・予備発電機室棟・監視室棟）が所在する。
17	旧機那サフラン酒製造本舗	長岡市や「醸造のまち」摂田屋地区の魅力・情報を発信する交流拠点施設として整備を進める。
18	米百俵プレイス ミライエ長岡	国漢学校の跡地に生まれた人づくりと産業振興の拠点。「米百俵」の精神や歴史人物の紹介、新たな図書館機能をもった互尊文庫を併設。
19	道の駅ながおか花火館	長岡花火を音と映像で楽しめるドームシアターをはじめ、長岡の魅力を発信する観光・交流拠点施設。

【中之島地域】

20	中之島文化センター (マナビィプラザなかのしま)	郷土の偉人、大竹貫一氏や入澤家の遺品などの展示ホールを設ける。
21	入澤記念庭園	日本近代医学会に功績著しかった池田謙斎と入澤達吉及び入澤恭平の業績を顕彰する。
22	大竹邸記念館	郷土が生んだ政治家、憲政の神様として慕われている大竹貫一の生家。遺品・記念品等が陳列される。

【越路地域】

23	越路郷土資料館 (兼越路公民館来迎寺元町分館)	越路地域の自然・歴史・民俗資料を展示する。県指定文化財「高麗白磁四耳壺」など貴重な資料も含まれる。
24	重要文化財旧長谷川家住宅	長谷川家は近世初期以降代々庄屋を勤めた豪農の住宅。享保元年（1716）建築の越後最古の民家として、国の重要文化財に指定される。
25	旧長谷川家収蔵品展示室	長谷川家に伝わる書画や調度品を展示。
26	もみじ園	神谷の大地主・高橋家の別荘で、約 4,000㎡の庭園には、樹齢 150 年を超えるもみじなどが植えられる。園内にある山荘は国の登録有形文化財。

【三島地域】

27	三島郷土資料館 (みしま会館併設)	「木と道具と匠たち」をテーマに、三島地域の文化・産業を楽しく、わかりやすく学ぶ施設。
----	----------------------	--

【山古志地域】

28	やまこし復興交流館おらたる	甚大な被害を乗り越えて復旧・復興へと歩みを続けている山古志を、写真や映像、プロジェクションマッピングなどで紹介する。
----	---------------	--

【小国地域】

29	小国民俗資料館	小国地域の郷土の偉人や歴史に関する資料、雪國小国の風俗、生活文化を伝える民具、小国和紙製作工程資料などを多数展示。
30	山口庭園・資料館	小国の豪農・山口家代々の邸宅跡。旧互尊文庫を長岡市に寄付した野本互尊（恭八郎）の生家。敷地内には京風回遊式庭園と四つの資料館がある。

【和島地域】

31	住雲園	越後鉄道（現在の JR 越後線）の創始者・久須美父子（秀三郎・東馬）の邸宅。
32	良寛の里美術館	良寛と愛弟子・貞心尼の書や詩歌を中心に、ゆかりの文人墨客の作品も展示する。

【寺泊地域】

33	寺泊民俗資料館	昭和初期から昭和 30 年代までの寺泊地域の「農業」、「暮らし」、「漁業」を、復元セットを交えて紹介。
34	寺泊水族博物館	日本海をはじめ、世界各地に生息する魚たちなど、約 300 種 10,000 点を展示。より身近に海を感じる水族博物館。
35	トキと自然の学習館 観覧棟「トキみ〜て」	長岡市のトキ分散飼育の取組や佐渡におけるトキの野生復帰・自然環境について学ぶ施設。
36	聚感園	北越地方の豪族・五十嵐氏の邸宅跡を史跡公園に整備したもの。

【栃尾地域】

37	栃尾産業交流センター (おりなす)	道の駅 R290 とちおに隣接。各種イベントや講座開設などにより、市内外の人の交流の場を提供するほか、手織り機や栃尾てまりを展示する。
38	長岡市栃尾美術館	郷土ゆかりの作家の作品や国内外のさまざまな美術を紹介する。
39	杜々の森名水公園	市指定天然記念物・杜々の森を中心に整備された公園。湧水は飲用水・灌漑用水等として村人の生活を支えた。全国名水百選に選定されている。

【与板地域】

40	与板歴史民俗資料館 (兼続お船ミュージアム)	与板地域における先人の努力・知恵を後世につむぐ資料館。考古・歴史・民俗・美術の多彩な資料が展示される。
41	楽山苑	江戸時代の豪商・旧大坂屋三輪家の別荘。楽山亭は明治 25 年建築。苑内の観音堂には室町時代の作とされる十一面観音菩薩立像が安置される。

【川口地域】

42	川口地域交流拠点施設(仮称)	川口地域の支所機能やコミュニティ機能などを集約・再編する施設で、荒屋遺跡や本陣中林家資料などの展示コーナーを設置予定。
----	----------------	---

3 歴史的背景

3-1 原始

1) 旧石器時代

長岡市で確認できる人々の活動は、約3万年前の旧石器時代にさかのぼることができます。当時の人々は食料となる動植物を求めて移動生活をしながら、各地に一時的な生活拠点を置き、そこで石器などを製作したと考えられます。信濃川と魚野川の合流点に位置する旧石器時代終末（約1万6千年前）の荒屋遺跡では10万点にもものぼる細石刃石器群や竪穴住居状の遺構が発見されています。荒屋遺跡から多数出土した「荒屋型彫刻刀形石器（彫器）」は獣の狩猟や獣骨・角の加工の目的で製作されたと考えられます。その分布は、東北地方から北海道、サハリン、シベリア、アラスカまで広がり、人類の広範囲な移動・拡散があったことを物語っています。



写真 1-7 荒屋遺跡出土品

2) 縄文時代

約1万5千年前ころ長い氷河期が終わり、気候は温暖化へと向かいました。日本列島ではこれまでに見られなかった土器づくりが始まり、魚介類や獣類のほかドングリやトチノミなどさまざまな食材を煮炊きすることが可能となりました。豊富な栄養素を摂取することにより食糧事情は安定し、人口の増加にもつながりました。こうした要因が人々の定住化を促し、竪穴住居や貯蔵穴を備えた集落（ムラ）が営まれるようになりました。

前期（約7,000年前）に遡る大武遺跡では地下に埋没した深さ約5mの谷が発見され、その堆積土から縄文土器やクルミの貯蔵穴のほか、後・晩期の漆塗りの糸玉、組み合わせ式の斧の柄、装身具などが出土しました。中期（約5,000年前）に営まれた馬高遺跡は長岡市の縄文遺跡を代表する大規模な集落で、広場を中心として竪穴住居など多くの遺構が環状にめぐる馬蹄形集落が形成されました。「火焰土器」発祥の地として全国的に有名な遺跡で、これまでの発掘調査で火焰型土器や王冠型土器・石器・土偶など信濃川流域の文化を象徴する遺物が出土しています。後期（約4,500～3,200年前）に営まれた三十稲場遺跡は、馬高遺跡の西側にある縄文時代後期の集落遺跡です。表面に爪形の文様をつけた「三十稲場式土器」と呼ばれる特徴的な土器が出土しています。また、ヒスイや滑石を加工した玉類が出土しており、玉作りが行われていました。晩期（約3,000～2,300年前）の藤橋遺跡は大規模な玉作りの集落跡で、掘立柱建物や東北地方の亀ヶ岡式の影響を強く受けた藤橋式土器や天然アスファルトが付着した石鏃、ヒスイ製の玉類や加工具が発見されています。

3) 弥生時代

弥生時代を特色づける稲作は、大陸から朝鮮半島を經由して九州北部に伝わったとされ、西日本一帯に急速に広まりました。新潟県では中期後半から次第に遺跡が増加する傾向にあり、このころには稲作が開始されていたと考えられます。長岡市で水田跡は未発見ですが、尾立遺跡で中期（約2,000～1,900年前）の住居や建物跡が発見されており、横山遺跡の粉痕土器や水上遺跡の石包丁は実際に稲作が行われていたことを示しています。



写真 1-8 横山遺跡出土品

『漢書』地理志によると紀元前1世紀の日本（倭）では100余りの小国が乱立していたとあり、これを物語るように日本各地の遺跡からは特有の文様や形態をもった土器が地域的なまとまりをもって出土します。新潟県では土器の特徴から、北陸・中部高地（信州）・東北の3つの地域の土器文化圏が存在していました。中期の大武遺跡や松ノ脇遺跡では北陸地方に特徴的な土器が多数を占める一方で、東北地方や信州地方の土器も一定量出土しており、異なる地域の人々が行き交っていた様子がうかがえます。

また『後漢書』東夷伝では、2世紀後半ころ倭国は大乱の中にあり紛争が絶えず、統一する者がいない状態にあったとされ、新潟県以西から九州の広い範囲で堀や土塁などの防御施設を持つ環濠集落や高地性集落が出現しました。越後平野では信濃川を挟んだ東西の丘陵地帯や残丘部で後期（1世紀中頃～3世紀中頃）の防御的集落が連続的に分布しており、長岡市では環濠を持つ横山遺跡や上幅7mの大規模な環濠をもつ赤坂遺跡などが確認されています。奈良崎遺跡や屋鋪塚遺跡では方形周溝墓などの墳墓が築かれ、周辺地域を統率する首長が存在していたと考えられます。

4) 古墳時代

弥生時代後期以降、近畿・中国・九州地方の各地に、大きな勢力を持ったクニが出現し、4世紀初めころには各地の首長が連合した政権が大和に誕生しました。このヤマト政権は東西に勢力を拡大し、各地の首長はその勢力の象徴としてこれまでにない大型の墳丘を持つ前方後円（方）墳などを造営します。越後平野では小規模な周溝溝や前方後方墳が4世紀初頭以降に造営されはじめ、4世紀後半になると前方後円墳が出現します。長岡市では麻生田古墳群、大久保古墳群、姥ヶ入南遺跡、奈良崎古墳群などが丘陵上で確認されます。姥ヶ入南遺跡1号墓では鉄剣や斧、奈良崎1号墳では振り文鏡や勾玉、管玉が出土しています。こうした古墳の副葬品から旧島崎川流域を統率する首長が存在したことがうかがわれます。



写真 1-9 大萱場古墳

信濃川左岸の沖積地にある五千石遺跡では、前期の竪穴住居群と後期の掘立柱建物や堰を伴う水路などが確認されました。竪穴住居では製作途中の管玉や玉砥石、鍛冶炉が発見されており、鉄器を利用した管玉作りや鍛造による工具が製作されていたと考えられます。また、水路からは木製の鋤や鍬、石製模造品や白玉などの玉類が発見されており、水稻耕作とともに農耕にかかわるマツリが行われていたと考えられます。

黒川流域の大萱場古墳は7世紀初め頃の直径約15mの円墳で、遺体を安置する墓室には火を焚いた痕跡があり、火葬が行われたと考えられ、県内では他に例を見ない特殊なものです。墓室内には鉄刀などの武具や耳飾り、小玉などの装身具などが発見され、被葬者は外来系の氏族と考えられます。

3-2 古代

1) 飛鳥時代～奈良時代

大化元（645）年、中大兄皇子らが専横を振るう蘇我氏を排除し、大王（天皇）を中心とする中央集権的国家体制の樹立をねらう政治改革（大化の改新）が行われました。こうした新しい国家体制への動きのなかで、当時の新潟県も律令体制に組み込まれていきました。

当時の新潟県を含む北陸地方は「越国」と呼ばれていましたが、その北方には中央政府の支配が及ばない蝦夷の勢力と境を接する地域がありました。中央政府は大化3（647）年に、対蝦夷の軍事・行政上の拠点として最初の城柵「淳足柵」を設置しました。淳足柵は『日本書紀』に記述が見えるのみで所

在地は不明ですが、沼垂の地名が残る信濃川河口付近の新潟市（中央区・東区の一部）と考えられています。かつては実在性が疑問視されていましたが、和島地域の八幡林官衙遺跡から「沼垂城」「養老」と記された木簡が発見されたことから、淳足柵は養老年間（717～724）の間に名を変えて存続したと考えられています。



写真 1-10 横滝山廃寺跡

690 年頃、越国は西から順に越前、越中、越後の 3 か国に分割され、その後、大宝元（701）年に大宝律令が制定されると、国郡里制に基づいて地方の行政区分が設定されました。現在の長岡市の大部分は古志郡に属していましたが、大宝 2（702）年に古志郡は頸城・魚沼・蒲原とともに越中国から越後国へと移管されました。最終的な越後国域が確定したのは、山形県の庄内平野に出羽国が建国された和銅 5（712）年のことです。このように城柵の設置とともに国の領域が目まぐるしく変化した情勢の中で、和島地域を中心とした旧島崎川流域では、古志郡の中心的な役所跡と考えられる八幡林官衙遺跡や下ノ西遺跡のほか、地域の有力豪族が建立した横滝山廃寺跡が発見されています。また、この地域は都から越後国府へと続く幹線道路（北陸道）や佐渡への海路、淳足柵へと通じる河川が交差する位置にあり、当時から交通の要衝として重要であったと考えられます。

3）平安時代

奈良時代の初めに確立した律令制は、戸籍や計帳などを基盤に個人に課税する人身支配を基本に成り立っていましたが、平安時代には重税から逃れる人民が多数発生するようになりました。一方、国や郡の役人に抵抗し中央の有力貴族や寺社と結びついた富豪層と呼ばれる階層が台頭しました。彼らは逃亡した人民を使って土地を開発し、富を蓄え勢力を拡大していきました。これにより、郡の役人に任命されていた地元の有力豪族は統率力を失い、律令制は崩壊へと向かいました。

八幡林官衙遺跡は 9 世紀前半には古志郡の長官「大領」が存在し、大型の建物が造営されていましたが、9 世紀の終わり頃には大型の建物は見られなくなります。また、下ノ西遺跡では古志郡最大の大型建物が 9 世紀後半頃まで造営されますが、10 世紀初めには遺跡の終焉を迎えました。これに代わって造営されるのが、八幡林官衙遺跡の北東約 3 km にある門新遺跡です。10 世紀前半の大型建物や倉庫、鍛冶工房などの付属施設が船着き場を伴う河岸で発見され、この遺跡はまさに富豪層と呼ばれる開発領主の館跡であると考えられます。その後続く遺跡は周辺では確認されず、古代古志郡の中心地としての隆盛はこの遺跡をもって終焉へと向かいました。

3-3 中世

1）鎌倉時代

源平合戦によって平氏は滅亡し、源頼朝が鎌倉に幕府を開きました。平氏方として戦った城氏が衰亡し、越後国は頼朝の知行国となって、関東武士（御家人）が守護や地頭に任命されました。中越地方の荘園と国衙領も同様の経過をたどり、大島荘、白鳥荘、紙屋荘、大積保などは、現在の町名や集落名に名残りをとどめています。

2）南北朝時代

後醍醐天皇は、執権北条氏による政治に不満を持つ武士や貴族たちとともに、鎌倉幕府を滅ぼします。しかし、「建武の新政」もまた武士の期待に応えることはできず、足利尊氏を中心とした「北朝」と後醍

醐天皇を中心とする「南朝」に分裂しました。30年余りにわたる「南北朝の動乱」で、現在の長岡市域とその周辺は南朝方の武士が多く、池、小木、小国、風間の各氏らが蔵王堂などで交戦したことが歴史資料に記されています。また、後醍醐天皇の皇子・宗良親王は、寺泊滞在中にその心境を歌に詠み、市域の山城には、南北朝時代以降に築かれたという伝承が残され、動乱の面影を伝えています。

3) 室町時代～安土・桃山時代

室町幕府統治下の越後国は、守護上杉氏、守護代長尾氏の政治体制が続きました。中越地方を治めた長尾氏は、蔵王堂城を根拠地とし、栖吉城、栃尾城にも拠点を広げました。天文17(1548)年、長尾景虎(後の上杉謙信)は栃尾城から春日山城に入り、兄晴景に代わって守護代長尾家を相続したといわれます。謙信は、側近の河田長親に古志長尾氏の家格と家臣団を継承し、長親は配下の武士たちとともに関東や越中方面などに転戦しました。

謙信の死後、景勝と景虎の二人の養子が家督を争う「御館の乱」が勃発しました。長岡市域では与板城は景勝方、栖吉城・栃尾城が景虎方となり、栖吉、栃尾の両城は景勝方の攻撃で落城しました。謙信の後継者となった景勝は、側近の樋口兼続に直江氏を継がせ、越後・佐渡を治め、豊臣政権の有力大名となりました。会津国替えの直前に行った「河村検地」で作成された検地帳は、地域の実像を伝える貴重な記録です。



写真 1-11 河村検地帳

3-4 近世

1) 江戸時代

長岡地域には川港として重要な位置を占めていた蔵王堂城があり、元和2(1616)年に堀直高が入封しました。直高は新たに長岡城を築城し、周辺に寺院を移し、城下町を形成しました。元和4(1618)年には越後長峰から転封した牧野忠成が長岡へ入ると、現在にも続く町づくりを完成させました。以後、牧野家は明治の廃藩にいたるまで約250年間長岡を治めます。周辺地域では与板藩が成立したほか、越後諸藩の領地や幕府直轄地などさまざまな藩が入りまじります。各地で海運や船道、三国街道をはじめとする街道や宿場が整備され人や物の流れが盛んになりました。

人々の交流はその土地の文化を醸成し、教育にも影響を与えました。長岡藩では藩主自らが書画や詩歌をたしなみ、名僧・良寛は書を通じて村の人々と親交を深めました。教育面では藩士の人材育成のために藩校として長岡藩の崇徳館、与板藩の正徳館がつくられます。また、村々では寺子屋や私塾が開かれ、算額が寺社に奉納されるなどあらゆる階層に学問が浸透しました。



写真 1-12 蔵王堂城跡



写真 1-13 初代牧野忠成墓地

2) 幕末

徳川慶喜の大政奉還を受け、天皇を中心とした明治政府が樹立すると、慶応4（1868）年1月、薩摩・長州藩を中心とした新政府軍とそれに反対する旧幕府軍が鳥羽伏見で衝突し、戊辰戦争が始まりました。同年4月、新政府軍が越後へ進軍し、当初中立を目指していた長岡藩は新政府軍との和平交渉が決裂したため旧幕府軍に加わり、戦場は長岡へと拡大しました。特に長岡城、寺泊港などの重要拠点をめぐって両軍の激しい戦闘が繰り返されました。北越戊辰戦争と呼ばれるこの戦闘で、長岡城は二度の落城を経験し、城下町に甚大な被害が発生しました。また、各藩の陣営が置かれた村々では、村人は物資の供出や運搬などを強いられ、戦火による家屋の焼失などの被害が出ています。

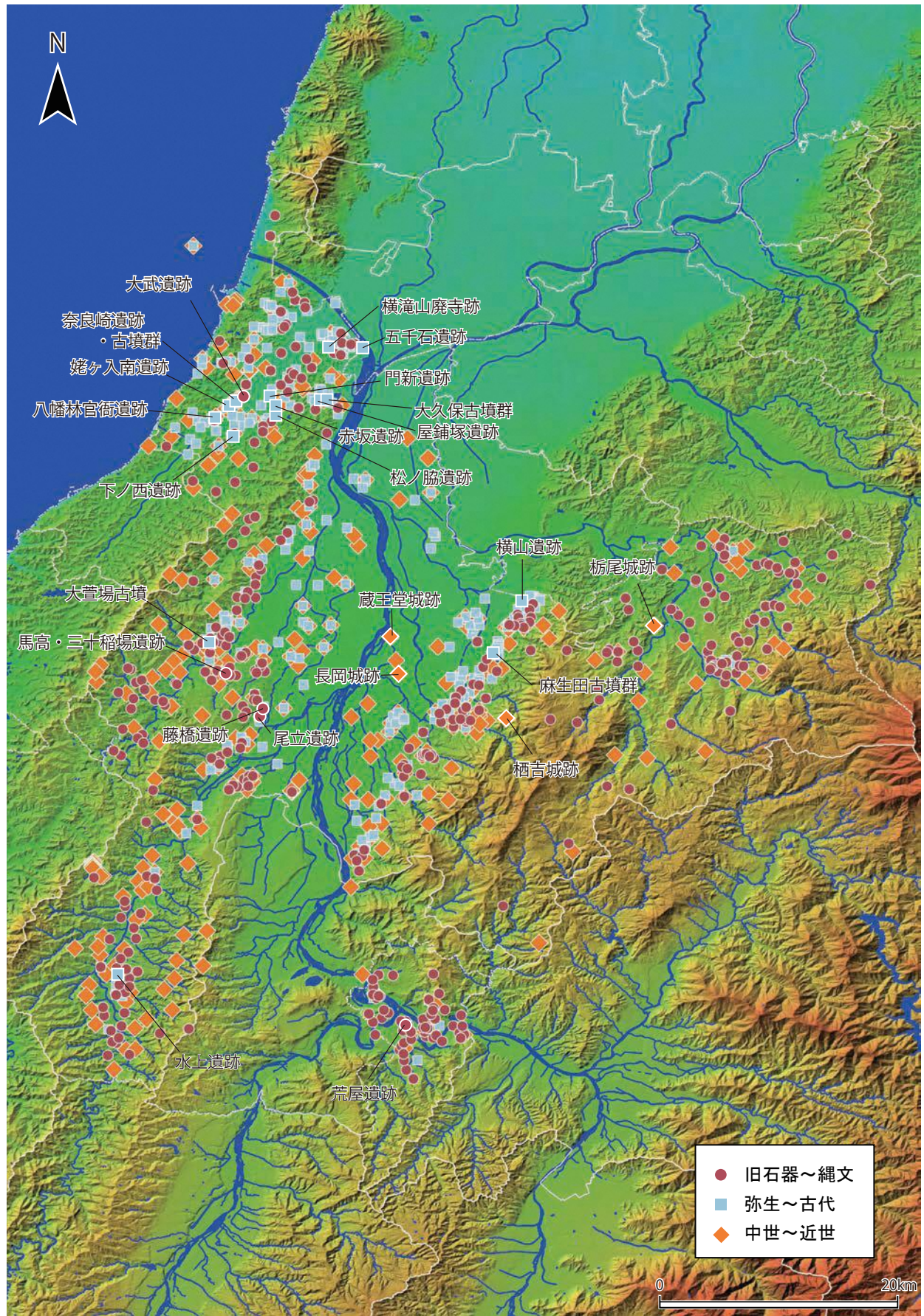
明治元（1868）年12月、長岡藩は再興を許されます。滅封された藩の収入はひっ迫し、家臣の生活が困窮するなか、支藩である三根山藩から支援の米が送られました。大参事・小林虎三郎は長岡の復興には人材育成が重要と考え、米を売却し、新設する国漢学校に必要な書籍等の購入にあてました。人を育てることを重んじたこの故事は「米百俵」の精神として受け継がれ、今日に至るまで長岡市が目指すまちづくりの理念となっています。

3-5 近代～現代

明治新政府は日本を欧米と肩を並べる近代国家にするため、富国強兵を掲げ経済発展と軍事力強化を目指しました。そのための政策の一つが電信・郵便事業創設、鉄道敷設、官営工場建設などといった殖産興業です。明治20年代後半ころから始まる石油事業により、戊辰戦争で疲弊した長岡の町は活気に満ち、鉄工業（機械工業）が発展しました。鉄道網も発達し、明治31（1898）年12月に北条―長岡間が竣工し直江津―沼垂間を結ぶ北越鉄道（後の信越本線）が開通しました。石油業の隆盛と鉄道網の発達による商工業の発展を背景に長岡の経済界は市制施行への働きかけを強め、明治39（1906）年4月1日長岡市が誕生しました。

昭和6（1931）年9月、工業立市の要として望まれていた上越線が開通しました。軍需の増大とともに長岡市の工業は活況づきましたが、昭和16（1941）年に始まる太平洋戦争の戦局は次第に悪化し、昭和20（1945）年8月1日、長岡市街は空襲により市街地の8割を焼失し、犠牲者数は現在判明分で1,489人に上ります。その二週間後に敗戦を迎え市民はあらゆる生活物資の不足に困窮しましたが、困難を乗り越え商工都市長岡を復興させました。昭和30年代になると日本は高度経済成長を迎え、市民の所得は倍増し生活も飛躍的に向上しました。昭和50年代には北陸・関越高速自動車道や上越新幹線が開通し、長岡市も高速交通体系網の拠点として整備されました。同時に人の移動も情報もスピード化し、さまざまな社会文化施設が整備されるなか、大きく変貌していきました。

平成の大合併では周辺の10市町村と合併し、平成22（2010）年に現在の新長岡市が誕生しました。この間、地震や水害、豪雪など多くの自然災害が発生し大きな被害を受けましたが、そのたびに復興を成し遂げてきました。



地理院地図をもとに作成

図 1-9 主な遺跡の分布



図 1-10 長岡市の合併の履歴

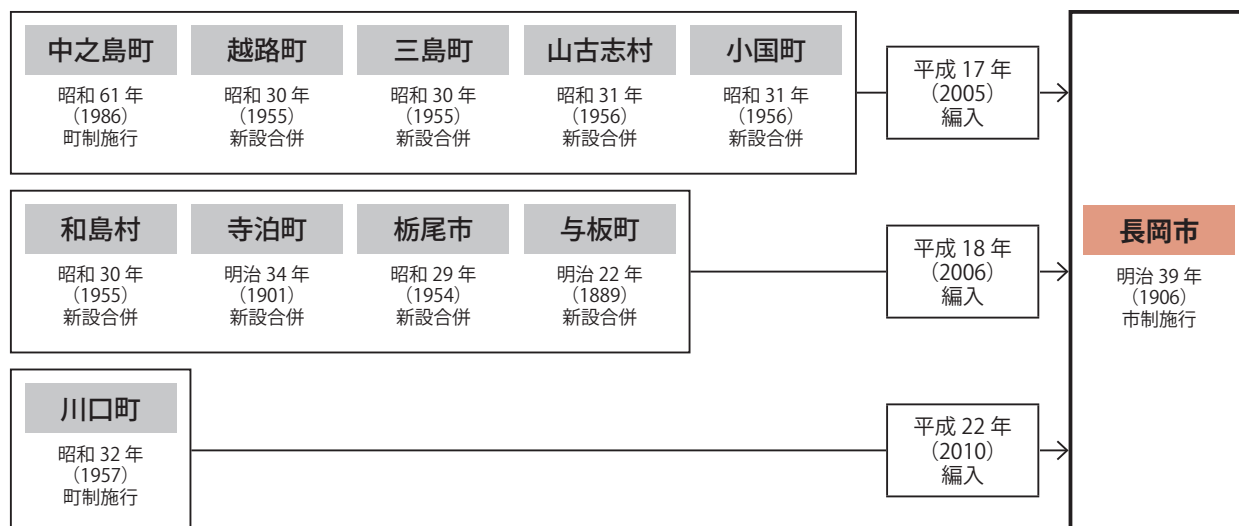


図 1-11 長岡市の平成の大合併 沿革図

3-5 長岡市ゆかりの人物

長岡市にゆかりのある人物を以下に紹介します。

表 1-12 長岡市のゆかりの人物

氏名	業績（概要）
生没年	業績
主に関連する地域	
うえすぎ けんしん 上杉 謙信	栃尾城で旗揚げした越後の戦国大名
1530-1578	越後守護代の長尾為景の子として生まれ、元服後に景虎を名乗り、栃尾城に入る。為景没後の動乱を鎮め、春日山城を拠点に領国の支配にあたり、関東管領上杉家の名跡を継いで、信濃や関東・北陸方面にも進出した。越後の戦国大名として織田信長をも恐れさせる勢力を持った。
栃尾	
なお え かねつぐ 直江 兼統	主君が信頼を寄せた戦国武将
1560-1620	上田長尾氏の家臣樋口家に生まれた。御館の乱後の天正9（1581）年、直江家を継いで与板城主となり、直属の家臣団与板衆を率いた。執政として主君上杉景勝を支え、領国の支配や中央政権との外交などに活躍した。
与板	
ほり なおより 堀 直奇	城下町長岡の基礎をつくる
1577-1639	豊田秀吉に小姓として仕えた戦国大名。慶長7（1602）年、蔵王堂城主の鶴千代の後見として蔵王堂に移り、のちに長岡城の築城を始めた。城下町を整備し、蔵王から寺社や信濃川における舟運の船着き場を長岡へ移すなど、町づくりを推し進めた。
長岡	
まき の ただなり 牧野 忠成	徳川に仕えた長岡藩牧野家初代藩主
1581-1654	三河国牛久保に生まれ、徳川家の家臣団として活躍した。上野国大胡城、越後国長峰城で城主を務め、元和4（1618）年に長岡藩主となる。長岡城を完成させ、新田開発を行うなど7万4000石の領地を支配した。
長岡	
ほんま や かずえもん 本間屋 数右衛門	大河津分水開削を初めて請願
18 世紀	酒造業を営む寺泊の本間源左衛門の使用人（大番頭）を務めたと言われる。信濃川流域の洪水に苦しむ惨状を見て、大河津分水による水害防止を計画し、父子二代にわたって幕府に請願した。膨大な工事費等を理由に実現には至らなかったが、分水路完成を目指す先駆けとなった。
寺泊	
りょうかん 良寛	自然体で生きた越後の禅僧
1758-1831	出雲崎の名主山本家に生まれ、若くして出家。備中玉島で修業、諸国遍歴の後、越後へ戻る。晩年は島崎（和島地域）の木村家庵室に移り、与板に住む弟・由之や福島村の貞心尼らと交流した。詩歌などの優れた書を残し、子どもたちと遊んだ逸話なども伝わっている。
和島・寺泊・与板	
なか や しょうべえ 中屋 庄兵衛	脇野町鋸の祖
1818-1860	脇野町（三島地域）に生まれ、18歳の時に会津若松の鋸鍛冶・中屋重左衛門に弟子入りする。天保13（1842）年に帰郷し、鋸鍛冶を開業。師から教わった「油焼き入れ」法を用いて優れた鋸を製作した。弟子の養成にも力を入れ、その技術は各地へ広まった。
三島	

みしま おくじろう 三島 億二郎	河井継之助の重用と藩政改革
1825-1892	佐久間象山に学び、ペリー来航の際は幕命により浦賀に偵察に赴いた。戊辰戦争では軍事掛として各地に転戦。戦後は長岡藩大参事として藩士家族の救済と産業の復興にあたった。長岡復興の恩人。
長岡	
かわい つぎの すけ 河井 継之助	最後のサムライと称される幕末の風雲児
1827-1868	佐久間象山や山田方谷などのもとで学び、長岡藩の家老として藩政改革を進める。戊辰戦争で、軍事総督として新政府軍に“藩の武装中立”を示した「小千谷談判」は有名。司馬遼太郎の小説「峠」の主人公。
長岡	
こばやし とらさぶろう 小林 虎三郎	「米百俵の精神」を生んだ先見の人
1828-1877	長州藩の吉田松陰と共に、佐久間象山門下の“二虎”と称される。戊辰戦争後、藩の再興には人材育成が重要と考え、三根山藩からの救援米を開設資金に充て、明治3（1870）年に国漢学校を開校。
長岡	
くす み ひでさぶろう 久須美 秀三郎	越後鉄道の創始者
1850-1928	地域産業の振興に尽力し、日本石油取締役、長岡銀行取締役、北越鉄道監査役などを務めた。また、私財を投じて柏崎 - 新潟間の鉄道敷設に取り組み、明治44（1911）年、越後鉄道（現 JR 越後線）を設立して初代社長に就任。息子の東馬らとともに経営に参画した。
和島	
の もときょうはちろう 野本 恭八郎	「互尊思想」の提唱・普及
1852-1936	横沢村（小国地域）の庄屋山口家に生まれ、20歳の時に渡里町の商人野本家の養子となる。大正4（1915）年、長岡市に大正記念長岡市立互尊文庫を寄附。自分の尊さに気づき、他人も尊重して幸福な世界を築こうという「互尊思想」を唱え、昭和9（1934）年に日本互尊社を創立した。
小国・長岡	
やま だ またしち 山田 又七	宝田石油（現 ENEOS）の創業者
1855-1917	荒巻村（和島地域）の農家に生まれ、明治12（1879）年に浦瀬村で紡績業を営む。長岡東部の東山連峰で産出する石油に注目し、明治26（1893）年に宝田石油株式会社を創設、日本石油と並ぶわが国二大石油会社に育てた。晩年は令終会を設立し、悠久山公園の整備に着手した。
和島・長岡	
おおたけ かんいち 大竹 貫一	治水利水事業に奔走した政治家
1860-1944	中之島組の大庄屋大竹家に生まれる。明治13（1880）年に村会議員となり、県会議員、衆議院議員、貴族院議員を歴任した。この間、道路の改良や治水・利水事業に力を注ぎ、刈谷田川改修や大河津分水路などの実現に尽力した。
中之島	
やまもと い そろく 山本 五十六	日米開戦に反対した連合艦隊司令長官
1884-1943	旧長岡藩士高野家に生まれ、家老山本家を継ぐ。海軍大学校を卒業後、米国に駐在するなど海軍の要職を歴任。昭和14（1939）年には連合艦隊司令長官に就任した。国際情勢悪化のなか、日米開戦回避を試みるも叶わず、真珠湾攻撃の指揮を務めた。前線視察の途上で攻撃され戦死。
長岡	

第2章 長岡市の文化財の概要

1 指定等文化財

1-1 指定等文化財の状況

1) 指定等区分別の状況

文化財保護法（昭和 25（1950）年法律第 214 号）、新潟県文化財保護条例（昭和 48（1973）年県条例第 33 号）、長岡市文化財保護条例（平成 17（2005）年市条例 97 号）の規定に基づき指定・選定・選択・登録された市内の文化財の状況を整理しました。

本市に所在する指定等文化財は 358 件（令和 8（2026）年 3 月現在）で、内訳は〔表 2-1〕のとおりです。内訳は国指定が 23 件、県指定が 44 件、市指定が 251 件、国登録が 40 件です。

類型ごとの件数は、建造物が指定・登録併せ 59 件と最も多く、以降は彫刻 46 件、遺跡 44 件、動物・植物・地質鉱物 40 件と続きます。このほかに、新潟県選定保存技術として屋根葺（茅葺）が 1 件あります。文化財の保存技術に選定されているものが 1 件あります。

表 2-1 指定・選定等文化財件数

令和 8（2026）年 3 月現在

類型		国指定	国選択	県指定	市指定	国登録	指定・選択小計	登録小計	合計
有形文化財	建造物	2		1	16	40	19	40	59
	美術工芸品	絵画		3	9	0	12	0	170
		彫刻		8	37	0	46	0	
		工芸品		5	14	0	19	0	
		書跡・典籍		2	19	0	22	0	
		古文書		1	35	0	37	0	
		考古資料		8	13	0	25	0	
		歴史資料		1	8	0	9	0	
	小計	9		29	151	40	189	40	229
無形文化財		0	0	1	2	0	3	0	3
民俗文化財	有形の民俗文化財	2		2	9	0	13	0	39
	無形の民俗文化財	1	0	3	22	0	26	0	
	小計	3	0	5	31	0	39	0	39
記念物	遺跡	4		6	34	0	44	0	87
	名勝地	0		0	3	0	3	0	
	動物・植物・地質鉱物	7		3	30	0	40	0	
	小計	11		9	67	0	87	0	87
文化的景観		0					0		0
伝統的建造物群		0					0		0
合計		23	0	44	251	40	318	40	358
新潟県選定保存技術		1							

※斜線は法令に指定等の規定がない区分を示します。

2) 時代別の状況

指定等文化財を主たる時代別（制作・築造・使用の時代）で整理すると〔表 2-2〕のとおりです。内訳は、近世が 116 件と最も多く、以降は中世が 82 件、近代が 48 件、原始が 21 件、古代が 14 件と続きます。

原始・古代は、遺跡とその出土品である考古資料が中心です。

中世から近世は、美術工芸品が中心で、彫刻・工芸品からは当時の芸術文化を、典籍・古文書・歴史資料からは史実や人々の生活などを知ることができます。

近世以降は建造物が数多く見られます。特に近年は、多種多様かつ大量の文化財を後世に継承するため、緩やかな規制により幅広く保護する国登録文化財制度によって、近代以降の建造物が数多く登録されています。

現代は、昭和戦後期の店舗兼住宅 1 件が国登録となっています。

このほかに時代を特定しないものとして、動物・植物・地質鉱物 40 件、無形の民俗文化財 26 件があります。各地域の豊かな自然環境や様々な伝統行事が今も人々の生活とともにあることを示しています。

表 2-2 時代別指定・選定等文化財件数

令和 8（2026）年 3 月現在

類型		原始	古代	中世	近世	近代	現代	不定・不明	合計
有形文化財	建造物	0	0	0	22	36	1	0	59
	美術工芸品	絵画	0	0	4	8	0	0	170
		彫刻	0	0	33	12	0	0	
		工芸品	0	0	13	5	1	0	
		書跡・典籍	0	1	2	19	0	0	
		古文書	0	0	14	20	3	0	
		考古資料	13	10	2	0	0	0	
		歴史資料	0	0	1	7	1	0	
	小計	13	11	69	93	41	1	1	229
無形文化財		0	0	0	0	0	0	3	3
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	0	8	3	0	2	39
	無形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0	26	
	小計	0	0	0	8	3	0	28	39
記念物	遺跡	8	3	13	14	2	0	4	87
	名勝地	0	0	0	1	2	0	0	
	動物・植物・地質鉱物	0	0	0	0	0	0	40	
	小計	8	3	13	15	4	0	44	87
文化的景観		0	0	0	0	0	0	0	0
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		21	14	82	116	48	1	76	358
新潟県選定保存技術		0	0	0	0	0	0	1	1

※無形文化財、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は時代を特定しないものとして、全て「不定」に分類しました。また、彫刻・有形の民俗文化財・遺跡は、指定当時の調査によっても時代を明確に特定できなかったものとして、「不明」に分類しました。

※複数の文化財が一括で指定されるものについては、構成する文化財のうち最も古い時代のもので分類しています。

3) 地域別の状況

指定等文化財を地域別の分布状況で整理すると〔表 2-3〕のとおりです。

長岡地域が 103 件と最も多く、以降は寺泊地域が 55 件、栃尾地域が 52 件、三島地域が 32 件と続きます。

最も多い地域／種別は長岡地域の建造物 35 件で、以降は長岡地域の彫刻 13 件、長岡地域の古文書 12 件、寺泊地域の古文書 10 件と続き、そのほかは一桁の分布となります。

各地域の指定等文化財は、合併以前の各市町村で指定したものを、すべて現長岡市が引き継ぎました。統一された基準で指定されたものでないため、地域間で指定件数や種別に違いが見られます。

全体としては多種多様な文化財が広く分布する状況がうかがえますが、個々の文化財を見てみると、各地域特有の自然環境や歴史的環境によって培われて来たことを示すものが多く、それが各地域の特徴を示す貴重な存在となっています。

表 2-3 地域別指定等文化財件数

令和 8（2026）年 3 月現在

類型		長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	非特定	合計	
有形文化財	建造物	35	4	3	3	0	2	2	1	6	3	0	0	59	
	美術工芸品	絵画	3	1	0	0	0	0	1	3	3	1	0	0	170
		彫刻	13	2	0	8	1	3	0	4	9	4	2	0	
		工芸品	5	0	1	3	0	0	0	2	6	2	0	0	
		書跡・典籍	3	0	0	0	1	0	3	9	3	3	0	0	
		古文書	12	0	0	1	0	4	0	10	6	3	1	0	
		考古資料	9	0	0	3	0	1	4	6	1	1	0	0	
		歴史資料	3	0	0	2	0	1	0	1	1	1	0	0	
	小計	83	7	4	20	2	11	10	36	35	18	3	0	229	
無形文化財		0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	
民俗文化財	有形の民俗文化財	4	0	1	1	0	0	0	3	4	0	0	0	39	
	無形の民俗文化財	2	8	1	0	1	1	1	3	5	1	2	1		
	小計	6	8	2	1	1	1	1	6	9	1	2	1	39	
記念物	遺跡	6	3	2	8	1	3	5	8	2	3	3	0	44	
	名勝地	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3	
	動物・植物・地質鉱物	8	1	0	3	3	8	1	3	4	2	0	7	40	
	小計	14	4	2	11	4	11	6	12	7	6	3	7	87	
文化的景観		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		103	19	8	32	7	24	17	55	52	25	8	8	358	
新潟県選定保存技術		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

※無形の民俗文化財の一部（市内広域にわたる民俗芸能）、記念物の一部（動物）は「非特定」に分類しています。

1-2 指定等文化財の概要

1) 有形文化財

①建造物

【住宅】

雪国に特徴的な住居や長岡の主要産業の一つである酒造業などで発展した資産家の邸宅が指定されています。

旧長谷川家住宅（国指定）は、塚野山（越路地域）の豪農・長谷川家の旧邸宅で、享保元（1716）年再建とされる茅葺寄棟造の主屋は新潟県内に現存する最古の住居建築です。軒高が高く、太い部材を密に組み上げた造りは、豪雪に耐える強さと豪壮な佇まいを生み出しています。**旧平澤家住宅（松籟閣）**（国指定）は、酒造業の創業家・平澤與之助の邸宅として、昭和初期に建築されました。入母屋造の正玄関をはじめとした主体部や和風意匠を施した御母堂室部、洋風の応接室部からなり、近代住宅の潮流を随所にうかがうことができます。**大竹寛一生家**（市指定）は、明治から昭和初期にかけて治水・利水事業に尽力した政治家の旧邸宅で、現在は遺品等を展示した記念館として活用されています。酒造家の邸宅である**岸家住宅主屋**（国登録）は、江戸時代中期の建築と伝わり、長岡地域では残り少ない茅葺屋根の住宅です。木造平屋建の寄棟造で、軒の出が少ない、雪国に特徴的な建築です。**巴ヶ丘もみじ公園巴ヶ丘山荘**（国登録）は、神谷（越路地域）の素封家・高橋家の別邸として明治時代中期に建築されました。東西二棟の座敷からなり、越後平野を一望する景勝地に建つ開放的な近代和風建築です。

【社寺】

近世では伝統的な建築様式や精緻な彫刻を配したものがあ一方、近代になると西洋の先進的な材質を利用した建築が見られ、人々の信仰の場においても世相の変化を感じ取ることができます。

鞍掛神社本殿・拝殿 附棟札（県指定）は弘仁 13（822）年の創立で、元禄 3（1690）年の火災により焼失、同 4（1691）年に再建されました。茅葺寄棟造の本神社は中世の流れをくむ建築として貴重です。鳥越（三島地域）の大工長谷川氏の作である**根立寺の観音堂**（市指定）や、石川雲蝶が製作した**貴渡神社社殿彫刻**（市指定）、小林（熊谷）源太郎が製作した**都野神社本殿彫刻**と八幡宮御本社彫物仕用、**秋葉三尺坊奥の院**（市指定）は、江戸時代後期の社寺建築で、雲蝶・源太郎による精巧な彫刻が施されています。北越戊辰戦争で被災した村田（和島地域）の妙法寺には、江戸時代前期の**妙法寺の四脚門（黒門）、妙法寺の二天門（赤門）**（市指定）が現存しています。蒼柴神



写真 2-1 旧長谷川家住宅



写真 2-2 旧平澤家住宅（松籟閣）



写真 2-3 岸家住宅主屋



写真 2-4 鞍掛神社本殿・拝殿



写真 2-5 秋葉三尺坊奥の院

社本殿、蒼柴神社拝殿（国登録）は長岡藩3代藩主牧野忠辰を主祭神とする天明元（1781）年の建築です。本殿は木造平屋建こけら葺、一間社流造で、拝殿の正面には千鳥破風と唐破風を設けています。**石動神社本殿、石動神社拝殿**（国登録）は明治11（1878）年建立で、本殿は木造一間社流造、こけら葺、拝殿は木造平屋建、入母屋造平入、銅板葺で、向背柱の上部はアーチ状に湾曲した根曲がり材が用いられ、雪国らしい特色をもっています。**願興寺経蔵**（国登録）は明治40（1907）年ごろの建築で、木造土蔵造で平面は六角形をなし、外壁は当時最先端の材料だった輸入品の波板鉄板を外壁腰板に使用しています。また、**地藏堂**（国登録）は大正11（1922）年建築で煉瓦造平屋建、入母屋造妻入りのお堂です。煉瓦は近隣の高橋酒造新蔵の余材が用いられ、アーチ状の入口と窓をもつなど意匠性に富んだ本格的な煉瓦建築です。



写真 2-6 蒼柴神社拝殿



写真 2-7 願興寺経蔵

【城郭】

江戸時代の与板城（陣屋）の様子をそのままに残す城門が移築され、現存しています。

本願寺新潟別院の**与板城大手門**（市指定）、恩行寺の**与板城切手門**（市指定）はともに文政6（1823）年、与板藩主井伊直暉により築造されました。幕末の北越戊辰戦争では戦火を免れ、明治初期に移築されました。



写真 2-8 与板城大手門

【構造物】

海岸部における北越戊辰戦争の痕跡を、寺泊沖から引き揚げられた**順動丸シャフト**（市指定）に見ることができます。順動丸は江戸幕府所有の輸送船で、慶応4（1868）年、寺泊港外で碇泊中に薩摩・長州両藩の艦砲射撃を受け、浅瀬に乗り上げ自爆しました。その後、船体は解体され、推進器の外輪に動力を伝えるシャフト一対が保存されています。



写真 2-9 順動丸シャフト

【産業】

長岡の主要産業の一つである醸造の関連施設が長岡地域の摂田屋地区と地藏地区に残されています。

摂田屋地区では、大正～昭和初期にサフラン酒の醸造で財をなした**機那サフラン酒製造本舗**の遺構（**機那サフラン酒製造本舗土蔵**ほか10件・国登録）を中心に、**吉乃川酒造常倉**、**長谷川酒造主屋**、**越のむらさき主屋**、**越のむらさき土蔵**、**星野本店三階蔵**、**星六土蔵**（国登録）がまともります。このうち、**機那サフラン酒製造本舗土蔵**（国登録）は大正年間（1912～1925）の建築で、腰は海鼠壁、軒廻りや扉に鳳凰、麒麟、恵比須、大黒や十二支



写真 2-10 機那サフラン酒製造本舗土蔵

などの極彩色鍍絵が施されており、他に例を見ません。

地蔵地区の**高橋酒造新蔵**、**高橋酒造煙突**（国登録）は大正 11（1922）年の完成と伝わります。新蔵は一部木造の煉瓦造 3 階建、煙突は六角形の煙突造で高さは 20 m あり、地域のシンボルとなっています。

【生活関連】

昭和初期のライフラインを担った水道関連施設として**旧中島浄水場ポンプ室棟**、**同監視室棟**、**同予備発電機室棟**、**水道タンク**（国登録）があります。いずれも昭和 2（1927）年の竣工で、ポンプ室棟と監視室棟は鉄筋コンクリート造でアールデコの意匠が施される重厚な建築です。水道タンクは鉄筋コンクリート造 6 階建てで高さが 41.5 m あり、現在は長岡市のランドマークとして親しまれています。

②美術工芸品

【絵画】

地域にゆかりのある人物の肖像画や信仰対象となった仏画、寺社に奉納された山水画などがあります。

紙本著色 上杉謙信並びに二臣像（県指定）は、謙信が天正 2（1574）年に法印大和尚となった頃の姿を描いたものと言われます。陪臣を左右に配する構図は真言宗祖師像形式の仏画にならったもので、慶長以前の作とされています。**絹本著色 妙泉院像**（県指定）は、蔵王堂城主堀直高の実母妙泉院を描いた肖像画で、衣装の精緻な描写や気品のある容貌の表現から狩野派の画家によるものとされます。**狩野秀信 筆徳川十七将ノ図**（市指定）は、江戸幕府御用絵師の狩野秀信によるもので、幕府開設に尽力した家臣を描く徳川十六将図になぞらえて、長岡藩が描かせたものとされます。家康の下方には家臣が控え、中段には初代藩主忠成の父康成が描かれています。永仁 6（1298）年に流された京都の歌人藤原為兼に仕えた寺泊の遊女初君を描いた**紙本着色 初君図**（市指定）や**絹本着色 初君惜別之図**（市指定）が、寺泊地域に残されています。

絹本著色 宝塔絵曼荼羅（県指定）は、法華経の教えを絵画化し本尊とした日蓮宗独特の仏画で、桃山～江戸時代初期の制作と考えられます。宝塔をかたどる絵曼荼羅は関東系日蓮宗の影響下にあることを示し、越後における日蓮宗の様相を考える上で貴重です。

桃里亭卯香女 守門神社奉納画（市指定）には、明治 15（1882）年、第 1 回内国絵画共進会に入選した桃里亭卯香女の作品が 9 枚あり、格天井に山水画や花鳥画が描かれています。



写真 2-11 高橋酒蔵新蔵 高橋酒造煙突



写真 2-12 水道タンク



写真 2-13

紙本著色 上杉謙信並びに二臣像



写真 2-14

紙本著色 上杉謙信並びに二臣像 狩野秀信 筆徳川十七将ノ図



写真 2-15

紙本着色 初君図



写真 2-16

絹本著色 宝塔絵曼荼羅

恩行寺の**恩行寺雲龍天井絵**（市指定）は、享和元（1801）年に第20代住職東洲の作で、縦6.1m、横4.4mの大画面に躍動感あふれる龍の墨絵が描かれたものです。

【彫刻】

平安時代から江戸時代までの仏像が特に多く残されています。仏像の体型や表情、質感の表現は当時流行した様式を反映していますが、中には素朴な作風をもった個性豊かな仏像も見られます。

木造親鸞聖人坐像（国指定）は鎌倉時代後期頃（13世紀末～14世紀）の作と推定されます。杉材寄木造り、布張り漆地、彩色仕上げの像で、やや丸顔でがっしりとした体つきで背筋を伸ばし胸を張る姿は、熊皮御影など著名な肖像画とは別の印象を見せています。東中野俣（栃尾地域）の**木造大日如来坐像**（県指定）は、桂材の寄木造り、漆箔仕上げで、温和な顔つきで優美な姿は平安時代後期の典型的な作品です。

逆谷（三島地域）にある寛益寺の本尊、**木造薬師如来立像**（県指定）は平安時代の作と考えられ、丸鑿だけで彫刻する鈍彫りが特徴の重厚素朴な雰囲気をもっています。**十二神将立像（十二軀）**（県指定）は、本尊の薬師如来を守護する神々で、櫟材の一木造り、平安時代中期の作とされ、それぞれが表情豊かな顔つきをしています。**木造四天王立像持国天・多聞天木像**（県指定）は、桂の一木造りで両腕は肩と手首で接合されており、もとは彩色が施されていました。ふくよかな面持ちやなだらかな曲線は平安時代後期の特色を表しています。**木造四天王立像増長天・広目天**（市指定）は鎌倉時代後期の作で、表情や衣文は写実的な表現がされています。**木造金剛力士立像（仁王尊）**（県指定）は高さ3m余り、櫟材の寄木造りで、明徳元（1390）年の開眼、延宝3（1675）年の補修が行われたことが墨書銘からわかっています。いずれも地方色豊かな仏像彫刻です。

杉之森（中之島地域）の**薬師如来坐像**（県指定）は櫟の寄木造りで、鎌倉時代後半の作です。**十二神将立像十一軀**（県指定）は火災にあって一部傷みが激しいですが、鎌倉時代半ばから後半の作と考えられています。このほか市指定の仏像は、山間部の寺院で比較的多く見られ、平安時代から鎌倉時代、室町時代に属するものが伝わります。

木喰仏は各地に多数伝わっています。白鳥町（長岡地域）の**木喰上人作観音像並に自像**（県指定）をはじめ、小国町太郎丸（小国地域）の**木喰仏仁王尊**、**木喰仏立木観音**、**木喰仏金毘羅大権現**（市指定）、上前島町（長岡地域）の**木喰上人彫刻仏像 秩父34観音像 自刻像 金毘羅権現像**（市指定）など優れた作



写真 2-17 木造親鸞聖人坐像



写真 2-18
木造薬師如来立像



写真 2-19
大坂屋看板



写真 2-20 木喰仏仁王尊



写真 2-21 林興庵雲蝶欄間

品群があり、今も地域の人々から厚い信仰を集めています。

また、元文2（1737）年の銘がある小貫（栃尾地域）の**獅子頭**（市指定）や与板（与板地域）の**良寛書「淡交斎」木額**（市指定）、与板の豪商である三輪家の**大坂屋看板**（市指定）、元治元（1864）年に寄進された川口中山（川口地域）の**林興庵雲蝶欄間**（市指定）があります。

【工芸品】

地域で培われた技術によって製作されたものや、優れた造形美を備えたものが各地域に伝わります。

梵鐘は、享徳4（1455）年鑄改の銘がある妙音寺の**梵鐘**（県指定）と大永3（1523）年の銘がある常安寺の**梵鐘**（県指定）があります。釜沢町（長岡地域）の**鰐口**（県指定）は金銅製で鍍金を施した直径45.5cmの大型品で、応永24（1417）年に造脱庄の満願寺に奉納されたものです。**高麗白磁四耳壺**（県指定）は、十楽寺・白山神社の境内から出土したもので、11世紀後半～12世紀に中国の宋で製作されたものと考えられます。舶載白磁としては国内最古級です。

蒼柴神社の宝物に一对の**御山焼瓶子**（市指定）があります。御山焼は、長岡藩第10代藩主牧野忠雅が京都から陶工を招き悠久山で開窯したのが始まりです。しかし、藩の財政難が重なり程なく閉窯となったため、現存する一对の瓶子は貴重な存在です。

三島地域では、平安時代後期の**古鏡（四面）**（市指定）が蓮花寺の七社宮と上岩井の気比宮気比神社から出土しています。背面には花鳥を配した文様が施され、藤原鏡と呼ばれる上流階級層が所有したものと考えられます。**元祖中屋庄兵衛の鋸**（市指定）は、天保13（1842）年に脇野町で鋸鍛冶を開業し、多くの弟子を輩出して脇野町鋸を全国に広めた中屋庄兵衛によるものです。

栃尾地域には、疾走する霊狐に乗った飯綱権現をかたどった**謙信公兜の前立**（市指定）や、御館の乱の頃に戦勝祈願として諏訪神社に奉納された**鰐口**（市指定）があります。また、寛政年間（1789～1801）に栃尾織物の祖の大崎オヨ自作の**蚊帳**（市指定）や**一之貝百二十・十の字緋**（市指定）は、織物の盛んな土地柄を示したものです。

与板地域では、徳川家康が井伊直政に贈り、与板藩井伊家の家宝として伝わった**孔雀尾具足陣羽織**（市指定）や、蓮正寺本堂の仏具を修理中に訪れた良寛が、塗師からもらった漆で俳句を記した瓢を水指に加工した**良寛の「瓢水指」**（市指定）があります。



写真 2-22 梵鐘（妙音寺）



写真 2-23 御山焼瓶子



写真 2-24 元祖中屋庄兵衛の鋸



写真 2-25 謙信公兜の前立



写真 2-26 孔雀尾具足陣羽織

【書跡・典籍】

長岡にゆかりのある人物による書や当時の習俗を描いた書籍、経典などがあります。

神亀5（728）年、天武天皇の孫長屋王が父高市皇子及び母の追福のため書写し発願した経典で、現在わずか3、4巻しか残っていない**大般若経巻第468残巻**（国指定）が伝わります。

良寛遺墨（県指定・市指定）は、晩年を過ごした和島地域をはじめ、度々訪れた寺泊地域、与板地域で10件が指定されており、漢詩や和歌、画賛、写経、書簡、過去帳があります。

上杉謙信筆五言対句（県指定）は、謙信が戦国時代の武将であるとともに、青蓮院流の妙手でもあったことを示すものです。また、江戸時代後期の書家で栃尾町の検断職を務めた富川大塊の書として、六曲一双の**富川大塊書屏風**（市指定）や十二山神社に奉納した**富川大塊書幀**（市指定）があります。

江戸時代後期、曲亭馬琴によって著された**書籍、南総里見八犬伝全巻**（市指定）には、「越後古志郡二十村闘牛図」など現在重要無形民俗文化財に指定されている牛の角突き習俗の様子が描かれており、この習俗が江戸時代まで遡ることをつたえます。

【古文書】

中世では、市指定文化財に上杉房定や上杉景虎、上杉景勝、直江兼続といった室町時代から戦国時代にかけての武将の書簡などがあります。特に、**越後文書宝翰集**（国指定）は、鎌倉時代から戦国時代の中世古文書群で全44巻705通からなり、新潟県域を中心とした武士の動向や地域支配のあり方、生活の様子などを知ることができる貴重な史料です。

近世では、江戸幕府成立後に長岡藩主として入部した牧野氏の足跡を示す史料や知行目録、**朱印状**（市指定）など長岡藩政の動向を示す文書があります。また、町方や村方の庄屋を務めた旧家や区有の文書には、触書や絵図面など長期間にわたり保存されてきたものがあり、当時の社会情勢の変遷をたどることができます。これらの文書には、小国和紙への課税や寺泊の廻船問屋の客船帳、海難者の処置に関する文書など、地域特有の記述内容も見られます。

近代では、長岡藩の版籍奉還に関する太政官通達など公文書のほか、長岡藩の動向を記録した**明治初期における長岡藩御用方日記**（市指定）や、長岡の戊辰戦争後の復興過程を克明に記録した日記などが見られます。



写真 2-27 良寛遺墨



写真 2-28 書籍、南総里見八犬伝全巻



写真 2-29 越後文書宝翰集

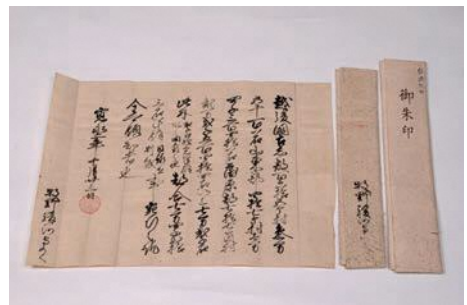


写真 2-30 朱印状



写真 2-31 明治初期における長岡藩御用方日記

【考古資料】

縄文時代では、中期を中心とした遺物が多く指定されています。**馬高遺跡出土品**（国指定）は火焰型土器や王冠型土器などの土器群、多様な石器類、信仰に関わる土偶や石棒など 300 点が指定されています。このうち昭和 11（1926）年に近藤篤三郎が発見した深鉢形土器は、燃え盛る炎のような装飾から「火焰土器」の名称で呼ばれており、中越地方を中心に分布する火焰型土器群の基準資料となっています。このほか、徳昌寺遺跡の**縄文土器**（市指定）、門の沢遺跡・栃倉遺跡の**火焰型土器**（市指定）、舟岡遺跡の**土偶**（市指定）の指定があります。

弥生時代では、水上遺跡の**石包丁**（市指定）があり、長さ 24cm、幅 12.7cm、厚さ 1.4cm、重さ 646 g と県内最大級の大きさを誇ります。

古墳時代では、前期の**五千石遺跡出土品**（県指定）607 点が指定されています。この遺跡は玉作りや鍛冶が行われた集落跡で、出土した玉類や土器、羽口や鉄滓などは信濃川中流域における手工業生産の様子を伝える重要な資料です。また、横滝山廃寺跡で採集された後期の**子持勾玉**（市指定）は、縦 7.5cm、横 3～3.5cm の大型品です。

古代では、長岡市北部の和島地域や寺泊地域で多くの指定があります。

和島地域の**八幡林官衙遺跡出土品**（県指定）は 601 点あり、木簡・墨書土器など役所（官衙）特有の遺物です。特に、日本最古の城柵淳足柵が実在したことを物語る「沼垂城」木簡は、越後国内の情勢とともに律令国家日本の成立過程を考えるうえでも貴重な資料です。**門新遺跡出土品**（県指定）は、開発領主の館と考えられる建物跡などから出土した漆紙文書や土器、施釉陶器、鍛冶関連遺物など 335 点が指定されています。特に、「延長六年」（928）の紀年銘をもつ漆紙文書は年代特定の基準資料として重要です。**毛抜形太刀**（県指定）は大正時代に行われた大河津分水路建設に伴う落水川改修工事中に発見されました。天皇や宮中の護衛にあたる衛府の武官が佩用した太刀で、形態的特徴から平安時代末期の製作と考えられ、県内唯一の事例となります。

寺泊地域の**横滝山廃寺跡出土品**（市指定）は県内最古の古代寺院跡から出土した資料で、塼仏・瓦類・土師器・須恵器などがあります。また、古くから採集地として知られていた当遺跡では**鴟尾**、**蓮弁燈瓦**、**寺字墨書土師器**（市指定）が採集されており、いずれも古代寺院の出土品として県内では貴重な資料です。また、出雲崎沖から引き揚げられた**ほとぎ**（缶）（市指定）は、当時の海上交通を示す資料として貴重です。



写真 2-32 馬高遺跡出土品



写真 2-33 石包丁（水上遺跡出土）



写真 2-34 五千石遺跡出土品



写真 2-35 八幡林官衙遺跡出土品



写真 2-36 門新遺跡出土品

中世では、大正時代に落水川の改修工事で発見された鎌倉時代の人頭骨（市指定）や室町時代の塚から出土した珠洲焼の経甕（香塚出土）（市指定）があります。

【歴史資料】

雪之図（県指定）は、江戸時代末期の長岡城下町における積雪の様子や雪中でたくましく暮らす人々が描かれた巻子2巻で、雪国の風俗・慣習を伝える歴史資料として高い価値があります。

江戸時代後期、関流算術学者の門下生が難解な問題とその解き方を示した算額（市指定）が、蒼柴神社、根立寺観音堂、秋葉神社などに奉納されており、和算が庶民にも浸透していた様子がうかがえます。

このほか、正徳2（1712）年に建立された初君旧歌碑（市指定）、小国城主佐藤信義とその妻の位牌である佐藤家南蛮鉄の位牌（市指定）、江戸時代後期から明治時代までの水害の様子を描いた信濃川氾濫絵図（市指定）などがあります。

2) 無形文化財

【工芸技術】

山間部では冬の農閑期に紙漉きが生業として行われ、小国地域の小国和紙（県指定）、栃尾地域の和紙製造技術（市指定）が伝えられています。また寺泊地域では、篩や蒸籠などの曲物に用いられている大字山田の曲物製造技術（市指定）が指定されています。

3) 民俗文化財

①有形の民俗文化財

地域特有の生活様式や産業、信仰にかかわる資料が指定されています。

東北日本の積雪期用具 附改良形用具（国指定）は、昭和24（1949）年から約20年間にわたって積雪科学館が収集したもので、衣服や除雪用具、狩猟・農耕具、雪道の歩行に使用した交通用具、運搬用具などがあります。雪国の生活文化を知るうえで貴重であるとともに、各地の民具を比較研究する基準資料として重要です。

白山媛神社奉納船絵馬（国指定）は、安永3（1774）年から明治22（1889）年にわたって航海の安全を願って描かれた50種52枚の絵馬です。北前船の寄港地として栄えた寺泊の信仰文化をよく表した資料です。

「カンジキ」コレクション（田下駄を含む）（県指定）は蒲原



写真 2-37 雪之図

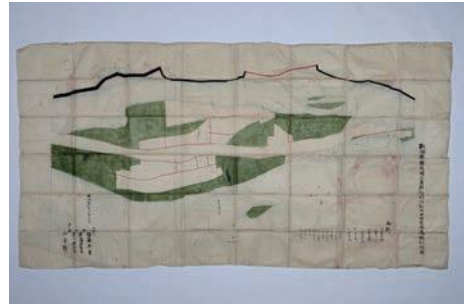


写真 2-38 信濃川氾濫絵図



写真 2-39 小国和紙



写真 2-40 東北日本の積雪期用具 附改良形用具



写真 2-41 松尾神社酒造図絵馬

低湿地帯や魚沼地方、佐渡を中心に収集されたカンジキ類です。

このほか、栃尾地域の**栃尾紬標本**（市指定）、長岡地域の**長岡藩御用鍛冶藤原兼宗資料**（市指定）、越路地域の**松尾神社酒造図絵馬**（市指定）、三島地域の**根立寺観音堂の酒造絵馬**（市指定）があり、いずれも地域固有の産業（繊維、鍛冶、酒造）と密接にかかわる貴重な資料です。

②無形の民俗文化財

【民俗芸能】

珍しい古式祭礼や地域的特色をもった芸能が各地に伝わっています。

金峯神社の**王神祭**（県指定）は数百年以上続く古式の祭礼です。年魚行事は信濃川で採れた鮭を神官が直接手を触れずに鉄箸と包丁で三枚におろし、鳥居の形に整えて神前に供えるもので、全国的に珍しい行事です。

巫女爺人形操り（県指定）は、派手な着物を着せた爺と巫女の人形を笛や太鼓のお囃子に合わせ踊らせるものです。江戸時代中期に小千谷市横町が始まりと言われ、その後周辺の村々へ広まり、現在では長岡市内8地域、小千谷市内4地域の祭礼で踊られています。

神楽（市指定）は栃尾地域（葎谷・栃堀・北荷頃・菅畑）、越路地域（菅沼）、小国地域（法末）、中之島地域（池之島・中野東・末宝・灰島新田）、与板地域（与板町吉津）で指定されています。

このほか寺泊地域海岸部の民謡として**塩たき節**、**萬歳の若水**、**越後追分**（市指定）、和島地域の**弓踊り**（市指定）、川口地域の**小高棒踊り**、**和南津花笠甚句**（市指定）があります。

【風俗慣習】

古くから伝わるならわしがあり、広い範囲で行われているものもあります。

牛の角突きの習俗（国指定）は、小千谷市・長岡市・魚沼市域にまたがる二十村郷で、古くから神事として行われてきたと伝わり、江戸時代の『北越雪譜』（鈴木牧之）や『南総里見八犬伝』（曲亭馬琴）でその様子が記されています。

越後の凧合戦習俗（中之島地域）（県指定）は、旧暦の端午の節句にあわせて開催される伝統行事です。白根大凧合戦や三条凧合戦とともに越後平野の信濃川水系で行われる習俗として指定され、歴史や産業と深く関わり合いながら受け継がれてきたものです。

このほか、流鏝馬としては佐渡を除く新潟県で唯一である金



写真 2-42 王神祭



写真 2-43 巫女爺人形操り



写真 2-44 栃堀神楽舞



写真 2-45 越後の凧合戦習俗



写真 2-46 牛の角突きの習俗

峯神社の流鏑馬（市指定）や、中之島諏訪神社燈籠神事、中条日枝神社春秋祭禮御神輿巡行神事、諏訪神社春季大祭神輿渡御行列（大名行列）（市指定）の4件があります。

4) 記念物

① 遺跡

旧石器時代では**荒屋遺跡**（国指定）があります。出土した荒屋型彫刻刀器と楔形細石刃石核の組み合わせは当該期の北東アジア地域の研究上で重要な指標となっており、旧石器時代末期における人類集団の拡散を示す遺跡です。

縄文時代では2件あります。**馬高・三十稲場遺跡**（国指定）は、縄文時代中期から後期の大規模な集落跡です。中期の馬高遺跡では火焰型土器や王冠型土器をはじめとした信濃川流域を象徴する遺物が出土し、後期の三十稲場遺跡では刺突文を多数施した独特の三十稲場式土器が出土しています。また、**藤橋遺跡**（国指定）は、縄文時代晩期の大規模な玉作りの集落跡です。ここでは多数の掘立柱建物の柱穴や、東北地方の亀ヶ岡式の影響を強く受けた土器、ヒスイ製の玉類などが発見されています。

古代では2件あります。**八幡林官衙遺跡**（国指定）は、奈良・平安時代に営まれた越後国古志郡の役所（官衙）に関連した遺跡で、遺跡の性格は奈良時代が城柵や関などの国に関連した施設、平安時代が古志郡の長官（大領）の館と考えられ、古代長岡の中心がこの地にあったことを示しています。**横滝山廃寺跡**（県指定）は、白鳳時代から平安時代に営まれた越後では希少な県内最古の古代寺院跡です。2か所発見された基壇跡の一つは金堂の跡と考えられ、屋根瓦が多数出土しています。

南北朝時代から戦国時代では、**栖吉城跡**、**枳尾城跡**、**与板城跡**、**本与板城跡**（県指定）、**夏戸城跡**、**蔵王堂城跡**（市指定）などがあり、上杉氏やその家臣にかかわる山城や近世の長岡城築城以前の城跡などが見られます。

江戸時代後期では、**良寛終焉地**（県指定）があります。和島地域の島崎には、村の百姓代木村元右衛門の庇護のもと、良寛が74歳の生涯を閉じるまでの晩年を過ごした庵室跡や墓地が史跡となっています。

このほか、遺跡、中世城館跡、塚、石仏群、墓地（墓碑）、近世代官所跡、名家の邸宅跡や庭園、記念碑、歌碑など多岐にわたる史跡が各地に点在します。



写真 2-47 金峯神社の流鏑馬



写真 2-48 荒屋遺跡



写真 2-49 馬高・三十稲場遺跡



写真 2-50 八幡林官衙遺跡



写真 2-51 枳尾城跡

②名勝地

江戸時代中頃に大坂の港から大和の石を積み京都の庭師を呼んで檀信徒により築かれた**聖徳寺庭園**（市指定）や、明治25（1892）年に大坂屋当主三輪家の別荘として築邸・造園された**楽山苑**（市指定）、関西経済界の礎を築いた外山修造が京都の庭師を呼んで築いた**外山家庭園**（市指定）があります。



写真 2-52 楽山苑

③動物・植物・地質鉱物

【動物】

特別天然記念物の**トキ**、**カモシカ**（国指定）、天然記念物の**イヌワシ**、**ヒシクイ**、**マガン**、**オジロワシ**、**ヤマネ**（国指定）が生息または飼育されています。

【植物】

樹齢推定約800年の**大積の大ツツジ**（県指定）、樹齢推定約1,200年の**蓮花寺の大杉**（県指定）、約350年前神社建立の際に植樹されたと伝わる**白髯神社の樹林**（県指定）のほか、**ケヤキ**、**サクラ**、**イチイ**（キャラボク）、**スギ**、**カツラ**（コウノキ）、**マツ**、**カシ**、**トチノキ**、**イチョウ**、**クルミ**、**アカガシ**（市指定）、**ユキツバキ**と**チャ**の自然交配種である**炬開き**（市指定）など多岐にわたり、地域の伝承とともに現代に伝えられてきました。このほか、社叢や霊地として扱われた樹群・森林があります。



写真 2-53 大積の大ツツジ

【地質鉱物】

寺泊地域の野積に**男釜・女釜**（市指定）と呼ばれる波蝕甔穴があり、越後に上陸した弥彦神社の祭神**アメノカゴヤマノミコト**が村人に塩焚き（製塩）技術を授けた場所と伝えられます。



写真 2-54 男釜・女釜

2 未指定文化財

2-1 未指定文化財の状況

指定等文化財以外でも、地域の人々に守られ後世に伝えるべき大切な文化財は多く見られます。

本計画の作成にあたり、長岡市に所在する未指定文化財を把握するため、既往調査文献資料 62 点を参考にしました。

抽出した未指定文化財の件数を分類ごとに整理し、[表 2-5] に示しました。本市に所在する未指定文化財は令和 8（2026）年 3 月現在で合計 3,337 件になります。

表 2-5 未指定文化財件数

令和 8（2026）年 3 月現在

類型		長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口	斐特定	合計
有形文化財	建造物	82	14	31	8	2	22	24	26	26	11	6	0	252
	美術工芸品	絵画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		彫刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		工芸品	125	0	10	13	0	4	15	5	16	18	4	210
		書跡・典籍	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
		古文書	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
		考古資料	28	2	8	4	0	4	13	8	1	2	0	72
		歴史資料	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	小計	286	16	49	25	2	30	52	39	43	31	12	0	585
無形文化財		0	0	1	1	0	1	0	2	4	2	2	0	13
民俗文化財	有形の民俗文化財	32	0	47	1	0	2	0	5	35	5	6	0	133
	無形の民俗文化財	312	7	119	9	11	43	53	62	198	10	36	9	869
	小計	344	7	166	10	11	45	53	67	233	15	42	9	1002
記念物	遺跡	40	0	11	0	0	0	1	12	0	11	16	0	91
	名勝地	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	8
	動物・植物・地質鉱物	26	0	10	24	0	0	16	17	4	29	12	21	159
	小計	69	1	22	24	0	1	18	29	4	41	28	21	258
文化的景観		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
伝統的建造物群		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
文化財の保存技術		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埋蔵文化財		400	16	56	109	4	72	236	283	126	93	81	0	1476
合計		1100	40	294	169	18	149	359	420	411	182	165	30	3337

※絵画、彫刻は未調査で、令和 8（2026）年 3 月現在で未指定文化財が把握できていません。

2-2 未指定文化財の概要

本市に所在する未指定文化財の概要を類型ごとにまとめると、以下のとおりです。なお、既往調査から年数が経過したものが多く、正確な現存状況の把握と整理がされていません。

1) 有形文化財

①建造物

近世を中心とする民家が確認されました。農村地域では中門造（主屋から中門と呼ばれる馬屋・便所・物置部分が突き出す形式）の茅葺民家が見られます。

また、社寺建築も確認され、本殿、拝殿、本堂、庫裡、鐘楼、経蔵、門などが見られます。

近代以降の建造物（近代建築、近代化遺産、近代和風建築）が確認されました。産業一次に関するものとしては農協倉庫があり、産業二次では醸造関連の施設、産業三次では医院があります。また、二次・三次共通で各地域の町家（小売店舗兼住宅）が見られます。

交通に関するものには、橋梁、隧道、鉄道施設、道路元標などがあります。橋梁は信濃川をはじめとする河川の横断に向けて整備されたもの、隧道は丘陵地・中山間地の交通の利便を図ったもので、さまざまな地形を有する当市の特徴を示しています。鉄道施設からは長岡地域が新旧鉄道の結節点として重要視されてきた特性が見られます。

学校に関するものには、木造校舎が現存しています。

生活に関するものには、水力発電関連施設があり、市域を流れる潤沢な水資源の恩恵を受けてきたことを伝えています。

文教福祉に関するものには、互尊文庫を長岡市に寄付した野本恭八郎により設立された如是蔵博物館があります。

治山治水では、分水路、用水路、土地改良区事務所などが確認されました。いずれも、稲作が盛んな地域における土地改良の歴史を伝えるものです。

このほか、長岡花火の三尺玉打揚筒は花火文化の貴重な遺産といえます。

②美術工芸品

【絵画】

未調査。

【彫刻】

未調査。

【工芸品】

金工品（梵鐘、半鐘、鰐口等）が確認されました。製作銘が記録されるものもあり、与板地域の鋳物師・土肥佐左エ門や、柏崎市大久保の鋳物師の名が多く見られます。

【書跡・典籍】

真言宗と浄土真宗の寺院に伝わる経典のほか、長岡藩主牧野氏や藩士らの書が確認されました。

【古文書】

長岡藩主牧野氏の書状や長岡藩士の書簡などが確認されました。

【考古資料】

発掘調査が行われた遺跡から出土した主要な遺物を対象としました。旧石器時代から近世に属する遺跡の出土品として、72件が確認されました。

【歴史資料】

旧長岡藩医丸山家の医学資料などが確認されました。

2) 無形文化財

職能に関する無形文化財が確認されました。

三島地域では小川（中屋）庄兵衛によって鋸の製造が伝わり、与板地域では直江実綱によって始まったと言われる刀鍛冶が打刃物などの大工道具の製造へと変わった歴史的背景を持っています。

紬（栃尾地域）、柿渋（小国地域）、竹筴（川口地域）の製造は、豪雪地における農閑期の副業として、また、屋根屋（草屋根）は耕地の少ない寺泊地域において初夏から盆までの間、佐渡への出稼ぎとして成立しました。

かつて養蚕や機織りが盛んだった栃尾地域では、クズ繭の糸や機織りの残糸を利用した手まり作りが盛んに行われ、現代にも伝わっています。

魚野川・信濃川における漁労が盛んな川口地域では、舟大工（川舟）の技術が伝わってきました。

3) 民俗文化財**①有形の民俗文化財**

民俗芸能に関する有形の民俗文化財が確認されました。地域祭礼で用いる屋台、人形芝居の道具、門付芸（瞽女）の関係資料などがあります。

風俗慣習に関する有形の民俗文化財が確認されました。農業・漁労などの一次生産の道具、製紙・染織・木竹工・金工・建築・玩具など二次生産の道具があるほか、さまざまな生活用具（衣服・運搬用具・食事用具等）、各集落のさまざまな地域信仰を示す石塔や、信仰・儀礼の祭具などがあります。

②無形の民俗文化財

各地域の集落などに伝わる民俗芸能や風俗慣習が確認されました。市域が広く、地理的条件が幅広いため、多様な民俗文化財が見られます。

民俗芸能としては、各地域・各集落で行われた神楽舞（採物神楽・獅子神楽）、舞踊（飴屋踊・盆踊）、雅楽、歌舞伎がありましたが、調査時から現在までに伝承が途絶えた地域もあります。

各地域には、行事歌、祝い歌、踊り歌、座興歌、遊戯歌、子守歌などの民謡が数多く伝わり、作業歌（代掻き歌、田植歌、米搗歌、酒屋歌、木挽歌、網曳歌、船頭歌、糸くり歌など）は、地域の文化・産業の特色との密接な関係がうかがえます。また、市内では越後瞽女唄の普及と後継者育成なども行われています。

風俗慣習については、さまざまな生活文化、年中行事、通過儀礼、祭礼・信仰・儀礼があり、また、定期市の実施、地域社会組織のほか、食料や現金収入を確保する生業や生活必需品の生産作業、伝統的な郷土食・行事食などの食文化が確認されました。

これらの風俗慣習は、稲作地域、豪雪地、中山間地、河川に近い地域、海岸地域など、各地域が置かれた風土に伴った特有の地域性が見られます。

また、昔話には長岡市に在住した語り手2名によるものがあります。京の町を見物に行った夢を見た

男の鼻からハチが出ていき、再び鼻の中に戻ると目が覚めた話など 19 件を確認しました。

このほか、各地域にはさまざまな地域信仰・職人信仰（講）が伝わります。

4) 記念物

①遺跡

市内を貫通する街道（三国街道、北国街道、魚沼街道）沿いには、宿場、本陣跡、番所跡、茶屋跡、渡し・船着場跡、石造物群（道標・道祖神等）などさまざまな遺構が確認されました。

②名勝地

人文的名勝地として庭園が確認されました。いずれも江戸時代から明治時代にかけて作庭された寺院庭園や個人宅の庭園です。個人宅庭園は、刈谷田川改修や大河津分水の実現など治水事業に功績のあった政治家・大竹貫一、越後鉄道の創業者・久須美秀三郎・東馬父子、豪農で明治時代にさまざまな事業（石油・鉄道・金融・発電・育英）を興した山口家、大地主の高橋家など、いずれも地域に貢献した資産家の邸宅です。

③動物・植物・地質鉱物

確認されたものの大半は大樹・大木です。社寺境内にあるものが多く、樹種としてはケヤキ、スギが中心となりますが、このほか、モミ、イチョウ、ブナ、アカガシ、ヤマグワ、アメリカスズカケノキ、ヒヨクヒバ、ウラジログシ、スダジイ、クロマツ、トチノキなど多種多様なものが見られます。また、固有の呼称を持つものも見られ、古くから各地域の住民に愛されてきたことがわかります。

5) 文化的景観

雪解け水を利用して稲作や養鯉に必要な水を確保するための棚田・棚池が山古志地域に広がっています。

6) 伝統的建造物群

歴史的な町並みとして栃尾地域の市街地では、積雪期の歩行を確保するため、家の軒先から庇が張り出した雁木通りが見られます。また、旧三国街道に面した摂田屋地区では、古くから酒・味噌・醤油などの醸造が盛んで、現在でも機那サフラン酒本舗土蔵など歴史的建造物が多く残されています。

7) 文化財の保存技術

調査の結果、該当するものは確認されませんでした。

8) 埋蔵文化財

長岡市遺跡台帳に登録されている埋蔵文化財包蔵地で、未指定のものが 1,472 件確認されました。原始から近世に属する集落跡、古墳、塚、城館跡、社寺跡、製鉄跡、窯跡のほか、性格不明な遺物包含地、散布地も含まれます。

3 関連する制度

3-1 日本遺産

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを『日本遺産 (Japan Heritage)』として文化庁が認定するものです。

令和6（2024）年7月現在、本市には以下の2つの日本遺産のストーリーがあります。いずれも広域型（シリアル型）で、ストーリー①は県内6市町、ストーリー②は全国52市町村にまたがってストーリーが展開しています。

①「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化

【認定自治体】

新潟市、三条市、長岡市、魚沼市、十日町市、津南町

【ストーリーの概要】

「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化
日本一の大河・信濃川の流域は、8000年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。 この雪国から5000年前に誕生した「火焰型土器」は大仰な4つの突起があり、縄文土器を代表するものである。 火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは！」と叫んだという。 火焰型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と密集度は日本有数である。 このムラの跡に佇めば、5000年前と変わらぬ独特の景観を追体験できる。 また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アングイン、火焰型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。 火焰型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのもののなのである。

【長岡市に所在する構成文化財】

文化財の名称	指定等の状況	文化財の所在地
馬高遺跡出土品	国重文（馬高遺跡）	長岡市
岩野原遺跡出土品	未指定	長岡市
栃倉遺跡出土品	市有形（考古資料）	長岡市
徳昌寺遺跡出土品	市有形（考古資料）	長岡市
門の沢遺跡出土品	市有形（考古資料）	長岡市
馬高・三十稻場遺跡	国史跡	長岡市
栃倉遺跡	市史跡	長岡市
八木鼻第1号岩陰遺跡・第2号岩陰遺跡同出土品	未指定	長岡市・三条市
弥彦山・角田山	未指定	長岡市
王神祭	県無形民俗（民俗芸能）	長岡市
藤橋遺跡・同出土品	国史跡・未指定（考古資料）	長岡市
赤松遺跡・同出土品	未指定（史跡・考古資料）	長岡市・三条市
守門岳	未指定	長岡市・三条市・魚沼市



写真 2-55 枡倉遺跡出土品



写真 2-56 門の沢遺跡出土品



写真 2-57 藤橋遺跡

②「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落」

【認定自治体】

北海道小樽市、北海道石狩市、北海道函館市、北海道松前町、青森県野辺地町、青森県鮎ヶ沢町、青森県深浦町、秋田県能代市、秋田県男鹿市、秋田県秋田市、秋田県由利本荘市、秋田県にかほ市、山形県酒田市、山形県鶴岡市、新潟県村上市、新潟県新潟市、新潟県佐渡市、新潟県長岡市、新潟県出雲崎町、新潟県上越市、富山県富山市、富山県高岡市、石川県輪島市、石川県志賀町、石川県金沢市、石川県白山市、石川県小松市、石川県加賀市、福井県坂井市、福井県南越前町、福井県敦賀市、福井県美浜町、福井県小浜市、京都府宮津市、大阪府大阪市、大阪府泉佐野市、兵庫県神戸市、兵庫県高砂市、兵庫県姫路市、兵庫県たつの市、兵庫県新温泉町、兵庫県赤穂市、兵庫県洲本市、鳥取県鳥取市、島根県浜田市、岡山県備前市、岡山県岡山市、岡山県倉敷市、香川県多度津町、広島県尾道市、広島県竹原市、広島県呉市

【ストーリーの概要】

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々と見られます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

【長岡市に所在する構成文化財】

文化財の名称	指定等の状況	文化財の所在地
寺泊港の集落	未指定	長岡市
寺泊おけさ	未指定	長岡市
聖徳寺庭園	市名勝	長岡市
白山媛神社奉納船絵馬	国有有形民俗	長岡市



写真 2-58 寺泊港の集落



写真 2-59 聖徳寺庭園

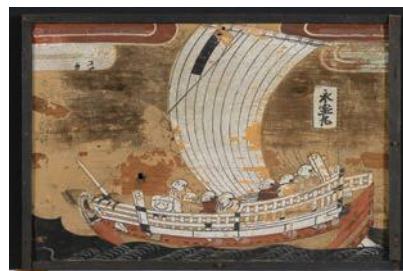


写真 2-60 白山媛神社奉納船絵馬

3-2 日本農業遺産

日本農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、我が国において重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）であり、農林水産大臣により認定されます。

新潟県中越地域（長岡市・小千谷市）では、「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」が、平成 28（2016）年度に認定されました。地域に脈々と受け継がれてきた稲作や養鯉など、棚田・棚池資源を活用した農業システムが日本を代表するものとして認められたことを意味しています。



写真 2-61 山古志の棚田・棚池

3-3 長岡市景観重要建造物

景観重要建造物は、地域の景観上重要な建造物を、景観法に基づく指定により、地域の個性ある景観形成の核として、維持、保全及び継承していくものです。

長岡市では、「長岡市景観アクションプラン（令和 4 年 3 月）」に定める指定基準と保全・活用方針により、大切な景観資源の保全と周辺地域の良い景観形成を図ります。

令和 8（2026）年 3 月現在、1 件が指定されています。



写真 2-62 旧機那サフラン酒製造本舗主屋

景観重要建造物の指定物件

指定番号	長岡市景観重要建造物第 1 号			
名称	旧機那サフラン酒製造本舗建造物群			
指定年月日	平成 30（2018）年 11 月 22 日			
所在地	長岡市摂田屋 4 丁目 6 番 33 号			
所有者	長岡市			
対象建造物	連番	名称	建築年代	構造
	①	鍍絵蔵	大正 15（1926）年	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	②	主屋	明治 27（1894）年	木造 2 階建棧瓦葺
	③	離れ座敷	昭和 6（1931）年	木造 2 階建棧瓦葺
	④	衣装蔵	大正 5（1916）年	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	⑤	調整蔵	大正 15（1926）年	木造 2 階建棧瓦葺真壁造
	⑥	一号蔵	大正 15（1926）年	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	⑦	米蔵	昭和初期	土蔵造平屋建棧瓦葺
	⑧	道具蔵	大正 7（1918）年	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	⑨	貯蔵蔵	大正 9（1920）年	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	⑩	七連蔵	大正中期	土蔵造 2 階建棧瓦葺
	⑪	庭園	明治時代後期～	
外観の特徴	旧機那サフラン酒製造本舗は、唯一無二である計 10 棟の歴史的な建造物群と庭園が広がる場所となっています。主屋を中心として複数の建物が正面に構え、それらを取り巻く建造物群と庭園が一体となり、まとまりのある歴史的景観を形成しています。 また、特徴的な意匠とその規模から醸造のまち摂田屋のシンボルとなっています。			

3-4 次世代へつなげていきたい「地域の宝」

平成26（2014）年度に各地域委員会で選定された「地域の宝」は、地域団体による個性豊かな磨き上げ活動を通じて、次世代への継承や地域住民の「自信」と「誇り」の醸成により、魅力ある地域づくりを推進しています。

各地域で選定された「地域の宝」

地域	地域の宝	地域	地域の宝
中之島	今町・中之島大風合戦	和島	良寛・貞心尼とはちすば通り
	大竹邸記念館		越後鉄道と住雲園
越路	ホタル		村岡城址周辺
	もみじ園とその周辺	寺泊	寺泊の海（海洋資源）
三島	三島の里山（保全活動）		寺泊の海（寺泊歴史街道）
	三島の里山（資源活用）	栃尾	上杉謙信公旗揚げの地
山古志	山古志の棚田・棚池	与板	楽山苑・豪商の文化
	震災アーカイブス		兼続とお船の里
小国	小国の森林（おぐに森林公園）		城下町与板の街なみ
	小国の森林（小国和紙）	川口	全国植樹祭会場を含む「ふるさとの森」
			魚野川と信濃川の河川空間
			天神ばやし



写真 2-63 大竹邸記念館



写真 2-64 もみじ園



写真 2-65 住雲園



写真 2-66 上杉謙信公銅像



写真 2-67 小国和紙



写真 2-68 山古志の棚田・棚池

第3章 長岡市の歴史文化の特性

1 長岡市の歴史文化の特性

前章までの内容を踏まえ、本章では長岡市の歴史文化の特性を整理しました。

歴史文化の特性の整理にあたっては、以下の点に留意しました。

①	長岡市らしさ（長岡市特有の歴史文化）を把握する。
②	各地域の歴史文化を尊重しつつ、より広い視点から歴史文化の特性を整理する。
③	時代・地域・類型の異なる多種多様な文化財を可能な限り関連付けるテーマとする。
④	本章で取り扱う文化財は、本文の内容を理解する上で最低限必要な記載にとどめる。

さらに、本市をとりまく環境（自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的背景）や文化財の特徴を踏まえた上で、特徴的な歴史文化を示す言葉をキーワードとして抽出し、これらを各テーマごとにまとめて整理したものを、本市における「歴史文化の特性」として位置づけます。

表 3-1 長岡市の歴史文化の特性とキーワード

1. 豊かな自然環境とともに歩む長岡 ー守門岳から日本海までー
豊かな自然環境、農業、養蚕、棚田、棚池、牛の角突き、養鯉、漁業、製塩、酒造、雪国の生活、伝統行事、奉納神事、風合戦、瞽女唄
2. 信濃川水系の恵み ー水とともに生きるー
信濃川、魚野川、鮭、漁労文化、王神祭、米づくり、水田、治水、大河津分水、川港、水資源
3. 交通の結節点・長岡 ー人と文化の交流ー
古志郡、古代官衙、北陸道、佐渡、都、淳足柵、越後国府、川船、寺泊、海運、北前船、船絵馬、人・文化の交流、三国街道、宿場町
4. 城下町の形成と発展 ー政治・商業・教育の中心地へー
蔵王堂、古志長尾氏、上杉氏、栃尾城、本与板城、与板城、直江氏、堀氏、長岡城、牧野氏、北越戊辰戦争、長岡城、豪商、人材教育
5. 長岡のものづくりと産業 ー手工業から近代産業へー
醸造（酒・味噌・醤油）、手工業（織物、打刃物、鋸、和紙、曲物、仏壇）、近代産業、石油、工業、養鯉業
6. 不撓不屈の不死鳥・長岡 ー戦災・災害からの復興ー
北越戊辰戦争、米百俵の故事、長岡空襲、戦災遺構・資料、災害の記録・記憶、長岡花火、復興

1. 豊かな自然環境とともに歩む長岡 ー守門岳から日本海までー

長岡市は東に最高地点の守門岳から東山連峰が連なり、信濃川とその支流が貫流する丘陵地や沖積平野を介し、日本海に至る広大な市域を有しています。この豊かな自然環境に囲まれた長岡市に暮らす人々は、自然との調和を保ちつつ、環境に適応した生業や生活を営み、さまざまな風俗慣習や伝統行事を通じて、地域の特性を育んできました。

【山間部の生活】 山間部では過酷な自然環境に適応し、農業・養蚕を基本とした生活が営まれてきました。特に、山古志地域では急峻な山の斜面を切り開いた棚田が広がり、生活を共にする牛は農耕や運搬の際に貴重な働き手となりました。山古志伝統の牛の角突きは勝敗を決めず、引き分けで終わることが特徴で、牛を大切にしてきた人々にとって誇り高い行事です。また、稲作の水を確保するため、雪解け水や湧水、横井戸を活用したため池を作りました。そこでは食用の鯉を養殖し、冬季のタンパク源を確保しました。環境に適応した知見や技術が培われ、棚田と棚池が並ぶ特有の景観が形作られました。

【海岸部の生活】 日本海に面した海岸部では漁業を中心とした生活が営まれてきました。また、浜では海水を蒸発させて塩を作る伝統的な揚げ浜式製塩が盛んに行われました。塩は生活必需品であるとともに海産物の保存加工に欠かせない重要な材料で、耕地が少ない海岸部の生活にとって貴重な収入源になりました。寺泊地域には製塩用具や製塩にちなんだ座敷唄（塩たき節）が伝わり、海岸洞窟にある男釜・女釜と呼ばれる大小2個の海蝕甌穴は、彌彦神社の祭神である天香山命アメノカゴヤマノミコトが越後に上陸し、村人に塩たきを授けた場所と伝えられています。海が荒れて漁に出られない冬は地域外へ出稼ぎに出る漁師が多く、酒造り職人（杜氏）や屋根葺き職人、大工等が多く輩出されました。

【雪国の生活】 内陸部は積雪が多く、降り積もる雪を克服する工夫が随所に見られます。江戸時代の絵図「雪之図」には、かんじきを履き、みのや笠を身に着け、こすきで屋根の雪掘りを行う様子や、橇（そり）に巨大な材木を載せて雪原をひく様子など、雪国ならではの生活が民具とともに描かれています。また、長い冬の生活において食料の長期保存は欠かせないもので、ダイコグラやいも穴と呼ばれる貯蔵庫を作ったり、野菜や魚介類を漬物や干物にして冬の保存食としました。雪国の住まいは、積雪の重みに耐えられるよう頑丈に造られており、特に農家では主屋と馬屋を一体とする中門造が見られます。町場では雨や雪の日でも濡れずに歩けるように雁木通りが設けられました。地下水を汲み上げ道路の雪を融かす消雪パイプは長岡市が発祥であり、昭和30年代に敷設されてから冬の道路交通は改善しました。

【地域社会と伝統行事】 長岡各地の農村や漁村では春に豊穰・豊漁を祈願し、秋には収穫に感謝する神楽や巫女翁人形操りなど、さまざまな奉納神事が行われてきました。越後の風合戦習俗は、田植えがひと段落ついた時期に行われる農民の娯楽で、一説には梅雨前の堤防の地固めや草刈りなどの管理作業を兼ねたものが毎年の行事として定着したと伝えられます。これらの伝統行事は、地域住民が一同に会して食事や歌、踊りなどの芸能をともにすることで地域の一体感を作り出す大切な催しです。また、村を訪れる盲目の旅芸人「長岡瞽女」が三味線を手に歌う瞽女唄は、人々にとって待ち遠しい娯楽の一つでした。

【自然環境との共生と保護】 信濃川水系を中心とした平野部の水田地帯では、川の水を引き込んだ用水路やため池、堰などの灌漑施設が整備され、春先には傷んだ土手の補修や草刈り、江浚いなどの普請や維持管理が行われてきました。こうして人々の営みと自然が一体となっていた越後平野の田園には、かつてトキなどの希少動物が生息しており、現在では自然環境の保護活動が行われています。

一方、山間部では林業が盛んで、杉などの針葉樹は建築用の木材として利用され、コナラなどの広葉樹が見られる里山では、薪や木炭などの燃料のほか、山菜や木の芽などの食材が採取され、これらが山に暮らす人々の収入源にもなっていました。現在では、森林の間伐によって里山を再生し、生活に必要な資源や食料がこれからも享受できるよう、里山の保全活動が行われています。

2. 信濃川水系の恵み ー水とともに生きるー

長岡市を流れる信濃川水系は、多くの恵みをもたらすとともに漁業・農業・交通・産業などのさまざまな分野で重要な役割を担ってきました。鮭・鱒・鮎などの川魚は原始古代より人々の貴重な食料源となり、豊富な水は稲作に欠かせない灌漑用水として利用されてきました。川を行き来する舟運は、商業や物流を支え、町の発展を促しました。信濃川の水は私たちの生活に欠かせないものとなっています。

【川辺の生活と鮭】 信濃川・魚野川は清流と豊富な水産資源に恵まれ、明治期まで鮭を中心とした漁労が盛んに行われました。旧石器時代の末期、信濃川・魚野川の合流地点にあたる荒屋遺跡では、銚先に装着する細石刃が多数発見され、旧石器人たちが鮭などの獲物を求めて頻繁に訪れていたと考えられます。河川沿いには、馬高・三十稲場遺跡をはじめとする縄文時代のムラが多数営まれ、水産物も食料にしていました。平安時代では、鮭は越後国の特産品として朝廷に献上する税に規定されていました。八幡林官衙遺跡では、「鮭」と記された荷札や輸送のために必要な人員や馬の数を記録した木簡が出土しています。

金峯神社の王神祭では年魚行事という祭儀が執り行われます。信濃川で獲れた鮭を神官が直接手を触れずに鉄箸と包丁で三枚に下ろし、鳥居の形に整えて神前に供えるもので、古代の文化や生活が祭儀に取り入れられている全国的にも珍しい行事です。また、川口地域では、川舟の製造技術と用具、網・築（やな場）などを用いた漁法や漁具が伝わっています。明治時代以降の近代化とともに川の水質悪化や生態系に変化が生じ、内水面の漁業や漁労文化は次第に衰退しましたが、現在も鮭の稚魚放流を通じて観光資源としての活用や郷土愛育成の役割を担っています。

【米づくりと治水】 弥生時代の遺跡で最も古い尾立遺跡は、紀元前2世紀頃（弥生時代中期）の集落跡で、渋海川沿いの段丘上に位置しています。当時の稲作は河川の氾濫によって形成された後背湿地を利用し、自然の流路に堰や溝などの簡素な灌漑施設を設けたものでした。時代とともに農具や栽培技術が進歩し、大規模な労働力の編成が可能になると、人々は広い耕地を求め沖積地へと進出します。奈良時代には国が定めた律令により稲作中心の財政基盤が整い、国家主導で水田の開発が行われました。これ以後、近世に至るまで米づくりは国の重要な財政基盤として位置づけられます。

江戸時代、豪農と呼ばれる村の庄屋・名主層は積極的に新田開発を行うとともに、米の安定的な収穫を図るため用水の確保にも力を注ぎました。正保4（1647）年、福島村肝煎の桑原久右衛門は、六日市村妙見に取水口を設け、長岡城東側を抜け猿橋川に至る約20kmの長い水路（福島江）を開削しました。3年余りの歳月と莫大な労力・資金が投じられ、47か村に及ぶ村々がその恩恵を受けました。

信濃川は米づくりに多大な恩恵を与えた一方で、度重なる洪水で人々を長年悩ませてきました。江戸時代中期、寺泊の商家の本間屋数右衛門親子らが信濃川の水を排水させる分水路（悪水抜き）建設を幕府へ請願しますが、莫大な費用と労力がかかることからその願いは聞き入れられませんでした。明治時代、中之島の大竹貫一は政府に治水の重要性を精力的に訴えかけ、ついに大河津分水建設が実現しました。大正11（1922）年、大河津分水の通水により、洪水被害は激減し、現在は信濃川の豊かな水と肥沃な土壌によって形成された新潟県有数の穀倉地帯が広がっています。

【信濃川の恵み】 越後平野では川沿いに町が形成され、付近には船から物資を荷揚げする川港が置かれました。そこでは交易のために人が集まる市が開かれ、町が発展していきました。人や物資を効率よく運ぶために信濃川は欠かせない存在でした。

近代以降、信濃川は飲料水や工業・発電用水の水源として地域の生活と産業の基盤を支えました。昭和2（1927）年、中島浄水場の配水塔が完成し、飲料水のほか製造業などの産業用水としての役割も担いました。平成2（1990）年には、刈谷田川ダムに発電所が建設されるなど、河川がもたらすさまざまな恩恵によって市民の生活が成り立っています。

3. 交通の結節点・長岡 一人と文化の交流

新潟県のほぼ中央に位置する長岡では、古代に古志郡の官衙（役所）や幹線道路の北陸道が整備され、以来、交通の結節点として重要な役割を果たしてきました。その後、海運、舟運、街道、鉄道などの交通網が発達し、人と文化の交流や地域の発展に貢献しました。

【古代】 奈良・平安時代の長岡は越後国古志郡に属し、その中心地は八幡林官衙遺跡など役所に関連した遺跡が存在する和島地域と考えられます。「大家驛」と書かれた墨書土器は、都から佐渡を結ぶ北陸道が付近を通過していたことを物語り、都の官営工房で焼かれた奈良三彩や佐渡小泊窯産の須恵器は、国を越えた広域な繋がりがあったことを示します。また、信濃川河口付近にあった城柵「湊足柵^{ぬたりのき}」との関係を示す「沼垂城」木簡や、通行手形の機能を持ち頸城の越後国府へ出頭を命じた郡符木簡は、この地が交通の要衝であったことを示しています。このほか、川岸に船着場を設けた門新遺跡から出土した漆紙文書には「船」「米」「大刀」などの文字があり、川船による輸送も行われていたことがわかります。

【中・近世】 鎌倉時代、越後と佐渡を結ぶ公式の航路は、古代と同様に寺泊から帆船で渡るものでした。佐渡へ配流となった順徳上皇、日蓮、藤原為兼は、風待ちのためしばらく寺泊に滞在しました。このため、寺泊には聚感園や初君旧歌碑など、滞在の様子や人々との交流を物語る史跡・資料が点在しています。中世になると海運が盛んになり、中国製の青磁・白磁・銭貨などの輸入品や珠洲・越前・瀬戸・美濃といった国産陶器など、日常生活用品が海路で京都や各地の港へ集められ、陸路で地方へと流通しました。

江戸時代、寺泊は北前船の寄港地となり、大坂や江戸、さらには北海道からの廻船が来航し、各地の産物を売買して賑わっていたことが御用留等に記されています。白山媛神社には北前船の船主や船頭が航海の安全を祈願した船絵馬が奉納されています。また、交易を通じて日本各地との文化交流が盛んになりました。京都の庭師が大和の石材で築いた聖徳寺庭園や、熊本のハイヤ節が起源とされる寺泊おけさ、出雲節が起源とされる寺泊船方節などは、いずれも北前船によってもたらされた文化です。

中・近世を通じて、越後平野を縦断する信濃川では舟運が盛んに行われました。特に、蔵王堂は米倉や川船の停泊施設が整い、川港として重要な位置を占めました。慶長年間（1596～1614）に長岡町の開発が進められ、元和2（1616）年には堀直奇のもとで川港が蔵王堂から長岡に移されました。年貢米などの物資は各地で集積された後、信濃川を下って新潟湊へ運ばれ、新潟港からは蝦夷地（北海道）の昆布や身欠きにしんなど、日本各地の多様な物資が上流の長岡や魚沼地方へと運び上げられました。長岡町では貨物の積み替えの義務があり、河渡はこれに従事する人々や商人で賑わいました。

街道が幹線道路として確立するのは、17世紀初めに江戸幕府が宿駅を整備してからのことです。長岡藩は参勤交代の際、江戸までの往復に三国街道を利用し、将軍家へ初物の鮭を献上する際も通行しました。川口や摂田屋は三国街道沿いの宿場町として賑わい、佐渡へ渡る幕府役人の往来や物資輸送の幹線として重視されました。また、寺泊は街道の宿場町としても利用され、松尾芭蕉、十辺舎一九をはじめ、良寛と親交をもつ亀田鵬斎や大村光枝など著名な文人墨客が訪れました。

【近代】 明治時代になると、川蒸気と呼ばれる蒸気船が長岡・新潟間を往来し、多くの旅客や物資の輸送が可能となりました。やがて蒸気船に代わり陸蒸気と呼ばれる鉄道が各地に整備され、明治31（1898）年、直江津・長岡・新潟間を結ぶ北越鉄道（現 JR 信越本線）が全通し、長岡からは東山油田の石油や米穀などが市場へと運ばれました。明治43（1910）年、国有鉄道を補完する地方鉄道開設を推進する軽便鉄道法が公布されました。これを受け、長岡では魚沼鉄道、越後鉄道（現 JR 越後線）、栃尾鉄道、長岡鉄道などが明治時代末期から大正時代に開通しました。この頃、和島地域の名望家、久須美秀三郎は、政財界との繋がりをもちながら鉄道事業に深く関わり、北越鉄道株式会社の専務取締役を務めた後、息子の東馬らとともに越後鉄道を創設するなど、地域経済発展のために尽力しました。

4. 城下町の形成と発展 ―政治・商業・教育の中心地へ―

長岡では南北朝の動乱を経て、室町時代から安土・桃山時代にかけて越後守護上杉氏及び守護代長尾氏とその家臣団による支配が確立し、各地に山城や居館が形成されていきました。江戸時代には幕府直轄地を除き諸大名が領地を治め、長岡藩や与板藩では領内の整備や人材教育に力を入れ、信濃川の水運を活用し商業を発展させました。

【戦乱期における上杉氏・直江氏ゆかりの地】 南北朝時代、信濃川中流に位置する蔵王堂は越後の霊場として多くの信仰を集め、人々が行き交う川港として栄えました。また、水陸両方の重要な交通拠点でもあるため、度々戦乱の舞台となり、北朝方の三浦和田氏らは蔵王堂に本陣を構え、この周辺で激しい戦いを繰り広げました。室町時代には越後守護の上杉氏が古志郡の支配を確立していくなか、守護代長尾氏の一族である古志長尾氏が蔵王堂に入り政治的な拠点としました。

戦国時代、栃尾地域では長尾景虎（後の上杉謙信）が栃尾城に入城し青年期を過ごしました。栃尾城は栃尾の市街地を一望できる鶴城山に築かれた戦国時代の典型的な山城で、「謙信の旗揚げの地」として知られます。謙信は後に室町幕府の重職である関東管領を拝命し、有力な戦国大名としてその名を馳せました。近江出身で謙信側近の河田長親は、古志長尾氏の名跡と家臣団を継承し、関東や北陸方面へ転戦しました。

与板地域では、上杉氏の重臣直江氏が本与板城から与板城へと拠点を移したといわれます。直江家の家督を継ぎ与板城主となった直江兼続はのちに上杉景勝の執政となり、与板衆と呼ばれる直属の家臣団を擁し、新田開発や鍛冶産業の振興、道路の整備など領内の整備に力を注ぎました。

【近世城下町の形成】 慶長3（1598）年、豊臣秀吉は上杉景勝に越後から会津へ移るよう国替えを命じ、およそ5千人の家臣団や寺社などがこれに付き従いました。江戸幕府成立後、元和2（1616）年に長岡へ移封された堀直奇によって長岡城の築城が始まり、川港が蔵王堂から長岡に移されました。元和4（1618）年に牧野忠成が長岡に入ると、築城を継承し完成させました。信濃川と栖吉川を取り込んで自然の外郭とし、幾重にも堀をめぐらした内郭（本丸・二の丸・三の丸）を配置し、周囲には家臣団が住まう武家屋敷が置かれ、商人や職人が軒を連ねる町家も拡大していきました。また、信濃川で結ばれた新潟町は堀氏の統治から続く長岡藩領で、越後屈指の港町として発展をとげ、藩の財政を潤しました。

慶応4（1868）年の北越戊辰戦争により長岡城は城下とともに焼失し、明治31（1898）年以降、本丸跡地は北越鉄道停車場（現長岡駅）となり、堀は埋め立てられました。現在、長岡駅周辺は長岡城跡として把握され、これまでの発掘調査によって堀跡や井戸跡、陶磁器類や漆器、荷札などの遺構・遺物が発見され、城下町の様子を今に伝えています。かつて本丸の一画に鎮座していた蒼柴明神は、三代藩主・忠辰を主祭神に建立、九代藩主・忠精の時に「お山」の愛称で親しまれる桜の名所、悠久山に蒼柴神社として遷座しました。その後戦渦や地震に見舞われながらも焼失を免れ、当時の姿を今に残しています。

与板藩は牧野氏、後に井伊氏が藩主となりました。三国街道の宿場町と信濃川舟運の拠点でもあるため、多くの物資が運び込まれ経済的に発展し、大坂屋（三輪家）などの豪商が生まれました。現在も陣屋の城門や鍵型に曲がる道路、妻入りの街なみなどが残り、近世城下町の面影を感じることができます。

【受け継がれる人材教育】 城下町の整備とともに藩主は自ら文武両道に励み、藩士や町民にもこれを奨励しました。長岡藩では「崇徳館」、与板藩では「正徳館」といった藩校が藩独自の教育理念のもとに設立され、将来の藩政を担う人材を育成しました。

崇徳館は河井継之助や小林虎三郎、三島億二郎など多彩な人材を輩出しました。北越戊辰戦争からの復興をめざす三島は国漢学校の拡充や長岡洋学校の設立に尽力し、幅広い分野の人材教育に力を入れました。人材育成の理念は、現在も長岡の学校教育に受け継がれています。

5. 長岡のものづくりと産業 ー手工業から近代産業へー

長岡では、醸造業や繊維・金工・製紙・木竹工などの手工業が地域特有の環境の中で育まれ、現在は長い年月を経て地域の伝統産業として受け継がれています。また、明治時代には東山油田を中心とした石油採掘をきっかけに機械加工や製油業など近代産業が興りました。以後、長岡は製紙業、金属加工など工業を中心とした「ものづくり」の町として発展していきます。

【地域に根付く醸造業】 全国有数の米どころ長岡では、豪雪から生まれる豊富な湧き水や、寒冷な気候により、古くから各地で酒づくりが行われてきました。特に長岡地域の摂田屋では、戦国時代創業の酒蔵をはじめ味噌、醤油の6つの醸造元が点在します。そこでは醸造蔵や事務所、創業家の住宅など歴史的建造物が残り、町並みを形成しています。醸造業と町の発展が密接に関わっていることを伝えています。

【地域が育んだ手工業】 長岡では地域特有の風土や歴史を背景に、織物や打刃物、和紙、曲物、仏壇などの手工業が盛んになりました。技術の進歩とともに、ものづくりは職人によって長年受け継がれ、現在では伝統産業として地域の歴史文化を伝える役割も担っています。

繊維 栃尾地域は古くから養蚕が盛んで、江戸時代中期に長岡藩が織物生産を奨励したことから、栃尾紬が地域産業として発展しました。縁起物や贈り物として作られた栃尾てまりは、絹織物の残り糸を利用して作られたのが始まりとされています。近代に入ると織機の機械化や戦後の化学合成繊維織物の生産により、栃尾地域の繊維産業は発展を続け、昭和前期には全国有数の繊維産地となりました。

金工 与板地域の越後与板打刃物は、戦国時代に上杉謙信の家臣直江氏が刀鍛冶職人を招いて作ったのが起源といわれます。江戸時代中期には与板の大工道具は土肥鑿・兵部鑿として知られ、明治時代には鉋の製造も始まり、与板は大工道具の生産地としての名声を高めました。三島地域の脇野町鋸は、天保13（1842）年に会津若松で修業した中屋庄兵衛が帰郷して鋸鍛冶を開業したことが始まりです。庄兵衛は4人の弟子を残し、現代に至るまで長岡や柏崎周辺の鋸鍛冶はほぼ彼らの門下に属し、これに属する同業者は県内のほか北海道や関東など各方面に広がり、その数500名を越えていると言われています。

製紙 小国和紙は純楮の手漉和紙で、農閑期の冬に製造されます。漉き上げた紙は、紙床に重ねて雪の中に埋められ、雪の重みで自然と水分が吸収されます。雪の中で守られた清浄な紙は、春になると雪上で天日干しされ、柔らかな白さと光沢をたたえた製品に仕上がります。

木竹工 江戸時代、寺泊地域の山田は宿駅を兼ねた農漁村で、副収入源として曲物作りが行われました。江戸時代後期には曲物作りの職人仲間がいたことが当時の記録から知られ、現在でも篩・蒸籠・裏漉といった曲物の製造・販売が行われています。彫刻技術や三ツ屋根式宮殿などを特徴とする長岡仏壇は、19世紀前半には地場産業として発展を遂げました。寺社の建立に集まった仏師や彫刻師、塗師などの宮大工が、冬の内職として仏壇を製作したのが始まりで、やがて越後漆器の技術的な影響を受けながら専業として確立しました。

【近代化を支えた製油・工業】 新潟県内では古くから「くそうず」と呼ばれる燃える水（石油）が湧くことが知られていました。東山では明治初期から石油の採掘がはじまり、中期には石油会社によって競って開発が行われました。石油掘削機械や採油ポンプなど輸入に頼っていた部品を製造する鉄工所が次々と生まれ、長岡の町は活況を呈しました。また、技術者育成にも力を入れ、明治時代後期には新潟県立工業学校が村松から長岡へ移転、開校し、大正時代には長岡高等工業学校が設立されました。

【世界に誇る養鯉業】 山古志地域は錦鯉発祥の地で、江戸時代後期に棚池で育てていた食用鯉の中から突然変異で色のついた鯉が偶然発見され、改良を重ねた結果、色鮮やかな錦鯉が生まれました。雪解け水を活用した棚池での飼育が特徴で、環境を活かした伝統的な飼育方法と最新の技術を取り入れて育った錦鯉は、多くの人々を魅了しています。近年は海外にも輸出され、地域の重要産業となっています。

6. 不撓不屈の不死鳥・長岡 一戦災・災害からの復興一

長岡は北越戊辰戦争、長岡空襲、7.13 水害、新潟県中越地震、中越沖地震など度重なる戦災や災害で甚大な被害を受けましたが、その度に不撓不屈の努力で復興を遂げました。夏の長岡まつりでは、長岡空襲の慰霊、そして中越地震からの復興の象徴として「復興祈願花火フェニックス」の花火を打ち上げます。そこには、不死鳥のように困難から立ち上がる長岡市民の平和への祈りが込められています。

【北越戊辰戦争と米百俵の故事】 慶応 4（1868）年 1 月、鳥羽・伏見において旧幕府軍と新政府軍との間で戦闘が始まると、長岡藩の軍事総督・河井継之助は江戸藩邸にある家財道具などを外国人に売却し、その代金で数百挺の新式銃や速射砲、弾薬を購入し、武装中立を目指しました。同年 5 月、新政府軍が小千谷に迫ると河井は交渉を試みますが決裂し、長岡藩は奥羽越列藩同盟に加わり約 3 か月にわたる戦闘が始まりました。市内では寺泊沖海戦や長岡城をめぐる攻防戦などがあり、周辺の村にもその戦火は広がりました。同年 7 月末、一度奪還した長岡城は再び落城し、長岡藩は会津藩領への撤退を余儀なくされ、戦いで負傷した河井は撤退の途中、命を落としました。8 月中旬には越後全域が新政府軍の支配下に入り、北越戊辰戦争は終結しました。この戦いにより長岡城を含む城下の建物が焼失しました。

戦後、長岡藩の財政が窮乏する中、支藩の三根山藩（現新潟市西蒲区峰岡）から米百俵が贈られました。大参事・小林虎三郎はこれを藩士へ分配せずに売却し、その代金を国漢学校の資金に充てました。この行動は、人材育成の重要性を説いた「米百俵の精神」として長岡に深く根づいています。また、長岡藩大参事・三島億二郎は、養蚕や機織りなどの繊維産業を興して藩士の再就職を支援し、銀行・病院・学校など市民生活にも欠かせない施設を整備して、長岡の復興を進めました。

【長岡空襲と長岡花火】 太平洋戦争下の昭和 20（1945）年 7 月 20 日、米軍の B29 爆撃機が信濃川右岸の左近地内に 1 発の爆弾を投下し、4 人が命を落としました。この爆弾投下は、新潟市への原子爆弾投下訓練であったことが判明しています。また、8 月 1 日には午後 10 時 30 分から 1 時間 40 分にわたり、長岡市街地に焼夷弾が投下されました。この空襲により市街地の約 8 割が焼失、11,986 戸が罹災し、これまでに判明している犠牲者数は 1,489 人に上ります。長岡市街は一夜にして焼失しました。

終戦を迎え、空襲から 1 年となる昭和 21（1946）年 8 月 1 日、市民は長岡空襲犠牲者の慰霊と復興を願って長岡復興祭を開催しました。明治 12（1879）年に始まり、戦時中に中断していた花火大会も昭和 22（1947）年に復活しました。その後、長岡復興祭は「長岡まつり」に改称され、現在に至ります。長岡花火に込められた「慰霊」「復興」「平和への祈り」の思いは、今も変わらずに受け継がれています。空襲の被災地には石碑や慰霊塔などが建てられるとともに、長岡空襲に関する資料が戦災資料館などに収蔵され、戦争の惨禍を記録・保存し後世に伝えています。

【水害の教訓】 新潟県では平成 16（2004）年 7 月 13 日を中心に、総雨量 400mm を超す記録的な雨が降り、中之島地域では刈谷田川の堤防が決壊し、甚大な浸水被害が発生しました。この 7.13 水害の教訓は、市民生活の復興に向けて、住民の協力と防災対策の重要性を再認識させました。近年では気候変動に伴う豪雨災害が頻発しており、過去の水害から学び、災害に備える取組が続けられています。

【地震の記憶と記録】 平成 16（2004）年 10 月 23 日 17 時 56 分、北魚沼郡川口町（現長岡市川口地域）を震央とするマグニチュード 6.8、最大震度 7 の巨大な地震が発生しました。平成 19（2007）年 7 月 16 日 10 時 13 分には、新潟県中越地方沖を震源とするマグニチュード 6.8 の地震（新潟県中越沖地震）が発生し、小国地域では最大震度 6 強を記録しました。いずれの地震も甚大な被害をもたらし、社会生活に多大な影響を与えました。現在、「中越メモリアル回廊」として、地震の記憶と記録を伝える施設と公園が整備され、防災意識向上のための研修プログラムや防災・減災情報を発信し続けています。

第4章 文化財に関する既往の把握調査

1 文化財の把握調査の概要

1-1 把握調査の進捗状況

把握調査の進捗状況を「表 4-1」に整理しました。把握調査の進捗状況を概観すると、建造物、無形文化財、民俗文化財、遺跡、名勝地については、主要なものの把握は進んだものと考えられます。とりわけ、遺跡については文化財保護法に基づく埋蔵文化財包蔵地の把握や周知化が行われ、継続的に遺跡台帳や遺跡地図の整備が進められています。ただし、無形文化財については、過去の技術者は散見されましたが、現在は伝承が途絶えているものも少なくないと考えられます。

一方で、動物・植物・地質鉱物、文化的景観については、一部の把握に留まっています。

また、美術工芸品では考古資料を除く絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、歴史資料において調査が全体的に不足しています。

さらに、文化的景観、伝統的建造物群や昔話等のその他の文化財については、現状で体系的・総合的な調査が行われていません。

1-2 今後の把握調査の方向性

本計画の作成期間においては、国・県が主体の調査報告書の確認を実施しましたが、本計画期間においては、自治体史・旧市町による文化財調査などの文献を補完し、把握を進める必要があります。

一方、全体的な傾向として、既往調査の報告書等は昭和 50 年代に刊行されたものもあり、掲載された文化財について、その後の追跡調査が行われていません。そのため、報告書の刊行から現在に至るまでに、文化財の滅失やき損、改変や変容、継承の断絶が発生した可能性があります。このため、文化財の定期的な現状確認が必要です。

加えて、近代以降に関するものは全体的に把握が進んでいないため、文化財の把握調査と評価づけが求められます。

また、既往調査において把握・認識されていない文化財や、既往調査時に報告書への掲載が見送られたものの中には時代の経過とともに文化財としての価値が生じているものが潜在する可能性も考えられ、これらを掘り起こしていくことも必要です。

表 4-1 文化財の把握調査の進捗状況

凡例 ○：調査成果あり、×：該当なし、△：調査不足、未：未調査（又は未確認）
 ※時代の区分ができない文化財は、枠を一括りで表しています。

令和8（2026）年3月現在

類型	種別		原始	古代	中世	近世	近代	現代	備考（把握調査の進捗状況）
有形文化財	建造物		×			○	○	△	近世・近代の建造物は把握調査が進んでいるが、現状把握が不足している。戦後の建造物は一部の把握に留まっている。
	美術工芸品	絵画	×		未	未	未	未	把握調査を実施していない。
		彫刻	×	未	未	未	未	未	把握調査を実施していない。
		工芸品	×		未	△	△	未	金工品の把握調査が進んでいるが、そのほかの工芸品について把握調査が不足している。
		書跡・典籍	×		△	△	未	未	中世・近世は把握調査を実施しているが、近代以降は調査を実施していない。
		古文書	×		△	△	△	×	把握調査が進んでいるが、個人所有の古文書は把握調査が不足している。
		考古資料	○	○	○	○	×		発掘調査の実施により、考古資料の把握調査が進んでいる。
		歴史資料	×		未	△	△	×	近世・近代は把握調査を実施しているが、その他の歴史資料の把握が不足している。
無形文化財		×				○		諸職に関する把握調査が実施されたが、その後の伝承状況の把握が不足している。	
民俗文化財	有形の民俗文化財		×			○	○	未	把握調査が進んでおり、祭礼具や生業に必要な用具類などが確認されている。
	無形の民俗文化財		○					神楽、人形操り、舞踊、民謡などの民俗芸能、生業に関わる信仰・儀礼・年中行事や食文化などの風俗慣習が確認された。	
記念物	遺跡		○	○	○	○	○	×	把握調査が進んでおり、近世の街道沿いを中心に本陣跡、番所、茶屋跡、船着場跡、石造物群などが確認されている。
	名勝地		○					把握調査が進んでおり、複数の庭園が確認されている。	
	動物・植物・地質鉱物		△					植物の調査成果は多いが、調査時以降の状況が把握されていない。動物・地質鉱物には把握調査の余地がある。	
文化的景観			×		△			該当するものは把握されているが、総合的な把握調査に至っていない。	
伝統的建造物群			×			△			伝統的建造物が集まる地域は確認できるが、集落・町並みとしての把握調査は行われていない。
その他の文化財			△					昔話等は一部の地域で把握されているが、把握調査が不足している。	

第5章 文化財の保存・活用に関する将来像

●上位計画との整合性

最上位計画である「長岡市総合計画」では、長岡市が目指す「まちの将来像」（第2章第4節）とともに6つの「基本目標」（第2章第5節）が示され、その中の1つに以下の目標が示されています。

まちの将来像

「変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～」

基本目標

「にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち」

火焰土器、国漢学校、長岡花火といった文化財や教育・観光資源、地場産品、暮らしの知恵は、先人の英知と努力によって創造されました。これら地域の魅力を市民の誇りとして未来に継承するとともに、今を生きる長岡人の魅力と合わせて広く発信していきます。

以上の上位計画における目標を踏まえ、文化財の保存・活用を図るための将来像を次のとおり設定しました。

地域計画の将来像

ふるさとの歴史文化を守り、伝え、愛着と誇りをもてる長岡
～誰もがまちの魅力発信者へ～

この将来像の設定には、長岡の歴史文化が市民の暮らしとどのように関わってくるのかを重視しました。具体的には、以下の基本的な方向性を実践していきます。

方向性1	方向性2	方向性3	方向性4	方向性5
知る	守る	伝える	活かす	育てる
長岡の歴史文化を知るため、文化財の調査・研究活動を継続的に行います	長岡の魅力あふれる歴史文化を守るため、文化財の維持管理・保存・保全・防災・防犯対策を適切に行います	長岡の歴史文化に関する情報や魅力を伝えるため、文化財の調査成果等の公開や多様なイベントを開催します	長岡の歴史文化を活かすため、文化財や文化財展示施設を活用した様々な取組を行います	長岡の歴史文化を次世代へと継承するため、文化財保護活動に関わる人材の育成とネットワークを構築します

この5つの方向性を実践することで、市民一人ひとりがふるさとの歴史文化の魅力や価値を認識し、愛着と誇りをもって暮らし、互いに支え合いながら文化財を継承していける長岡を目指します。

●全体構成

本計画における文化財の保存・活用に関する課題・方針の全体構成を以下に示します。



第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針

1 文化財の保存・活用に関する課題

前章に示した将来像・方向性の実行に向けて、長岡市の文化財の保存・活用に関する課題を整理します。

1-1 調査・研究の課題

方向性1の実行に向けて、以下に記す調査・研究に関する課題を整理しました。

長岡の歴史文化を知るためには、文化財の把握調査と詳細調査、地域の調査研究活動が必要です。

方向性1 長岡の歴史文化を知るため、文化財の調査・研究活動を継続的に行います	
調査・研究の課題	課題1 文化財の把握調査と詳細調査が不十分である
	1-1 未指定文化財（美術工芸品等）の把握が不十分である
	1-2 過去に把握した未指定文化財の詳細な内容把握・評価付けが行われていない
	1-3 収蔵資料の整理・目録化を進める必要がある
	課題2 地域（地区・集落）の調査・研究活動が停滞している
	2-1 地域（地区・集落）の調査・研究活動が不十分である
	2-2 地域（地区・集落）で調査・研究活動を行う人材が不足している
	2-3 地域（地区・集落）に関する調査・研究の詳細な記録が作成されていない

1-2 保存・管理の課題

方向性2の実行に向けて、以下に記す保存・管理に関する課題を整理しました。

長岡の魅力あふれる歴史文化を守るためには、文化財の適切な維持管理と景観の保全が必要であるとともに、次世代に保存・継承する取組や防災・防犯対策が不足しています。

方向性2 長岡の魅力あふれる歴史文化を守るため、文化財の維持管理・保存・保全・防災・防犯対策を適切に行います	
保存・管理の課題	課題3 文化財の適切な維持管理が必要である
	3-1 指定文化財（植物）の健全な生育に向けた管理が必要
	3-2 指定等文化財の適切な管理方法が所有者に周知されていない
	3-3 文化財の定期的な巡回・監視が必要
	課題4 文化財を次世代に保存していく取組が不足している
	4-1 破損した指定等文化財の修理を支援することが必要
	4-2 行政が所有する未指定文化財建造物・庭園について、老朽化等により抜本的な保護が困難となっている
	4-3 無形の民俗文化財の活動支援が不足している
	課題5 文化財とその周辺環境を含む景観の保全が必要である
	5-1 文化財をとりまく周辺環境の保全意識が希薄
	5-2 農村や棚田の景観を保全する必要がある
	課題6 文化財の防災・防犯対策が不十分である
	6-1 文化財が固有に持つ災害リスクを把握する必要がある
	6-2 文化財が災害・盗難等による被害を受けた際の対応・行動指針が十分に整っていない
	6-3 災害時に文化財の被害状況の把握と、遺棄・滅失を防ぐ必要がある
	6-4 文化財が災害による被害を受けた際の対応・行動が十分に訓練されていない

1-3 情報発信の課題

方向性3の実行に向けて、以下に記す情報発信に関する課題を整理しました。

長岡の歴史文化に関する情報や魅力を伝えるためには、多様な媒体やデジタル技術の活用が必要であるとともに、その魅力に気軽に触れる機会が不足しています。

方向性3 長岡の歴史文化に関する情報や魅力を伝えるため、文化財の調査成果等の公開や多様なイベントを開催します	
情報発信の課題	課題7 文化財の調査・修理の内容を後世に伝える必要がある
	7-1 開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行う必要がある
	7-2 無形の民俗文化財を調査し、記録に残す必要がある
	7-3 文化財修理の内容を記録しておく必要がある
	課題8 歴史文化の魅力を継続して発信することが必要である
	8-1 文化財情報を市民に広く発信する必要がある
	8-2 文化財の調査成果が市民へ十分に伝わっていない
	8-3 長岡の歴史文化に関する研究成果を公開する必要がある
	8-4 文化財関連事業と地域振興事業との連携が不足している
	課題9 歴史文化の魅力発信にデジタル技術の活用が必要である
	9-1 歴史文化の特性が市民へ十分に伝わっていない
	9-2 文化財関連事業が市民へ十分に伝わっていない
	9-3 文化財の体系的な検索・閲覧機能が必要
	9-4 文化財をより深く理解するための機会が少ない
	9-5 文化財の魅力・価値が市民に浸透していない
	課題10 歴史文化の魅力に気軽に触れる機会が不足している
	10-1 子どもや来訪者が歴史文化の魅力を体験できる機会が少ない
	10-2 歴史文化に触れる機会が文化財展示施設等に限定されている

1-4 観光・地域振興の課題

方向性4の実行に向けて、以下に記す観光・地域振興に関する課題を整理しました。

長岡の歴史文化を活かすためには、文化財展示施設の活用や文化財を活かしたまちづくり、観光振興との更なる連携が必要です。

方向性4 長岡の歴史文化を活かすため、文化財や文化財展示施設を活用した様々な取組を行います	
観光・地域振興の課題	課題11 各地域における文化財展示施設の企画連携が不十分である
	11-1 市民が様々な文化財、非公開の文化財にふれる機会が少ない
	11-2 文化財展示施設における、多言語対応や障がいのある方に向けた整備が不十分である
	11-3 各地域の文化財展示施設の企画連携が十分に図られていない
	11-4 各地域の文化財展示施設に関する個々の役割と連携が十分に整理できていない
	課題12 文化財を活かしたまちづくりの取組が必要である
	12-1 文化財（建造物・遺跡）の活用が十分に行われていない
	12-2 図書館機能移転に伴う、旧互尊文庫（建造物）の活用が必要
	12-3 旧互尊文庫に移転整備される戦災資料館の効果的な運営が必要
	12-4 旧機那サフラン酒製造本舗の修復・整備の推進が必要
	課題13 文化財と観光振興の更なる連携が必要である
	13-1 歴史文化の魅力とストーリーを観光客に伝える手段が不足している
	13-2 見学や観光に必要な環境整備が十分に行き届いていない
	13-3 文化財保護事業と観光振興事業との連携が不足している
	13-4 地域の伝統産業の魅力が十分に伝わっていない
	13-5 長岡市内の観光を案内できる人材が高齢化等で不足している

1-5 人材育成の課題

方向性5の実行に向けて、以下に記す人材育成に関する課題を整理しました。

長岡の歴史文化を次世代へと継承するためには、文化財保護活動に関わる体制や人材が必要であるとともに、学校教育との連携や文化財を広域で活用する取組が不足しています。

方向性5 長岡の歴史文化を次世代へと継承するため、文化財保護活動に関わる人材の育成とネットワークを構築します	
人材育成の課題	課題14 文化財保護活動を支える体制が十分に整っていない
	14-1 市専門職員の人材育成が必要
	14-2 文化財の適切な修復・整備方法について、所有者が専門的知識を有していない
	14-3 指定等文化財の所有者の間で、文化財保護に関する情報が共有されていない
	課題15 文化財保護活動に関わる人材が少ない
	15-1 所有者・管理者が文化財の維持管理の人材確保に苦慮している
	課題16 文化財保護と学校教育の連携が不足している
	16-1 文化財に関する教育機会の提供が必要
	16-2 文化財の保護活動について、市内高等教育機関等との連携が不十分
	課題17 文化財を広域で活用する取組が不足している
	17-1 文化財を広域で活用する取組が不足している
	17-2 日本遺産のさらなる活用が必要

2 文化財の保存・活用に関する方針

前項で示した、長岡市の文化財の保存・活用に関する課題を解決するための方針を整理します。

2-1 調査・研究の方針

方向性1の実行に向けて、以下に記す調査・研究に関する方針を整理しました。

長岡の歴史文化を知るために、文化財の把握調査と詳細調査、基礎整理を推進するとともに、地域の調査研究活動を促進します。

方向性1 長岡の歴史文化を知るため、文化財の調査・研究活動を継続的に行います	
調査・研究の方針	方針1 文化財の把握調査・詳細調査・基礎整理等を推進する
	1-1 不足している未指定文化財（美術工芸品等）の把握調査を推進する
	1-2 未指定文化財の詳細調査を行い、価値評価を明確にする
	1-3 収蔵資料の基礎整理を進める
	方針2 市民による地域（地区・集落）の調査・研究を促進する
	2-1 地域（地区・集落）の住民による調査・研究活動を促進する
	2-2 外部から調査・研究者を招き入れる
	2-3 地域（地区・集落）の住民による調査・研究成果を記録する

2-2 保存・管理の方針

方向性2の実行に向けて、以下に記す保存・管理に関する方針を整理しました。

長岡の魅力あふれる歴史文化を守るために、文化財所有者の支援・補助、文化財周辺の景観保全や文化財の防災・防犯対策を推進します。

方向性2 長岡の魅力あふれる歴史文化を守るため、文化財の維持管理・保存・保全・防災・防犯対策を適切に行います	
保存・管理の方針	方針3 文化財の適切な維持管理のため、所有者を支援する
	3-1 指定文化財（植物）の現状確認を行い、必要な管理措置を施す
	3-2 所有者と行政で指定等文化財の適切な管理方法について情報共有を図る
	3-3 文化財を定期的に巡回・監視し、異常や緊急的な保護の必要性を早期に発見する
	方針4 文化財保存の方針を定め、現状に即しながら、次世代に向けた保存の取組を推進する
	4-1 破損した指定等文化財の修理について、法令に則して補助金を交付する
	4-2 行政が所有する未指定文化財建造物・庭園について、効果的な保護手段を見極める
	4-3 各種補助制度を利用し、無形の民俗文化財の様々な活動を支援する
	方針5 景観行政と連携した取組を進め、文化財とその周辺環境を含む景観を保全する
	5-1 文化財の周辺環境にも一体的な価値を見出し、歴史的景観の保全に努める
	5-2 農村や棚田の景観保全や生産活動の継続、集落機能を維持する体制づくりを支援する
	方針6 文化財の防災・防犯対策を推進する
	6-1 文化財が固有に持つ災害リスクを整理する
	6-2 発災時の行動指針や連絡体制を整理し、関係者に周知・共有を図る
	6-3 災害時に文化財の被害状況の把握と、遺棄・滅失を防ぐ体制を整備する
	6-4 災害が発生した際の行政、所有者・管理者、市民等の連携を訓練する

2-3 情報発信の方針

方向性3の実行に向けて、以下に記す情報発信に関する方針を整理しました。

長岡の歴史文化に関する情報や魅力を伝えるために、多様な媒体やデジタル技術を活用し、その魅力を広く周知するとともに気軽に触れる機会を増やします。

方向性3 長岡の歴史文化に関する情報や魅力を伝えるため、文化財の調査成果等の公開や多様なイベントを開催します	
情報発信の方針	方針7 文化財の調査・修理記録を報告書として作成・公開する
	7-1 開発に伴う発掘調査を行い、発掘調査成果を記録保存する
	7-2 無形の民俗文化財を調査し、記録を作成する
	7-3 文化財の修理の方法・内容を整理した報告書を作成する
	方針8 歴史文化の魅力を継続して広く周知する
	8-1 市政だよりで文化財情報を市民に広く発信する
	8-2 文化財の調査成果を市民にわかりやすく伝える
	8-3 長岡の歴史文化に関する研究成果を定期的に刊行する
	8-4 文化財関連事業と地域振興事業との連携を図る
	方針9 デジタル技術の活用によって歴史文化の魅力をより多く、広く発信する
	9-1 歴史文化の特性を市民に広く周知する
	9-2 文化財関連事業を市民に広く周知する
	9-3 文化財のデジタルアーカイブ化を図る
	9-4 文化財に関する講座・講演の機会を増やす
	9-5 研究者とともに市民が文化財の研究活動に参加できる機会を設ける
	方針10 体感・体験するイベント等を通して、歴史文化の魅力を発信する
	10-1 子どもや来訪者が参加できる体験型イベント、公演会等発表の機会を増やす
	10-2 歴史文化に気軽に触れるための機会を多様化させる

2-4 観光・地域振興の方針

方向性4の実行に向けて、以下に記す観光・地域振興に関する方針を整理しました。

長岡の歴史文化を活かすために、文化財展示施設の活用や文化財を活用したまちづくり、観光振興との事業連携を強化します。

方向性4 長岡の歴史文化を活かすため、文化財や文化財展示施設を活用した様々な取組を行います	
観光・地域振興の方針	方針11 各地域の文化財展示施設の活用と企画連携を強化する
	11-1 市民が様々な文化財、非公開の文化財にふれ、歴史文化への理解を深める機会を増やす
	11-2 外国人や障がい者がストレスなく歴史文化に触れられる文化財展示設備を整える
	11-3 各地域の文化財展示施設の企画連携を強化し、相乗的な来館者数の増加を図る
	11-4 各施設に文化財の情報発信拠点を位置づけ、各施設の連携を強化する
	方針12 文化財を積極的に活用し、まちづくりのコンテンツとして強化する
	12-1 文化財（建造物・遺跡）に人が集まるよう積極的に活用を図る
	12-2 旧互尊文庫を戦災資料館として活用する
	12-3 戦災資料の活用や資料館の効果的な運営方法を検討する
	12-4 旧機那サフラン酒製造本舗の修復・整備を進め、常時来訪者が見学できる範囲を広げる
	方針13 文化財と観光振興の事業連携を強化する
	13-1 観光客が歴史文化の魅力とストーリーを理解するための媒体を用意する
	13-2 文化財の見学や観光に必要な環境整備を実施し、利便性の向上を図る
	13-3 文化財に関連した新たな観光商品を創出し、文化財保護を誘客・消費につなげる
	13-4 普及活動を通じて、伝統産業の魅力を向上させる
	13-5 行政と民間の協力により、観光ボランティアガイドの育成に取り組み、観光振興により文化財の魅力向上・磨き上げを図る

2-5 人材育成の方針

方向性5の実行に向けて、以下に記す人材育成に関する方針を整理しました。

長岡の歴史文化を次世代へと継承するために、文化財保護活動に関わる体制の整備や人材の育成を行うとともに、市民参加の保護活動、学校教育や他市町村との連携を図ります。

方向性5 長岡の歴史文化を次世代へと継承するため、文化財保護活動に関わる人材の育成とネットワークを構築します	
人材育成の方針	方針14 地域全体で文化財保護活動を支える人材の育成を図る
	14-1 分野・世代を考慮した市専門職員の人材育成を図る
	14-2 文化財の適正な修復・整備に関する指導・助言を行う体制を整え、所有者を支援する
	14-3 指定等文化財の所有者の交流を促進する
	方針15 市民が文化財保護に関わる機会を設け、興味関心を高める
	15-1 市民が文化財の維持管理に関わることで、文化財への理解と交流を深める
	方針16 文化財保護と学校教育の連携を図り、地域への愛着と誇りを醸成する
	16-1 文化財の理解を深める教育プログラムを作成・実施する
	16-2 高等教育機関等との連携を強化し、文化財保護活動への学生の参加・協力を促す
	方針17 共通のテーマ・ストーリーにより、関連市町村と文化財活用の連携を図る
	17-1 他市町村と、共通のテーマ・ストーリーによる文化財の活用の取組を協議する
	17-2 日本遺産に登録された構成文化財の活用を推進する

第7章 文化財の保存・活用に関する事業

第6章で定めた文化財の保存・活用に関する方針に対する具体的な事業を整理し、長岡市の文化財の保存・活用に関するアクションプランとします。

担当課

各事業を推進する長岡市の担当課を記しました。

取組主体

各事業に取り組む主体は「市民」、「団体」、「専門家」、「行政」の4つに区分して示します。各区分の対象者・組織・団体等は第9章（表9-1）に記載しました。

計画期間

事業の計画期間を「前期（計画作成後1～3年）」、「中期（計画作成後4～6年）」、「後期（計画作成後7～10年）」に区分し、事業の展開を検討しました。

なお、年限を定めていない事業は、次期計画へ継続するものとししました。

前期	令和8（2026）～令和10（2028）年度
中期	令和11（2029）～令和13（2031）年度
後期	令和14（2032）～令和17（2035）年度

財源

調査・研究に関わる事業実施の財源については市費の利用を中心とし、国・県の補助金（文化財補助金等）、及び国の新しい地方経済・生活環境創生交付金等の利用を検討していきます。

文化財の保存・継承には原則として所有者の負担金が必要であり、これが高額となって保存への支障をきたす場合などがあれば、行政からの支援・補助や民間からの支援金・助成金の利用など、様々な財源調達の方法を検討します。

1-1 調査・研究の事業

方向性1（調査・研究）に対応する具体的な事業を以下に整理しました。

方向性	事業番号	事業名	事業概要	取組主体				計画期間				担当課	財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画		
方向性1 長岡の歴史文化を知る	事業1 文化財の把握調査・詳細調査・基礎整理等を推進する												
	1-1	美術工芸品等の把握調査の計画的実施	美術工芸品等の調査を計画的に実施する	○	○	○	●					科学博物館	市
	1-2	文化財の詳細調査の実施と指定・登録の推進	文化財の詳細調査を行うとともに、所有者の合意を得て指定・登録を推進する	○		●	●					科学博物館	市
	1-3	収蔵資料の整理・目録作成	過去の未整理資料や新規資料等について、基本情報の記録・整理・目録化を進める	○		○	●					科学博物館 中央図書館	市
	事業2 市民による地域（地区・集落）の調査・研究を促進する												
	2-1	郷土史研究会との調査連携・情報共有	各地域の郷土史研究会と連携・情報共有を図り、活動を支援する	●		○	○					科学博物館 中央図書館	地域市
	2-2	地域（地区・集落）と研究者とのマッチング支援	地域（地区・集落）と研究者を繋ぎ、地域の興味関心に沿った調査・研究を促進する	●		○	○					科学博物館 中央図書館	地域市
	2-3	地域誌の作成支援	地域（地区・集落）の歴史や文化を整理した地域誌の作成に対して助言・編集等の支援を行う	●		○	○					科学博物館 中央図書館	地域市

凡例 ◆事業期間 前期：令和8（2026）～令和10（2028）年度 中期：令和11（2029）～令和13（2031）年度
後期：令和14（2032）～令和17（2035）年度

◆取組主体 市 民：市民・所有者・管理団体・地元研究会
団 体：団体・関係団体・企業・小中学校・高等学校・専門学校・高等専門学校・大学
専 門 家：研究者・学識経験者・博物館・大学研究機関等
行 政：長岡市・関連組織等

●：主として取り組む主体
○：協力して取り組む主体

1-2 保存・管理の事業

方向性2（保存・管理）に対応する具体的な事業を以下に整理しました。

方向性	事業番号	事業名	事業概要	取組主体				計画期間				担当課	財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画		
方向性2 長岡の歴史文化を守る	事業3 文化財の適切な維持管理のため、所有者を支援する												
	3-1	指定文化財（植物）の生育管理	所有者や専門家と連携し、生育状況に応じた長寿命化、剪定管理などの措置を図る	●		○	●					科学博物館	市
	3-2	指定等文化財の管理研修の実施	指定等文化財の所有者を対象に、専門家による管理研修を実施する	●		○	●					科学博物館	市
	3-3	文化財パトロール事業	文化財の現状を専門家とともに確認・記録し、その状況を所有者に伝える	●		○	●					新潟県科学博物館	県市
	事業4 文化財保存の方針を定め、現状に即しながら、次世代に向けた保存の取組を推進する												
	4-1	指定等文化財の修理に関する補助金の交付	指定等文化財の修理に関する補助金を交付する	○			●					科学博物館	国県市
	4-2	未指定文化財建造物・庭園の適切な維持管理方針の策定	未指定文化財建造物・庭園（住雲園）について、市民団体の意見を踏まえて適切な維持管理方針を検討・決定する	○		○	●					科学博物館 地域振興戦略部	市
	4-3	無形の民俗文化財の各種補助制度の紹介と支援	行政、民間が扱う各種補助制度の紹介と無形の民俗文化財の活動経費等を支援する	○	●		●					科学博物館 地域振興戦略部 市民協働課 文化振興課	市民間
	事業5 景観行政と連携した取組を進め、文化財とその周辺環境を含む景観を保全する												
	5-1	景観まちづくりとの連携	景観パンフレットの発行など、景観保全意識を高める取組を推進する	○	○	○	●					科学博物館 都市政策課	市
	5-2	農村・棚田景観の保全を中山間地域等直接支払制度により支援	共同活動の継続につなげるため集落協定内の連携や集落機能を維持する体制づくりを進める		●		●					新潟県農水産政策課	国県市
	事業6 文化財の防災・防犯対策を推進する												
	6-1	文化財の防災リスクの把握	ハザードマップと文化財の所在地を照合し、災害リスクの見える化を図り、所有者等と共有する	○	○	○	●					科学博物館	市
	6-2	防災・防犯マニュアル作成	防災・防犯マニュアルを作成し、関係者に周知する	○	○	○	●					科学博物館	市
	6-3	文化財ドクター・レスキュー体制の整備	県を通じた文化財防災センターへの要請など、文化財ドクター・レスキューに取り組む体制を整備する	○		●	●					新潟県科学博物館	県市
	6-4	文化財の防災訓練と地域連携	文化財防火デーに合わせて関係者と共に防災訓練を実施する	●	○		●					科学博物館 支所 予防課	市

1-3 情報発信の事業

方向性3（情報発信）に対応する具体的な事業を以下に整理しました。

方向性	事業番号	事業名	事業概要	取組主体				計画期間				担当課	財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画		
方向性3 長岡の歴史文化を伝える	事業7 文化財の調査・修理記録を報告書として作成・公開する												
	7-1	埋蔵文化財発掘調査と報告書刊行	埋蔵文化財の発掘調査を実施し、成果を報告書として刊行、公開する			○	●					科学博物館	国 県 市 事業者
	7-2	無形の民俗文化財に関する映像・記録の作成・公開	風俗慣習、民俗芸能、民俗技術の映像、担い手への聞き取りなど、各種記録を作成、公開する	●		○	●					科学博物館	市
	7-3	文化財修理報告書の作成・公開	文化財の修理に伴う調査の成果や、修理の方法・内容を整理した報告書を作成、公開する			○	●					科学博物館	国 県 市
	事業8 歴史文化の魅力を継続して広く周知する												
	8-1	市政だよりでの定期的な特集記事掲載	市政だよりで、様々な文化財の最新情報に関する特集記事を掲載する				●					科学博物館 広報・魅力発信課	市
	8-2	文化財関連冊子の発行	調査した情報を整理して、分かりやすいハンドブックを発行する			○	●					科学博物館	市
	8-3	研究報告など定期的な刊行物の発行	長岡市科学博物館研究報告を定期的に刊行する			○	●					科学博物館	市
	8-4	「地域の宝磨き上げ事業」との連携強化	文化財保護事業と「地域の宝磨き上げ事業」との連携を強化し、市民活動の活発化を図る	○	●		●					地域振興戦略部 科学博物館	市
	事業9 デジタル技術の活用によって歴史文化の魅力をより多く、広く発信する												
	9-1	市HPでの情報発信	市HPにおいて指定等文化財や歴史文化の特性を紹介する				●					科学博物館 広報・魅力発信課	市
	9-2	SNSでの情報発信	文化財関連情報や実施状況の発信とともに、利用者間の情報共有・交流の促進を図る	○	○	○	●					科学博物館 広報・魅力発信課	市
	9-3	文化財のデジタルアーカイブ化と公開	先端技術等を用いたデジタルアーカイブ化を図り、WEB上での公開につなげる	○		○	●					科学博物館	国 市
	9-4	オンラインを併用した歴史講座の開催	公民館事業・出前講座・市民大学などにおいて、オンラインを併用した歴史講座を開催する		○	○	●					科学博物館	市
	9-5	市民参加型の文化財研究活動の開催	デジタル技術を活用した文化財の研究活動を開催する	○	○	●	●					科学博物館 市内大学等	市
	事業10 体感・体験するイベント等を通して、歴史文化の魅力を発信する												
	10-1	体験型イベント、公演会の企画・開催	子どもや大人が楽しめる体験型イベントやワークショップ、民俗芸能公演会等を企画・開催する		●	○	●					科学博物館	市
	10-2	多様なイベントとの連携	多様なイベントと連携して、長岡の歴史文化への興味関心を創出する		●		●					科学博物館	市

1-4 観光・地域振興の事業

方向性4（観光・地域振興）に対応する具体的な事業を以下に整理しました。

方向性	事業番号	事業名	事業概要	取組主体				計画期間				担当課	財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画		
方向性4 長岡の歴史文化を活かす	事業 11 各地域の文化財展示施設の活用と企画連携を強化する												
	11-1	企画展・特別公開の充実	様々なテーマによる企画展・特別公開を文化財展示施設で実施する	○			●					科学博物館	国市
	11-2	文化財展示施設におけるユニバーサルデザインの整備	文化財展示施設の多言語対応や音声解説機器の導入に取り組む				●					科学博物館	市
	11-3	文化財展示施設の共同企画展	文化財展示施設の連携を図り、共通のテーマ・ストーリーによる共同企画展を実施する	○			●					科学博物館	市
	11-4	文化財情報発信拠点の設定と連携	地域資料館等を地域の文化財情報発信拠点と位置づけ、関連文化財に従った周遊を促すなど連携を図る	○	○		●					科学博物館	市
	事業 12 文化財を積極的に活用し、まちづくりのコンテンツとして強化する												
	12-1	文化財（建造物・遺跡）がもつ特別な空間の提供	文化財（建造物・遺跡）を各種イベントの場として提供するユニークベニューの活用を図る				●	●				施設所管課	市
	12-2	旧互尊文庫を活用した戦災資料館の運営	戦災資料館内の掲示物等に旧互尊文庫の歴史を感じる工夫を施す					●				庶務課	市
	12-3	戦災資料館の効果的運営方法の検討	市民ボランティアや戦災の語り部と協力し、戦災資料の活用と効果的運営方法を検討する	●	○		●					庶務課	市
	12-4	旧機那サフラン酒製造本舗の修復・整備	旧機那サフラン酒製造本舗の建造物について、順次修復・活用整備を進める		○		●					観光企画課 都市施設整備課	国 県市 事業者
	事業 13 文化財と観光振興の事業連携を強化する												
	13-1	歴史文化の観光ガイドブックの発行	歴史文化の観光ガイドブックを冊子やデジタルで発行し、各地域の情報発信拠点等で配布する				●	●				観光企画課 科学博物館	国 県市
	13-2	観光事業との連携による便益施設の整備	文化財の見学・観光に必要な便益施設（トイレ、駐車場、休憩所等）の整備を図る	○	●		●					観光企画課 施設所管課	国 県市 事業者
	13-3	文化財を活かした観光商品の創出	文化財の体験学習や周遊コースの検討、モデルツアーの実施など、新たな観光商品の創出に取り組む				●	●				観光企画課 科学博物館	国 県市 事業者
	13-4	伝統産業のPR 機会創出	職人を講師とした市民向けワークショップの開催、展示会・イベントへの出展等、接する機会を増やす				●	●				産業支援課 科学博物館 所管課	市
	13-5	文化財の魅力を伝えられる観光ボランティアガイドの育成	文化財の魅力を伝えられる観光ボランティアガイドを育成し、来訪者に文化財の魅力を伝える	○	●		●					観光企画課	国 県市 事業者

1-5 人材育成の事業

方向性5（人材育成）に対応する具体的な事業を以下に整理しました。

方向性	事業番号	事業名	事業概要	取組主体				計画期間				担当課	財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画		
方向性5 長岡の歴史文化を育てる	事業 14 地域全体で文化財保護活動を支える人材の育成を図る												
	14-1	市専門職員の採用と育成	文化財保護事業を円滑に進めるにあたって必要な市専門職員を採用して育成する				●					人事課 行政管理課 科学博物館	市
	14-2	文化財の修復・整備に関する指導・助言体制の整備	有識者や専門機関に文化財の修復・整備に関する指導・助言を依頼し、所有者を支援する			●	●					科学博物館	市
	14-3	指定等文化財所有者の交流会開催	所有者交流会を開催し、文化財保護に関する情報共有を図る	●			●					科学博物館	市
	事業 15 市民が文化財保護に関わる機会を設け、興味関心を高める												
	15-1	文化財の維持管理に関わる市民ボランティアの募集	文化財の維持管理に関わる市民ボランティアを募集する	●			●					施設管理者 所管課	市
	事業 16 文化財保護と学校教育の連携を図り、地域への愛着と誇りを醸成する												
	16-1	学校教育との連携	社会科副読本の充実、総合学習の予備資料作成、出前講座など、学校教育との連携を強化する		●		●					科学博物館 学校教育課	市
	16-2	高等教育機関等との連携強化	文化財の調査研究の協働、学生のボランティア活動への参加、博物館施設への学生受入などを推進する		●		●					科学博物館 市内大学 高専等 高等学校	市
	事業 17 共通のテーマ・ストーリーにより、関連市町村と文化財活用の連携を図る												
	17-1	他市町村との連携強化	関連する歴史文化を有する市町村との交流・連携の強化を図る				●					科学博物館 政策企画課	市
	17-2	日本遺産制度の活用推進	日本遺産制度の活用、関連市町村との交流・連携の推進を図る		○		●					科学博物館 観光企画課	国 県 市

第8章 関連文化財群

1 関連文化財群に関する事項

1-1 関連文化財群の目的

本計画においては、文化財の総合的・一体的な保存と活用に向けて、「関連文化財群」を設定します。

関連文化財群	有形・無形、指定・未指定にかかわらず様々な文化財を歴史文化に基づく関連性によって一定のまとまりとして捉えたものです。一体的に扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値づけが可能となり、また、相互に結び付いた文化財の多面的な価値・魅力の発見につながります。
--------	---

歴史文化の特性に基づき、一体的なまとまりを設定することによって、域内に散在している文化財を俯瞰した保存と活用のプランニングが可能になります。歴史的・文化的・地域的な関連性や共通のテーマを持つまとまりとして捉えた関連文化財群を設定して、文化財の総合的・一体的な保存・活用につなげます。

1-2 関連文化財群の設定の考え方

関連文化財群の設定については、将来像を達成するため、単に特性をまとめるだけでなく、関連文化財群ごとの課題を検討し、解決のための方針・事業を立てました。事業については、関連文化財群の運用にあたって重点的に取り組む事業として具体的に記載しました。国指定文化財を中心に既に活用が図られている事業もありますが、まずはこれを核とし、さらに他の構成文化財を加えることで、一体的に保存・活用を進めていきます。

なお、今後の文化財把握調査の進展や、事業の進捗状況に応じて、構成文化財の見直しや事業の修正等も検討していきます。

1-3 関連文化財群とその課題・方針・事業

設定した4つの関連文化財群ごとに、目的、ストーリー、構成文化財一覧、構成文化財の分布図を記載し、各関連文化財群を運用していく上での課題と、その解決に向けた方針・事業を示しました。

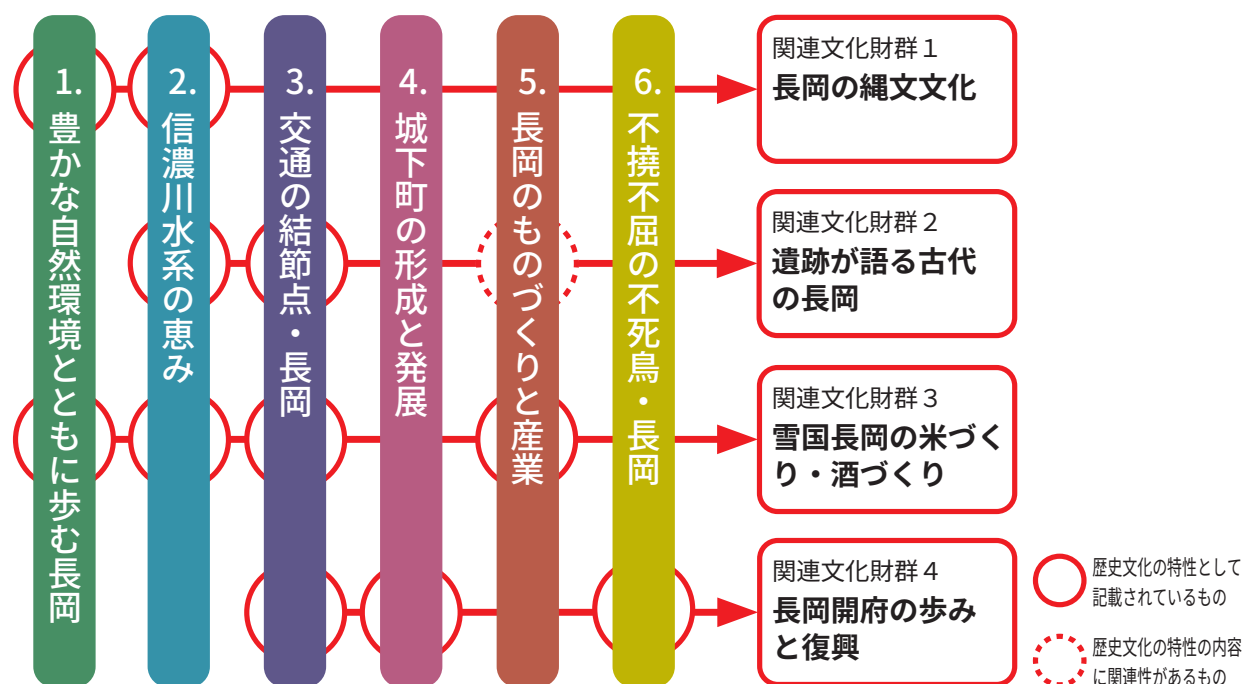


図 8-1 歴史文化の特性と関連文化財群の対応関係

2 関連文化財群の保存・活用に関する課題・方針・事業

関連文化財群1 長岡の縄文文化 ～自然とともに歩む暮らしと集落～

1. 目的

長岡における縄文文化や人々の暮らしをわかりやすく伝えるため、企画展や教育活動を展開し、市民の関心と理解を深める取組を推進します。

2. 概要

長岡は新潟県有数の縄文遺跡の宝庫です。それは豪雪がもたらす豊かな水や森が多種多様な動植物を育んだからにほかなりません。およそ8千年前に大きな環境変化に見舞われ、日本海側では雪が多く降るようになりました。厳しくも豊かな自然の恵みをうけて、縄文人は独特の感性を育みながら、数千年という長い時間軸の中で暮らしてきました。豪雪の長岡はこの頃にはじまり、そこで培われた暮らしの知恵は、後世にも引き継がれていきました。

3. ストーリー

日本列島には、人々が暮らした痕跡が数多く残されています。長岡市で確認できる人々の活動は、約3万年前の旧石器時代に遡ります。当時の人々は食料となる動物を追って広範囲に移動しながら一時的な活動拠点を設け、狩猟を中心に漁労や採集で暮らしていました。約1万6千年前、信濃川と魚野川の合流点に営まれた荒屋遺跡は、槍先に装着する細石刃の製作や骨角器・皮製品の製作が盛んに行われ、遺跡の立地状況から、サケなどの漁労も行われていたと推測されています。

約1万5千年前に長い氷河期が終わり気候は温暖化へと向かいました。約8千年前には日本海に湿潤な対馬暖流が恒常的に流入し、冬の日本海側では積雪が多くなりました。豪雪の長岡はこの頃に始まったと言えます。ブナやクリ・コナラなどの落葉広葉樹が広がる森ができ、シカやイノシシなどの小型動物の住処となりました。また、雪解け水とともに森の養分を含んだ川や海には、サケ・マスやアジ・タイ・貝類など様々な魚介類が生息しました。縄文人はこの多様な生態系に支えられ、季節に応じた動植物の狩猟・採集による暮らしを送りました。また、煮炊きに使う「土器」の発明により、様々な食材の調理が可能となり、人口は増加しました。これにより安定的な生活が可能となり、馬高・三十稲場遺跡や藤橋遺跡など集団で住居を構えた集落が形成されました。

縄文時代の住居には、地面を掘りくぼめた竪穴住居や柱を立てて床を設けた高床住居があり、カヤなどの植物を屋根材として葺いていたと考えられます。中道遺跡では、火災にあったと思われる住居が発見され、石組の炉や土器、石皿とともに獣骨やトチノミが出土しました。また、大武遺跡ではクルミが入った貯蔵穴が発見され、根立遺跡でも多数出土しています。木の実の貴重な食料源の一つですが、渋みが強いためそのまま食べることはできません。まず水に浸けて中の虫を駆除し、アクをとった後に炉の上に設けた火棚で乾燥させ、保存しながら、消費していたと考えられます。また、岩野原遺跡では、クッキー状炭化物が詰まった石皿が出土しており、クリやクルミなどを粉状としたものに、シカやイノシシなどの肉、魚、塩などを混ぜ、焼いて食べていたと考えられています。木の実のほか、ワラビなど山菜類のアク抜きや保存方法は山の暮らしの知恵として現在も受け継がれています。

縄文人は日々の生活のなかで、身近にある自然の素材を利用して様々な道具も製作しました。特に石から作った石器は狩猟や伐採・物の加工などに利用されました。シカやイノシシなどの動物は、肉を食

べるだけでなく、毛皮から防寒具や革製品を作ったり、骨や角を加工して道具や装飾品を作るなど、余すところなく利用していました。大武遺跡では網漁の錘として使用された石錘が多数出土しており、周辺の海や川で盛んに漁労を行っていたようです。信濃川中流域の集落でも、晩秋になれば遡上するサケを捕獲したと思われます。特に川口地域では、サケ漁として網や簀を使用した様々な漁法が今に伝わっています。

土器づくりは縄文時代から始まりました。縄文時代中期の火焰型土器は、馬高遺跡をはじめ栃倉遺跡や徳昌寺遺跡、門の沢遺跡、北野丸山遺跡など山間部から日本海沿岸の丘陵付近まで広い範囲で確認されています。キザキザの突起や鶏のトサカのような形をした把手がつき、全体的に力強く、動きのある造形となっています。装飾性が高いため特別な儀式に使用されたように見えますが、表面にはススやオコゲが付着し、普段の生活用具として使用されました。完成までにかかなりの手間と時間がかかったと想像され、機能性や効率性重視のデザインを好む現代人の感覚とは異なる長い時間軸と豊かな感性を縄文人は持っていたようです。また、一緒に出土する土偶や石棒、ヒスイ製の玉類など祭祀に関わる遺物は、自然への畏敬の念や子孫繁栄を願う縄文人の精神性を物語っているようです。

また、縄文時代では優れた木材加工技術やウルシを利用した漆工技術が既に存在していました。根立遺跡や大武遺跡では、精巧に加工した斧の柄や漆器、撚り紐に漆を塗った漆紐、ざる・籠に漆を塗った籃胎漆器、漆塗りの腕輪など、現代の木工・漆工技術と比べても遜色ない技術を縄文人は習得していたのです。

このように、長岡の縄文文化は厳しくも豊かな自然環境のもとで育まれ、そこで培われた暮らしの知恵は、後の世にも受け継がれていきました。



写真 8-1 馬高・三十稲場遺跡



写真 8-2 馬高・三十稲場遺跡出土品

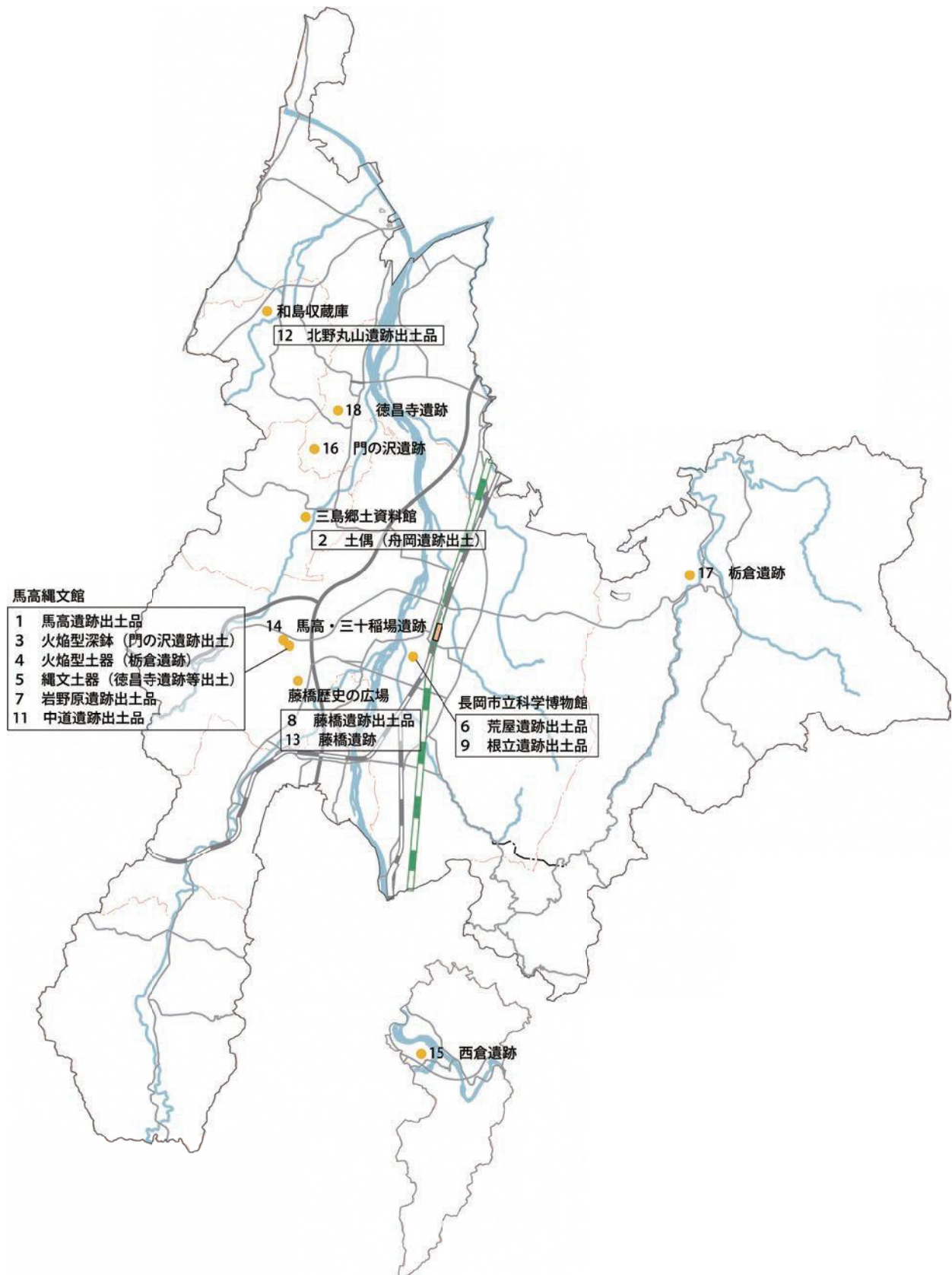


図 8-2 主な構成文化財の位置

4. 構成文化財一覧

番号	分類	種別	指定区分	名称
1	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	国指定	馬高遺跡出土品
2	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	土偶(舟岡遺跡出土)
3	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	火焰型土器(門の沢遺跡出土)
4	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	火焰型土器(栃倉遺跡)
5	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	市指定	縄文土器(徳昌寺遺跡等出土)
6	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	荒屋遺跡出土品
7	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	岩野原遺跡出土品
8	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	藤橋遺跡出土品
9	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	根立遺跡出土品
10	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	大武遺跡出土品
11	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	中道遺跡出土品
12	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	未指定	北野丸山遺跡出土品
13	記念物	遺跡	国指定	藤橋遺跡
14	記念物	遺跡	国指定	馬高・三十稻場遺跡
15	記念物	遺跡	市指定	西倉遺跡
16	記念物	遺跡	市指定	門の沢遺跡
17	記念物	遺跡	市指定	栃倉遺跡
18	記念物	遺跡	市指定	徳昌寺遺跡

5. 課題・方針・事業

関連文化財群1の保存・活用に向けた課題・方針・事業を以下に整理しました。

課題												
・文化財（建造物・遺跡）の活用が十分に行われていない ・文化財に関する教育機会の提供が必要 ・文化財を広域で活用する取組が不足している ・日本遺産のさらなる活用が必要 ・出土品と史跡の継続的な公開が必要												
方針												
・文化財（建造物・遺跡）に人が集まるよう積極的に活用を図る ・文化財の理解を深める教育プログラムを作成・実施する ・他市町村と、共通のテーマ・ストーリーによる文化財の活用の取組を協議する ・日本遺産に登録された構成文化財の活用を推進する ・出土品の公開とともに史跡を活用したイベントを定期的に開催する												
事業												
事業番号	事業名	事業概要	担当課	取組主体				計画期間				財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画	
1	【再掲】文化財（建造物・遺跡）がもつ特別な空間の提供	文化財（建造物・遺跡）を各種イベントの場として提供するユニークベニューの活用を図る	施設所管課		●		●					市
2	【再掲】学校教育との連携	社会科副読本の充実、総合学習や出前講座など、学校教育との連携を強化する	科学博物館 学校教育課		●		●					市
3	【再掲】他市町村との連携強化	関連する歴史文化を有する市町村との交流・連携の強化を図る	科学博物館 政策企画課				●					市
4	【再掲】日本遺産の活用推進	日本遺産の活用、関連市町村との交流・連携の推進を図る	科学博物館 観光企画課		○		●					国 県 市
5	企画展・特別展・関連イベントの開催	企画展のほか県内外の遺跡出土品を含めた特別展や史跡を活用した体験メニューを用意する	科学博物館				●					国 市

関連文化財群2 遺跡が語る古代の長岡 ～交通の要衝・古志郡の成立と人々の営み～

1. 目的

現在の長岡市域とほぼ重なる古代古志郡の文化財を活用することにより、長岡市民の一体感が得られるような活動・取組を推進します。

2. 概要

奈良・平安時代、現在の長岡市域は古志郡と呼ばれ、その中心となる古志郡衙（役所）は八幡林官衙遺跡周辺にありました。八幡林官衙遺跡は北陸道と信濃川に通じる旧島崎川沿いに位置し、頸城（上越市）の越後国府や信濃川・阿賀野川河口周辺（新潟市）の沼垂城、さらには寺泊からの航路で佐渡国（佐渡市）とも結ばれていました。郡内には各地に集落が営まれ、その周辺では稲作を中心とした農耕や須恵器・漆器・曲物製作など様々な手工業が行われ、交通・産業の中心地として後の長岡市へと通じる風土が形成されていきました。

3. ストーリー

大化3（647）年に蝦夷に対する前線基地である淳足柵が信濃川河口付近に設置されて以来、大和朝廷の勢力範囲は北へ順次拡大し、その過程のなかで越後国の領域は目まぐるしく変化しました。長岡市の大部分が属する古志郡は、大宝2（702）年に頸城・魚沼・蒲原の3郡とともに越中国から越後国へ移管されました。和銅5（712）年、山形県庄内平野に出羽国が建国され、越後国の北限が確定したことにより、政治的に安定した行政が可能となりました。和島地域を中心とした旧島崎川流域に営まれた八幡林官衙遺跡や下ノ西遺跡は、この頃に創建された古志郡の役所跡です。

八幡林官衙遺跡の発掘調査では「沼垂城」「養老」と記された奈良時代の木簡や越後国府への出頭を命じた木簡など、越後国内の役所とのつながりをうかがわせる貴重な資料が発見されています。この遺跡は越後国府と淳足柵との中間地点に位置し、情勢が不安定な北方地域の城柵を後方支援する役割を担っていたと考えられます。また、「大家驛」と墨書された土器も出土しました。「大家驛」は北陸道の駅として『延喜式』に記載があり、遺跡周辺に北陸道が存在したことを示しています。都を起点とする北陸道の終点は佐渡国であり、寺泊付近にあった「渡戸駅」から船で往来していたと考えられています。

また、寺泊地域には白鳳期に建立された越後最古の寺院である横滝山廃寺が存在していました。当時は珍しい瓦ぶきの建物で、寺院の建立には周辺の有力豪族が関わっていたと考えられます。

このように旧島崎川流域は、古志郡の中心地であるとともに、水上・陸上交通の要衝として重要な役割を担っていました。

八幡林官衙遺跡や下ノ西遺跡には古志郡の郡司（大領）や越後国から派遣されて来た国司（掾）など、様々な階級の役人が常駐していました。そこでは、役人が身に着けた帯金具や太刀の外装具、硯などのほか、奈良三彩や漆器などの高級品が出土しています。また、税として様々な物品が集められ、国府や都へ輸送されました。なかでも鮭は越後国が中央へ納める特産品として規定されています。この鮭を輸送するために必要な人員や馬の数、経費などの内訳が書かれた木簡が八幡林官衙遺跡から出土しており、具体的な輸送方法を示すものとして興味深い資料です。また、木製の農具やロクロ挽きの木器、曲物なども出土しており、様々なものづくりに人々が従事していたことがうかがえます。丘陵部では8世紀から9世紀前半の須恵器窯が多数確認されています。須恵器の生産には高度な技術をもった工人集団が従事し、大量に製作された須恵器は古志郡内の役所や集落など各地に供給されました。こうした古代のものづくりは、国や郡の主導のもとに始められました。それは焼物や製鉄、鍛冶、木工、漆工、養蚕、紡

織などあらゆる分野に及び、そこで培われた技術は後世へと受け継がれ、地域の伝統産業として根付いていきました。

古志郡内では河川の自然堤防上を中心に集落が営まれました。平安時代（9世紀）に営まれた浦反甫東遺跡は旧島崎川流域の中心的な集落遺跡で、廂のついた桁行5間の大型掘立柱建物とこれに付属する小規模な建物が河川沿いに複数並んだ状態で発見されました。「田庄」と記された墨書土器は、隣接する川東遺跡から出土した「泉田西庄」墨書土器とともに、農業経営の開発拠点である荘園が営まれた可能性を示しています。

続いて出現する10世紀の門新遺跡も旧島崎川のほとりに営まれた遺跡です。ここでは卓越した規模の主屋とこれに付属する倉庫や工房が発見されました。また、主屋の雨落ち溝から出土した漆紙文書には、「米」や「大刀」、「船」などの文字が見られ、土地開発や河川交通を利用した交易などを積極的に進めた人物の姿が浮かび上がってきます。これまで律令制度のもとで統治を行ってきた豪族に代わり、新たに台頭した開発領主と呼ばれる階層の人物であったと考えられます。

このように、長岡市では古代古志郡の役所や寺院、集落、須恵器窯などの遺跡が数多く発見されています。こうした古代の遺跡が現在の集落と重なっていることも少なくありません。古代から続く人々の営みは、現代の風景の中に残されているのです。



写真 8-3 八幡林官衙遺跡



写真 8-4 八幡林官衙遺跡出土品

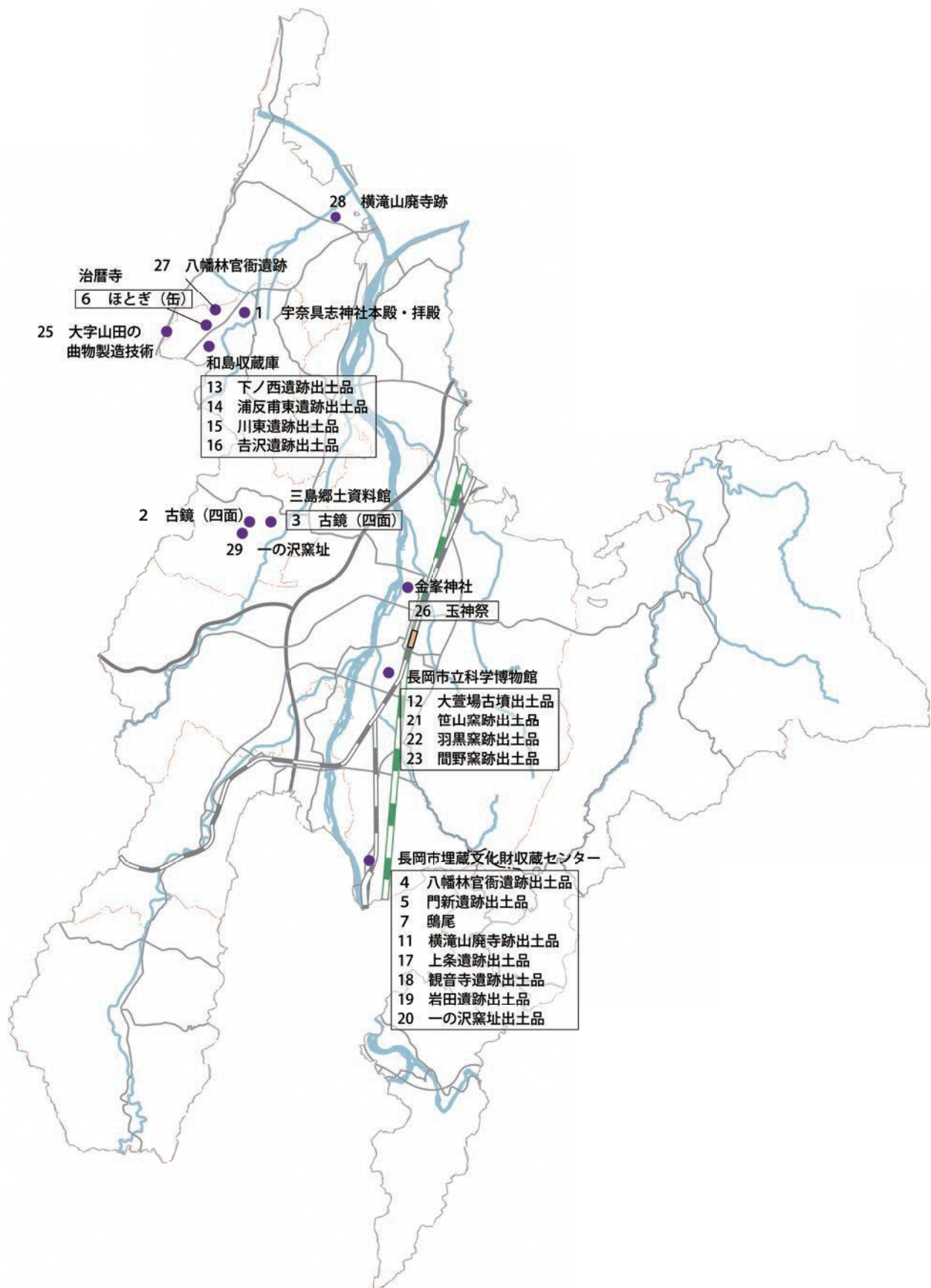


図 8-3 主な構成文化財の位置

4. 構成文化財一覧

番号	分類	種別	指定区分	名称
1	有形文化財	建造物	未指定	宇奈具志神社本殿・拝殿
2	有形文化財	美術工芸品（工芸品）	市指定	古鏡（四面）
3	有形文化財	美術工芸品（工芸品）	市指定	古鏡（四面）
4	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	県指定	八幡林官衙遺跡出土品
5	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	県指定	門新遺跡出土品
6	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	ほとぎ（缶）
7	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	鴟尾
8	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	寺字墨書土師器
9	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	蓮弁燈瓦
10	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	子持勾玉
11	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	横滝山廃寺跡出土品
12	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	大萱場古墳出土品
13	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	下ノ西遺跡出土品
14	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	浦反甫東遺跡出土品
15	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	川東遺跡出土品
16	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	吉沢遺跡出土品
17	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	上条遺跡出土品
18	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	観音寺遺跡出土品
19	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	岩田遺跡出土品
20	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	一の沢窯址出土品
21	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	笹山窯跡出土品
22	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	羽黒窯跡出土品
23	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	間野窯跡出土品
24	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	岩野原窯跡出土品
25	無形文化財	—	市指定	大字山田の曲物製造技術
26	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	王神祭
27	記念物	遺跡	国指定	八幡林官衙遺跡
28	記念物	遺跡	県指定	横滝山廃寺跡
29	記念物	遺跡	市指定	一の沢窯址

5. 課題・方針・事業

関連文化財群2の保存・活用に向けた課題・方針・事業を以下に整理しました。

課題												
・文化財の体系的な検索・閲覧機能が必要 ・文化財に関する教育機会の提供が必要 ・八幡林官衙遺跡について、子どもや市民の認知度が低い ・複数の遺跡から出土した文字資料の内容を統一的に参照する手段がない ・八幡林官衙遺跡の整備が未着手のため、史跡の活用が不十分である												
方針												
・文化財のデジタルアーカイブ化を図る ・文化財の理解を深める教育プログラムを作成・実施する ・学校への出前授業や学習会、企画展等の開催により、認知度を高める ・出土文字資料のデジタルアーカイブ化を進め、手軽な閲覧方法を提供する ・史跡活用のため整備方法を検討する												
事業												
事業番号	事業名	事業概要	担当課	取組主体				計画期間				財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画	
1	【再掲】文化財のデジタルアーカイブ化と公開	先端技術等を用いたデジタルアーカイブ化を図り、WEB 上での公開につなげる	科学博物館	○		○	●					国市
2	【再掲】学校教育と連携	社会科副読本の充実、総合学習や出前授業など、学校教育との連携を強化する	科学博物館 学校教育課			●		●				市
3	ストーリーに関連した出前授業や学習会、企画展等の開催	学校への出前授業や企画展等の開催に合わせた学習会を定期的に開催する	科学博物館		○		●					国市
4	出土文字資料データベースのオンライン公開	データベースを作成し、HP 上に載せ、公開する	科学博物館				●					市
5	公有地の整備構想の検討	史跡の公有地部分における活用方法を検討する	科学博物館	○	○	○	●					市

関連文化財群3 雪国長岡の米づくり・酒づくり ～大地の水の恵み～

1. 目的

雪国長岡で育まれた米づくり・酒づくりを象徴する文化財を総合的・一体的に保存・活用し、地域コミュニティの活性化と新たな来訪者の増加を目指します。

2. 概要

長岡は新潟県有数の米どころであり、米と水を主原料とする日本酒の製造も盛んに行われています。それは、豊かな自然環境と歴史的背景によるものです。特に、日本有数の豪雪地帯であることから、清らかな雪解け水が豊富で、これが米づくりと酒づくりに欠かせない条件となっています。また、近世に商工業が発展し、交通網が整備されたことも、生産・流通を支える基盤となりました。度重なる洪水など自然災害を乗り越え、米づくり・酒づくりは時代とともに発展し、地域の生活、風俗慣習、食文化などと深く結びついています。

3. ストーリー

長岡は新潟県有数の米の産地として知られ、米と水を主原料とする日本酒の製造も古くから盛んに行われています。そこには、長岡特有の豪雪が密接にかかわっています。

日本海から吹き付ける冬の冷たく湿った季節風は、越後山脈にぶつかり、雪雲が発達して雪を降らせます。長岡は山脈に近い内陸に位置するため、雪雲が停滞しやすく、山間部だけでなく平野部でも雪が多く積もります。降り積もった雪は清らかな雪解け水となり、この豊富な水によって良質な米と酒ができました。酒づくりは稲刈りが終わる秋から冬にかけて始まり、気温が上がり始める立春を過ぎたころに終わります。そして、山の残雪が解けると、人や動物の形に見える模様が山肌に見えるようになります。雪形とよばれるこの現象は苗代や種まきを始めるのによい時期とされ、長岡の人々は経験的にこのことを知っています。

長岡における稲作の歴史は、およそ2千年前の弥生時代に遡ります。水田跡は未発見ですが、水上遺跡の石包丁や横山遺跡の籾の圧痕がついた土器が発見されています。当時の水田は、自然堤防の背後に広がる後背湿地を利用したもので、灌漑施設も自然の流路に堰や溝などを設けた簡素なものでした。信濃川左岸の沖積地にある五千石遺跡では、古墳時代前期の住居内で管玉や玉砥石、鍛冶炉が発見され、鉄器を利用した玉作りや鍛造による工具の製作が行われていました。また、堰を伴う水路から、古墳時代後期の木製の鋤や鍬、玉類などが出土しました。水稻耕作とともに農耕に関わるマツリが行われていたようです。律令制度が整備された奈良時代には、稲作中心の財政基盤が整い、国の主導で稲作の推進や水田開発がおこなわれました。古志郡の役所跡である八幡林官衙遺跡や下ノ西遺跡では、鋤や鎌などの農具や稲の貸付け（公出挙）に関わる木簡など稲作に関わる資料が発見されています。

これ以後、江戸時代に至るまで米づくりは国の重要な財政基盤として位置づけられました。幕府や藩は、年貢徴収や農民支配のため、検地をくまなく実施しました。その結果を記録した検地帳が、現在も市内各地の集落に残されています。また、村の代表者として行政を担った庄屋のなかには、多くの田畑や山林を所有する豪農となるものもありました。武士の出身といわれる長谷川家は、江戸時代の初めころ塚野山に居を構え、土地開発や治水事業などを通して山村地主としての地位を固めました。代々庄屋を勤め、幕末から明治にかけては近郷4か村の耕地や山林の7割を独占し、180町歩余の田から4000俵もの小作料をあげた豪農へと成長しました。

こうした豪農は藩の奨励により積極的に新田開発や用水路の開削を進め、稲作の発展に寄与しました。

現在目にする山古志地域に広がる棚田・棚池や、全長約 20kmにも及ぶ水路（福島江）は、江戸時代の開発がもとになっています。また、商工業の発展とともに街道や信濃川水運などの交通網も整備され、米の生産・流通を支える基盤となりました。しかし、信濃川に面した村々は、毎年のように水害に見舞われ、米の生産は不安定でした。そのため、農地を村全体で共有し、一定期間ごとに農地の割り当てを交換していく割地が行われました。そこには、村全体で損失や年貢の負担を共有しようとする共同体意識が窺われます。村の神社で行われる五穀豊穡や無病息災を願う年中行事も、村の一体感を醸成する行事として欠かせないものであり、村人にとっては楽しみのひとつでもありました。

江戸時代中期、本間屋数右衛門は水害対策として、信濃川の水を人工的に日本海へ排出させる大河津分水の計画を幕府へ請願しましたが、膨大な工事費がかかるため実現しませんでした。明治時代になると大竹貫一らの尽力により、明治 40（1907）年に本格的な工事が始まり、大正 11（1922）年に通水しました。これにより洪水被害は激減し、現在、越後平野には広大な水田地帯が広がっています。

長岡でとれる良質な米と豊富な湧き水をもとに、酒づくりも盛んに行われました。蔵元は、酒づくりの様子を描いた絵馬を寺社に奉納し、商売の成功を祈願しました。また、冠婚葬祭や村の年中行事、寺社の祭礼など、日々の生活に欠かせない存在でもありました。長岡には現在 16 の蔵元があり、歴史的建造物として残されているものも少なくありません。特に、摂田屋では、天領となった江戸時代以来、酒、味噌、醤油の醸造業が盛んになりました。その後、長岡空襲を免れたことから、明治・大正期の歴史的建造物が数多く残り、「醸造のまち」として現在も発酵文化が息づく地域となっています。

また、長岡では小豆を使った赤飯のかわりに、金時豆を使い醤油で色付けした醤油おこわ・醤油赤飯がお祝いの席などで振舞われ、市民に親しまれています。お土産として知られる笹団子とともに、醸造や米づくりが盛んな長岡ならではの郷土食です。

このように、長岡の米づくりと酒づくりは、厳しくも豊かな自然環境のもとで密接な関係を持ちながら発展し、またその一方で地域特有の風土や歴史を形成してきたのです。



写真 8-5 旧長谷川家住宅



写真 8-6 機那サフラン酒製造本舗 土蔵



写真 8-7 栃堀神楽舞

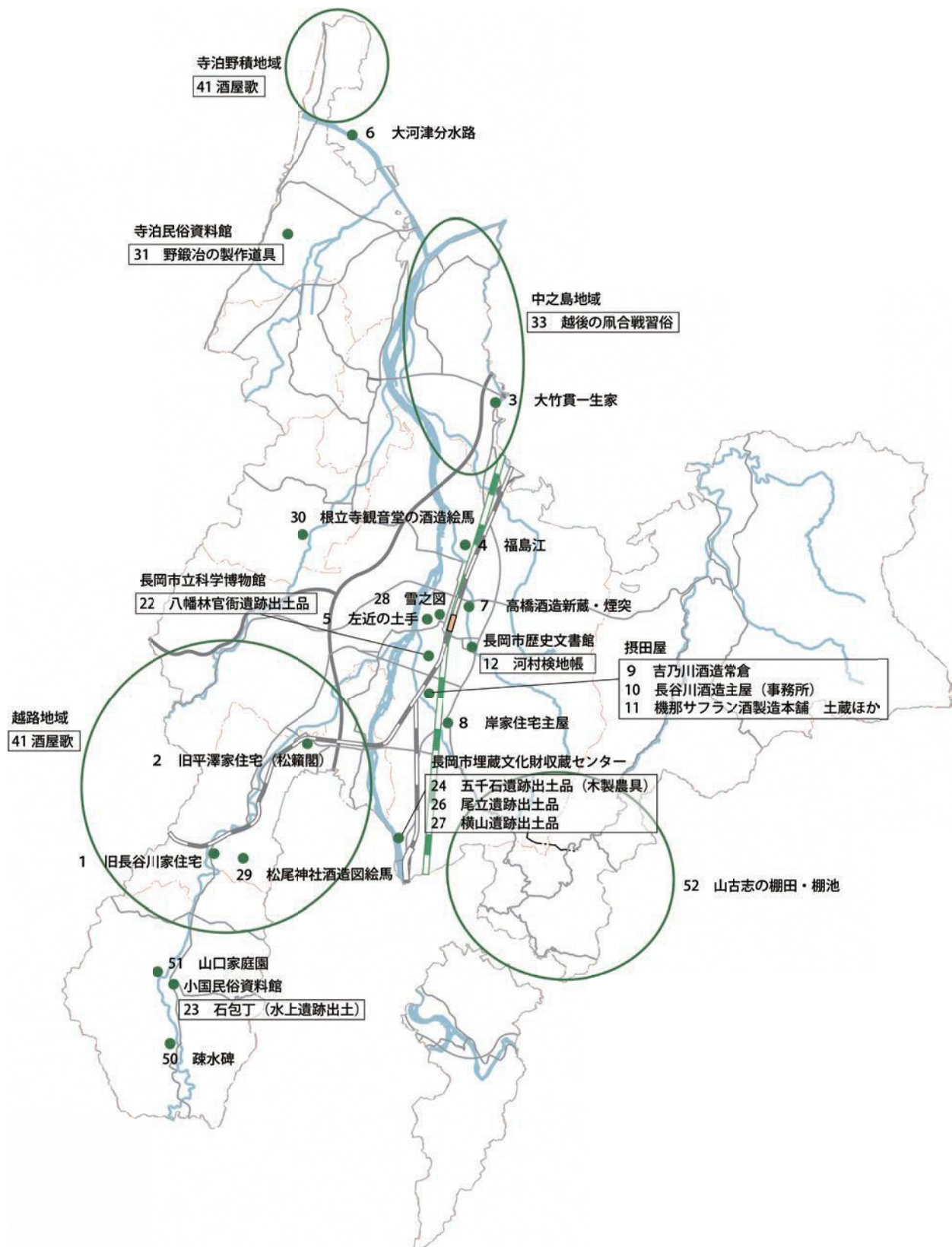


図 8-4 主な構成文化財の位置

4. 構成文化財一覧

番号	分類	種別	指定区分	名称
1	有形文化財	建造物	国指定	旧長谷川家住宅
2	有形文化財	建造物	国指定	旧平澤家住宅（松籟閣）
3	有形文化財	建造物	市指定	大竹貫一生家
4	有形文化財	建造物	未指定	福島江
5	有形文化財	建造物	未指定	左近の土手
6	有形文化財	建造物	未指定	大河津分水路
7	有形文化財	建造物	国登録	高橋酒造新蔵・煙突
8	有形文化財	建造物	国登録	岸家住宅主屋
9	有形文化財	建造物	国登録	吉乃川酒造常倉
10	有形文化財	建造物	国登録	長谷川酒造主屋（事務所）
11	有形文化財	建造物	国登録	機那サフラン酒製造本舗 土蔵 旧機那サフラン酒製造本舗 主屋・離れ座敷・衣装蔵・調整蔵・醸造蔵・道具蔵・一号倉・米蔵・シチレン蔵・石垣
12	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	河村検地帳
13	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	片桐文書
14	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	赤谷村御検地帳
15	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	寺泊町御用留 渡部組御用留等
16	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	年友 五十嵐家文書
17	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	大和田 渡辺家文書
18	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	夏戸 小黒家文書
19	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	大地 山田家文書
20	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	木島 菅沼家文書
21	有形文化財	美術工芸品（古文書）	未指定	上前島 青柳家文書
22	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	県指定	八幡林官衙遺跡出土品
23	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	市指定	石包丁（水上遺跡出土）
24	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	五千石遺跡出土品（木製農具）
25	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	下ノ西遺跡出土品
26	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	尾立遺跡出土品
27	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	横山遺跡出土品
28	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	県指定	雪之図
29	民俗文化財	有形の民俗文化財	市指定	松尾神社酒造図絵馬
30	民俗文化財	有形の民俗文化財	市指定	根立寺観音堂の酒造絵馬
31	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	野鍛冶の製作道具
32	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	三本クワ
33	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	マングワ
34	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	田植え杵
35	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	田植え縄
36	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	唐箕
37	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	センバ
38	民俗文化財	有形の民俗文化財	未指定	野積杜氏の酒造り道具
39	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	越後の風合戦習俗（中之島地域）
40	民俗文化財	無形の民俗文化財	未指定	代掻き歌・田植歌・米搗歌
41	民俗文化財	無形の民俗文化財	未指定	酒屋歌
42	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	中野東神楽
43	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	栃堀神楽舞

44	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	荷頃神楽舞
45	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	菅畑神楽舞
46	民俗文化財	無形の民俗文化財	未指定	雪形
47	民俗文化財	無形の民俗文化財	未指定	笹団子
48	民俗文化財	無形の民俗文化財	未指定	醤油おこわ・醤油赤飯
49	民俗文化財	無形の民俗文化財	ユネスコ無形文化遺産	伝統的酒造り
50	記念物	遺跡	市指定	疎水碑
51	記念物	名勝地（庭園）	未指定	山口家庭園
52	文化的景観	地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地	未指定	山古志の棚田・棚池

5. 課題・方針・事業

関連文化財群3の保存・活用に向けた課題・方針・事業を以下に整理しました。

課題												
・ 歴史文化の魅力とストーリーを観光客に伝える手段が不足している ・ 文化財保護事業と観光振興事業との連携が不足している ・ 長岡の米づくり・酒づくりに関する文化財に触れる機会が少ない ・ 長岡の米づくり・酒づくりに関する長岡の歴史を伝える必要がある												
方針												
・ 観光客が歴史文化の魅力とストーリーを把握するための媒体を用意する ・ 文化財に関連した新たな観光商品を創出し、文化財保護を誘客・消費につなげる ・ 構成文化財に関する展示会を設ける ・ 構成文化財に関する歴史講座・学習会等を開催する												
事業												
事業 番号	事業名	事業概要	担当課	取組主体				計画期間				財源
				市 民	団 体	専 門 家	行 政	前 期	中 期	後 期	次 期 計 画	
1	【再掲】歴史文化の観光ガイドブックの発行	歴史文化の観光ガイドブックを冊子やデジタルで発行し、各地域の情報発信拠点等で配布する	観光企画課 科学博物館		●		●					国 県 市
2	【再掲】文化財を活かした観光商品の創出	文化財の体験学習や周遊コースの検討、モデルツアーの実施など、新たな観光商品の創出に取り組む	観光企画課 科学博物館		●		●					国 県 市 事業者
3	ストーリーに関連した展示会の開催	米づくり・酒づくりの歴史や構成文化財を、ストーリーとともに展示・紹介する	科学博物館		○	○	●					国 市
4	ストーリーに関連した学習会等の開催	米づくり・酒づくりの歴史や構成文化財について、ストーリーとともに解説する	科学博物館		○	○	●					国 市

関連文化財群 4 長岡開府の歩みと復興 ～先人たちの営みと人材育成～

1. 目的

江戸時代の長岡城築城以来、長岡の町の発展を支えてきた先人たちの業績を後世に語り継いでいくため、関連文化財群や歴史の魅力を広く発信する取組を展開します。

2. 概要

江戸時代のはじめ、藩主の牧野氏が長岡城を完成させて以来、長岡の町は政治・経済・文化交流の場として発展し、歴代藩主は教育にも力を入れました。幕末の動乱では戊辰戦争の戦場となり、町は壊滅的な損害を受け困窮を極めますが、小林虎三郎は人材育成こそが復興への足掛かりになると、救援米の売却資金を使って教材などを用意し、国漢学校を開校しました。人材育成の大切さは「米百俵」の故事として現在も語り継がれ、多くの困難を乗り越える原動力となってきました。

3. ストーリー

長岡城は江戸時代、現在の長岡駅周辺にありました。現在は長岡城跡として把握され、これまでの発掘調査では堀跡や井戸跡、陶磁器類や漆器、荷札などの遺構・遺物が発見され、かつて城下町が広がっていたことを物語っています。

長岡城の築城が始まったのは慶長10（1605）年、堀直奇の時です。その後、元和4（1618）年に堀氏に代わって牧野忠成が長岡に入り、長岡城築城を引き継ぎ完成させました。信濃川と栖吉川を取り込んで自然の外郭とし、幾重にも堀をめぐるした中心部に本丸と二の丸、三の丸が配置されていました。周囲には家臣団が住まう武家屋敷が置かれ、商人や職人が軒を連ねる町屋も形成されました。航路の整備によって江戸や大坂などの消費地と各地との間に商品の流通網が確立すると、江戸時代中期には信濃川の水運を利用した商品の流通が活発となり、信濃川の船継ぎを行っていた長岡の商人は急速に成長しました。また、街道や水運で結ばれた与板では、大坂屋（三輪家）などの豪商が生まれました。

長岡藩では、藩士や町人ら庶民の間でも和算が浸透していたことが、寺社に奉納された算額から知ることができます。3代藩主牧野忠辰は藩の教育を盛んにすることに努め、藩士に日常生活に役立つ倫理や学問を奨励しました。9代藩主牧野忠精は藩校崇徳館を開校し、藩政を担う人材を育成しました。また、領内の開発に力を注いだ忠精は書画もたしなみ、日照りに慈雨をもたらすという雨龍を描いて豊作への祈りを表し、「雨龍の殿様」と呼ばれました。さらに交通網の発達とともに、地域間の往来が活発となり、詩歌などを通じた文化の交流が盛んに行われました。特に、江戸時代後期の僧、良寛は晩年を和島地域で過ごし、近隣の寺泊・与板地域にも足を運ぶなど、各地の文人らと交流を深めました。その時に書き残した作品は、現在も数多く残されています。

崇徳館からは、幕末から明治時代にかけて活躍する多彩な人材が輩出されました。特に、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎の三人は長岡の三傑と呼ばれています。慶応4（1868）年、戊辰戦争が始まり、河井継之助は、長岡藩家老上席、軍事総督として軍を率いました。長岡城周辺や寺泊沖で新政府軍と激しい戦闘が行われた末、長岡城は落城し、町は壊滅的な被害を受けました。戦後、荒廃した長岡で藩士らは困窮し、支藩の三根山藩から救援米が送られました。小林虎三郎は、復興のためには人材育成が重要であると説き、その米を売却し国漢学校の運営資金に充てました。国漢学校には洋学局、医学局も設置され、藩士の子弟だけでなく町民や農民の子どもも入学を許可されました。町の復興をめざす三島は国漢学校の拡充や長岡洋学校のほか、銀行・病院などの設立に尽力しました。こうした人材育成の理念は、長岡の学校教育に受け継がれ、現在のまちづくりにも活かされています。



写真 8-8 長岡城跡



写真 8-9 諏訪神社の算額



写真 8-10 楽山苑



写真 8-11 順動丸シャフト

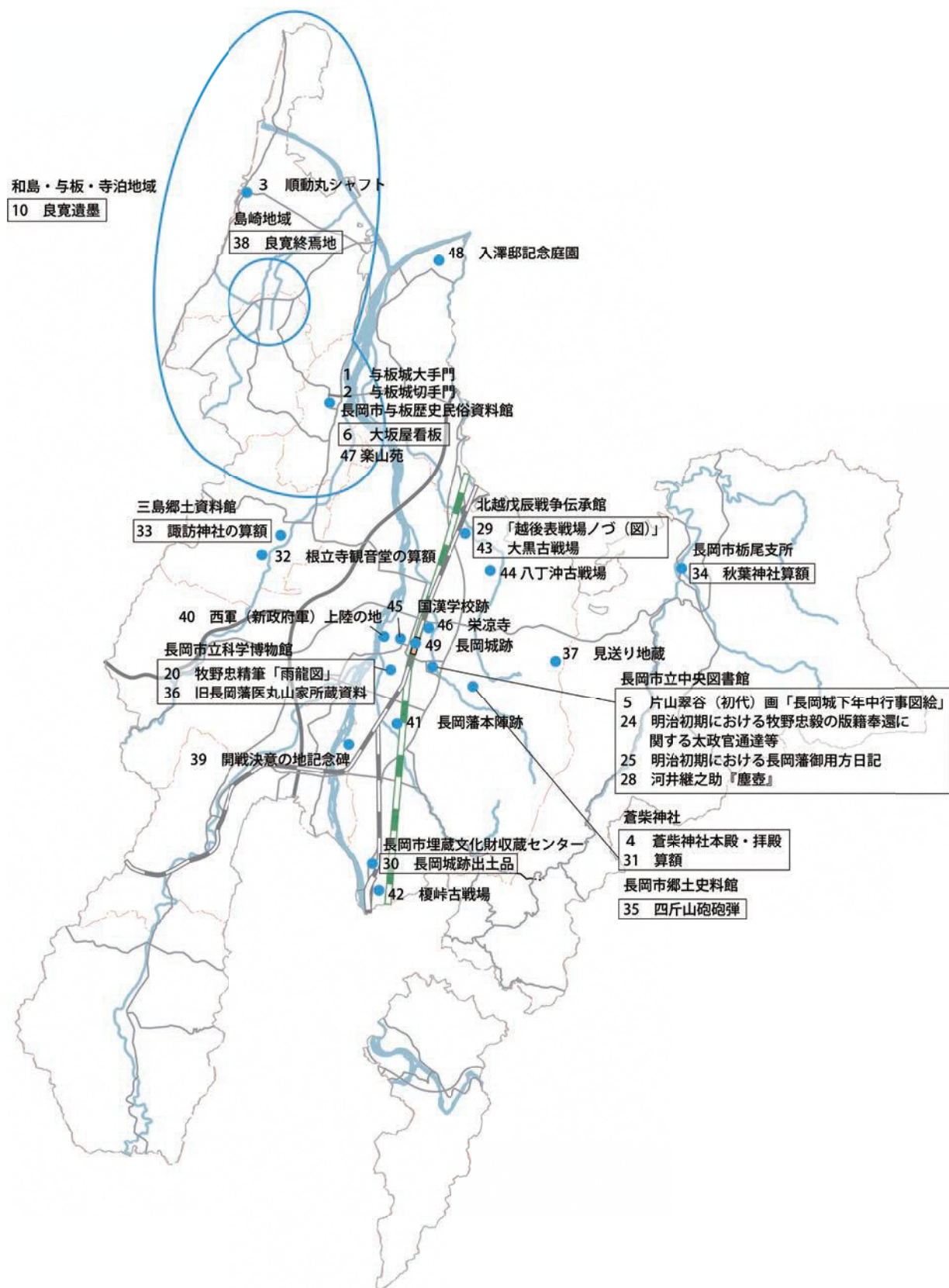


図 8-5 主な構成文化財の位置

4. 構成文化財一覧

番号	分類	種別	指定区分	名称
1	有形文化財	建造物	市指定	与板城大手門
2	有形文化財	建造物	市指定	与板城切手門
3	有形文化財	建造物	市指定	順動丸シャフト
4	有形文化財	建造物	国登録	蒼柴神社本殿・拝殿
5	有形文化財	美術工芸品（絵画）	未指定	片山翠谷（初代）画「長岡城下年中行事図絵」
6	有形文化財	美術工芸品（彫刻）	市指定	大坂屋看板
7	有形文化財	美術工芸品（彫刻）	市指定	良寛書「淡交斎」木額
8	有形文化財	美術工芸品（工芸品）	市指定	良寛の「瓢水指」
9	有形文化財	美術工芸品（工芸品）	未指定	維新の暁鐘（西福寺）
10	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	県指定	良寛遺墨
11	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛関係とその一族の「掛軸」
12	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛関係とその一族の「風呂前屏風」
13	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨
14	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 九条錫杖
15	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 屏風六曲一双 軸装一幅
16	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 過去帳
17	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 和歌一首
18	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 口上書
19	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	良寛遺墨 頂相画賛
20	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	未指定	牧野忠精筆「雨龍図」
21	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	未指定	河井秋義書 七言絶句
22	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	市指定	長岡藩3代 牧野忠辰書
23	有形文化財	美術工芸品（書跡・典籍）	未指定	小林虎三郎書「寝療」
24	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	明治初期における牧野忠毅の版籍奉還に関する太政官通達等
25	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	明治初期における長岡藩御用方日記
26	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	森田千庵史料
27	有形文化財	美術工芸品（古文書）	市指定	朱印状
28	有形文化財	美術工芸品（古文書）	未指定	河井継之助『塵壺』
29	有形文化財	美術工芸品（古文書）	未指定	「越後表戦場ノづ（図）」
30	有形文化財	美術工芸品（考古資料）	未指定	長岡城跡出土品
31	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	市指定	算額
32	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	市指定	根立寺観音堂の算額
33	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	市指定	諏訪神社の算額
34	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	市指定	秋葉神社算額
35	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	未指定	四斤山砲弾
36	有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	未指定	旧長岡藩医丸山家所蔵資料
37	民俗文化財	有形の民俗文化財	市指定	見送り地藏
38	記念物	遺跡	県指定	良寛終焉地
39	記念物	遺跡	未指定	開戦決意の地記念碑
40	記念物	遺跡	未指定	西軍（新政府軍）上陸の地
41	記念物	遺跡	未指定	長岡藩本陣跡
42	記念物	遺跡	未指定	榎峠古戦場
43	記念物	遺跡	未指定	大黒古戦場

44	記念物	遺跡	未指定	八丁沖古戦場
45	記念物	遺跡	未指定	国漢学校跡
46	記念物	遺跡	未指定	栄凉寺
47	記念物	名勝地（庭園）	市指定	楽山苑
48	記念物	名勝地（庭園）	市指定	入澤邸記念庭園
49	埋蔵文化財	城館跡	未指定	長岡城跡

5. 課題・方針・事業

関連文化財群4の保存・活用に向けた課題・方針・事業を以下に整理しました。

課題												
・ 歴史文化の魅力とストーリーを観光客に伝える手段が不足している ・ 文化財保護事業と観光振興事業との連携が不足している ・ 近世から近代における長岡の文化財に触れる機会が少ない ・ 近世から近代における長岡の歴史を伝える必要がある												
方針												
・ 観光客が歴史文化の魅力とストーリーを把握するための媒体を用意する ・ 文化財に関連した新たな観光商品を創出し、文化財保護を誘客・消費につなげる ・ 構成文化財に関する展示会を設ける ・ 構成文化財に関する歴史講座・学習会等を開催する												
事業												
事業番号	事業名	事業概要	担当課	取組主体				計画期間				財源
				市民	団体	専門家	行政	前期	中期	後期	次期計画	
1	【再掲】歴史文化の観光ガイドブックの発行	歴史文化の観光ガイドブックを冊子やデジタルで発行し、各地域の情報発信拠点等で配布する	観光企画課 科学博物館		●		●					国 県 市
2	【再掲】文化財を活かした観光商品の創出	文化財の体験学習や周遊コースの検討、モデルツアーの実施など、新たな観光商品の創出に取り組む	観光企画課 科学博物館		●		●					国 県 市 事業者
3	ストーリーに関連した展示会の開催	近世から近代における長岡の歴史や政治・経済・文化などに焦点をあてた企画展を開催する	科学博物館		○	○	●					市
4	ストーリーに関連した歴史講座・学習会等の開催	近世から近代における長岡の歴史や政治・経済・文化などに焦点をあてた歴史講座・学習会等を開催する	科学博物館		○	○	●					市

第9章 文化財の保存・活用の推進体制

1 取組主体と役割

本計画の取組主体と役割の具体案を「表9-1」に、推進体制を「図9-1」に示します。

本計画の推進主体となる長岡市は、教育委員会の科学博物館に事務局を置き、関係機関を含めた市内の連携を図りながら、国や新潟県の指導を仰ぎ、市民、団体、専門家との協働で文化財の保存・活用に取り組みます。

また、地理的・文化的なつながりのある市町村との交流・連携や協力体制の強化も図っていきます。

2 市内体制の整備

本市の文化財保護行政は、教育委員会が所管しています。本計画に示した文化財の保存・活用に関する取組を実施するため、文化財専門員の確保と育成に努めます。

3 取組主体の連携

文化財は地域の共有財産であることから、行政と文化財の所有者・管理団体・地元研究会だけでなく、地域に関わる市民、各学校、関係団体・企業・専門家などがそれぞれの役割分担のもとで協働して保存・活用に取り組むことを目指します。また、本計画の推進に向けては、多様な取組主体で構成する「長岡市文化財保存活用地域計画協議会（仮称）」を設置し、計画事業の定期的な進捗管理や見直し、意見聴取等を行ってまいります。

表9-1 取組主体と役割

市民		
長岡市民		文化財に関する理解・関心の向上、保存・活用に関する活動への参加、関連情報の提供
所有者・管理団体		現状の把握、維持管理・保存・修理、公開・活用、後継者育成
地元研究会		調査研究活動への参加・成果発表、情報発信
団体		
関係団体・企業		文化財を活用した観光事業の振興、誘客、情報発信
小・中学校・高等学校・専門学校・高等専門学校・大学		生徒・学生に対する地域の歴史文化教育、学習機会の提供
専門家		
研究者・学識経験者		専門的指導・助言、研究活動との連携
博物館・大学研究機関等・新潟県立歴史博物館		文化財等資料の保存・展示、専門的指導・助言、研究活動との連携
行政（長岡市）		
教育委員会	教育総務課	教育行政全般
	学校教育課	学校教育に関する指導
	中央図書館	図書館資料・古文書・美術資料等の収集・整理・保存・調査研究・閲覧・展示等

行政（長岡市）		
教育委員会	科学博物館 館長 1 人 館長補佐 1 人	文化財の保存・活用、調査・研究、文化財に関わる活動の情報発信、教育普及活動、所管施設の管理・運営等 文化財係 事務職 2 人、文化財担当 6 人 馬高縄文館 専門職員 1 人
地方創生推進部	政策企画課	文化財活用の重要施策に係る広域市町村連携における庁内調整
	広報・魅力発信課	報道対応、テレビ・ラジオ等を使った情報発信、ホームページの運営、市政だより
	ミライエ長岡企画推進室	ミライエ長岡の管理運営に関すること
総務部	人事課	職員の人事、採用
	行政管理課	行政組織及び職員の定数
	庶務課	戦災資料館に関すること
地域振興戦略部	地域プロジェクト担当	地域の宝磨き上げ
市民協働推進部	市民協働課	市民との協働の推進に係る企画及び調整、コミュニティの推進、町内会に関すること
	文化振興課	文化振興、生涯学習の企画・推進
商工部	産業支援課	商工業の振興（ものづくり、伝統産業関連）
観光・交流部	観光企画課	観光振興の推進に関すること
農林水産部	農水産政策課	農業の振興に関すること
都市整備部	都市政策課	都市政策（景観）に関すること
	都市施設整備課	街なみ環境整備事業
消防本部	予防課	火災予防行政
行政（関連組織）		
長岡市文化財保護審議会 有識者等 10 名で組織 令和 7（2025）年 7 月時点		文化財の指定及び解除など、教育委員会の諮問に応じた、市文化財の保存及び活用に関する事項の調査審議、意見具申

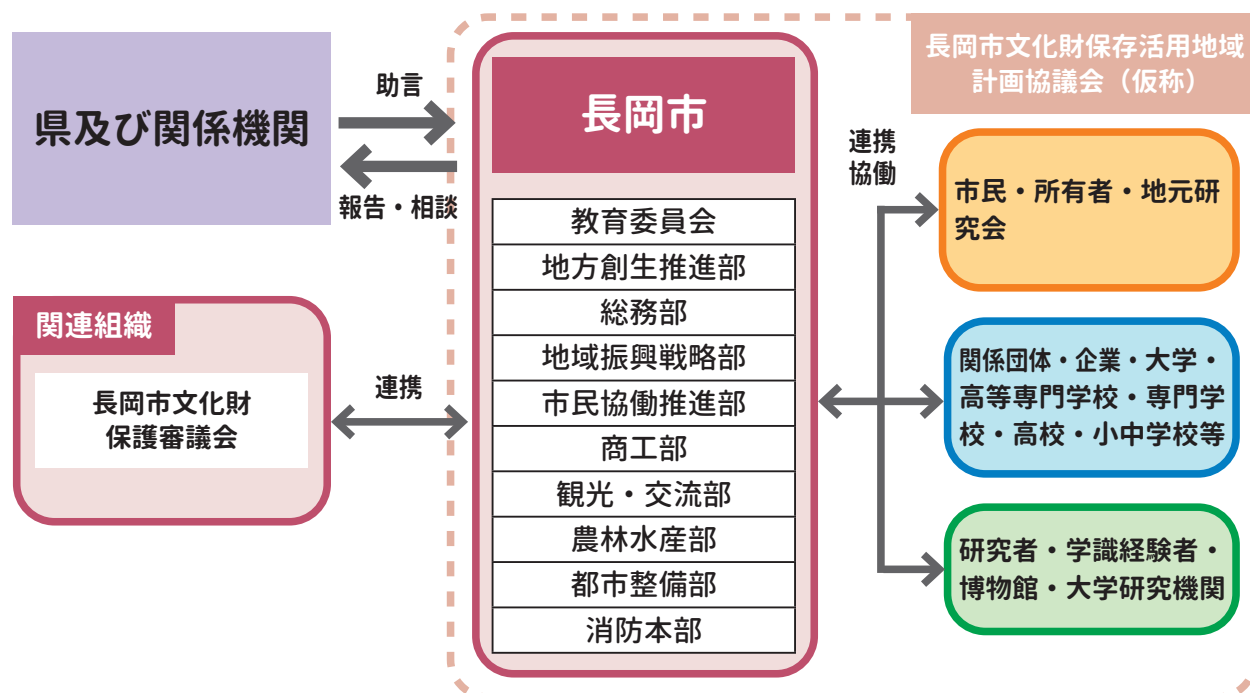


図 9-1 推進体制

別添資料

資料編 1 指定等文化財リスト

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
1	国	有形文化財	建造物	旧長谷川家住宅	6 棟	近世	S57.6.11	越路	塚野山	長岡市	
2	国	有形文化財	建造物	旧平澤家住宅（松籟閣） 附表門・石垣	1 棟	近代	H30.8.17	越路	朝日	朝日酒造株式会社	
3	国	有形文化財	彫刻	木造親鸞聖人坐像	1 軀	中世	S35.6.9	三島	上岩井	西照寺	
4	国	有形文化財	書跡・典籍	大般若経巻第 468 残巻	1 巻	古代	S34.6.27	長岡	長町 1 丁目	個人	
5	国	有形文化財	古文書	越後文書宝翰集	705 通 44 巻	中世	S54.6.6	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
6	国	有形文化財	考古資料	馬高遺跡出土品	300 点	原始	H2.6.29	長岡	関原町 1 丁目 (馬高縄文館)	長岡市	
7	国	有形文化財	考古資料	小瀬ヶ沢洞窟遺跡出土品	1,350 点	原始	H12.6.27	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
8	国	有形文化財	考古資料	室谷洞窟遺跡出土品	1,402 点	原始	H12.12.4	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
9	国	有形文化財	考古資料	村尻遺跡出土品	17 点	原始	H25.6.19	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新発田市	
10	国	有形民俗	有形民俗文化財	白山媛神社奉納船 絵馬	52 点	近世	S45.7.30	寺泊	寺泊大町	白山媛神社	
11	国	有形民俗	有形民俗文化財	東北日本の積雪期 用具 附改良形用具	243 点 3 点	近代	S49.2.18	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
12	国	無形民俗	風俗慣習	牛の角突きの習俗	—		S53.5.22	山古志	小千谷市・長岡市・広神村	二十村郷牛の角突き習俗保存会	近世には行われていた
13	国	記念物	史跡	荒屋遺跡	—	原始	H16.2.27	川口	西川口	長岡市ほか	
14	国	記念物	史跡	藤橋遺跡	—	原始	S53.10.13	長岡	西津町	長岡市	
15	国	記念物	史跡	馬高・三十稲場遺跡	—	原始	S54.2.21	長岡	関原町 1 丁目	長岡市	
16	国	記念物	史跡	八幡林官衙遺跡	—	古代	H7.3.17	和島	島崎・両高	長岡市ほか	
17	国	記念物	特別天然記念物	トキ	—						
18	国	記念物	特別天然記念物	カモシカ	—						
19	国	記念物	天然記念物	イヌワシ	—						
20	国	記念物	天然記念物	ヒシクイ	—						
21	国	記念物	天然記念物	マガン	—						
22	国	記念物	天然記念物	オジロワシ	—						
23	国	記念物	天然記念物	ヤマネ	—						
24	県	有形文化財	建造物	鞍掛神社本殿・拝殿 附棟札	1 棟 1 枚	近世	H4.3.27	中之島	中之島宮内	鞍掛神社氏子	
25	県	有形文化財	絵画	絹本著色妙泉院像	1 幅	近世	S46.4.13	長岡	長町 2 丁目	正覚寺	
26	県	有形文化財	絵画	紙本著色上杉謙信 並二臣像	1 幅	中世	S44.3.25	栃尾	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	常安寺	
27	県	有形文化財	絵画	絹本著色宝塔絵曼荼羅	1 幅	中世	R2.3.27	和島	村田	妙法寺	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
28	県	有形文化財	彫刻	木喰上人作観音像 並に自像	33 軀	近世	S42.3.25	長岡	白鳥町	宝生寺	
29	県	有形文化財	彫刻	薬師如来坐像	1 軀	中世	H11.3.30	中之島	杉之森	高畑氏子	
30	県	有形文化財	彫刻	十二神将立像十一軀	11 軀	中世	H11.3.30	中之島	杉之森	高畑氏子	
31	県	有形文化財	彫刻	木造薬師如来立像	1 軀	中世	S27.12.10	三島	逆谷	寛益寺	
32	県	有形文化財	彫刻	木造四天王立像 持国天・多聞天 木造十二神将立像(十二鉢)	2 軀 12 軀	中世	S27.12.10	三島	逆谷	寛益寺	
33	県	有形文化財	彫刻	木造金剛力士立像(仁王尊)	2 軀	中世	S27.12.10	三島	逆谷	寛益寺	
34	県	有形文化財	彫刻	木造大日如来坐像	1 軀	中世	S38.3.22	栃尾	東中野俣	東光寺	
35	県	有形文化財	彫刻	木造菩薩立像	2 軀	中世	H30.3.23	長岡	中潟町	個人	
36	県	有形文化財	工芸品	太刀(銘弘次)	1 口	中世	S33.3.5	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
37	県	有形文化財	工芸品	梵鐘	1 口	中世	S51.3.31	長岡	亀貝町	妙音寺	
38	県	有形文化財	工芸品	鰐口	1 口	中世	S57.3.26	長岡	釜沢町	釜沢町町内会	
39	県	有形文化財	工芸品	高麗白磁四耳壺	1 個	中世	S27.12.10	越路	来迎寺	白山神社氏子	
40	県	有形文化財	工芸品	梵鐘	1 口	中世	S60.3.29	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
41	県	有形文化財	書跡・典籍	上杉謙信筆五言対句	双幅	中世	S44.3.25	栃尾	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	常安寺	
42	県	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨	20 点	近世	S29.2.10	和島	島崎	個人	
43	県	有形文化財	古文書	越後国石井庄寄人 庄子解	1 通	中世	R7.3.21	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
44	県	有形文化財	考古資料	小瀬ヶ沢洞窟出土品一括	一	原始	H10.3.31	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
45	県	有形文化財	考古資料	毛抜形太刀	1 点	古代	S60.3.29	和島	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
46	県	有形文化財	考古資料	八幡林官衙遺跡出土品	601 点	古代	H9.3.28	和島	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
47	県	有形文化財	考古資料	門新遺跡出土品	335 点	古代	H19.3.23	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
48	県	有形文化財	考古資料	柿崎古墓出土品 附木炭柳木棺墓	5 点 1 基	古代	H14.3.29	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	上越市	
49	県	有形文化財	考古資料	卯ノ木遺跡出土品	98 点	原始	H29.3.21	長岡	幸町 2 丁目 (長岡市立科学博物館)	長岡市	
50	県	有形文化財	考古資料	五千石遺跡出土品	670 点	原始	R5.3.24	寺泊	中潟町(長岡市埋蔵文化財収蔵センター)	長岡市	
51	県	有形文化財	考古資料	青田遺跡出土品 附柱根 8 点 草壁材 1 点 アスファルト塊 2 点 赤色顔料塊 1 点 堅果集積土坑 2 基	2,076 点	原始	H21.3.24	長岡	新潟市秋葉区(県埋蔵文化財センター) 関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
52	県	有形文化財	歴史資料	雪之図	2 巻	近世	R5.2.10	長岡	渡里町	長永寺	
53	県	無形文化財	工芸技術	小国和紙	一		S49.3.30	小国町	小国町山野田	小国紙保存会	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
54	県	有形民俗	有形民俗文化財	「カンジキ」コレクション(田下駄を含む)	41 点	不明	S44.3.25	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
55	県	有形民俗	有形民俗文化財	新潟の衣生活資料	546 点	不明	R6.3.26	長岡	関原町 1 丁目 (新潟県立歴史博物館)	新潟県	
56	県	無形民俗	民俗芸能	王神祭	—		S36.3.20	長岡	西蔵王 3 丁目	金峯神社	
57	県	無形民俗	民俗芸能	巫女爺人形操り	—		H20.3.25		長岡市・小千谷市	巫女爺連絡協議会	近世に始まる
58	県	無形民俗	風俗慣習	越後の風合戦習俗	—		H27.3.24	中之島	新潟市・三条市・見附市・長岡市		近世に始まる
59	県	記念物	史跡	栖吉城跡	—	中世	S38.3.22	長岡	栖吉町	城山城跡保存会	
60	県	記念物	史跡	栃尾城跡	—	中世	S35.3.28	栃尾	栃尾大野町	長岡市	
61	県	記念物	史跡	与板城跡	—	中世	S29.2.10	与板	与板町堤下・与板町倉谷・与板町山沢	与板城山史蹟保存会	
62	県	記念物	史跡	本与板城跡	—	中世	S63.3.25	与板	与板町本与板	本与板城跡史蹟保存会	
63	県	記念物	史跡	良寛終焉地	—	近世	S27.12.10	和島	島崎	個人	
64	県	記念物	史跡	横滝山廃寺跡	—	古代	S59.3.27	寺泊	寺泊竹森	個人	
65	県	記念物	天然記念物	大積の大ツツジ	1 本		S27.12.10	長岡	大積町 2 丁目	個人	樹齢約 800 年
66	県	記念物	天然記念物	蓮花寺の大杉	1 本		S45.4.17	三島	蓮花寺	七社宮	樹齢約 1,200 年
67	県	記念物	天然記念物	白髭神社の樹林	杉 9 本 樺 1 本		S48.3.29	山古志	山古志竹沢	白髭神社	約 350 年前植樹
68	市	有形文化財	建造物	大竹貫一生家	1 棟	近世	S47.1.10	中之島	中之島	大竹邸保存会	
69	市	有形文化財	建造物	中之島諏訪神社	1 棟	近世	S54.8.10	中之島	中之島	諏訪神社氏子	
70	市	有形文化財	建造物	光正寺本堂	1 棟	近代	S54.8.10	中之島	中之島	光正寺	
71	市	有形文化財	建造物	根立寺の観音堂	1 棟	近世	S47.11.10	三島	上岩井	根立寺	
72	市	有形文化財	建造物	山門	1 棟	近世	S54.3.6	三島	上岩井	西照寺	
73	市	有形文化財	建造物	仁王門	1 棟	近世	S54.6.20	三島	逆谷	寛益寺	
74	市	有形文化財	建造物	相野原観音堂	1 棟	近世	H4.6.23	小国	小国町相野原	個人	
75	市	有形文化財	建造物	秋葉三尺坊奥の院	1 棟	近世	S54.10.1	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
76	市	有形文化財	建造物	都野神社(本殿彫刻)と八幡宮御本社彫物仕用	1 棟	近世	S47.10.14	与板	与板町横町	寺社	
77	市	有形文化財	建造物	貴渡神社社殿彫刻	1 棟	近世	S55.6.27	栃尾	栃堀	栃堀地区	
78	市	有形文化財	建造物	秋葉三尺坊拝殿 附 狛犬 石灯籠	1 棟 1 対 15 基	近世	H6.8.5	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
79	市	有形文化財	建造物	与板城大手門	1 棟	近世	S47.10.14	与板	与板町与板	本願寺新潟別院	
80	市	有形文化財	建造物	与板城切手門	1 棟	近世	S47.10.14	与板	与板町与板	恩行寺	
81	市	有形文化財	建造物	妙法寺の四脚門(黒門)	1 棟	近世	S55.12.11	和島	村田	妙法寺	
82	市	有形文化財	建造物	妙法寺の二天門(赤門)	1 棟	近世	S55.12.11	和島	村田	妙法寺	
83	市	有形文化財	建造物	順動丸シャフト	1 対	近世	S54.3.29	寺泊	寺泊二ノ関	長岡市	
84	市	有形文化財	絵画	方便法身尊像	1 幅	中世	S39.3.26	長岡	渡里町	西福寺	
85	市	有形文化財	絵画	狩野秀信筆 徳川十七将ノ図	1 幅	近世	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目 (長岡市立中央図書館)	長岡市	
86	市	有形文化財	絵画	阿弥陀絵像	1 幅	中世	S47.1.10	中之島	中野中	満福寺	
87	市	有形文化財	絵画	桃里亭卯香女 守門神社奉納画	9 枚	近世	S47.2.27	栃尾	東中野俣	守門神社	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
88	市	有形文化財	絵画	山水画幅	1 幅	近世	S51.3.29	栃尾	栃尾泉	個人	
89	市	有形文化財	絵画	恩行寺雲龍天井絵	1 枚	近世	S47.10.14	与板	与板町与板	恩行寺	
90	市	有形文化財	絵画	絹本着色初君惜別之図	1 幅	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊荒町	聖徳寺	
91	市	有形文化財	絵画	紙本着色初君図	1 幅	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊坂井町	個人	
92	市	有形文化財	絵画	観無量寿経曼陀羅	1 幅	近世	S57.4.1	寺泊	寺泊大町	生福寺	
93	市	有形文化財	彫刻	木喰五行菩薩彫刻 仏像不 動明王像 1 体 白衣観世音大士 像 1 体	各 1 体	近世	S37.3.2	長岡	上前島町	個人	
94	市	有形文化財	彫刻	木喰上人彫刻仏像 秩父 3 4 観音像 自刻像 金毘羅権現像	36 躯	近世	S43.3.25	長岡	上前島町	上前島町 町内会	
95	市	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像	1 躯	中世	S38.3.28	長岡	長町 2 丁目	正覚寺	
96	市	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像	1 躯	中世	S49.3.27	長岡	栖吉町	善照寺	
97	市	有形文化財	彫刻	薬師如来・日光菩薩・月光菩薩	各 1 躯	中世	S46.3.29	長岡	村松町	円融寺	
98	市	有形文化財	彫刻	十二神将像	12 躯	中世	S46.3.29	長岡	村松町	円融寺	
99	市	有形文化財	彫刻	薬師如来立像	1 躯	中世	S55.3.24	長岡	親沢町	龍蔵寺	
100	市	有形文化財	彫刻	千手観音坐像	1 躯	中世	S61.3.25	長岡	釜沢町	釜沢町町 内会	
101	市	有形文化財	彫刻	毘沙門天立像	1 躯	中世	S62.10.30	長岡	西藏王 3 丁目	安禅寺	
102	市	有形文化財	彫刻	不動明王立像	1 躯	中世	H25.3.25	長岡	西藏王 3 丁目	安禅寺	
103	市	有形文化財	彫刻	木造釈迦如来坐像	1 躯	中世	S52.9.12	三島	蓮花寺	法華寺	
104	市	有形文化財	彫刻	木造天部形立像	1 躯	中世	S52.9.12	三島	蓮花寺	法華寺	
105	市	有形文化財	彫刻	木造四天王立像 増長天・広目天	2 躯	中世	S52.9.12	三島	逆谷	寛益寺	
106	市	有形文化財	彫刻	木造聖徳太子立像	1 躯	近世	S52.9.12	三島	鳥越	浄覚寺	
107	市	有形文化財	彫刻	大日如来坐像	1 躯	中世	S57.4.17	山古志	山古志東竹沢 丙	小松倉区 長	
108	市	有形文化財	彫刻	木喰仏仁王尊	2 躯	近世	S58.4.1	小国	小国町太郎丸	真福寺	
109	市	有形文化財	彫刻	木喰仏立木観音	1 躯	近世	S58.4.1	小国	小国町太郎丸	真福寺	
110	市	有形文化財	彫刻	木喰仏金比羅大権 現	1 躯	近世	S58.4.1	小国	小国町太郎丸	真福寺	
111	市	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像	1 躯	中世	S38.3.28	長岡	成願寺町	蓮光寺	
112	市	有形文化財	彫刻	毘沙門天立像	1 躯	中世	S38.9.11	栃尾	東中野俣	東光寺	
113	市	有形文化財	彫刻	大日如来坐像	1 躯	中世	S38.9.11	栃尾	上塩	華蔵院	
114	市	有形文化財	彫刻	釈迦如来坐像	1 躯	中世	S38.9.11	栃尾	一之貝	雲帯寺	
115	市	有形文化財	彫刻	薬師如来坐像	1 躯	中世	S38.9.11	栃尾	赤谷	赤谷地区	
116	市	有形文化財	彫刻	不動明王	1 躯	中世	S54.10.1	栃尾	東中野俣	東光寺	
117	市	有形文化財	彫刻	延命地藏菩薩	1 躯	近世	S54.11.29	栃尾	北荷頃	曹源寺	
118	市	有形文化財	彫刻	獅子頭	1 個	近世	S57.3.31	栃尾	小貫	羽黒神社 氏子	
119	市	有形文化財	彫刻	不動明王立像	1 躯	中世	S62.12.14	栃尾	寒沢	個人	
120	市	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来座像	1 躯	中世	S47.10.14	与板	与板町山沢	山沢町町 内会	
121	市	有形文化財	彫刻	大坂屋看板	1 枚	近世	S47.10.14	与板	与板町与板 (与板歴史民俗資料館)	長岡市	
122	市	有形文化財	彫刻	良寛書「淡交斎」 木額	1 点	近世	H2.6.1	与板	与板町与板	蓮正寺	
123	市	有形文化財	彫刻	十一面観音菩薩立 像	1 躯	中世	H5.6.28	与板	与板町与板	長岡市	
124	市	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立 像	1 躯	中世	S56.4.1	寺泊	寺泊荒町	聖徳寺	
125	市	有形文化財	彫刻	木造親鸞聖人座像	1 躯	中世	S56.4.1	寺泊	寺泊荒町	聖徳寺	
126	市	有形文化財	彫刻	釈迦如来涅槃像	1 曾	中世	H7.3.23	寺泊	寺泊大町	生福寺	
127	市	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来坐像	1 躯	中世	H7.3.23	寺泊	寺泊野積	南泉院	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
128	市	有形文化財	彫刻	木造地藏菩薩坐像	1 軀	不明	S53.2.27	川口	西川口	西倉地藏管理委員会	
129	市	有形文化財	彫刻	林興庵雲蝶欄間	16 点	近世	H3.7.1	川口	川口中山	林興庵	
130	市	有形文化財	工芸品	御山焼瓶子	2 個	近世	S39.3.26	長岡	悠久町	蒼柴神社	
131	市	有形文化財	工芸品	打刀 藤原兼宗作	1 振	近世	S41.3.29	長岡	下々条町	個人	
132	市	有形文化財	工芸品	古鏡 (四面)	4 面	中世	S54.6.20	三島	蓮花寺	七社宮	
133	市	有形文化財	工芸品	古鏡 (四面)	4 面	中世	S54.6.20	三島	上岩井 (三島郷土資料館)	気比宮気比神社	
134	市	有形文化財	工芸品	元祖 中屋庄兵衛の鋸	2 点	近世	S55.4.23	三島	上岩井 (三島郷土資料館)	長岡市	
135	市	有形文化財	工芸品	鰐口	1 口	中世	S45.7.1	栃尾	栃尾表町	個人	
136	市	有形文化財	工芸品	謙信公兜の前立	1 個	中世	S47.2.23	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
137	市	有形文化財	工芸品	鰐口	1 口	中世	S47.11.23	栃尾	栃尾表町	個人	
138	市	有形文化財	工芸品	一之貝百二十・十の字餅	1 点	近代	S50.2.28	栃尾	一之貝	個人	
139	市	有形文化財	工芸品	蚊帳	1 張	近世	S51.3.29	栃尾	中央公園 (長岡市栃尾支所)	長岡市	
140	市	有形文化財	工芸品	孔雀尾具足陣羽織	1 枚	中世	S47.10.14	与板	与板町与板 (与板歴史民俗資料館)	長岡市	
141	市	有形文化財	工芸品	良寛の「瓢水指」	1 点	近世	H2.6.1	与板	与板町与板	蓮正寺	
142	市	有形文化財	工芸品	懸仏	1 面	中世	S54.3.29	寺泊	寺泊大町	生福寺	
143	市	有形文化財	工芸品	瑞花双鳳八稜鏡 数珠 懷剣 鏡、数珠、各外器	1 面 1 連 1 振 2 個	中世	S56.4.1	寺泊	寺泊上荒町	円福寺	
144	市	有形文化財	書跡・典籍	扶桑書集	9 巻	近世	S39.3.26	長岡	悠久町	蒼柴神社	
145	市	有形文化財	書跡・典籍	長岡藩 3 代 牧野忠辰書	1 幅	近世	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目 (長岡市立中央図書館)	長岡市	
146	市	有形文化財	書跡・典籍	書籍、南総里見八犬伝 全巻	106 冊	近世	S52.6.28	山古志	幸町 2 丁目 (長岡長岡市立科学博物館)	長岡市	
147	市	有形文化財	書跡・典籍	富川大塊書幀	2 旒	近世	S39.12.21	栃尾	滝の下町	個人	
148	市	有形文化財	書跡・典籍	富川大塊書屏風	1 双	近世	S54.10.1	栃尾	上の原町 (長岡市栃尾美術館)	長岡市	
149	市	有形文化財	書跡・典籍	明版大蔵經と請蔵南行爛葛藤	9,056 巻	近世	S55.11.21	与板	与板町与板	徳昌寺	
150	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛関係とその一族の「掛軸」	1 幅	近世	H2.6.1	与板	与板町与板	蓮正寺	
151	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛関係とその一族の「風呂前屏風」	1 双	近世	H2.6.1	与板	与板町与板	蓮正寺	
152	市	有形文化財	書跡・典籍	村岡三郎公の後家妙蓮尼のお曼荼羅	1 幅	中世	S52.3.25	和島	東保内	蓮念寺	
153	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨	20 点	近世	H4.3.3	和島	島崎 (良寛の里美術館)	(有) 最香堂	
154	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 九条錫杖經	1 点	近世	S52.3.24	寺泊	寺泊万善寺	萬善寺	
155	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 屏風 軸装	1 双 1 幅	近世	S54.3.29	寺泊	寺泊大町	個人	
156	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 過去帳	1 帖	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊片町	照明寺	
157	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 和歌一首	1 幅	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊荒町	聖徳寺	
158	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 口上書	1 幅	近世	S57.4.1	寺泊	寺泊松沢町	個人	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
159	市	有形文化財	書跡・典籍	大村光枝遺墨	2 巻	近世	S60.11.22	寺泊	寺泊小川町	個人	
160	市	有形文化財	書跡・典籍	松平定信遺墨和歌軸装	1 幅	近世	H8.4.1	寺泊	寺泊大和田	個人	
161	市	有形文化財	書跡・典籍	松平定信染筆扁額 原書「白山宮」 款記・扁額	1 幅 1 幅 1 面	近世	H9.4.1	寺泊	寺泊大町	白山媛神社	
162	市	有形文化財	書跡・典籍	良寛遺墨 丁相画賛	1 幅	近世	H2.3.27	寺泊	寺泊上荒町	円福寺	
163	市	有形文化財	古文書	草間家古文書	5 通	近世	S36.2.17	長岡	表町 4 丁目	個人	
164	市	有形文化財	古文書	朱印状	1 通	近世	S39.3.26	長岡	悠久町	蒼柴神社	
165	市	有形文化財	古文書	河村検地帳	9 冊	中世	S47.3.23	長岡	長倉西町（長岡市歴史文書館）	安禅寺	
166	市	有形文化財	古文書	河村検地帳 古志郡大嶋庄河崎村御検地帳	1 冊	中世	H12.3.24	長岡	長倉西町（長岡市歴史文書館）	安禅寺	
167	市	有形文化財	古文書	明治期における三島億二郎の日記	42 冊	近代	S49.3.27	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
168	市	有形文化財	古文書	慶長 5 年牧野康成軍忠状	1 幅	近世	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
169	市	有形文化財	古文書	寛永 19 年牧野右馬允忠成の康成系譜書	1 点	近世	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
170	市	有形文化財	古文書	明治初期における牧野忠毅の版籍奉還に関する太政官通達等	4 通	近代	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
171	市	有形文化財	古文書	明治初期における長岡藩御用方日記	3 冊	近代	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
172	市	有形文化財	古文書	片桐文書	約 600 冊	近世	S48.4.5	三島	三島新保	三島新保地区	
173	市	有形文化財	古文書	上杉景虎感状		中世	S60.6.11	小国	小国町武石	個人	
174	市	有形文化財	古文書	元和 4 年・元和 6 年 牧野忠成御知行目録	2 冊	近世	S53.4.1	長岡	学校町 1 丁目（長岡市立中央図書館）	長岡市	
175	市	有形文化財	古文書	森田千庵史料	58 冊	近世	S39.12.21	栃尾	谷内 2 丁目	個人	
176	市	有形文化財	古文書	上杉景虎安堵状	1 巻	中世	S47.2.23	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
177	市	有形文化財	古文書	上杉景勝安堵状	1 巻	中世	S47.2.23	栃尾	谷内 2 丁目	常安寺	
178	市	有形文化財	古文書	関守	223 冊	近世	S47.10.14	与板	与板町与板（与板歴史民俗資料館）	長岡市	
179	市	有形文化財	古文書	寺泊町御用留、渡部組御用留等	263 冊	近世	S52.3.24	寺泊	長岡市吉（長岡市寺泊支所）	長岡市	
180	市	有形文化財	古文書	萬覚帳	1 冊	近世	S54.3.29	寺泊	寺泊大町	個人	
181	市	有形文化財	古文書	年友 五十嵐家文書		中世	S54.3.29	寺泊	寺泊吉（長岡市寺泊支所）	長岡市	
182	市	有形文化財	古文書	赤谷村御検地帳	1 冊	近世	S54.10.1	栃尾	栃尾表町	個人	
183	市	有形文化財	古文書	東光寺仏像に関する貞和文書	1 巻	中世	S54.10.1	栃尾	中央公園（長岡市栃尾支所）	長岡市	
184	市	有形文化財	古文書	上杉房定 感状	1 通	中世	S56.4.1	寺泊	寺泊吉（長岡市寺泊支所）	長岡市	
185	市	有形文化財	古文書	上杉景勝朱印状	1 巻	中世	S57.2.1	栃尾	金町	個人	
186	市	有形文化財	古文書	大和田 渡辺家文書		近世	S58.4.1	寺泊	寺泊大和田	個人	
187	市	有形文化財	古文書	夏戸 小黒家文書		近世	S59.4.1	寺泊	寺泊夏戸	個人	
188	市	有形文化財	古文書	大地 山田家文書		中世	S59.4.1	寺泊	寺泊大地	個人	
189	市	有形文化財	古文書	齊藤下野守宛行状	2 通	中世	S60.6.11	小国	小国町新町（小国民俗資料館）	個人	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
190	市	有形文化財	古文書	山横沢村近世貢納文書	294 点	近世	H1.4.1	小国	小国町新町(小国民俗資料館)	八王子集落	
191	市	有形文化財	古文書	肥娛林日鑑	1 冊	近世	H1.4.1	小国	小国町新町(小国民俗資料館)	個人	
192	市	有形文化財	古文書	貞享 2 年川口組大絵図	1 枚	近世	H3.7.1	川口	川口	長岡市	
193	市	有形文化財	古文書	大町 松田家文書「越後名寄(写本)他」	19 冊	近世	H8.4.1	寺泊	寺泊大町	個人	
194	市	有形文化財	古文書	木島 菅沼家文書	3997 点	近世	H12.4.1	寺泊	新潟市女池(新潟県立文書館)	個人	
195	市	有形文化財	古文書	直江兼続書状	1 幅	中世	H12.6.1	与板	与板町与板(与板歴史民俗資料館)	長岡市	
196	市	有形文化財	古文書	坂井町 柳下家文書	16 点	近世	H13.11.20	寺泊	寺泊坂井町	個人	
197	市	有形文化財	古文書	別院日誌	271 点	近世	H17.11.22	与板	与板町与板(与板歴史民俗資料館)	本願寺新潟別院	
198	市	有形文化財	考古資料	火焰型土器(栃倉遺跡出土)	1 個	原始	S47.2.23	栃尾	中央公園(長岡市栃尾支所)	長岡市	
199	市	有形文化財	考古資料	縄文土器(徳昌寺遺跡等出土)	30 点	原始	S47.10.14	与板	与板町与板(与板歴史民俗資料館)	長岡市	
200	市	有形文化財	考古資料	人頭骨	2 体	中世	S52.3.25	和島	城之丘	本行寺	
201	市	有形文化財	考古資料	鷗尾	6 点	古代	S54.3.29	寺泊	中潟町(長岡市埋蔵文化財収蔵センター)	長岡市教育委員会	
202	市	有形文化財	考古資料	寺字墨書土師器	1 点	古代	S54.3.29	寺泊	寺泊竹森	個人	
203	市	有形文化財	考古資料	蓮弁鍔瓦	2 点	古代	S54.3.29	寺泊	寺泊竹森	個人	
204	市	有形文化財	考古資料	子持勾玉	1 点	古代	S54.3.29	寺泊	寺泊竹森	個人	
205	市	有形文化財	考古資料	ほとぎ(缶)	1 個	古代	S56.3.31	和島	村田	治暦寺	
206	市	有形文化財	考古資料	横滝山廃寺跡出土品		古代	S60.4.1	寺泊	中潟町(長岡市埋蔵文化財収蔵センター)	長岡市	
207	市	有形文化財	考古資料	経囊(香塚出土)	1 点	中世	S62.10.6	三島	上岩井(三島郷土資料館)	長岡市	
208	市	有形文化財	考古資料	土偶(舟岡遺跡出土)	1 点	原始	S62.10.6	三島	上岩井(三島郷土資料館)	長岡市	
209	市	有形文化財	考古資料	火焰型土器(門の沢遺跡出土)	1 点	原始	S62.10.6	三島	上岩井(三島郷土資料館)	長岡市	
210	市	有形文化財	考古資料	石包丁(水上遺跡出土)	1 点	原始	H17.3.24	小国	小国町新町(小国民俗資料館)	長岡市	
211	市	有形文化財	歴史資料	算額	1 面	近世	S43.3.25	長岡	悠久町	蒼柴神社	
212	市	有形文化財	歴史資料	秋葉神社算額	1 面	近代	S48.3.28	栃尾	中央公園(長岡市栃尾支所)	常安寺	
213	市	有形文化財	歴史資料	佐藤家南蛮鉄の位牌	1 柱	近世	S58.4.1	小国	小国町千谷沢	龍光院	
214	市	有形文化財	歴史資料	板絵千手観世音菩薩像 附裏書	1 体	中世	H15.2.20	長岡	釜沢町	釜沢町町内会	
215	市	有形文化財	歴史資料	初君旧歌碑	1 基	近世	H15.6.18	寺泊	寺泊大町	長岡市	
216	市	有形文化財	歴史資料	信濃川氾濫絵図	10 枚	近世	H17.11.22	与板	与板町与板(与板歴史民俗資料館)	長岡市	
217	市	有形文化財	歴史資料	諏訪神社の算額	1 枚	近世	H19.3.22	三島	上岩井(三島郷土資料館)	諏訪神社氏子	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
218	市	有形文化財	歴史資料	根立寺観音堂の算額	1 枚	近世	H19.3.22	三島	上岩井	根立寺	
219	市	無形文化財	工芸技術	和紙製造技術	1 名		S57.3.31	栃尾	山葵谷	個人	
220	市	無形文化財	工芸技術	大字山田の曲物製造技術	—		S57.4.1	寺泊	寺泊山田	山田篩業組合	
221	市	有形民俗	有形民俗文化財	栃尾紬標本	1 冊	近世	S45.4.1	栃尾	中央公園（長岡市栃尾支所）	長岡市	
222	市	有形民俗	有形民俗文化財	見送り地藏	1 軀	近世	S54.11.29	栃尾	軽井沢	軽井沢地区	
223	市	有形民俗	有形民俗文化財	妙見堂奉納 船絵馬	3 点	近代	S56.4.1	寺泊	寺泊上荒町	円福寺	
224	市	有形民俗	有形民俗文化財	追分地藏	1 軀	近世	S57.3.31	栃尾	菅畑	菅畑地区	
225	市	有形民俗	有形民俗文化財	宝篋印塔群	23 基	近世	S57.3.31	栃尾	山葵谷	山葵谷地区	
226	市	有形民俗	有形民俗文化財	丸木舟	1 隻	近世	S60.11.22	寺泊	寺泊有信	個人	
227	市	有形民俗	有形民俗文化財	長岡藩御用鍛冶藤原兼宗資料	149 点	近世	S61.3.25	長岡	幸町 2 丁目（長岡市立科学博物館）	長岡市	
228	市	有形民俗	有形民俗文化財	松尾神社酒造図絵馬	1 面	近代	H15.9.10	越路	東谷山宿	松尾神社氏子	
229	市	有形民俗	有形民俗文化財	根立寺観音堂の酒造絵馬	1 面	近世	H20.3.31	三島	上岩井	根立寺	
230	市	無形民俗	風俗慣習	諏訪神社春季大祭神輿渡御行列（大名行列）	—		S41.10.1	栃尾	栃尾表町	諏訪神社	近世に始まる
231	市	無形民俗	風俗慣習	金峯神社の流鏝馬	—		S46.3.29	長岡	西藏王 3 丁目	金峯神社	
232	市	無形民俗	風俗慣習	中之島諏訪神社燈籠神事	—		H1.4.1	中之島	中之島	諏訪神社	近代に始まる
233	市	無形民俗	風俗慣習	中条日枝神社春秋祭禮御神輿巡行神事	—		H1.4.1	中之島	中之島中条	日枝神社氏子	近代に始まる
234	市	無形民俗	民俗芸能	岩戸舞	—		S44.11.20	栃尾	葎谷	葎谷神楽保存会	近世に始まる
235	市	無形民俗	民俗芸能	池之島神楽	—		S49.4.1	中之島	池之島	池之島郷土芸術保存会	近世に始まる
236	市	無形民俗	民俗芸能	中野東神楽	—		S49.4.1	中之島	中野東	中野東神楽伶人会	近代に始まる
237	市	無形民俗	民俗芸能	末宝神楽	—		S49.4.1	中之島	末宝	末宝神楽保芸会	
238	市	無形民俗	民俗芸能	塩たき節	—		S54.3.29	寺泊			
239	市	無形民俗	民俗芸能	栃堀神楽舞	—		S54.10.1	栃尾	栃堀	栃堀神楽会	
240	市	無形民俗	民俗芸能	荷頃神楽舞	—		S54.10.1	栃尾	北荷頃	北荷頃巢守神社太々神楽保存会	
241	市	無形民俗	民俗芸能	小高棒踊	—		S54.10.8	川口	川口田麦山	小高棒踊保存会	近代に始まる
242	市	無形民俗	民俗芸能	吉津神楽	—		S55.4.1	与板	与板町吉津	吉津神楽保存会	
243	市	無形民俗	民俗芸能	菅畑神楽舞	—		S57.3.31	栃尾	菅畑	菅畑神楽保存会	近代に始まる
244	市	無形民俗	民俗芸能	法末神楽	—		S58.4.1	小国町	小国町法末	法末芸能保存会	近世に始まる
245	市	無形民俗	民俗芸能	和南津花笠甚句	—		S58.12.13	川口	川口和南津	和南津花笠甚句保存会	近世に始まる
246	市	無形民俗	民俗芸能	灰島神楽	—		S61.11.10	中之島	灰島新田	灰島神楽保存会	近世に始まる
247	市	無形民俗	民俗芸能	弓踊り	—		H7.3.1	和島	島崎	六夜祭弓踊り保存振興会	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
248	市	無形民俗	民俗芸能	菅沼神楽	—		H10.6.17	越路	菅沼	菅沼神楽保存会	
249	市	無形民俗	民俗芸能	萬歳の若水	—		H13.2.26	寺泊			近世に始まる
250	市	無形民俗	民俗芸能	越後追分	—		H13.2.26	寺泊			
251	市	無形民俗	民俗芸能	真敬寺雅楽	—		H16.6.9	中之島	中条新田	真敬寺雅楽保存会	近代に始まる
252	市	記念物	史跡	蔵王堂城跡	—	中世	S36.3.24	長岡	西藏王3丁目	安禅寺	
253	市	記念物	史跡	初代牧野忠成墓地	—	近世	S41.3.29	長岡	栖吉町	普済寺	
254	市	記念物	史跡	一里塚遺跡	—	近世	S44.3.28	長岡	喜多町	長岡市	
255	市	記念物	史跡	徳昌寺遺跡	—	原始	S47.10.14	与板	与板町馬場町	徳昌寺	
256	市	記念物	史跡	曾我禅師坊の墓	1基	中世	S47.11.10	三島	逆谷	寛益寺	
257	市	記念物	史跡	あら城	—	中世	S47.11.10	三島	気比宮	個人	
258	市	記念物	史跡	千石原遺跡	—	原始	S47.11.10	三島	吉崎	長岡市・個人	
259	市	記念物	史跡	「御本陣」入口の遺構（枡形の石垣）	—	近世	S50.5.15	川口	東川口		
260	市	記念物	史跡	菊屋五十嵐家跡聚感園	—	近世	S52.3.24	寺泊	寺泊大町	長岡市	
261	市	記念物	史跡	大森子陽の墓	1基	近世	S52.3.24	寺泊	寺泊当新田	万福寺	
262	市	記念物	史跡	良寛住庵の地 密蔵院跡	—	近世	S52.3.24	寺泊	寺泊新道	照明寺	
263	市	記念物	史跡	村岡三郎公の墓	2基	中世	S52.3.25	和島	東保内	蓮念寺	
264	市	記念物	史跡	遍澄法師の墓	1基	近代	S52.3.25	和島	島崎	妙徳寺	
265	市	記念物	史跡	風間信濃守信昭の墓	3基	中世	S52.3.25	和島	村田	治暦寺	
266	市	記念物	史跡	初君歌碑	1基	近世	S54.3.29	寺泊	寺泊磯町	愛宕神社氏子	
267	市	記念物	史跡	鳥越城跡	—	中世	S54.6.20	三島	鳥越・七日市	七日市生産森林組合・個人	
268	市	記念物	史跡	香塚	1基	中世	S54.6.20	三島	鳥越	個人	
269	市	記念物	史跡	朝日百塚	11基	不明	S54.10.1	越路	来迎寺	個人	
270	市	記念物	史跡	朝日百塚	4基	不明	S54.10.1	越路	来迎寺	個人	
271	市	記念物	史跡	栃倉遺跡	—	原始	S54.10.1	栃尾	栃倉	個人・長岡市	
272	市	記念物	史跡	初君旧歌碑の地	—	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊坂井町	個人	
273	市	記念物	史跡	中野愛宕庵	—	不明	S57.4.17	山古志	山古志種芋原	山古志種芋原区長	
274	市	記念物	史跡	一の沢窯址	—	古代	S62.10.6	三島	鳥越	個人	
275	市	記念物	史跡	門の沢遺跡	—	原始	S62.10.6	三島	逆谷	個人	
276	市	記念物	史跡	疎水碑	1基	近代	H1.4.1	小国	小国町森光	森光集落	
277	市	記念物	史跡	石仏群	19体	近世	H1.4.1	小国	小国町八王子	八王子集落	
278	市	記念物	史跡	夏戸城跡	—	中世	H2.3.27	寺泊	寺泊夏戸	夏戸城跡保存会	
279	市	記念物	史跡	脇野町代官所跡	—	近世	H2.11.20	三島	脇野町	浄福寺・長岡市・個人	
280	市	記念物	史跡	西倉遺跡	—	原始	H3.7.1	川口	西川口	個人	
281	市	記念物	史跡	与茂七地藏およびその周辺の石碑を含む一帯	—	不明	H5.6.9	中之島	中之島	保存会	
282	市	記念物	史跡	桑名藩士墓碑	4基	近世	H7.3.23	寺泊	寺泊町軽井	常禅寺	
283	市	記念物	史跡	入澤記念庭園	—	近世	H7.10.9	中之島	中之島西野	入澤邸保存会	
284	市	記念物	史跡	お坪根様招魂碑及び周辺一帯	—	中世	H8.11.13	中之島	坪根	坪根地区	
285	市	記念物	史跡	武石峠と石仏群	—	近世	H12.11.28	小国	小国町武石	武石集落	
286	市	記念物	名勝	楽山苑	—	近代	S47.10.14	与板	与板町与板	長岡市	
287	市	記念物	名勝	外山家庭園	—	近代	S54.10.1	栃尾	小貫	個人	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
288	市	記念物	名勝	聖徳寺庭園	—	近世	S56.4.1	寺泊	寺泊荒町	聖徳寺	
289	市	記念物	天然記念物	栖吉の大櫨	1本		S38.3.28	長岡	栖吉町	栖吉神社	樹齢 600 ～ 800 年
290	市	記念物	天然記念物	蔵王の大櫨	1本		S38.3.28	長岡	西藏王 3 丁目	金峯神社	樹齢 700 ～ 800 年
291	市	記念物	天然記念物	しだれ桜	1本		S45.7.1	栃尾	栗山沢	栗山沢地区	
292	市	記念物	天然記念物	香林寺のしだれ桜	1本		S46.3.29	長岡	雲出町	香林寺	樹齢約 400 年
293	市	記念物	天然記念物	古正寺の大櫨	1本		S47.3.23	長岡	古正寺町	古正寺町町内会	約 700 年以上前に自生
294	市	記念物	天然記念物	大積の大一位と伽羅木	2本		S47.3.23	長岡	大積高鳥町	個人	
295	市	記念物	天然記念物	城山一本杉	1本		S47.10.14	与板	与板町与板	与板乙部地区	樹齢約 400 年
296	市	記念物	天然記念物	中永の大ケヤキ	1本		S47.11.10	三島	中永	中永地区	樹齢 500 ～ 600 年
297	市	記念物	天然記念物	大久保の桂の木	1本		S52.6.28	山古志	山古志東竹沢乙	大久保区長	樹齢約 600 年
298	市	記念物	天然記念物	下来伝の大杉	1本		S55.4.22	栃尾	下来伝	下来伝地区	樹齢約 800 年
299	市	記念物	天然記念物	阿弥陀瀬の大杉	1本		S55.12.11	和島	阿弥陀瀬	白山社	安政五(1855)年の記録に「大杉」とあり
300	市	記念物	天然記念物	炉開き	1株		S56.12.29	栃尾	栃尾大野町	個人	樹齢 100 年以上
301	市	記念物	天然記念物	杜々の森	—		S57.3.31	栃尾	西中野俣	西中野俣地区	
302	市	記念物	天然記念物	木簗諏訪神社の樹群	櫨 8 本 杉 3 本		S57.4.17	山古志	山古志東竹沢	木簗氏子代表	櫨の 1 本は樹齢 350 年
303	市	記念物	天然記念物	スギ	1本		S58.4.1	小国	小国町大貝	大貝社	
304	市	記念物	天然記念物	カシ	1本		S58.4.1	小国	小国町苔野島	個人	
305	市	記念物	天然記念物	トチ	1本		S58.4.1	小国	小国町森光	真光寺	
306	市	記念物	天然記念物	ケヤキ	1本		S58.4.1	小国	小国町相野原	日吉神社	樹齢約 500 年
307	市	記念物	天然記念物	イチヨウ	1本		S58.4.1	小国	小国町武石	戸隠神社	樹齢 200 年以上
308	市	記念物	天然記念物	田頭 大銀杏	1本		S59.4.1	寺泊	寺泊田頭	福道神社	樹齢 1,000 年以上
309	市	記念物	天然記念物	男釜・女釜	—		S59.4.1	寺泊	寺泊野積	国土交通省	
310	市	記念物	天然記念物	西生寺の大銀杏	1本		S60.4.1	寺泊	寺泊野積	西生寺	樹齢約 800 年
311	市	記念物	天然記念物	根立遺跡のクルミの木	1本		S62.10.6	三島	上岩井	長岡市	
312	市	記念物	天然記念物	福島の大櫨	1本		H2.2.1	長岡	福島町	個人	樹齢 400 ～ 500 年
313	市	記念物	天然記念物	栖吉(三貫梨)の乳いちょう	1本		H2.2.1	長岡	栖吉町	栖吉神社	樹齢 700 ～ 800 年
314	市	記念物	天然記念物	スギ	1本		H8.11.1	小国	小国町原	個人	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
315	市	記念物	天然記念物	イチヨウ	1本		H8.11.1	小国	小国町森光	真光寺	
316	市	記念物	天然記念物	徳昌寺・アカガシの木	1本		H12.6.1	与板	与板町馬場町	徳昌寺	樹齢 250 年以上
317	市	記念物	天然記念物	おっこう(イチイ)	1本		H12.11.28	小国	小国町法末	個人	
318	市	記念物	天然記念物	三沼大ケヤキ	1本		H13.6.12	中之島	赤沼	赤沼地区	
319	国登録	有形文化財	建造物	水道タンク	1基	近代	H10.9.25	長岡	水道町	長岡市	
320	国登録	有形文化財	建造物	蒼柴神社本殿	1棟	近世	H18.11.29	長岡	悠久町	蒼柴神社	
321	国登録	有形文化財	建造物	蒼柴神社拝殿	1棟	近世	H18.11.29	長岡	悠久町	蒼柴神社	
322	国登録	有形文化財	建造物	石動神社本殿	1棟	近代	H18.11.29	長岡	五反田町	五反田町町内会	
323	国登録	有形文化財	建造物	石動神社拝殿	1棟	近代	H18.11.29	長岡	五反田町	五反田町町内会	
324	国登録	有形文化財	建造物	願興寺経蔵	1棟	近代	H18.11.29	長岡	関原町1丁目	願興寺	
325	国登録	有形文化財	建造物	岸家住宅主屋	1棟	近世	H18.11.29	長岡	横枕町	個人	
326	国登録	有形文化財	建造物	機那サフラン酒製造本舗土蔵	1棟	近代	H18.11.29	長岡	摂田屋町	長岡市	
327	国登録	有形文化財	建造物	地藏堂	1棟	近代	H18.11.29	長岡	地藏1丁目	地藏1丁目町内会	
328	国登録	有形文化財	建造物	高橋酒造新蔵	1棟	近代	H18.11.29	長岡	地藏1丁目	高橋酒造株式会社	
329	国登録	有形文化財	建造物	高橋酒造煙突	1棟	近代	H18.11.29	長岡	地藏1丁目	高橋酒造株式会社	
330	国登録	有形文化財	建造物	長福寺本堂	1棟	近世	H18.11.29	長岡	宮本東方町	長福寺	
331	国登録	有形文化財	建造物	長福寺山門	1棟	近世	H18.11.29	長岡	宮本東方町	長福寺	
332	国登録	有形文化財	建造物	諸橋家住宅主屋	1棟	近代	H19.12.19	栃尾	来伝	個人	
333	国登録	有形文化財	建造物	木間家住宅納屋	1棟	近代	H19.12.19	栃尾	松尾	個人	
334	国登録	有形文化財	建造物	木間家住宅蔵	1棟	近代	H19.12.19	栃尾	松尾	個人	
335	国登録	有形文化財	建造物	吉乃川酒造常倉	1棟	近代	H23.7.25	長岡	摂田屋町4丁目	吉乃川株式会社	
336	国登録	有形文化財	建造物	大橋家住宅主屋	1棟	近代	H23.7.25	小国	小国町法末	個人	
337	国登録	有形文化財	建造物	新潟県立長岡高等学校(旧制長岡中学校)正門	1基	近代	H23.10.28	長岡	学校町3丁目	新潟県	
338	国登録	有形文化財	建造物	越のむらさき主屋	1棟	近代	H25.3.29	長岡	摂田屋3丁目	株式会社越のむらさき	
339	国登録	有形文化財	建造物	越のむらさき土蔵	1棟	近代	H25.3.29	長岡	摂田屋3丁目	会社	
340	国登録	有形文化財	建造物	長谷川酒造主屋	1棟	近代	H25.3.29	長岡	摂田屋2丁目	株式会社越のむらさき	
341	国登録	有形文化財	建造物	星野本店三階蔵	1棟	近代	H25.3.29	長岡	摂田屋2丁目	合資会社星野創業	
342	国登録	有形文化財	建造物	星六土蔵	1棟	近代	H25.3.29	長岡	摂田屋4丁目	個人	
343	国登録	有形文化財	建造物	旧中島浄水場ポンプ室棟	1棟	近代	H25.12.24	長岡	水道町3丁目	長岡市	

No.	区分	大分類	種別	名称	員数	時代	指定年月日	地域	所在地	所有者	備考
344	国登録	有形文化財	建造物	旧中島浄水場監視室棟	1 棟	近代	H25.12.24	長岡	水道町 3 丁目	長岡市	
345	国登録	有形文化財	建造物	旧中島浄水場予備発電機室棟	1 棟	近代	H25.12.24	長岡	水道町 3 丁目	長岡市	
346	国登録	有形文化財	建造物	巴ヶ丘もみじ公園 巴ヶ丘山荘	1 棟	近代	H27.11.17	越路	朝日字来迎寺前	長岡市	
347	国登録	有形文化財	建造物	秋山孝ポスター美術館長岡本館（旧長岡商業銀行宮内支店）	1 棟	近代	H28.8.1	長岡	宮内 2 丁目	長岡市	
348	国登録	有形文化財	建造物	越乃雪本舗大和屋 店舗兼主屋	1 棟	現代	H30.3.27	長岡	柳原町	個人	
349	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗主屋	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
350	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗離れ座敷	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
351	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗衣装蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
352	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗調整蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
353	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗醸造蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
354	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗道具蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
355	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗一号倉	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
356	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗米蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
357	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗シチレン蔵	1 棟	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	
358	国登録	有形文化財	建造物	旧機那サフラン酒製造本舗石垣	1 基	近代	R3.2.4	長岡	摂田屋 4 丁目	長岡市	

資料編 2 未指定文化財リスト

※以下の未指定文化財は、資料編 3 に挙げた調査文献リストを元に作成しました。調査から年数が経過したものもあり、現況と異なるものも含まれています（埋蔵文化財を除く）。

【有形文化財】（建造物）

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1	民家	H 家住宅	川口	川口峠	中門造、茅葺 寛政3年頃、「百年祭」(文書)から逆算
2	民家	O 家住宅	川口	小高	中門造、茅葺 文化4年、普請帳
3	民家	O 家住宅	川口	川口牛ヶ島	中門造、茅葺 天保頃、伝聞
4	民家	K 家住宅	川口	山ノ相川	中門造、茅葺 明治2年頃、伝聞
5	民家	H 家住宅	長岡	竹之高地町	茅葺 18世紀前半
6	民家	H 家住宅	長岡	六日市町	茅葺 文化4年、欄間墨書
7	民家	S 家住宅	長岡	大積高島町	茅葺 不明
8	民家	H 家住宅	長岡	宮本東方町	板葺、元中門 不明
9	民家	H 家住宅	和島	島崎	茅葺 18世紀初頭
10	民家	H 家住宅	和島	落水	茅葺 明治元年
11	民家	Y 家住宅	和島	東保内	茅葺 明治初期
12	民家	T 家住宅	与板	馬場	旧町会所
13	民家	M 作家住宅	中之島		水倉造、明治16年(普請帳)
14	民家	M 家住宅	中之島		水倉造
15	民家	K 家住宅	栃尾		茅葺 享和3年(木札)
16	民家	S 家住宅	栃尾		中門造、茅葺 18世紀後期
17	社寺	十二社拝殿	小国	小国町三桶	
18	社寺	新浮海神社拝殿	小国	小国町太郎丸	
19	社寺	小国沢神社拝殿	小国	小国町小国沢	
20	社寺	日吉神社拝殿	小国	相野沢	
21	社寺	神明社拝殿	小国	小国町二本柳	
22	社寺	諏訪神社拝殿	小国	小国町法坂	
23	社寺	十二神社拝殿	小国	小国町横沢	
24	社寺	王神社社拝殿	小国	小国町横沢	
25	社寺	七日町神社拝殿	小国	小国町七日町	
26	社寺	千谷沢神社本殿	小国	小国町千谷沢	
27	社寺	千谷沢神社拝殿	小国	小国町千谷沢	
28	社寺	真光寺本堂	小国	小国町森光	
29	社寺	真福寺本堂	小国	小国町太郎丸	
30	社寺	珍相寺本堂	小国	小国町新町	

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
31	社寺	洞盛院本堂	小国	小国町桐沢	
32	社寺	宝珠院本堂	小国	小国町七日町	
33	社寺	龍光院本堂	小国	小国町千谷沢	
34	社寺	蒼紫神社幣殿	長岡	悠久町	
35	社寺	石動神社門	長岡	宮路町	
36	社寺	宮本神社本殿	長岡	宮本	
37	社寺	神明社本殿	長岡	関原町	
38	社寺	了明寺本堂	長岡	滝谷町	
39	社寺	龍昌寺本堂	長岡	六日市町	
40	社寺	龍昌寺庫裏	長岡	六日市町	
41	社寺	浄照寺本堂	長岡	町田町	
42	社寺	浄照寺鐘楼	長岡	町田町	
43	社寺	定正院本堂	長岡	鷺巣町	
44	社寺	洞照寺本堂	長岡	村松町	
45	社寺	洞照寺庫裏	長岡	村松町	
46	社寺	洞照寺門	長岡	村松町	
47	社寺	本覚寺門	長岡	村松町	
48	社寺	本覚寺経蔵	長岡	村松町	
49	社寺	勝覚寺門	長岡	村松町	
50	社寺	広西寺本堂	長岡	柿町	
51	社寺	広西寺門	長岡	柿町	
52	社寺	普済寺本堂	長岡	栖吉町	
53	社寺	普済寺門	長岡	栖吉町	
54	社寺	普済寺鐘楼	長岡	栖吉町	
55	社寺	教念寺本堂	長岡	稲葉町	
56	社寺	妙音寺本堂	長岡	亀貝町	
57	社寺	龍穩院本堂	長岡	乙吉町	
58	社寺	願浄寺本堂	長岡	宮路町	
59	社寺	蓮寿寺本堂	長岡	麻生田町	
60	社寺	正得寺本堂	長岡	浦瀬町	
61	社寺	安楽寺本堂	長岡	桂町	
62	社寺	長福寺本堂	長岡	福島町	
63	社寺	真福寺本堂	長岡	福島町	
64	社寺	願教寺本堂	長岡	黒津町	
65	社寺	願教寺渡り廊下	長岡	黒津町	
66	社寺	願教寺鐘楼	長岡	黒津町	
67	社寺	長福寺本堂	長岡	西新町	
68	社寺	長福寺庫裏	長岡	西新町	
69	社寺	長福寺渡り廊下	長岡	西新町	
70	社寺	西楽寺門	長岡	千代栄町	
71	社寺	正覚寺門	長岡	長町	

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
72	社寺	願誓寺本堂	長岡	深沢町	
73	社寺	願誓寺鐘楼	長岡	深沢町	
74	社寺	正林寺本堂	長岡	深沢町	
75	社寺	正林寺鐘楼	長岡	深沢町	
76	社寺	龍蔵寺本堂	長岡	親沢町	
77	社寺	龍蔵寺庫裏	長岡	親沢町	
78	社寺	龍蔵寺門	長岡	親沢町	
79	社寺	永法寺本堂	長岡	雲出町	
80	社寺	法明院本堂	長岡	宮本町	
81	社寺	長福寺回廊	長岡	宮本東方町	
82	社寺	光照寺本堂	長岡	大積三島山町	
83	社寺	安養寺門	長岡	大積町	
84	社寺	浄願寺本堂	長岡	王番田	
85	社寺	浄願寺庫裏	長岡	王番田	
86	社寺	浄願寺門	長岡	王番田	
87	社寺	来迎寺本堂	長岡	李崎町	
88	社寺	来迎寺庫裏	長岡	李崎町	
89	社寺	来迎寺門	長岡	李崎町	
90	社寺	浄円寺本堂	長岡	上除町甲	
91	社寺	妙楽寺門	長岡	高瀬町	
92	社寺	仏願寺本堂	長岡	高野町	
93	社寺	南部神社拝殿	栃尾	森上	
94	社寺	吉野神社拝殿	栃尾	西中野俣	
95	社寺	守門神社拝殿	栃尾	東中野俣	
96	社寺	果守神社拝殿	栃尾	栃堀	
97	社寺	羽黒神社拝殿	栃尾	小貫	
98	社寺	東昌寺本堂	栃尾	中	
99	社寺	東光寺本堂	栃尾	東中野俣	
100	社寺	雲帯寺本堂	栃尾	一之貝	
101	社寺	観音寺本堂	栃尾	一之貝	
102	社寺	曹源寺本堂	栃尾	北荷頃	
103	社寺	妙楽院本堂	栃尾	栃堀	
104	社寺	玉泉寺本堂	栃尾	栃尾泉	
105	社寺	善昌寺本堂	栃尾	栃尾原町	
106	社寺	妙円寺本堂	栃尾	下塩	
107	社寺	円隆寺本堂	栃尾	入塩川	
108	社寺	広照寺本堂	山古志	種芋原	
109	社寺	八幡宮拝殿	越路	浦	
110	社寺	朝日神社拝殿	越路	朝日	
111	社寺	八幡神社本殿	越路	飯塚	
112	社寺	八幡神社拝殿	越路	飯塚	
113	社寺	小坂神社拝殿	越路	千谷沢	
114	社寺	明鏡寺本堂	越路	飯塚	
115	社寺	地藏院法堂	越路	岩田	

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
116	社寺	満光寺本堂	越路	不動沢	
117	社寺	大日寺本堂	越路	岩野	
118	社寺	信光寺法堂	越路	岩野	
119	社寺	光徳寺本堂	越路	釜ヶ島	
120	社寺	慈光寺本堂	越路	浦	
121	社寺	慈光寺門	越路	浦	
122	社寺	慈光寺鐘楼	越路	浦	
123	社寺	地藏寺本堂	越路	浦 6241	
124	社寺	長永寺本堂	越路	浦 4787	
125	社寺	長永寺鐘楼	越路	浦 4787	
126	社寺	朝日寺本堂	越路	朝日	
127	社寺	朝日寺庫裏	越路	朝日	
128	社寺	安浄寺本堂	越路	来迎寺	
129	社寺	安浄寺門	越路	来迎寺	
130	社寺	安浄寺鐘楼	越路	来迎寺	
131	社寺	金剛光寺本堂	越路	沢下条甲	
132	社寺	気比神社拝殿	三島	気比宮	
133	社寺	香安寺法堂	三島	鳥戊	
134	社寺	浄覚寺門	三島	鳥越	
135	社寺	西照寺本堂	三島	上岩井	
136	社寺	法華寺本堂	三島	蓮花寺	
137	社寺	都野神社拝殿	与板	与板町与板	
138	社寺	観音堂拝殿	与板	船戸丁	
139	社寺	観音堂本殿	与板	船戸丁	
140	社寺	秋葉三尺坊堂本殿	与板	与板上ノ山	
141	社寺	秋葉三尺坊堂拝殿	与板	与板上ノ山	
142	社寺	恩行寺本堂	与板	与板町与板	
143	社寺	恩行寺鐘楼	与板	与板町与板	
144	社寺	徳昌寺本堂	与板	与板上ノ山	
145	社寺	徳昌寺門	与板	与板上ノ山	
146	社寺	宇奈具志神社本殿	和島	島崎	
147	社寺	宇奈具志神社拝殿	和島	島崎	
148	社寺	桐原石部神社本殿	和島	上桐	
149	社寺	桐原石部神社拝殿	和島	上桐	
150	社寺	石動神社拝殿	和島	三瀬ヶ谷	
151	社寺	熊野神社拝殿	和島	籠田	
152	社寺	七面宮拝殿	和島	村田	
153	社寺	妙満寺本堂	和島	島崎	
154	社寺	勝宗寺本堂	和島	上桐	
155	社寺	浄善寺本堂	和島	北野	
156	社寺	浄善寺鐘楼	和島	北野	
157	社寺	法養寺本堂	和島	根小屋	

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
158	社寺	繁慶寺本堂	和島	根小屋	
159	社寺	大光寺釈迦堂	和島	日野浦	
160	社寺	大光寺門	和島	日野浦	
161	社寺	蓮念寺本堂	和島	辺張北組	
162	社寺	蓮念寺門	和島	辺張北組	
163	社寺	白山媛神社本殿	寺泊	寺泊二ノ関	
164	社寺	白山媛神社拝殿	寺泊	寺泊二ノ関	
165	社寺	二面神社拝殿	寺泊	寺泊二ノ関	
166	社寺	照明寺鐘楼	寺泊	寺泊片町	
167	社寺	生福寺本堂	寺泊	寺泊大町	
168	社寺	生福寺庫裏	寺泊	寺泊大町	
169	社寺	円福寺本堂	寺泊	寺泊上荒町	
170	社寺	円福寺庫裏	寺泊	寺泊上荒町	
171	社寺	円福寺経蔵	寺泊	寺泊上荒町	
172	社寺	興琳寺門	寺泊	寺泊上片貝	
173	社寺	興琳寺経蔵	寺泊	寺泊上片貝	
174	社寺	長善寺本堂	寺泊	寺泊上荒町	
175	社寺	玄德寺本堂	寺泊	寺泊郷本	
176	社寺	本光寺本堂	寺泊	寺泊夏戸	
177	社寺	西生寺客殿	寺泊	寺泊野積	
178	社寺	西生寺弘智堂	寺泊	寺泊野積	
179	社寺	地藏院本堂	寺泊	寺泊野積	
180	社寺	地藏院庫裏	寺泊	寺泊野積	
181	社寺	常祥院本堂	寺泊	寺泊町軽井	
182	社寺	池公社拝殿	中之島	中之島	
183	社寺	諏訪神社拝殿	中之島	中野東	
184	社寺	八幡神社拝殿	中之島	中野西	
185	社寺	専正寺本堂	中之島	西野	
186	社寺	双林寺本堂	中之島	下沼	
187	社寺	真敬寺本堂	中之島	中条新田	
188	社寺	長善寺本堂	中之島	中条	
189	社寺	明源寺本堂	中之島	松ヶ前	
190	社寺	万福寺本堂	中之島	中野中	
191	社寺	万福寺六角堂	中之島	中野中	
192	社寺	願勝寺本堂	中之島	中野島	
193	近代建築	県立長岡高等学校越路分校（旧来迎寺小学校）	越路	来迎寺	木造 2 階建 明治 44 年
194	近代化遺産	福島江	長岡	妙見町～大口	慶安 4 年 灌漑用水 総延長 28km、記念碑あり
195	近代化遺産	福島江・刈谷田大堰土地改良区連合	長岡	台町 2-10-13	木造 2 階建 昭和 10 年 事務所（農業） 入口庇ブラケット・屋根部が特徴的

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
196	近代化遺産	五ヶ江用水（島江、新田江、中江、大川原江、大茂江の総称）	長岡	高島町	灌漑用水 犬茂江は天明元年頃、新田江は宝暦元年頃
197	近代化遺産	東新大江	長岡	妙見町～長倉	全水路完成・明治 28 年頃 灌漑用水
198	近代化遺産	左近の土手	長岡	左近町	石造（石積） 寛延 2 年頃 灌漑用水 全長 12km、記念碑
199	近代化遺産	東山油田	長岡	浦瀬町	明治 20 年代 鉱山 坑道の傾斜は 15～18 度 明治頃から手掘り井戸による採油
200	近代化遺産	三尺玉打ち上げ用筒	長岡	左近町善喜島	鉄製・鉄鋳 大正 15 年 花火筒 大正 15 年に初めて花火打揚げ
201	近代化遺産	石工の道	長岡	釜沢町	石造 年代不詳 道路 釜沢石の石切場
202	近代化遺産	高津谷隧道	長岡	高津谷	年代不詳 隧道
203	近代化遺産	長生橋	長岡	信濃川	鉄製 昭和 12 年 橋梁 13 連下路式 グルーパー鋼構橋
204	近代化遺産	雁木	長岡	長町 2 丁目ほか	木造 年代不詳 妻入式雁木
205	近代化遺産	如是蔵博物館	長岡	福住 1-3-8	RC 昭和 11 年 博物館 当初書蔵庫 設計：野本恭八郎
206	近代化遺産	少彦名神社社殿	長岡	神田町 1 丁目	木造 3 階建 昭和 9 年 商店 モルタル塗
207	近代化遺産	大亀商店	栃尾	谷内 1-3-37	木造 2 階建 大正 13 年 商店 モルタル造
208	近代化遺産	丹甚呉服店	栃尾	栃尾大町 3-3	造 2 階建 大正 13 年 商店 モルタル造
209	近代化遺産	大布橋	栃尾	谷内 1～表町	RC 造 昭和 3 年 橋梁 アーチ式
210	近代化遺産	塚山トンネル	越路		トンネル 塚山第 1 号～第 3 号トンネル等
211	近代化遺産	越路橋（旧北越鉄道信濃川橋梁）	越路	越路河川公園	梁 イギリス製トラス橋梁
212	近代化遺産	岩田橋	越路	町道 571	橋梁 旧イギリス製
213	近代化遺産	不動沢橋	越路	町道 592	橋梁 旧北越鉄道
214	近代化遺産	JA 三島中央農協倉庫	三島	大野	木造 2 階建 大正 8 年 農業倉庫
215	近代化遺産	大河津分水路	寺泊	寺泊野積地先	大正 11 年 分水路 分水町からつづく
216	近代化遺産	生福寺 オルゴール塔	寺泊	大町	木造 寛政 8 年
217	近代化遺産	中山トンネル	山古志	小松倉	国道 291 号 昭和 9～25 年 トンネル
218	近代化遺産	北越水力発電所隧道	川口	牛ヶ島 2537-1	煉瓦造 明治 37 年 隧道（発電所） 発電所は昭和 26 年閉山
219	近代化遺産	北越水力発電所調水池	川口	牛ヶ島 2537-1	煉瓦造 明治 37 年 調水池（発電所） 全国で二番目の水力発電所
220	近代化遺産	森光疎水	小国	小国町森光	明治 28 年 疎水 総延長 1900m、記念碑あり

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
221	近代化遺産	旧横沢村道路元標	小国	小国町横沢	木造 年代不詳 道路元標
222	近代化遺産	旧武石村道路元標	小国	小国町武石	木造 年代不詳 道路元標
223	近代化遺産	小国隧道(櫛沢トンネル)	小国	小国町横沢	大正5年 トンネル 小国・小千谷 関田山脈を貫通
224	近代化遺産	山口育英奨励金門	小国	小国町横沢	木造 万延元年 門柱
225	近代和風	本妙寺三十番神堂	長岡	日赤町3丁目	RC造 昭和11年
226	近代和風	個人住宅主屋	三島	上岩井	木造 明治後期
227	近代和風	個人住宅主屋	三島	脇野町	木造 明治後期
228	近代和風	住雲園(旧久須美家住宅)主屋	和島	小島谷	木造 明治時代 末期
229	近代和風	個人住宅主屋	和島	島崎	木造 明治中期
230	近代和風	個人住宅主屋	和島	根小屋	木造 昭和
231	近代和風	醸造場	栃尾	滝ノ下	木造 大正
232	近代和風	個人住宅主屋	栃尾	栃尾表町	木造 大正
233	近代和風	個人住宅主屋	栃尾	栃尾山田町	木造 大正
234	近代和風	医院	長岡	原町	木造 昭和
235	近代和風	個人住宅主屋	寺泊	寺泊上田町	木造 明治中期
236	近代和風	阿弥陀堂本堂	長岡	上富岡	木造 明治中期
237	近代和風	栄涼寺	長岡	東神田	木造 明治後期
238	近代和風	個人住宅	長岡	高見町	木造 昭和
239	近代和風	個人住宅	中之島	上沼新田	木造 昭和
240	近代和風	個人住宅蔵	越路	浦	木造 大正
241	近代和風	個人住宅主屋	越路	沢下条	木造 大正
242	近代和風	個人住宅主屋	越路	西谷	木造 昭和
243	近代和風	妙法寺 千佛堂	和島	村田	木造 明治中期
244	近代和風	個人住宅蔵	寺泊	寺泊上荒町	木造 昭和
245	近代和風	個人住宅主屋	寺泊	寺泊夏戸	木造 明治後期
246	近代和風	個人住宅主屋	寺泊	寺泊夏戸	木造 大正
247	近代和風	十二神社	寺泊	寺泊山田	木造 大正
248	近代和風	個人住宅主屋	栃尾	滝ノ下	木造 昭和
249	近代和風	工場	栃尾	栃尾新町	木造 昭和
250	近代和風	個人住宅主屋	栃尾	栃尾大野町	木造 昭和
251	近代和風	個人住宅蔵	与板	与板町岩方	木造 昭和
252	近代遺跡	塩殿発電所	長岡	川口牛ヶ島	発電所

【有形文化財】(美術工芸品)

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
253	工芸品	宝寿庵 半鐘	与板	与板町山沢	寛政七年
254	工芸品	長楽寺 梵鐘	三島	藤川	昭和十年十月十五日
255	工芸品	長楽寺 喚鐘	三島	藤川	明治十六年四月八日
256	工芸品	称念寺 梵鐘	与板	与板町楨原	宝暦四甲戌歳八月九日 鋳物師與板町土肥 佐左工門尉藤原宗久
257	工芸品	称念寺 半鐘	与板	与板町楨原	宝暦六丙子歳三月十八日 鋳物師與板町土肥 佐左工門尉藤原宗久
258	工芸品	寛益寺 梵鐘	三島	逆谷	宝永四年丁亥五月吉日
259	工芸品	寛益寺 半鐘	三島	逆谷	元禄十三年庚辰曆 林鐘上旬大吉日
260	工芸品	寛益寺 鰐口	三島	逆谷	不詳
261	工芸品	法華寺 梵鐘	三島	蓮花寺	寛保十三年九月十九日 與板町藤原佐左工 門治工
262	工芸品	法華寺 半鐘	三島	蓮花寺	天保四年六月十五日
263	工芸品	法華寺 喚鐘	三島	蓮花寺	大永七年三月十八日 越中滑川長福寺ト アルモ経路不明
264	工芸品	浄元寺 梵鐘	和島	阿弥陀瀬	明和元年
265	工芸品	浄元寺 半鐘	和島	阿弥陀瀬	明和元年
266	工芸品	妙法寺 梵鐘	和島	村田	承德五年 鋳物師大窪村小熊 平左工門藤原吉高
267	工芸品	大光寺 梵鐘	和島	日野浦	宝永五年
268	工芸品	大光寺 半鐘	和島	日野浦	不明
269	工芸品	徳昌寺 梵鐘	与板	与板町与板	享保十六年 200余年時報
270	工芸品	徳昌寺 半鐘	与板	与板町与板	享和二年
271	工芸品	恩行寺 梵鐘	与板	与板町与板	明和元年初秋上旬
272	工芸品	恩行寺 半鐘	与板	与板町与板	大正元年十月
273	工芸品	蓮正寺 梵鐘	与板	与板町与板	享保元年五月
274	工芸品	明元寺 梵鐘	与板	与板町与板	元禄四年九月二十一日
275	工芸品	明元寺 半鐘	与板	与板町与板	明治十七年十二月
276	工芸品	光西寺 梵鐘	与板	与板町本与板	明治二十七年十一月 維新以来名士ノ印 刻銘二十名アリ
277	工芸品	長明寺 梵鐘	与板	与板町与板	宝暦九年八月四日

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
278	工芸品	長明寺 喚鐘	与板	与板町与板	明治三十五年八月
279	工芸品	円満寺 喚鐘	与板	与板町本与板	明治十八年十二月
280	工芸品	円満寺 梵鐘	与板	与板町本与板	承應二年六月
281	工芸品	西光寺 半鐘	与板	与板町本与板	明治三十一年六月十九日
282	工芸品	浄善寺 梵鐘	和島	和島北野	元禄十四年十月
283	工芸品	浄善寺 半鐘	和島	和島北野	天保三年
284	工芸品	法養寺 梵鐘	和島	根小屋	安永六年八月 作者大久保小熊市十郎
285	工芸品	法養寺 半鐘	和島	根小屋	弘化乙巳二年三月 作者土肥佐左工門藤原宅甲
286	工芸品	隆泉寺 梵鐘	和島	島崎	享保四年七月 作者哥代甚兵衛藤原寛康
287	工芸品	隆泉寺 半鐘	和島	島崎	寛永二年乙酉五月二十四日
288	工芸品	妙満寺 半鐘	和島	島崎	嘉永五子年五月 鑄工大久保村原治三郎
289	工芸品	妙満寺 鰐口	和島	島崎	文久二年二月 鑄工大久保村原治三郎
290	工芸品	妙徳寺 梵鐘	和島	島崎	昭和十一年 不詳
291	工芸品	繁慶寺 梵鐘	和島	根小屋	明治六年 鑄工井鼻村永瀧太五右工門
292	工芸品	善徳寺 梵鐘	寺泊	寺泊五分一	安永八亥年夏六月 与板町土肥佐左工門家久造音響有名ナリ
293	工芸品	常禅寺 梵鐘	寺泊	寺泊町軽井	明治四年辛羊年八月十五日
294	工芸品	常禅寺 半鐘	寺泊	寺泊町軽井	寛永元甲申年六月二十二日
295	工芸品	光源寺 梵鐘	与板	与板町馬越	慶安五壬辰年十月吉日再興 治工大窪村歌代新左工門 享保十八丑年五月吉日 鑄直陶治本歌代長左工門
296	工芸品	光源寺 半鐘	与板	与板町馬越	享保十八年丑年五月吉日 大窪村大工哥代新左工門
297	工芸品	萬善寺 梵鐘	寺泊	寺泊万善寺	正徳元年八月
298	工芸品	萬善寺 半鐘	寺泊	寺泊万善寺	天明五年
299	工芸品	浄覚寺 梵鐘	三島	鳥越	宝暦三年癸酉 鑄物師大窪村小熊平左工門
300	工芸品	香安寺 梵鐘	三島	鳥越	明治四年辛未龍次 大窪村歌代佐次右工門

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
301	工芸品	大永寺 梵鐘	三島	鳥越	大正十四年二月十四日 柏崎大久保翠堂造
302	工芸品	香林寺 梵鐘	長岡	雲出町	明治三庚午七月自恣日 鑄物師長城神田藤原芳兼
303	工芸品	永法寺 梵鐘	長岡	雲出町	宝暦十三年癸未歳 大久保村鑄物師井熊六右工門尉藤原宣頼
304	工芸品	照覚寺 梵鐘	与板	与板町広野	文久二壬戌曆彌生中四日
305	工芸品	照覚寺 半鐘	与板	与板町広野	明治二十二年十月二日
306	工芸品	宝光院 梵鐘	越路	西谷	享保十五年八月十七日
307	工芸品	宝生寺 梵鐘	長岡	白鳥町	昭和二年七月
308	工芸品	願興寺 梵鐘	長岡	関原町	寛文三年七月 大窪住六左衛門吉古作
309	工芸品	願興寺 半鐘	長岡	関原町	明治四年十月 大窪住小熊武左工門藤原厚造
310	工芸品	西妙寺 梵鐘	長岡	関原町	明治二十六年七月二十三日 柏崎住大洲歌代吉松作
311	工芸品	西妙寺 半鐘	長岡	関原町	明治十年十月二十日
312	工芸品	満光寺 (金工品)	越路	不動沢	不詳
313	工芸品	地藏院 (金工品)	越路	不動沢	不詳
314	工芸品	水鏡寺 (金工品)	越路	不動沢	不詳
315	工芸品	金剛光寺 (金工品)	越路	沢下条	不詳
316	工芸品	光照寺 梵鐘	長岡	大積三島谷町	文化二年四月十三日
317	工芸品	安養寺 梵鐘	長岡	大積町	明治四年十月一日
318	工芸品	安養寺 半鐘	長岡	大積町	慶應二年八月
319	工芸品	大日寺 梵鐘	長岡	大積町	大正十二、三年頃
320	工芸品	浄願寺 梵鐘	長岡	王番田町	明治卅年五月 柏崎大久保歌代吉松作
321	工芸品	浄円寺 梵鐘	長岡	上除町	宝暦九年七月一日
322	工芸品	妙楽寺 梵鐘	長岡	高瀬町	宝暦七年 不詳
323	工芸品	法蓮寺 梵鐘	長岡	喜多町	宝暦十四年六月十六日
324	工芸品	円超寺 梵鐘	長岡	才津南町	明治四年夷則吉祥日
325	工芸品	円超寺 半鐘	長岡	才津南町	大正十二年
326	工芸品	願誓寺 梵鐘	長岡	深沢町	享和二年九月
327	工芸品	願誓寺 半鐘	長岡	深沢町	天明六年六月下院

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
328	工芸品	徳應寺 半鐘	長岡	深沢町	明治十二年九月
329	工芸品	円覚寺 半鐘	長岡	深沢町	明治十三年七月
330	工芸品	諦聴布教所 半鐘	長岡	下山	寛政四年七月中旬
331	工芸品	正林寺 梵鐘	長岡	深沢町	嘉永二年八月吉日
332	工芸品	善行寺 梵鐘	長岡	十日町	天明八年七月
333	工芸品	善行寺 半鐘	長岡	十日町	明治二年四月
334	工芸品	専福寺 梵鐘	長岡	十日町	明治七年六月
335	工芸品	専福寺 半鐘	長岡	十日町	明治八年十一月
336	工芸品	正楽寺 梵鐘	長岡	高島町	文政三年五月
337	工芸品	正楽寺 半鐘	長岡	高島町	明治三十九年
338	工芸品	曹源寺 梵鐘	栃尾	北荷頃	不明
339	工芸品	雲帯寺 梵鐘	栃尾	一之貝	寛政八年丙辰季良日
340	工芸品	雲帯寺 鰐口	栃尾	一之貝	寛延元年十月二日
341	工芸品	観音寺 半鐘	栃尾	一之貝	明治元年
342	工芸品	円隆寺 梵鐘	栃尾	入塩川	明治四十二年三月
343	工芸品	遍照院 梵鐘	栃尾	山葵谷	天保時代確定不明
344	工芸品	華蔵院 梵鐘	栃尾	上塩	明治三十八年九月
345	工芸品	東昌寺 梵鐘	栃尾	中	昭和九年仲秋
346	工芸品	東昌寺 半鐘	栃尾	中	享保十一年七月
347	工芸品	善昌寺 梵鐘	栃尾	栃尾原町	寛政九年九月一日 鋳物師刈羽郡大窪 小熊新治郎
348	工芸品	善昌寺 半鐘	栃尾	栃尾原町	寛政九年九月一日
349	工芸品	正福寺 梵鐘	栃尾	吉水	昭和三年 御大典記念鑄造
350	工芸品	正福寺 半鐘	栃尾	吉水	安永六年一月
351	工芸品	妙円寺 梵鐘	栃尾	下塩	嘉永五年
352	工芸品	妙円寺 半鐘	栃尾	下塩	不明
353	工芸品	瑞雲寺 梵鐘	栃尾	小貫	是時正徳五龍飛乙 未仲夏十四亥 鋳物師大窪村歌代 長左工門同千右工 門
354	工芸品	延命寺 梵鐘	長岡	小曾根町	天保五年歳九月 治工小玉善平

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
355	工芸品	西福寺 梵鐘	長岡	渡里町	昭和十一年改鑄 天保四年新潟湊町 ニテ鑄造セシモノ 破損ニテ柏崎市歌 代米斎改鑄ス
356	工芸品	教念寺 梵鐘	長岡	稲葉町	天保十二年
357	工芸品	龍穩院 半鐘	長岡	乙吉町	元禄六癸酉梅天吉 祥日 土肥藤原右工門尉 藤原朝臣家次ノ鑄 銘品ナリ
358	工芸品	西栄寺 梵鐘	長岡	旧山本村	宝暦三癸七月 二十五日 三島郡與板治工土 肥佐左工門尉藤原 家久作
359	工芸品	了覚寺 梵鐘	長岡	乙吉町	明和五年七月 境内ニ於テ刈羽郡 鋳物師ヲ招シ鑄造
360	工芸品	了覚寺 半鐘	長岡	乙吉町	明和五年七月
361	工芸品	願浄寺 梵鐘	長岡	宮路町	明治廿四年七月
362	工芸品	願浄寺 半鐘	長岡	宮路町	天保七申年六月
363	工芸品	蓮寿寺 梵鐘	長岡	麻生田町	文政七甲申六月中六日 勅許程鋳物師歌代亦 兵衛藤原寛房之作
364	工芸品	蓮寿寺 半鐘	長岡	麻生田町	大正六年四月
365	工芸品	慶覚寺 梵鐘	長岡	浦瀬町	寛政五年四月吉日 刈羽郡大久保歌代 多郎左工門珍延作
366	工芸品	正得寺 梵鐘	長岡	浦瀬町	天明三年六月
367	工芸品	安楽寺 梵鐘	長岡	桂町	寛政元乙酉七月廿 一日
368	工芸品	安楽寺 半鐘	長岡	桂町	文政十二丑年七月
369	工芸品	浄照寺 梵鐘	長岡	町田町	延享二乙丑 治工藤原宣頼
370	工芸品	浄照寺 喚鐘	長岡	町田町	梵鐘ヨリ十年後
371	工芸品	教徳寺 半鐘	長岡	町田町	文字記録ナシ
372	工芸品	広西寺 梵鐘	長岡	柿町	延享四丁卯ノ曆林 鐘吉辰 鋳物師刈羽郡大窪 村大熊六右工門、 治工藤原宣頼
373	工芸品	了元寺 梵鐘	長岡	長倉	大正十年六月 二十二日
374	工芸品	了元寺 喚鐘	長岡	長倉	大正八年三月一日
375	工芸品	靈善寺 梵鐘	長岡	鉢伏町	維時天保壬辰夏五 月二十有三日
376	工芸品	靈善寺 半鐘	長岡	鉢伏町	干時寛政七卯
377	工芸品	正巖寺 梵鐘	長岡	高見町	干時嘉永二年次乙 酉三歳再建 治工廣井甚太郎、 小玉三治良、今井 久助、廣井栄太郎

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
378	工芸品	願敬寺 梵鐘	長岡	黒津町	明和元甲申歳仲秋朔 治工大久保歌代源 太郎
379	工芸品	願敬寺 半鐘	長岡	黒津町	天保十五甲辰年冬 十月中浣 勅許御鑄物師徳橋 久左工門藤原信利
380	工芸品	浄林寺 梵鐘	長岡	天神町	文政六癸未年八月 六日 勅許御鑄物師越後 国刈羽郡大窪村小 熊佐一右衛門藤原 重良
381	工芸品	浄林寺 半鐘	長岡	天神町	享和元酉年四月 鑄物細工人河越源 左工門
382	工芸品	西福寺 梵鐘	長岡	下々条町	明治三十七年八月 廿七日
383	工芸品	西福寺 半鐘	長岡	下々条町	大正六年七月四日
384	工芸品	明行寺 梵鐘	長岡	芹川町	寛延四歳六月 三島郡與板土肥佐 左衛門尉藤原家久 治工トノ銘アリ
385	工芸品	明行寺 半鐘	長岡	芹川町	弘化四年五月 再鑄物
386	工芸品	円福寺 梵鐘	長岡	川袋町	慶應元年七月五日 鑄工土肥佐左工門 藤原宅正
387	工芸品	円福寺 半鐘	長岡	川袋町	寛永七年七月五日 鑄工土肥佐左兵工 藤原家久
388	工芸品	来迎寺 梵鐘	長岡	李崎町	嘉永四年七月 二十一日 未詳（再鑄物）
389	工芸品	来迎寺 半鐘	長岡	李崎町	元禄十五年八月 二十一日 未詳（再鑄物）
390	工芸品	来迎寺 鰐口	長岡	李崎町	元禄十三年一月 十五日 未詳（再鑄物）
391	工芸品	信光寺 梵鐘	越路	岩野	弘化四年八月
392	工芸品	信光寺 半鐘	越路	岩野	
393	工芸品	光徳寺 梵鐘	越路	釜ヶ島	
394	工芸品	光徳寺 半鐘	越路	釜ヶ島	
395	工芸品	大日寺 梵鐘	越路	岩野	
396	工芸品	長昌寺 梵鐘	川口	川口相川	明治四十四年四月
397	工芸品	長昌寺 半鐘	川口	川口相川	大正十一年五月
398	工芸品	安養寺 梵鐘	川口	西川口	明治十五年十月
399	工芸品	安養寺 半鐘	川口	西川口	明治十七年三月
400	工芸品	龍光院 梵鐘	小国	小国町千 谷沢	元禄十一年八月 二十三日 不詳
401	工芸品	龍光院 半鐘	小国	小国町千 谷沢	明治初年頃 不詳

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
402	工芸品	瑞音院 梵鐘	小国	小国町横 沢	明治四十四年
403	工芸品	宝珠院 梵鐘	小国	小国町七 日町	寛延三年月日不詳 不詳
404	工芸品	興国寺 梵鐘	長岡	千手	明治三十五年九月
405	工芸品	興国寺 半鐘	長岡	千手	文化十三年九月
406	工芸品	千蔵院 梵鐘	長岡	柏町	明治三十六年
407	工芸品	千蔵院 半鐘	長岡	柏町	天保十四年七月
408	工芸品	千蔵院 鰐口	長岡	柏町	明和六年七月
409	工芸品	浄福寺 梵鐘	長岡	千手	大正十五年 改鑄
410	工芸品	浄福寺 半鐘	長岡	千手	不詳 治工菅原安欲ナリ ト云フ
411	工芸品	真照寺 梵鐘	長岡	千手	元和四戊午年七月 銘アルモ作者ナシ
412	工芸品	長恩寺 梵鐘	長岡	千手	明和九歳八月壬辰
413	工芸品	長恩寺 半鐘	長岡	千手	不明
414	工芸品	長恩寺 鰐口	長岡	千手	ナシ
415	工芸品	安養寺 梵鐘	長岡	山田	天保十一年庚子七 月
416	工芸品	本妙寺 梵鐘	長岡	日赤町	寛政元年 大窪村歌代甚兵工 寛義
417	工芸品	本妙寺 半鐘	長岡	日赤町	天明八年十二月 十三日 東京丸山本妙寺塔 中ヨリ明治十六年 移入
418	工芸品	法蔵寺 梵鐘	長岡	日赤町	明治十五年五月 柏崎大久保小熊六 郎鑄
419	工芸品	本善寺 梵鐘	長岡	柳原町	天保十年五月 勅許鑄物師歌代喜 右門藤原法好
420	工芸品	本善寺 半鐘	長岡	柳原町	ナシ
421	工芸品	徳聖寺 梵鐘	長岡	上田町	安永六丁酉年初冬 鑄物師富国與板住 土肥佐左工門藤原 家久
422	工芸品	徳聖寺 半鐘	長岡	上田町	明治十年七月 二十一日
423	工芸品	徳聖寺 鰐口	長岡	上田町	不詳
424	工芸品	西入寺 梵鐘	長岡	渡里町	明治十三年七月
425	工芸品	西入寺 半鐘	長岡	渡里町	弘化三年四月
426	工芸品	妙宗寺 梵鐘	長岡	渡里町	不明
427	工芸品	妙宗寺 半鐘	長岡	渡里町	不明
428	工芸品	称讃寺 半鐘	長岡	渡里町	明治二十九年七月

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
429	工芸品	安善寺 梵鐘	長岡	神田町	明治初年頃ト伝エラレル 柏崎在大久保勅許 治工小熊武右工門
430	工芸品	極楽寺 梵鐘	長岡	石内	天明乙巳四月吉祥日 大久保孫左工門藤原 利水作
431	工芸品	極楽寺 半鐘	長岡	石内	宝暦巳卯年四月吉祥日 田中多左工門尉重清作
432	工芸品	浄琳寺 梵鐘	長岡	西藏王	大正十一年八月
433	工芸品	浄琳寺 半鐘	長岡	西藏王	不明
434	工芸品	浄照寺 梵鐘	長岡	西藏王	大正十三年九月
435	工芸品	浄照寺 半鐘	長岡	西藏王	大正十一年二月
436	工芸品	安禅寺 鰐口	長岡	西藏王	ナシ
437	工芸品	安禅寺 鰐口	長岡	西藏王	同
438	工芸品	安禅寺 鰐口	長岡	西藏王	同
439	工芸品	長福寺 梵鐘	長岡	宮本東方町	文久元年八月
440	工芸品	長福寺 半鐘	長岡	宮本東方町	明治四十年一月一日
441	工芸品	廣永寺 梵鐘	長岡	西新町	文政十一年四月
442	工芸品	正覚寺 梵鐘	長岡	長町	明治三十五年六月二十日
443	工芸品	長興寺 梵鐘	長岡	稽古町	文政六末年
444	工芸品	栄凉寺 梵鐘	長岡	東神田町	明治二十五年五月 高田山岸九郎兵衛鑄
445	工芸品	栄凉寺 半鐘	長岡	東神田町	同
446	工芸品	長延寺 梵鐘	長岡	殿町	昭和九年九月一日
447	工芸品	長延寺 半鐘	長岡	殿町	昭和十二年
448	工芸品	長延寺 半鐘	長岡	殿町	大正三年
449	工芸品	昌福寺 梵鐘	長岡	四郎丸	貞享丁卯年
450	工芸品	了教寺 半鐘	長岡	四郎丸	明治十六年二月
451	工芸品	円光寺 梵鐘	長岡	四郎丸	文化十一甲戌八月 江戸城内家臣大奥 ヨリノ寄進ニヨリ 鑄造セラレルモノ ト伝フル 刈羽郡大窪村勅許 鑄物師小熊六兵衛 藤原治永
452	工芸品	円光寺 半鐘	長岡	四郎丸	ナシ
453	工芸品	慶徳寺 半鐘	長岡	土合	明治四十四年
454	工芸品	妙喜寺 半鐘	長岡	東神田	明治十七年七月

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
455	工芸品	西福寺 梵鐘	長岡	渡里町	明和三丙戌年秋 鑄物師真繼刑部少輔 内藤原朝臣長岡住田 中多佐工門重定 慶應四年五月十九日 拂曉中島ヨリ疾走シ 来レル長岡藩一勇士 ハ鐘樓ニ駈ケ登リ此 ノ梵鐘を乱打シテ官 軍ガ中島ニ上陸セル コトノ危機ノ第一報 ヲ報ジテ鐘樓ノ下両 軍斬鬪数名討死セリ トイフ
456	工芸品	西福寺 半鐘	長岡	渡里町	
457	工芸品	西願寺 梵鐘	長岡	呉服町	ナシ
458	工芸品	西願寺 半鐘	長岡	呉服町	長岡條ノモノ ナリト伝フ
459	工芸品	徳宗寺 梵鐘	長岡	日赤町	ナシ
460	工芸品	徳宗寺 半鐘	長岡	日赤町	
461	工芸品	願浄寺 梵鐘	長岡	上田町	ナシ
462	工芸品	正楽寺 梵鐘	長岡	神田町	未報告

No.	種別	名称	地域	所在地
463	典籍	大般若波羅蜜多經卷第 百二十	長岡	渡里町
464	典籍	妙法蓮華經	長岡	宮本町
465	典籍	阿弥陀經	長岡	雲出町
466	典籍	秋山景山書 「七言律詩」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
467	典籍	河井継之助書 「山中騷 動一件諫言」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
468	典籍	小林虎三郎書「秋日書 懷」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
469	典籍	小林虎三郎書 「春暁」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
470	典籍	小林虎三郎書 「次長澤 伯明韻」（南天一望）	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
471	典籍	小林虎三郎書 「仲春偶 書」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
472	典籍	小林虎三郎書 「偶作」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
473	典籍	小林虎三郎書 慶応元年 作	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
474	典籍	小林虎三郎書 明治4年 作	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
475	典籍	高橋竹之介 「三島億二 郎追悼長句一編」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
476	典籍	田中脩道書 「五言律詩」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
477	典籍	田中春回書 「七言絶句」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
478	典籍	中沢雪城書 「杜牧 七 言絶句 江南春」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）
479	典籍	野本恭八郎賛 「観音小 鬼」	長岡	学校町（長岡市立 中央図書館）

No.	種別	名称	地域	所在地
480	典籍	野本恭八郎書「嗚呼我人獨尊皆互尊」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
481	典籍	野本恭八郎書「宇由は」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
482	典籍	野本恭八郎書「一にも人」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
483	典籍	野本恭八郎書「忍生万福互尊独尊」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
484	典籍	牧野忠精書「戦の歌」天明7年	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
485	典籍	牧野忠精書「寿」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
486	典籍	牧野忠精書「戌年の書（白犬と和歌）」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
487	典籍	牧野忠訓書「五言詩」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
488	典籍	牧野忠寛書「むま」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
489	典籍	牧野忠恭書「南山是寿勝」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
490	典籍	牧野忠恭書「十月蕭々処」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
491	典籍	三島億二郎書「漢詩「蘇武の詩」（五言古詩）」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
492	典籍	三島億二郎書「誠者物之終始」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
493	典籍	山田到处書「杜牧 七言絶句 山行」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
494	典籍	山田方谷書「七言律詩」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
495	典籍	牧野忠精筆「雨龍図」	長岡	幸町（長岡市立科学博物館）
496	典籍	河井秋義書「七言絶句」	長岡	幸町（長岡市立科学博物館）
497	古文書	上前島 青柳家文書	長岡	長倉西町（長岡市歴史文書館）
498	古文書	「長岡藩名士巻物」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
499	古文書	「河井継之助書状 豊辺政之丞宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
500	古文書	「河井継之助書簡 川島億次郎宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
501	古文書	「橋本圭三郎書簡 三島億二郎宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
502	古文書	「藤野善蔵書簡 三島億二郎・三島徳蔵宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
503	古文書	「牧野忠雅書状 榊原式部大輔宛（年欠十一月十五日）」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
504	古文書	「三島億二郎書簡 大蔵省宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
505	古文書	「慶長5年 牧野康成軍忠状」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
506	古文書	「寛永19年 牧野右馬允忠成の康成系譜書」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
507	古文書	「牧野忠辰書状 水野美作守宛」	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
508	古文書	「牧野忠精書状」文化8年	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
509	古文書	河井継之助書『塵壺』	長岡	学校町（長岡市立中央図書館）
510	古文書	「越後表戦場ノづ（図）」	長岡	大黒町（北越戊辰戦争伝承館）
511	考古資料	中道遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1998『中道遺跡』

No.	種別	名称	地域	所在地
512	考古資料	山下遺跡出土品	長岡	長岡市 1992『長岡市史 資料編1 考古』
513	考古資料	外新田遺跡出土品	長岡	長岡市 1992『長岡市史 資料編1 考古』
514	考古資料	南原遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1994『南原遺跡』
515	考古資料	転堂遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2023『転堂遺跡』
516	考古資料	馬高遺跡出土品	長岡	長岡市立科学博物館 1966『先史時代と長岡の遺跡』
517	考古資料	笹山窯跡出土品	長岡	長岡市 1994『長岡市史 資料編1 考古』
518	考古資料	三十稲場遺跡出土品	長岡	長岡市立科学博物館 1966『先史時代と長岡の遺跡』
519	考古資料	岩野原遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1981『埋蔵文化財発掘調査報告書 岩野原遺跡』
520	考古資料	七軒町遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1978『埋蔵文化財調査報告書 七軒町遺跡・本村金塚』
521	考古資料	尾立遺跡出土品	長岡	長岡市藤橋遺跡等発掘調査委員会 1977『藤橋遺跡・尾立遺跡・旧富岡農学校跡遺跡』
522	考古資料	藤橋遺跡出土品	長岡	長岡市藤橋遺跡等発掘調査委員会 1977『藤橋遺跡』
523	考古資料	横山遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1987『横山遺跡』
524	考古資料	下屋敷遺跡出土品	長岡	長岡市 1994『長岡市史 資料編1 考古』
525	考古資料	岩野原窯跡出土品	長岡	長岡市教委 2018『岩野原窯跡』
526	考古資料	羽黒窯跡出土品	長岡	長岡市 1994『長岡市史 資料編1 考古』
527	考古資料	間野窯跡出土品	長岡	長岡市 1994『長岡市史 資料編1 考古』
528	考古資料	蔵王堂城跡出土品	長岡	長岡市教委 1981『蔵王堂城址発掘調査報告書』
529	考古資料	長岡城跡出土品	長岡	長岡市教委 2010『長岡城跡（厚生会館地区）』
530	考古資料	大萱場古墳出土品	長岡	長岡市教委 1985『大萱場古墳』
531	考古資料	松葉遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1994『松葉遺跡』
532	考古資料	三貫梨遺跡出土品	長岡	長岡市教委 1987『三貫梨遺跡－第2次発掘調査－』
533	考古資料	大原C遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2010『大原C遺跡』
534	考古資料	五斗田遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2001『五斗田遺跡』
535	考古資料	ソデクネ遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2003『ソデクネ遺跡』
536	考古資料	上条遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2016『上条遺跡』

No.	種別	名称	地域	所在地
537	考古資料	五百刈遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2015『五百刈遺跡』
538	考古資料	土用木西遺跡出土品	長岡	長岡市教委 2007『土用木西遺跡』
539	考古資料	杉之森遺跡出土品	中之島	新潟県教委 1976『新潟県埋蔵文化財調査報告書8：焼屋敷遺跡 杉之森遺跡』
540	考古資料	観音寺遺跡出土品	中之島	中之島町教委 1995『観音寺遺跡』
541	考古資料	多賀屋敷遺跡出土品	越路	越路町教委 1983『多賀屋敷遺跡調査報告書』
542	考古資料	上並松遺跡出土品	越路	越路町教委 1970『朝日百塚・並松遺跡』
543	考古資料	中山遺跡出土品	越路	越路町教委 1983『中山遺跡発掘調査報告書』
544	考古資料	朝日遺跡出土品	越路	越路町教委 1965『朝日遺跡』
545	考古資料	立矛遺跡出土品	越路	長岡市教委 2011『立矛遺跡』
546	考古資料	岩田遺跡出土品	越路	越路町教委 1992『岩田遺跡』
547	考古資料	浦畑遺跡出土品	越路	長岡市教委 2008『浦畑遺跡』
548	考古資料	立矛南遺跡出土品	越路	長岡市教委 2007『立矛南遺跡』
549	考古資料	千石原遺跡出土品	三島	三島町教委 1989『千石原遺跡(第二次)発掘調査報告書』
550	考古資料	根立遺跡出土品	三島	三島町教委 1988『根立遺跡』
551	考古資料	一の沢窯跡出土品	三島	三島町史編集委員会 1984『三島町史 上巻』
552	考古資料	上向遺跡出土品	三島	三島町教委 1990『上向遺跡』
553	考古資料	新町上の原遺跡出土品	小国	長岡市教委 2009『新町上の原遺跡』
554	考古資料	延命寺が原遺跡出土品	小国	小国町教委 1963『延命寺が原遺跡発掘調査報告書 縄文時代の延命寺が原』
555	考古資料	御館遺跡出土品	小国	長岡市教委 2006『御館遺跡Ⅲ』
556	考古資料	岩田原遺跡出土品	小国	長岡市教委 2015『岩田原遺跡』
557	考古資料	仲崎遺跡出土品	栃尾	栃尾市教委 2005『栃尾市内遺跡発掘調査報告書』
558	考古資料	下稲場遺跡出土品	与板	与板町 1965 上稲場・下稲場遺跡踏査報告
559	考古資料	上稲場遺跡出土品	与板	与板町教委 1989 上稲場遺跡
560	考古資料	十二遺跡出土品	和島	和島村 1996『和島村史 資料編Ⅰ 自然 原始古代・中世 文化財』
561	考古資料	奈良崎遺跡出土品	和島	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 2002『奈良崎遺跡』
562	考古資料	坂谷遺跡出土品	和島	長岡市教委 2012『坂谷遺跡』

No.	種別	名称	地域	所在地
563	考古資料	松ノ脇遺跡出土品	和島	和島村教委 1998『松ノ脇遺跡』
564	考古資料	下ノ西遺跡出土品	和島	和島村教委 1998『下ノ西遺跡』
565	考古資料	北辰中学校遺跡出土品	和島	和島村 1996『和島村史 資料編Ⅰ 自然 原始古代・中世 文化財』
566	考古資料	山田郷内遺跡出土品	和島	長岡市教委 2007『山田郷内遺跡』
567	考古資料	大武遺跡出土品	和島	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 2000『大武遺跡Ⅰ(中世編)』 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 2014『大武遺跡Ⅱ(古代～縄文時代編)』
568	考古資料	姥ヶ入南遺跡出土品	和島	財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 2010『立野大谷製鉄遺跡 姥ヶ入製鉄遺跡 姥ヶ入南遺跡』
569	考古資料	北野丸山遺跡出土品	和島	和島村教委 2003『北野丸山遺跡』
570	考古資料	川東遺跡出土品	和島	長岡市教委 2012『川東遺跡』
571	考古資料	吉沢遺跡出土品	和島	長岡市教委 2012『吉沢遺跡』
572	考古資料	浦反南東遺跡出土品	和島	長岡市教委 2016『浦反南東遺跡』
573	考古資料	五分一稲場遺跡出土品	寺泊	寺泊町 1991『寺泊町史 資料編Ⅰ 原始・古代・中世』
574	考古資料	岩方大平遺跡出土品	寺泊	寺泊町 1991『寺泊町史 資料編Ⅰ 原始・古代・中世』
575	考古資料	京ヶ入遺跡出土品	寺泊	寺泊町 1991『寺泊町史 資料編Ⅰ 原始・古代・中世』
576	考古資料	下桐松葉遺跡出土品	寺泊	寺泊町 1991『寺泊町史 資料編Ⅰ 原始・古代・中世』
577	考古資料	草薙遺跡出土品	寺泊	長岡市教委 2011『草薙遺跡』
578	考古資料	屋鋪塚1号墳出土品	寺泊	寺泊町教委 2004『屋鋪塚遺跡発掘調査報告書』
579	考古資料	諏訪田遺跡出土品	寺泊	寺泊町 1991『寺泊町史 資料編Ⅰ 原始・古代・中世』
580	考古資料	野起遺跡出土品	寺泊	長岡市教委 2008『野起遺跡』
581	考古資料	荒屋遺跡出土品	川口	東北大学大学院文学研究科考古学研究室他 2003『荒屋遺跡第2・3次発掘調査報告書』
582	考古資料	西藏遺跡出土品	川口	川口町教育委員会他 2003『西倉遺跡』
583	歴史資料	四斤山砲弾	長岡	御山町(長岡市郷土史料館)
584	歴史資料	旧長岡藩医丸山家所蔵資料	長岡	幸町(長岡市立科学博物館)
585	歴史資料	片山翠谷(2代)画「明治16年内国水産博覧会出品図絵」	長岡	学校町(長岡市立中央図書館)

【無形文化財】

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
586	職能	小国紙	小国	菅沼	和紙
587	職能	柿渋	小国	小国七日町	豪雪地の夏の副業
588	職能	栃尾紬	栃尾	新町	染織
589	職能	一之貝紬	栃尾	新町	染織
590	職能	舟大工(川舟)	川口	西川口	
591	職能	竹箆	川口	武石	木竹工 豪雪地の農閑期の副業
592	職能	鋸	三島	脇野町	金工 小川庄平衛によって伝わる
593	職能	厚刃物	与板	与板	金工 直江兼続によって刀鍛冶が始まり大工道具へと変わった
594	職能	鍛冶	与板	提下	金工 商圏は周辺農家と契約
595	職能	屋根屋(草屋根)	寺泊	寺泊野積	建築 越後流、初夏～盆まで佐渡へ出稼ぎ、冬季は酒造りで出稼ぎ
596	職能	屋根屋(草屋根)	寺泊	寺泊野積	建築 耕地が少なく出稼ぎに出る者が多い
597	職能	手まり	栃尾	一之貝	その他 養蚕や機械織りが盛んで手まりづくりが伝承
598	職能	油揚げ	栃尾	滝の下	その他 山地で魚介が高価、豆腐が重要なたんぱく質 土産に重宝された

【民俗文化財】(有形の民俗文化財)

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
599	山車	河内みこじさ	長岡	深沢町	深沢神社 秋季大祭(深沢町秋祭) 明治末期(～1911)
600	山車	神田ばやし(神田丸)	長岡	神田町	少彦名神社祭礼 昭和22年(1947)
601	山車	屋台	越路	飯塚	八幡神社 秋季大祭 昭和3年(1928)
602	山車	屋台	越路	飯塚	八幡神社 秋季大祭 昭和4年(1929)
603	山車	屋台	越路	飯塚	八幡神社 秋季大祭 昭和5年(1930)
604	山車	屋台	越路	来迎寺	白山神社 祭礼 昭和5年(1930)
605	山車	大屋台	越路	十楽寺	白山神社 祭礼 昭和23年(1948)
606	山車	屋台	越路	西野	西野諏訪社 秋季祭礼 昭和51年(1976)
607	山車	屋台	越路	十楽寺	白山神社 祭礼 昭和59年(1984)
608	山車	屋台	越路	西野	白山神社 祭礼 昭和59年(1984)
609	山車	大屋台	越路	十楽寺	白山神社 祭礼 昭和60年(1985)

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
610	山車	屋台	与板	与板(中町)	都野神社 大祭 宝暦7年(1757)頃
611	山車	屋台	与板	与板(新町)	都野神社 大祭 宝暦7年(1757)頃
612	山車	屋台	与板	与板(上町)	都野神社 大祭 宝暦10年(1760)頃
613	瞽女	長岡市の瞽女関係資料(一式)	長岡		58点、長岡市立科学博物館所蔵
614	養蚕	万覚院の蚕神様	川口		シロウガミサマ信仰 川口町牛ヶ島 木彫立像
615	養蚕	万覚院の蚕神絵札	川口		寺社から配られるお札
616	養蚕	蚕神の掛軸	川口		
617	鮭漁法	鮭漁具	川口		
618	職能	小国紙 製作用具	小国	苔野島・山野田	和紙
619	職能	小国紙 製作用具	越路	菅沼	和紙
620	職能	栃尾紙 製作用具	栃尾	山葵谷	和紙
621	職能	柿渋 製作用具	小国	小国七日町	その他
622	職能	栃尾紬 製作用具	栃尾	新町1	染織
623	職能	一之貝紬 製作用具	栃尾	新町1	染織
624	職能	篩 製作用具	寺泊	寺泊山田	木竹工
625	職能	舟大工(川舟) 製作用具	川口	西川口	木竹工
626	職能	竹箆 製作用具	川口	武石	木竹工
627	職能	鋸 製作用具	三島	脇野町	金工
628	職能	厚刃物 製作用具	与板	与板	金工
629	職能	鍛冶 製作用具	与板	提下	金工
630	職能	屋根屋(草屋根) 製作用具	寺泊	寺泊新長	建築
631	職能	屋根屋(草屋根) 製作用具	寺泊	寺泊野積	建築
632	職能	手まり 製作用具	栃尾	一之貝	その他
633	職能	油揚げ 製作用具	栃尾	滝の下	その他
634	職能	野鍛冶製作道具	寺泊	寺泊北曾根	
635	職能	野積杜氏の酒造り道具	寺泊	寺泊野積	
636	信仰	オビンズル様	栃尾	山葵谷	
637	信仰	縁結地藏	栃尾	山葵谷	
638	屋台	屋台	越路	不動沢	熊野社の宵祭(旧8/11)
639	屋台	ミコシ	越路	不動沢	9/1 昼

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
640	人形芝居	人形芝居の道具	越路	不動沢	人形芝居の人形、笛、オード(太鼓)、コード(小鼓)、鼓などの七日に虫干し
641	石祠・石塔	八海山	越路	不動沢	
642	石祠・石塔	秋葉山	越路	不動沢	
643	石祠・石塔	松尾様	越路	不動沢	
644	石祠・石塔	養蚕神	越路	不動沢	
645	石祠・石塔	三夜様	越路	不動沢	
646	石祠・石塔	十二様	越路	不動沢	
647	石祠・石塔	庚申様	越路	不動沢	
648	石祠・石塔	大師様	越路	不動沢	
649	農具	千歯	栃尾	山葵谷	稲こき
650	農具	センバ	長岡	栖吉	
651	農具	センバ	越路	不動沢	
652	農具	モンドシ	栃尾	山葵谷	あおり立て
653	農具	土臼	栃尾	山葵谷	あおり立て
654	農具	土臼	長岡	栖吉	精米
655	農具	トラ箕	栃尾	山葵谷	あおり立て
656	農具	万石	栃尾	山葵谷	仕上げ
657	農具	万石	越路	不動沢	
658	農具	コメツキギネ	栃尾	山葵谷	精米
659	農具	木臼・杵	長岡	栖吉	精米
660	農具	ジガラウス	越路	不動沢	ヌカ取り
661	農具	平鍬	栃尾	山葵谷	田打ち、あぜぬり
662	自家製品	ワラ道具	栃尾	山葵谷	俵 蓆 ミノ、ワラジ、ソウリ、ニナワ
663	仕事着	手拭	栃尾	山葵谷	仕事着(頭・顔／男・女)
664	仕事着	手拭	長岡	栖吉	仕事着(頭・顔／男・女)オリタミカブリ
665	仕事着	手拭	越路	不動沢	仕事着(頭・顔／男・女)ほほかむり はちまき(男)うしろはちまき(女)
666	仕事着	すげ笠	栃尾	山葵谷	仕事着(頭・顔／男・女)
667	仕事着	すげ笠	越路	不動沢	仕事着(頭・顔／男・女)
668	仕事着	手甲(小手)	栃尾	山葵谷	仕事着(手／男・女)
669	仕事着	手甲	長岡	栖吉	仕事着(手／男・女)
670	仕事着	こて	越路	不動沢	仕事着(手／男・女)
671	仕事着	蓑	栃尾	山葵谷	仕事着(上体／麻の小着物／男)

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
672	仕事着	背なかうじ	栃尾	山葵谷	仕事着(上体／物を負う時の背当て／男)
673	運搬用具	セナコウジ(背当て)	長岡	栖吉	運搬 ワラの背当て
674	仕事着	たすき	栃尾	山葵谷	仕事着(上体／真綿／女)
675	仕事着	たすき	長岡	栖吉	仕事着(上体／男・女)
676	仕事着	ももひき	栃尾	山葵谷	仕事着(下体／男)
677	仕事着	ももしき・半ももしき	越路	不動沢	仕事着(手／男・女)
678	仕事着	山袴	栃尾	山葵谷	仕事着(下体／女)
679	仕事着	はんばき	栃尾	山葵谷	仕事着(足／男)
680	仕事着	わらじつまかけ	栃尾	山葵谷	仕事着(足／男・女)
681	仕事着	足中ぞうり	栃尾	山葵谷	仕事着(足／男)
682	仕事着	あしなか	越路	不動沢	はきもの ぞうり
683	仕事着	はばき	栃尾	山葵谷	仕事着(足／女)
684	自家製品	麻布・織物用具	栃尾	山葵谷	麻を栽培して織り、山着物、蚊帳などに用いた
685	食事	メンツ	栃尾	山葵谷	深い弁当入れ
686	食事	メンツ	長岡	栖吉	弁当入れ
687	食事	ワツパ	栃尾	山葵谷	浅い弁当入れ
688	食事	木曾ワツパ	越路	不動沢	間食の入れ物
689	食事	テゴ	栃尾	山葵谷	ワラで編む入れ物
690	民具	カギサマ	栃尾	山葵谷	自在鉤
691	民具	カギサマ	長岡	栖吉	自在鉤
692	民具	自在鉤	越路	不動沢	縄製 竹や金属製にかわる
693	運搬用具	ヤマウセ(背負い梯子)	栃尾	山葵谷	運搬
694	運搬用具	シヨイバシゴ	越路	不動沢	薪などを運ぶ
695	運搬用具	シユラ(ソリ)	栃尾	山葵谷	運搬 土運び・雪上の木材運搬
696	運搬用具	土ズリ(ソリ)	栃尾	山葵谷	運搬 土運び
697	農具	ダイ鍬	長岡	栖吉	台鍬か 木の台のあるもの
698	農具	三本クワ	長岡	栖吉	田畑の打越し用
699	農具	トウグワ	長岡	栖吉	幅の狭い肉厚のもの 開墾用
700	農具	ツルハシ・片鶴	長岡	栖吉	開墾などに使う
701	農具	小鎌	長岡	栖吉	草取り用
702	農具	ハガマ	長岡	栖吉	薄刃の大鎌、稲刈・草刈り用
703	農具	ナタガマ	長岡	栖吉	厚い大鎌 山仕事用
704	仕事用具	薪作り用具	長岡	栖吉	ナカ、ナタガマ、ノコギリ、マサカリ、ユキ、カナヤ

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
705	仕事着	ナナモリガサ	長岡	栖吉	仕事着（頭・顔／男・女）
706	仕事着	八寸袖・三角袖（ハンテン）	長岡	栖吉	仕事着（上体／男・女）
707	仕事着	ハンチヨウ	長岡	栖吉	仕事着（上体／男・女） 寒い時
708	仕事着	帯	長岡	栖吉	仕事着（上体／男・女）
709	仕事着	わらじ	長岡	栖吉	仕事着（足／男・女）
710	仕事着	わらじ	越路	不動沢	はきもの
711	仕事着	脚絆	長岡	栖吉	仕事着（足／女）
712	仕事着	脚絆	越路	不動沢	仕事着（下体／男）
713	運搬用具	テコブイ	長岡	栖吉	運搬 1人で背負えないで共同の場合は肩担となる
714	運搬用具	大八車	長岡	栖吉	運搬 運送業
715	農具	くし型定規	越路	不動沢	田植え 田の区画
716	農具	三角杵	越路	不動沢	田植え 田の区画
717	農具	ユスリイタ	越路	不動沢	もみと米をわけ
718	仕事着	山ぎもん	越路	不動沢	仕事着（上体／男・女）半袖の短い着物 丈は腰まで 寒い時はあわせ・綿入れを用いた
719	仕事着	腰巻	越路	不動沢	仕事着（下体／女）
720	仕事着	火棚	越路	不動沢	いろりの火があがらないよう 冬はぬれものを乾かす
721	運搬用具	ニナワ	越路	不動沢	荷縄
722	運搬用具	バタ	越路	不動沢	バタを着て荷を背負った上にニナワを掛ける
723	運搬用具	コヨモチ	越路	不動沢	田の中に肥えを運んだり、畑から野菜を運んだりするかご
724	運搬用具	ヒキズリモツコ	越路	不動沢	田の中で土を運んで平にする ムシロのはしに板さきをつけナワを出してひっぱる
725	運搬用具	フネ	越路	不動沢	田の中で土を運んで平にする 木で作り、泥の上をすべりやすくしてある
726	運搬用具	ダイモチゾリ	越路	不動沢	雪上で大きな木を運ぶゾリ
727	運搬用具	コロンボウ	越路	不動沢	川舟の一種、米を運ぶため帆をはって渋海川を走った
728	農具	田植え杵	長岡		
729	農具	田植え縄	長岡		
730	農具	マンガワ	長岡		
731	農具	唐箕	長岡		

【民俗文化財】（無形の民俗文化財）

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
732	民俗芸能	白山媛神社の神楽	寺泊	寺泊大町	古泊楽人会 変容 5/3 白山媛神社境内
733	民俗芸能	田尻の太夫舞	寺泊	寺泊田尻	田尻藤正会 変容 4/15 八幡神社 採物神楽
734	民俗芸能	下桐の神楽舞	寺泊	寺泊下桐	変容 4/13 下桐原石部神社 採物神楽
735	民俗芸能	万善寺の神楽舞	寺泊	寺泊万善寺	中断 4/17 八幡神社 採物神楽
736	民俗芸能	入軽井面神楽	寺泊	寺泊入軽井	入軽井面神楽保存会 変容 4/9 軽井郷神社拝殿、各戸 獅子神楽
737	民俗芸能	町軽井の神楽舞	寺泊	寺泊町軽井	町軽井神楽保存会 変容 4/20、7/8 十二大社、牛頭天王社 獅子神楽
738	民俗芸能	矢田の神楽舞	寺泊	寺泊矢田	中断 4/16 神明神社 獅子神楽
739	民俗芸能	荒巻神楽舞	和島	荒巻	荒巻御神楽保存会 旧行 5/24 石動神社 獅子神楽
740	民俗芸能	馬越神楽	与板	与板町馬越	馬越神楽保存会 旧行 4/13 馬越神社 獅子神楽
741	民俗芸能	本与板神楽	与板	与板町本与板滝谷	本与板神楽組 旧行 6月第2日曜 八幡神社 獅子神楽
742	民俗芸能	岩戸神楽	与板	北新町	北新町神楽組 旧行 9/15 井伊神社、都野神社 獅子神楽
743	民俗芸能	三島の太々神楽舞	三島	三島中条、他5大字	三島町神楽保存会 旧行 神社祭礼 日吉神社他 採物神楽
744	民俗芸能	飯塚の神楽	越路	飯塚	御神楽保存会 変容 8/14 八幡神社 獅子神楽
745	民俗芸能	浦上の鮎屋踊	越路	浦上	浦上祭囃子芸能研究会 旧行 8/20 前後の土日 八幡宮、街路
746	民俗芸能	浦下の鮎屋踊	越路	浦下	浦下兵農保存会 旧行 8/20 前後の土日 八幡宮、街路
747	民俗芸能	神谷芸能	越路	神谷	神谷芸能保存会 旧行 不定期 神明社
748	民俗芸能	長岡神楽	長岡	四郎丸	長岡神楽会 旧行 4～9月に10数回上演 諏訪神社境内、市内神社数か所
749	民俗芸能	土合諏訪神社神楽舞	長岡	土合	土合奉祭会 変容 7/23・24 諏訪神社神楽殿 採物神楽
750	民俗芸能	李崎神楽	長岡	李崎町	李崎町御神楽保存会 変容 5月上旬、7月上旬 八幡宮脇の李崎公民館 獅子舞、出雲流神楽

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
751	民俗 芸能	榎下町稚児舞	長岡	榎下町	榎下町稚児舞保存会 旧行 8月 八幡神 社 採物神楽
752	民俗 芸能	高野神社神楽 舞	長岡	高野町	高野町舞保存会 旧 行 5月第3日曜、 8月第3日曜 高野 神社 採物神楽
753	民俗 芸能	日枝神社神楽	長岡	浦瀬	浦瀬奉楽連 旧行 5/18、8/18 日枝 神社神楽殿 採物 神楽
754	民俗 芸能	宮内神楽	長岡	宮内	宮内舞連中 旧行 8/17 高彦根神社 神楽殿 採物神楽
755	民俗 芸能	桂神楽	長岡	桂	桂舞連中 旧行 6 月第1土日曜 石 動神社仮設舞台 採物神楽
756	民俗 芸能	乙吉神楽	長岡	乙吉	乙吉神楽保存会 旧 行 6月第2日曜 乙吉神社 採物神楽
757	民俗 芸能	脇川新田神楽	長岡	脇川新田	脇川新田保存会 旧行 4月第2土 曜 諏訪神社境内 採物神楽
758	民俗 芸能	川袋町太々御 神楽	長岡	川袋	川袋町太々御神楽 保存会 旧行 春 秋祭礼 天満宮舞 殿 採物神楽
759	民俗 芸能	春日神社神楽 舞	長岡	黒津	黒津舞連中 中断 5/16 春日神社神 楽殿 採物神楽
760	民俗 芸能	栖吉町神楽	長岡	栖吉町	栖吉町御神楽会 旧行 4月末、8 月末 採物神楽
761	民俗 芸能	新組町諏訪神 社神楽	長岡	新組町	新組町諏訪神社神 楽保存会 旧行 5月第4日曜 諏 訪神社神楽殿 採 物神楽
762	民俗 芸能	富島神楽	長岡	富島町	日光神楽会 旧行 秋祭礼 日光神社仮 設舞台 採物神楽
763	民俗 芸能	鉢伏神楽	長岡	鉢伏	鉢伏奉舞会 旧行 6/7・8 鉢伏神社 採物神楽
764	民俗 芸能	芹川神楽	長岡	芹川	芹川舞保存会 旧行 4/15、10/21 都野 神社 採物神楽
765	民俗 芸能	大荒戸神楽	長岡	大荒戸	大荒戸神楽舞保存 会 旧行 4/18 神明社 採物神楽
766	民俗 芸能	中沢神楽	長岡	中沢	中沢舞友会 旧行 7月第3土日 諏訪 神社境内 採物神楽
767	民俗 芸能	石動神社神楽	長岡	宮路	中断 石動神社 採物神楽
768	民俗 芸能	西村神楽	長岡	福島町	西村神楽保存 会 中断 5月末 日 福島町内の三 社 採物神楽
769	民俗 芸能	新保町神楽	長岡	新保	新保町神楽会 中断 6/14 採物神楽
770	民俗 芸能	堺町神楽	長岡	堺町	堺町神楽舞保存会 中断 4/10 神明 神社 採物神楽

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
771	民俗 芸能	蔵王神楽	長岡	蔵王	金峰神社里神楽保 存会 旧行 4/14・ 15、7/14・15 金 峰神社 採物神楽
772	民俗 芸能	成願寺神楽	長岡	成願寺	成願寺御神楽保存 会 旧行 8月第 1日曜 十二神社 仮設舞台 獅子神 楽
773	民俗 芸能	東方神楽	長岡	宮本東方	東方芸能保存会 旧行 5/3 東方神 社 獅子神楽
774	民俗 芸能	蓬平神楽	長岡	蓬平	蓬平芸能保存会 中断 獅子神楽
775	民俗 芸能	関原の神楽舞	長岡	関原町	関原民踊保存会 旧行 依頼があつ た時 仮設舞台 獅子神楽
776	民俗 芸能	六日市神楽	長岡	六日市	六日市神楽保存会 旧行 7/24 獅子 神楽
777	民俗 芸能	大積神楽	長岡	大積1丁 目	大積芸能保存会 旧行 4/29 大積 神社、大積小学校 体育館 獅子神楽
778	民俗 芸能	福戸神楽	長岡	福戸	旧行 春祭礼 獅 子神楽
779	民俗 芸能	上除獅子舞	長岡	上除	上除町神楽保存会 旧行 9/22・23 八幡社 獅子神楽
780	民俗 芸能	西楽寺の雅楽	長岡	千代栄	西楽寺吹奏会 変 容 11/1 西楽寺 報恩講で上演
781	民俗 芸能	成沢歌舞伎	長岡	成沢	中断 4/16 神明 社仮設舞台 昭和 40年代廃絶
782	民俗 芸能	大積あめや踊	長岡	大積町1 丁目	大積芸能保存会 変容 4/29 大積 小学校体育館 大 積春祭芸能大会で 上演
783	民俗 芸能	高山あめや踊	長岡	高島町	高島町郷土芸能保 存会 旧行 8月第4 土曜 高島児童遊園 内の仮設舞台
784	民俗 芸能	高山の高大寺	長岡	高島町	高島町郷土芸能保 存会 旧行 不定 期 仮設舞台
785	民俗 芸能	千谷沢神楽舞	小国	小国町千 谷沢	中断 4/15 千谷 沢神社 獅子神楽
786	民俗 芸能	野積の盆踊	寺泊	寺泊野積	野積郷土芸能保 存会他 変容 盆、 芸能祭 寺社境内、 街路
787	民俗 芸能	西谷の盆踊	越路	西谷	西谷区 変容 8/14 仮設舞台
788	民俗 芸能	長岡市の盆踊	長岡	市内各地	市内各地の町内会 旧行 盆 寺社境 内 長岡甚句
789	民俗 芸能	山古志村の盆 踊	山古志	各集落	各集落 旧行 8/15・16 寺社境内
790	民俗 芸能	西川口の盆踊	川口	西川口	音頭取保存会 旧行 8月 寺社境内

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
791	民俗 芸能	千谷沢の三階 節	小国	小国町千 谷沢	千谷沢三階節保存 会 旧行 8/14・ 15 寺社境内 盆 踊
792	民俗 芸能	苔野島のおい な	小国	小国町苔 野島	おいな踊保存会 旧行 不定期 盆 踊
793	民俗 芸能	越後替女唄	長岡		祭文松坂（段物）、 口説、常磐津、清元、 新内、長唄、端唄、 京唄（長岡替女屋 妙音講の奉納唄）、 義太夫のサワリ、 門付け唄、祝い唄、 ざか唄（民謡・は やり節）
794	民謡	モグラモチ追い	中之島	中之島	行事歌
795	民謡	柿の木成るか 成るまいか	中之島	中之島	行事歌
796	民謡	中之島盆歌	中之島	中之島	盆踊り歌
797	民謡	越後追分	中之島	中之島	座興歌
798	民謡	ねんねんこん こん	中之島	中之島	子守歌
799	民謡	シンパタシャ ウヤ	中之島	中之島	遊戯歌
800	民謡	なるかならんか	寺泊	寺泊	行事歌
801	民謡	寺泊おけさ	寺泊	寺泊	踊り歌
802	民謡	寺泊流しおけさ	寺泊	寺泊	踊り歌
803	民謡	夏戸扇おけさ	寺泊	寺泊	踊り歌
804	民謡	夏戸甚句	寺泊	寺泊	踊り歌
805	民謡	神保おどり	寺泊	大河津	踊り歌
806	民謡	扇おどり	寺泊	大河津	踊り歌
807	民謡	入軽井おけさ	寺泊	大河津	踊り歌
808	民謡	入軽井盆おどり	寺泊	大河津	盆おどり
809	民謡	寺泊船方節	寺泊	寺泊	座興歌
810	民謡	いちれつだん ばん	寺泊	寺泊	遊戯歌
811	民謡	いちかけにかけ	寺泊	寺泊	遊戯歌
812	民謡	味噌こんぶり	寺泊	寺泊	遊戯歌
813	民謡	お釈迦さまの お手まり	寺泊	寺泊	遊戯歌
814	民謡	いちばんはじめ	寺泊	寺泊	遊戯歌
815	民謡	大波小波	寺泊	寺泊	遊戯歌
816	民謡	郵便屋さん走 らんせ	寺泊	寺泊	遊戯歌
817	民謡	おひとつ	寺泊	寺泊	遊戯歌
818	民謡	せっせっせ	寺泊	寺泊	遊戯歌
819	民謡	花いちもんめ	寺泊	寺泊	遊戯歌
820	民謡	羅漢さん	寺泊	寺泊	遊戯歌
821	民謡	越後新潟	寺泊	寺泊	遊戯歌
822	民謡	いちじくにん じん	寺泊	寺泊	遊戯歌
823	民謡	メートル法の うら	寺泊	大河津	手毬歌
824	民謡	蜂追い	寺泊	寺泊	唱えごと
825	民謡	とんびとんび	寺泊	寺泊	唱えごと
826	民謡	うしげえし	寺泊	寺泊	唱えごと

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
827	民謡	松さか	和島	島田	祝い歌
828	民謡	いかいたろた	和島	桐島	行事歌
829	民謡	もぐらもち追い	和島	桐島	行事歌
830	民謡	なるかならんか	和島	桐島	行事歌
831	民謡	もぐらもち追い	和島	島田	行事歌
832	民謡	なるかならんか	和島	島田	行事歌
833	民謡	かきかきなれや	和島	島田	行事歌
834	民謡	上桐甚句	和島	桐島	盆踊り歌
835	民謡	ひとつひふき だけ	和島	桐島	盆踊り歌
836	民謡	小島谷おけさ	和島	島田	盆踊り歌
837	民謡	阿弥陀瀬の盆 踊り	和島	島田	盆踊り歌
838	民謡	ひとつふきだけ	和島	島田	盆踊り歌
839	民謡	松前追分	和島	島田	座興歌
840	民謡	良寛さんの歌	和島	島田	座興歌
841	民謡	馬子歌	和島	島田	座興歌
842	民謡	さいぞう	和島	島田	語り物
843	民謡	次郎太郎弥太 郎	和島	桐島	子守歌
844	民謡	ねんねんねん ねんや	和島	桐島	子守歌
845	民謡	ねんねんや	和島	桐島	子守歌
846	民謡	ねんねんころ りよ	和島	島田	子守歌
847	民謡	ひふみよ	和島	桐島	お手玉歌
848	民謡	いちれんたん ばん	和島	桐島	手毬歌
849	民謡	いちかけにか けて	和島	桐島	手合せ歌
850	民謡	からすからす	和島	桐島	手毬歌
851	民謡	夕焼小焼	和島	桐島	わらべ唄
852	民謡	こうもりこう もり	和島	桐島	遊戯歌
853	民謡	あんたがたど この子	和島	桐島	手毬歌
854	民謡	越後新潟	和島	桐島	おはじき歌
855	民謡	ひとついちゃの	和島	桐島	わらべ唄
856	民謡	武夫は御殿の	和島	桐島	遊戯歌
857	民謡	だっせんだっ せん	和島	桐島	お手玉歌
858	民謡	せっせっせ	和島	桐島	手合せ歌
859	民謡	大波小波	和島	桐島	なわとび歌
860	民謡	ひとつふくふ くれもち	和島	桐島	遊戯歌
861	民謡	ひふや	和島	桐島	お手玉歌
862	民謡	ひとつがらがら	和島	桐島	遊戯歌
863	民謡	一番始めの一 の宮	和島	島田	手毬歌
864	民謡	いちれつだん ばんはれつして	和島	島田	手毬歌
865	民謡	いちかけにか けて	和島	島田	手毬歌
866	民謡	せっせっせば らりとせ	和島	島田	手合せ歌
867	民謡	いちばんはじめ のいちのみや	和島	島田	お手玉歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
868	民謡	いちれつだんぱん	和島	島田	手毬歌
869	民謡	ひとつがंगाらび	和島	島田	手毬歌
870	民謡	いちかけにかけ	和島	島田	手毬歌
871	民謡	おひとつ	和島	島田	お手玉歌
872	民謡	いちれつらんぱん	和島	島田	手毬歌
873	民謡	ひとひとひと	和島	島田	お手玉歌
874	民謡	せっせっせぱらりとせ	和島	島田	手合せ歌
875	民謡	いちばんはじめのうつのみや	和島	島田	手毬歌
876	民謡	えちかけにかけ	和島	島田	手毬歌
877	民謡	からす	和島	島田	わらべ歌
878	民謡	べべろかめろ	和島	島田	唱えごと
879	民謡	別院砂利がち歌	与板	与板町	地搦歌
880	民謡	与板船頭歌	与板	与板町	労作歌
881	民謡	与板おけさ	与板	与板町	盆踊り歌
882	民謡	別院念仏数え歌	与板	与板町	風流歌
883	民謡	神楽獅子舞の歌	与板	与板町	神楽歌
884	民謡	与板大津絵	与板	与板町	座興歌
885	民謡	木挽歌	三島	三島	木挽歌
886	民謡	酒屋歌	三島	三島	酒屋歌
887	民謡	音頭取歌	三島	三島	酒屋歌
888	民謡	桶洗歌	三島	三島	酒屋歌
889	民謡	もとつき歌	三島	三島	酒屋歌
890	民謡	まつさか	三島	三島	祝い歌
891	民謡	桶洗い歌	越路	岩塚	酒屋歌
892	民謡	米洗い歌	越路	岩塚	酒屋歌
893	民謡	酩すり歌	越路	岩塚	酒屋歌
894	民謡	様よ	越路	岩塚	祭り歌
895	民謡	鮎屋歌	越路	来迎寺	祭り歌
896	民謡	松前追分	越路	来迎寺	祝い歌
897	民謡	松坂	越路	塚山	祝い歌
898	民謡	祝い歌	越路	塚山	祝い歌
899	民謡	もぐら打ち	越路	石津	行事歌
900	民謡	もぐら打ち	越路	来迎寺	行事歌
901	民謡	成木責め歌	越路	来迎寺	行事歌
902	民謡	盆踊り歌	越路	岩塚	盆踊り歌
903	民謡	盆踊り歌	越路	岩塚	盆踊り歌
904	民謡	広大寺	越路	来迎寺	座興歌
905	民謡	信濃追分	越路	来迎寺	座興歌
906	民謡	おいとこ節	越路	岩塚	座興歌
907	民謡	伊勢音頭	越路	岩塚	座興歌
908	民謡	磯節	越路	岩塚	座興歌
909	民謡	佐渡おけさ	越路	岩塚	座興歌
910	民謡	忠臣蔵	越路	石津	語り物
911	民謡	ねんねんころりよ子守り歌	越路	塚山	子守歌
912	民謡	坊やよい子だ	越路	塚山	子守歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
913	民謡	一つがらあら	越路	岩塚	手毬歌
914	民謡	てんてんてんまり	越路	塚山	手毬歌
915	民謡	向う横町の	越路	塚山	遊戯歌
916	民謡	一番はじめの一の宮	越路	塚山	遊戯歌
917	民謡	代掻き歌	長岡	宮内	代掻き歌
918	民謡	米搗き歌	長岡	新組町	米搗歌
919	民謡	臼挽歌	長岡	下川西	臼挽歌
920	民謡	臼挽歌	長岡	大積	臼挽歌
921	民謡	臼挽歌	長岡	下川西	臼挽歌
922	民謡	臼挽歌	長岡	関原町	臼挽歌
923	民謡	網曳歌	長岡	上川西	網曳歌
924	民謡	杭打歌	長岡	下川西	地搦歌
925	民謡	小松広大寺	長岡	宮内	糸くり歌
926	民謡	食ぱん売りの歌	長岡	関原	物売歌
927	民謡	たたら歌	長岡	山本	労作歌
928	民謡	酒造り唄（三ころ）	長岡	深才	酒屋歌
929	民謡	酒造り唄（流し歌）	長岡	深才	酒屋歌
930	民謡	酒造り唄（桶洗い歌）	長岡	深才	酒屋歌
931	民謡	酒造り唄（数番歌）	長岡	深才	酒屋歌
932	民謡	酒造り唄（酩すり歌）	長岡	深才	酒屋歌
933	民謡	酒造り唄（二番歌）	長岡	深才	酒屋歌
934	民謡	酒造り唄（切り火）	長岡	深才	酒屋歌
935	民謡	馬方節	長岡	土合	馬子歌
936	民謡	信濃川上り船引子の掛声	長岡	長岡市	掛声
937	民謡	下条馬方節	長岡	宮内	馬子歌
938	民謡	木遣り歌	長岡	上川西	労作歌
939	民謡	木遣り音頭	長岡	深才	労作歌
940	民謡	神田囃子（さまよ）	長岡	神田	祭り歌
941	民謡	松前	長岡	新組	祝い歌
942	民謡	松前	長岡	新	祝い歌
943	民謡	松前	長岡	六日市	祝い歌
944	民謡	松前	長岡	宮内	祝い歌
945	民謡	松前	長岡	宮内	祝い歌
946	民謡	松前	長岡	新組	祝い歌
947	民謡	松前の後歌	長岡	新組	祝い歌
948	民謡	嫁渡し松前	長岡	新組	祝い歌
949	民謡	松坂	長岡	上組	祝い歌
950	民謡	松坂	長岡	上組	祝い歌
951	民謡	松坂	長岡	富曽亀	祝い歌
952	民謡	松坂	長岡	深才	祝い歌
953	民謡	松坂	長岡	土合	祝い歌
954	民謡	松坂	長岡	宮内	祝い歌
955	民謡	松坂	長岡	宮内	祝い歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
956	民謡	松坂（下条松坂）	長岡	宮内	祝い歌
957	民謡	松坂	長岡	宮内	祝い歌
958	民謡	松坂	長岡	十日町	祝い歌
959	民謡	松坂	長岡	十日町	祝い歌
960	民謡	松坂	長岡	六日市	祝い歌
961	民謡	松坂	長岡	六日市	祝い歌
962	民謡	松坂	長岡	新組	祝い歌
963	民謡	麻生田おけさ	長岡	山本	祝い歌
964	民謡	越後追分	長岡	新	祝い歌
965	民謡	さいの神の	長岡	新組	行事歌
966	民謡	鳥追いドウ	長岡	広瀬	行事歌
967	民謡	もぐら打歌	長岡	上川西	行事歌
968	民謡	もぐら打歌	長岡	関原	行事歌
969	民謡	もぐら打歌	長岡	深才	行事歌
970	民謡	もぐら打歌	長岡	宮内	行事歌
971	民謡	もぐら打歌	長岡	宮内	行事歌
972	民謡	もぐら打歌	長岡	十日町	行事歌
973	民謡	もぐら打歌	長岡	六日市	行事歌
974	民謡	もぐら追い歌	長岡	新組	行事歌
975	民謡	もくれもち追い	長岡	下川西	行事歌
976	民謡	成木責めもぐら追い	長岡	富曾亀	行事歌
977	民謡	十二講弓打唱え言葉	長岡	六日市	行事歌
978	民謡	菖蒲叩き歌	長岡	宮内	行事歌
979	民謡	精霊迎い歌	長岡	新組	行事歌
980	民謡	精霊迎いの歌	長岡	西神田	行事歌
981	民謡	お師講の晩に	長岡	葛巻	行事歌
982	民謡	長岡甚句	長岡	下川西	盆踊り歌
983	民謡	長岡甚句	長岡	下川西	盆踊り歌
984	民謡	長岡甚句	長岡	下川西	盆踊り歌
985	民謡	長岡甚句	長岡	土合	盆踊り歌
986	民謡	長岡甚句	長岡	宮内	盆踊り歌
987	民謡	長岡甚句	長岡	六日市	盆踊り歌
988	民謡	よいようさ	長岡	太田	盆踊り歌
989	民謡	十二足	長岡	山本	盆踊り歌
990	民謡	浜おけさ	長岡	山本	踊り歌
991	民謡	親沢おけさ	長岡	深才	踊り歌
992	民謡	新保広大寺	長岡	宮内	踊り歌
993	民謡	新保広大寺	長岡	六日市	踊り歌
994	民謡	新保広大寺節	長岡	上組	踊り歌
995	民謡	新保広大寺	長岡	深才	踊り歌
996	民謡	おかめ広大寺	長岡	山本	踊り歌
997	民謡	おいとこそうだよ	長岡	山本	踊り歌
998	民謡	豊年おどり	長岡	山本	踊り歌
999	民謡	刺捕舞の歌	長岡	下川西	神楽歌
1000	民謡	扇子追分	長岡	六日市	踊り歌
1001	民謡	あやめおどり	長岡	大積	踊り歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1002	民謡	おらもなりたや	長岡	福島	座興歌
1003	民謡	越後松前の裏歌	長岡	土合	座興歌
1004	民謡	越後松前の裏歌	長岡	関原	座興歌
1005	民謡	越後追分	長岡	土台	座興歌
1006	民謡	出雲甚句	長岡	土台	座興歌
1007	民謡	読売りの歌	長岡	長岡市	座興歌
1008	民謡	夜遊びの歌	長岡	六日市	座興歌
1009	民謡	追分	長岡	六日市	座興歌
1010	民謡	追分	長岡	六日市	座興歌
1011	民謡	有難い追分節	長岡	六日市	座興歌
1012	民謡	追分	長岡	宮内	座興歌
1013	民謡	流行節	長岡	宮内	座興歌
1014	民謡	流行節	長岡	宮内	座興歌
1015	民謡	さのさ節	長岡	関原	座興歌
1016	民謡	さのさ節	長岡	関原	座興歌
1017	民謡	戯歌	長岡	関原	座興歌
1018	民謡	鴨緑江節	長岡	関原	座興歌
1019	民謡	関原名物	長岡	関原	座興歌
1020	民謡	三階節	長岡	関原	座興歌
1021	民謡	阿保陀羅経	長岡	十日町	語り物
1022	民謡	五色軍談（前口上赤穂義士）	長岡	宮内	語り物
1023	民謡	ねんねんねん	長岡	下川西	子守歌
1024	民謡	京から京から	長岡	下川西	子守歌
1025	民謡	ねんねんねこ島	長岡	下川西	子守歌
1026	民謡	この子がねったら	長岡	下川西	子守歌
1027	民謡	めいめいこすって	長岡	黒条	手毬歌
1028	民謡	天上ののんのさま	長岡	新組	子守歌
1029	民謡	今泣いた小僧が	長岡	新組	あやし歌
1030	民謡	おひたいさまが	長岡	新組	あやし歌
1031	民謡	はなはなぐーすぐす	長岡	新組	あやし歌
1032	民謡	京から京から	長岡	長岡	あやし歌
1033	民謡	ねんねんねんねん	長岡	富曾亀	あやし歌
1034	民謡	ねんねんころころ	長岡	上川西	あやし歌
1035	民謡	ひと子ふた子	長岡	下川西	おはじきの歌
1036	民謡	一人二人さめの子	長岡	下川西	手毬歌
1037	民謡	ごごじょ	長岡	下川西	鬼きめ歌
1038	民謡	一つ脚立	長岡	下川西	手毬歌
1039	民謡	渡した受けとった	長岡	下川西	紙風船つきの歌
1040	民謡	中の中のぼんぼん子	長岡	下川西	人当て鬼
1041	民謡	こんにちこんばん	長岡	下川西	手毬歌
1042	民謡	だいせんだいせん	長岡	下川西	お手玉歌
1043	民謡	一つがらがら	長岡	下川西	手毬歌
1044	民謡	おらがととさは	長岡	下川西	手毬歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1045	民謡	向いの子供衆は	長岡	下川西	つかまえ鬼
1046	民謡	向うに見えるは	長岡	下川西	手毬歌
1047	民謡	うらのばさは	長岡	下川西	手毬歌
1048	民謡	うらのうらの ちしやの木に	長岡	下川西	手毬歌
1049	民謡	徳兵衛さのお たけ	長岡	下川西	遊戯歌
1050	民謡	一つがーらから	長岡	黒条	お手玉歌
1051	民謡	おんどらどら どら	長岡	黒条	手毬歌
1052	民謡	おーらしおー らし	長岡	黒条	お手玉の歌
1053	民謡	一番はじめの 一の宮	長岡	黒条	手毬歌（お手玉 歌）
1054	民謡	ちょうだいち ょう	長岡	新組	コマ回し歌
1055	民謡	べっかんひょ っとこもつけ	長岡	新組	拳遊び歌
1056	民謡	えっさえっさ こんこん	長岡	新組	木ゆさぶり歌
1057	民謡	おいらしよお いらしよ	長岡	新組	お手玉歌
1058	民謡	ねこがにしん とる	長岡	新組	取りっこ歌
1059	民謡	おじやーおじ やー	長岡	新組	役きめ歌
1060	民謡	一人二人さめ の子	長岡	新組	鬼きめ歌
1061	民謡	きじんとりや	長岡	新組	おはじき歌
1062	民謡	いんいんよつ	長岡	新組	じゃんけん歌
1063	民謡	人もどんどん 通る中で	長岡	新組	手毬歌
1064	民謡	とんとんらが らが七でのれ んげの	長岡	新組	手毬歌
1065	民謡	タベあそこに	長岡	新組	手毬歌
1066	民謡	おーだいしお ーだいし	長岡	新組	手毬歌
1067	民謡	お一つ下して	長岡	新組	手毬歌
1068	民謡	いれこばった ばた	長岡	新組	お手玉歌
1069	民謡	池のめぐらを	長岡	長岡	子守歌
1070	民謡	おいみなざい せん	長岡	長岡	お手玉歌
1071	民謡	一にごぼう	長岡	富曽亀	お手玉歌
1072	民謡	越後や新潟や	長岡	富曽亀	おはじきの歌
1073	民謡	うちの親父は	長岡	富曽亀	手毬歌
1074	民謡	ちょうちんち ょうちんどこ へ行く	長岡	富曽亀	手毬歌
1075	民謡	お一つおろし いえ	長岡	下川西	わらべ歌
1076	民謡	正月はいいん だねか	長岡	宮内	羽子板の歌
1077	民謡	一番はじめの	長岡	六日市	遊戯歌
1078	民謡	かごめかごめ	長岡	六日市	遊戯歌
1079	民謡	一つがーらから	長岡	宮内	遊戯歌
1080	民謡	一つがーらから	長岡	上川西	遊戯歌
1081	民謡	一つとや	長岡	上川西	遊戯歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1082	民謡	向う通るは	長岡	上川西	遊戯歌
1083	民謡	一番はじめの	長岡	関原	遊戯歌
1084	民謡	薦都のちりつぼ	長岡	下川西	唱えごと
1085	民謡	よもれよもれ	長岡	下川西	唱えごと
1086	民謡	さぎさぎ	長岡	下川西	唱えごと
1087	民謡	こうもりこう もり	長岡	下川西	唱えごと
1088	民謡	大黒さま	長岡	下川西	唱えごと
1089	民謡	つぶつぶ	長岡	下川西	唱えごと
1090	民謡	からす勘三郎	長岡	下川西	唱えごと
1091	民謡	しんばちしょ うや	長岡	下川西	唱えごと
1092	民謡	山火事や	長岡	下川西	唱えごと
1093	民謡	にいぼりのげ いるまちよ	長岡	下川西	唱えごと
1094	民謡	黒津の黒んぼ	長岡	黒条	唱えごと
1095	民謡	からすかんが らす	長岡	黒条	唱えごと
1096	民謡	おしまい河童	長岡	新組	唱えごと
1097	民謡	古寺の古窓か ら	長岡	新組	唱えごと
1098	民謡	川の神様	長岡	新組	唱えごと
1099	民謡	かきつばた	長岡	新組	唱えごと
1100	民謡	大風小風	長岡	新組	唱えごと
1101	民謡	けらけら	長岡	新組	唱えごと
1102	民謡	やめたこめた	長岡	新組	唱えごと
1103	民謡	田植うた	山古志	東竹沢	田植歌
1104	民謡	石ばかち歌	山古志	東竹沢	地搗歌
1105	民謡	木遣り	山古志	東竹沢	祝い歌
1106	民謡	松坂	山古志	東竹沢	祝い歌
1107	民謡	天神ばやし	山古志	竹沢	祝い歌
1108	民謡	広大寺	山古志	東竹沢	踊り歌
1109	民謡	こうけいし	山古志	東竹沢	踊り歌
1110	民謡	追分	山古志	東竹沢	踊り歌
1111	民謡	伊勢音頭	山古志	東竹沢	踊り歌
1112	民謡	木挽歌	栃尾	上塩谷	木挽歌
1113	民謡	石場かち歌	栃尾	上塩谷	地搗歌
1114	民謡	酒屋歌	栃尾	荷頃	酒屋歌
1115	民謡	馬子歌	栃尾	上塩谷	馬子歌
1116	民謡	馬方節	栃尾	西谷	馬子歌
1117	民謡	お精霊迎え歌	栃尾	西谷	祭り歌
1118	民謡	もぐら追いの 歌	栃尾	栃尾	行事歌
1119	民謡	斎の神焼き歌	栃尾	西谷	行事歌
1120	民謡	斎の神焼き歌	栃尾	西谷	行事歌
1121	民謡	正月の歌	栃尾	入東谷	行事歌
1122	民謡	鳥追いの歌	栃尾	中野俣	行事歌
1123	民謡	鳥追いの歌	栃尾	半蔵金	行事歌
1124	民謡	鳥追いの歌	栃尾	半蔵金	行事歌
1125	民謡	お女郎くどき	栃尾	西谷	語り物
1126	民謡	ねんねん猫の けつ	栃尾	栃尾	子守歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1127	民謡	守っ子のような	栃尾	栃尾	子守歌
1128	民謡	ねんねんこん こん	栃尾	栃尾	子守歌
1129	民謡	ねれてばサア	栃尾	栃尾	子守歌
1130	民謡	ねんねんこん こん	栃尾	西谷	子守歌
1131	民謡	ねんねんこん こん	栃尾	西谷	子守歌
1132	民謡	ねんねんこん こん	栃尾	西谷	子守歌
1133	民謡	ねんねんねん がけつ	栃尾	中野俣	子守歌
1134	民謡	ソーダー屋の ソーダさんが	栃尾	下塩谷	わらべ歌
1135	民謡	一つ二つはよ いけれど	栃尾	下塩谷	わらべ歌
1136	民謡	にいいろっぱ	栃尾	下塩谷	わらべ歌
1137	民謡	ひとめふため さんめの子	栃尾	下塩谷	わらべ歌
1138	民謡	日本の乃木さ んが	栃尾	栃尾	早口ことば
1139	民謡	お月さんいくつ	栃尾	栃尾	わらべ歌
1140	民謡	びーわびーわ	栃尾	栃尾	わらべ歌
1141	民謡	しんばししょ うや	栃尾	栃尾	しみ渡り歌
1142	民謡	てんじょう見 れば	栃尾	栃尾	わらべ歌
1143	民謡	ミヨちゃん私が	栃尾	栃尾	わらべ歌
1144	民謡	一番初めは一 の宮	栃尾	栃尾	遊戯歌
1145	民謡	大黒様という 人は	栃尾	栃尾	わらべうた
1146	民謡	笛や太鼓に誘 われて	栃尾	栃尾	わらべうた
1147	民謡	まるまるまる まる丸木	栃尾	栃尾	わらべうた
1148	民謡	えっさもっこ ももっこ	栃尾	栃尾	わらべうた
1149	民謡	青山のえんど う豆が	栃尾	栃尾	わらべうた
1150	民謡	大波小波	栃尾	栃尾	わらべうた
1151	民謡	下駄かくし	栃尾	栃尾	遊び歌
1152	民謡	むこう横丁の お稲荷さんへ	栃尾	栃尾	手毬歌
1153	民謡	かえるが鳴く から	栃尾	栃尾	わらべ歌
1154	民謡	しんばししょ うや	栃尾	栃尾	しみ渡り歌
1155	民謡	今泣いたから すが	栃尾	栃尾	けんかの歌
1156	民謡	泣き虫小虫	栃尾	栃尾	けんかの歌
1157	民謡	さいごのぼん つく	栃尾	栃尾	からかい歌
1158	民謡	だれかさんの 頭に	栃尾	栃尾	からかい歌
1159	民謡	おりやぼっぱ 鳩ぼっぱ	栃尾	栃尾	からかい歌
1160	民謡	馬鹿かばちん どんや	栃尾	栃尾	からかい歌
1161	民謡	〇〇ちゃんこ れくいうか	栃尾	栃尾	からかい歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1162	民謡	かんじんかん じん	栃尾	栃尾	からかい歌
1163	民謡	勝つてうれしい 花いちもんめ	栃尾	栃尾	遊戯歌
1164	民謡	かごめかごめ 籠の中の鳥は	栃尾	栃尾	遊戯歌
1165	民謡	坊さん坊さん どこ行くの	栃尾	栃尾	遊戯歌
1166	民謡	つつつきまし ょうか	栃尾	栃尾	遊戯歌
1167	民謡	ひとなぎふた なぎみいなぎ	栃尾	栃尾	遊戯歌
1168	民謡	せつせつせば らりとせ	栃尾	栃尾	遊び歌
1169	民謡	となりの涙さ んが	栃尾	栃尾	遊び歌
1170	民謡	いっちゃんちの にいちゃんが	栃尾	栃尾	遊び歌
1171	民謡	鬼ごっこする もん	栃尾	栃尾	遊び歌
1172	民謡	やめたこめた	栃尾	栃尾	遊び歌
1173	民謡	ちゅうちゅう たこかいな	栃尾	栃尾	遊び歌
1174	民謡	ひとつふたつ の赤ちゃんが	栃尾	栃尾	遊び歌
1175	民謡	一左工門がい も食って	栃尾	栃尾	遊び歌
1176	民謡	お嬢さんお入り	栃尾	栃尾	なわとび歌
1177	民謡	しいちゃんく うちゃん	栃尾	栃尾	字書き遊び歌
1178	民謡	反対山に月が 出て	栃尾	栃尾	字書き遊び歌
1179	民謡	にいちゃんが 二銭もらって	栃尾	栃尾	字書き遊び歌
1180	民謡	つるにはまる まるむし	栃尾	栃尾	字書き遊び歌
1181	民謡	あがりめさが りめ	栃尾	栃尾	遊び歌
1182	民謡	あわぶくたっ たら	栃尾	栃尾	わらべ歌
1183	民謡	うそこいたら	栃尾	栃尾	わらべ歌
1184	民謡	かぼちゃが芽 出して	栃尾	栃尾	わらべ歌
1185	民謡	うさぎうさぎ	栃尾	栃尾	わらべ歌
1186	民謡	おっさんどう	栃尾	東谷	わらべ歌
1187	民謡	天上のおとと	栃尾	東谷	わらべ歌
1188	民謡	一つ火吹き竹	栃尾	東谷	遊戯歌
1189	民謡	からすの馬鹿が	栃尾	東谷	遊戯歌
1190	民謡	ひとつからふ たつまで	栃尾	東谷	手毬歌
1191	民謡	しんばししょ うや	栃尾	東谷	しみ渡り歌
1192	民謡	ざいごのぼん つく	栃尾	西谷	遊び歌
1193	民謡	ほたる来いだ んごしょ	栃尾	西谷	わらべ歌
1194	民謡	新山の子供は	栃尾	西谷	わらべ歌
1195	民謡	越後長岡大工町	栃尾	西谷	遊戯歌
1196	民謡	一番初めは一 の宮	栃尾	西谷	遊戯歌
1197	民謡	一つがんがらび	栃尾	西谷	遊戯歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1198	民謡	からすからすがんがらす	栃尾	西谷	遊戯歌
1199	民謡	ほたる来いだんごしょ	栃尾	西谷	わらべ歌
1200	民謡	中村の泣きん坊	栃尾	西谷	わらべ歌
1201	民謡	しんぱししうや	栃尾	西谷	しみ渡り歌
1202	民謡	えっさかさかさか	栃尾	西谷	お手玉
1203	民謡	いちにたちばな	栃尾	西谷	遊戯歌
1204	民謡	いちれつ談判	栃尾	入東谷	遊戯歌
1205	民謡	来伝の団子汁	栃尾	入東谷	わらべ歌
1206	民謡	日本の乃木さんが	栃尾	入東谷	遊戯歌
1207	民謡	泣きん坊泣きん坊	栃尾	入東谷	わらべ歌
1208	民謡	えっさもっこもっこ	栃尾	入東谷	わらべ歌
1209	民謡	しんぱししうや	栃尾	入東谷	しみ渡り歌
1210	民謡	一つがんがらび	栃尾	中野俣	遊戯歌
1211	民謡	いちぎつちよにぎつちよ	栃尾	中野俣	遊戯歌
1212	民謡	お月様いくつ	栃尾	中野俣	わらべ歌
1213	民謡	一つから二つまで	栃尾	中野俣	わらべ歌
1214	民謡	おらがぼんこは	栃尾	中野俣	わらべ歌
1215	民謡	おっさん堂観音堂の	栃尾	中野俣	わらべ歌
1216	民謡	おらが裏のじしゃの木に	栃尾	中野俣	わらべ歌
1217	民謡	向こうの山に狐が三匹	栃尾	中野俣	わらべ歌
1218	民謡	上の長者は	栃尾	中野俣	わらべ歌
1219	民謡	ほーほーほたる来い	栃尾	中野俣	わらべ歌
1220	民謡	ほーほーほたる来い	栃尾	中野俣	わらべ歌
1221	民謡	中山三十郎さの中娘	栃尾	中野俣	わらべ歌
1222	民謡	しっこしっこ	栃尾	中野俣	雪遊び歌
1223	民謡	かりかり渡れ	栃尾	中野俣	わらべ歌
1224	民謡	てんてんてんてん	栃尾	半蔵金	手毬歌
1225	民謡	しんぱししうや	栃尾	半蔵金	しみ渡り歌
1226	民謡	小僧小僧町へ行ご	栃尾	半蔵金	遊戯歌
1227	民謡	小僧小僧隣へ行って	栃尾	半蔵金	遊戯歌
1228	民謡	夕焼け小焼け	栃尾	栃尾	唱えごと
1229	民謡	ふーきんとうふーきんとう	栃尾	中野俣	唱えごと
1230	民謡	魚野川舟歌	川口	川口	労作歌
1231	民謡	天神囃子	川口	川口	祝い歌
1232	民謡	天神囃子	川口	川口	祝い歌
1233	民謡	松坂	川口	川口	祝い歌
1234	民謡	伊勢音頭	川口	川口	祝い歌
1235	民謡	天神囃子	川口	川口	祝い歌
1236	民謡	相おけさ	川口	川口	踊り歌

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1237	民謡	ヨイヨサ音頭	川口	川口	盆踊り歌
1238	民謡	地おけさ	川口	川口	座興歌
1239	民謡	和南津おけさ	川口	川口	座興歌
1240	民謡	花笠甚句	川口	川口	座興歌
1241	民謡	田搔き歌	小国	小国	田搔歌
1242	民謡	田植え歌	小国	小国	田植歌
1243	民謡	だいもち歌	小国	小国	労作歌
1244	民謡	松坂	小国	小国	祝い歌
1245	民謡	廣大寺	小国	小国	祝い歌
1246	民謡	よしよし	小国	山横沢	祝い歌
1247	民謡	松坂	小国	小国	祝い歌
1248	民謡	あさくとも	小国	上小国	祝い歌
1249	民謡	天神ばやし	小国	上小国	祝い歌
1250	民謡	松坂	小国	上小国	祝い歌
1251	民謡	松前	小国	小国	祝い歌
1252	民謡	賽の神の歌	小国	千谷沢	行事歌
1253	民謡	三階節	小国	小国	盆踊り歌
1254	民謡	おいな	小国	上小国	盆踊り歌
1255	民謡	おけさ	小国	上小国	踊り歌
1256	民謡	廣大寺	小国	上小国	踊り歌
1257	民謡	追分	小国	上小国	踊り歌
1258	民謡	安来節	小国	上小国	踊り歌
1259	民謡	岩室甚句	小国	上小国	踊り歌
1260	民謡	伊勢音頭	小国	上小国	踊り歌
1261	民謡	おおつえ	小国	上小国	座興歌
1262	信仰	シロガミ様	滝の下	栃尾	蚕の神様 3/16に祭り
1263	信仰	ネコマタ権現	滝の下	栃尾	蚕を喰うねずみの退治
1264	信仰	金山神	与板・提下	与板	軸を床の間に掛けて拝む
1265	信仰	太子講	新長・下曾根	寺泊	聖徳太子の軸を講中で持つ 毎年1/22例会 翌年の賞金を決める 左官・大工等も一緒
1266	信仰	十二講・皇大神宮	新長	寺泊	
1267	信仰	ヤネ祭り	新長	寺泊	詞・大日如来真言
1268	風俗慣習	妙音講		長岡	
1269	風俗慣習	5.10 市		長岡	
1270	風俗慣習	3.8 市		長岡	
1271	風俗慣習	長岡まつり臨時市		長岡	8/1,2,3
1272	風俗慣習	盆市（花市）		長岡	8/12
1273	風俗慣習	暮の市		長岡	12/29,30
1274	風俗慣習	初市		長岡	1/2,3
1275	風俗慣習	社日（シャニチ）		栃尾	作神信仰 2/24 頃田の神様をお迎えする日
1276	風俗慣習	ナワシロ		栃尾	作神信仰 田の神が休む場所を作る

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1277	風俗慣習	ハツイイ (初田植)		栃尾	作神信仰 供物を神様に供える
1278	風俗慣習	田植え		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 6月中旬 キナコメシをあげて拜むなど
1279	風俗慣習	サナブリ		栃尾	作神信仰 豊作祈願
1280	風俗慣習	サナブリ		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 6月下旬 田植えの終わり 田の神様を送る 養蚕家は別途「棚払い」
1281	風俗慣習	秋の社日		栃尾	作神信仰 9/23
1282	風俗慣習	刈り上げ		栃尾	作神信仰 収穫祝い
1283	風俗慣習	刈り上げ		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 10月下旬 刈り上げボタモチ
1284	風俗慣習	コトハジメ		栃尾	年中行事 2/1 ダンゴガユ
1285	風俗慣習	節分		栃尾	年中行事 2/3 豆まきなど
1286	風俗慣習	節分	法崎・中浜上	寺泊	二十日正月 豆をホウロクで炒って年の天気を占う
1287	風俗慣習	コトノヨーカ		栃尾	年中行事 2/8 ダンゴを作る
1288	風俗慣習	ヤマノカミ		栃尾	年中行事 3/12 アキノの方の方向に向けて矢を放つ
1289	風俗慣習	ボコサマ (シロガミサマ)		栃尾	年中行事 カイコのマユの神様 モチをつくなど
1290	風俗慣習	3月のセック		栃尾	年中行事 4/3 ヒナ人形、ヨモギモチ
1291	風俗慣習	5月のセック (6月4・5・6日)		栃尾	年中行事 ショーブユに入る
1292	風俗慣習	男の節句		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 6/5 ショーブとヨモギを軒にさす
1293	風俗慣習	セックのムイカ		栃尾	年中行事 タテヨコの仕事 (ハタオリ、シロカキ、田植など) の全休
1294	風俗慣習	牛馬の農休み・あと節句		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 牛馬の休み 農作業や機織りの休み 養蚕のみ例外
1295	風俗慣習	コアゲ		栃尾	年中行事 6(7)/14日頃 カイコと田植えを終えた祝い
1296	風俗慣習	キンヌギ1日 (ツイタチ)		栃尾	年中行事 7/1 モチ系のものを食べる カイコの4回目脱皮
1297	風俗慣習	十五夜		栃尾	年中行事 9/15
1298	風俗慣習	十五夜		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 9月下旬 餅つき、鏡餅、月をまつる
1299	風俗慣習	初穂講		栃尾	年中行事 11/27
1300	風俗慣習	雪形			守門岳

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1301	風俗慣習	ボヨ切り		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 4月上・中旬 柴木切りの解禁
1302	風俗慣習	4月8日 (シンガツヨウカ)		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 5/8 灌仏の日 ツキガエシを作るなど
1303	風俗慣習	稲荷ごもり		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 5/22 田植え前の1晩 気保養と栄養補給日
1304	風俗慣習	春蚕の掃立		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 5月上旬 厄日をさける 床の間に「蚕神」の軸を掛け拜む
1305	風俗慣習	風まつり		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 土用の丑の日 風害のないよう祈る
1306	風俗慣習	棚払い		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 7月初め 養蚕の終わり 「蚕様」のお参り
1307	風俗慣習	二十五日		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 7/25 畑に敷く「刈り敷き」や牛馬の「乾し草」の草刈り解禁日
1308	風俗慣習	ネブツ流し		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 8/7 ネブツ (腫れもの) よけの水浴
1309	風俗慣習	八朔		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 9/1 八海山のまつり 豊作祈願 農作業午後休
1310	風俗慣習	秋の彼岸		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 昼寝じまい
1311	風俗慣習	菊の節句		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 11/3 または「後の節句」新米餅をついて休日
1312	風俗慣習	蕪菜と大根の年取り		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 11/9,10 冬季に主食となる「畑作物」に感謝する日
1313	風俗慣習	エビス様の年取り		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 12/5
1314	風俗慣習	大黒様の年取り		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 12/9 栗を混ぜた黄金飯をたく
1315	風俗慣習	秋ごと		川口 (魚沼全体)	農作業と作神 12月中・下旬 稲刈り、ハザガケが終わった稲を雪の前に家へ取り込む
1316	風俗慣習	農家の四郎神まつり		川口 (魚沼全体)	シロウガミサマ信仰 蚕神祭
1317	風俗慣習	七草	法崎・寺泊野積	寺泊	小正月前行事 7日朝 七草の雑煮餅
1318	風俗慣習	蔵開き	法崎 寺泊野積	寺泊	小正月前行事 この日まで蔵に入らない 船主の家では舟開きの祝い
1319	風俗慣習	蔵開き	檜沢	小国	十一日前正月 蔵に酒、さかなを持って入り、大事な柱に酒をかける

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1320	風俗 慣習	山入り	法崎	寺泊	小正月前行事 男 がマユ、玉木を採 りに行く
1321	風俗 慣習	初山入り	中浜	寺泊	小正月前行事 コ ドシに使う柳・ウ ツギの木を採って くる
1322	風俗 慣習	若木迎え	榑沢	小国	小正月の準備 主 人が山に入り。な らの木、だんごの 木（みずき）を切 ってくる
1323	風俗 慣習	棚ざらし・松 おろし	法崎・ 中浜	寺泊	小正月前行事 神 棚の供物や松を下 ろす
1324	風俗 慣習	神飾り	榑沢	小国	小正月の準備 神 棚の魚をおろし、 ウマのクツ、マン ガのチチブテ（馬 耕用具）、二ナワを 飾る
1325	風俗 慣習	仕事の仕はじ め	寺泊野 積 法崎	寺泊	小正月前行事 二 日が乗り初めで、 乗子が舟小屋に集 り祝う 四日仕事始めで、 女はサヤ編み、男 は普段の仕事に戻 る
1326	風俗 慣習	仕事初め	榑沢	小国	かんじきを座敷に 散らかし、片付け る
1327	風俗 慣習	春寄合い	法崎 寺泊野 積	寺泊	小正月前行事 嫁 入り・婿入りがあ れば「ムラ入り」 を認める話し合い 五日、地区の年始
1328	風俗 慣習	小正月	法崎・ 中浜	寺泊	小正月行事 14日 がコドシの年寄り、 15日がヤブ入り、 17日までをコドシ
1329	風俗 慣習	コモチ	榑沢	小国	小正月 1/14～20 までをコモチとい う
1330	風俗 慣習	餅搗き	法崎	寺泊	小正月行事 大晦 日にひっくり返し た臼を起こして13 日に餅搗き
1331	風俗 慣習	コドシの年取 り	法崎 中浜下 寺泊野 積	寺泊	小正月行事 14日 の夜をコドシの年 取りという 年取 り膳 川マスの切身を枡 に入れ神棚に供え る 年夜の膳
1332	風俗 慣習	十五日の年取 り	榑沢	小国	昼湯にはいて膳 にすわる
1333	風俗 慣習	モグラ追 い	中浜上 法崎 中浜下・ 寺泊野積	寺泊	小正月行事 14日 夜 子どもが木槌 にワラを巻いて縄 で縛ったもので地 面を叩く 15日朝 木槌に縄 をつけて引いて歩く 木槌に縄をつけて 地面を叩く
1334	風俗 慣習	もぐらもち追 い	榑沢	小国	一家の主がヨコツ チに縄をつけて、15 日朝、家のまわりを ひきずって歩く

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1335	風俗 慣習	ナルカ・ナラ ンカ	法崎 中浜	寺泊	小正月行事 柿の 木などに成るか成 らんか問答し、ナ タで傷をつけ、小 豆粥を注ぐ 柿・梅・イチジク などの木に成るか 成らんか問答し、 ナタで傷をつけ、 箸（柳）で粥をかける
1336	風俗 慣習	ナリキゼメ	榑沢	小国	15日朝 柿や梅の 木をナタで傷つけ て粥をくれるまね をする
1337	風俗 慣習	マユ（イ）玉 木飾り	法崎・ 中浜 中浜	寺泊	小正月行事 13日 に搗いた餅を菱形・ 短冊形に切って、マ ユ（イ）玉木（ミズ キ・ユノキ・柳）に つける マユ玉木は田植とい って、神棚や茶の間の 柱などに飾る
1338	風俗 慣習	ダンゴ飾り	榑沢	小国	小正月の準備 ダン ゴの木、ナラの木の 枝にモチで梅の花を 作ってさげる
1339	風俗 慣習	マイ玉下ゲ	法崎・ 寺泊野 積・中 浜下	寺泊	二十日正月 20日 朝 神棚に飾った マイ玉や供え餅を おろし（「稲刈り」 「刈入れ」という） 食べる
1340	風俗 慣習	サイの神	法崎 寺泊野 積・中 浜下	寺泊	小正月行事 11日 頃から子どもたち が竹・カヤ・縄な どを集め、14日夕 方に竹を円錐形に 組み、15日午後に 燃やす 13日に心木にマツ の木（生木）を採 ってきて、14日に 作る、15日午前家々 から正月飾りを持 ち寄り、積み上げ て縛り火をつける
1341	風俗 慣習	サイノカミ	榑沢	小国	15日の昼 年取り のあと2時頃にサ イノカミに火をつ ける
1342	風俗 慣習	道具、牛・馬 の年取り	法崎	寺泊	小正月行事 納屋 に臼をひっくり返 して周りに注連縄 を巻き、上にお供 え餅をあける
1343	風俗 慣習	ヤブ入り	法崎・ 中浜	寺泊	小正月行事 結婚 して3～5年間は 嫁の実家へ夫婦揃 っていく 次第に 嫁1人で帰り 子 どもが中学生くら いになると帰らな くなる

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1344	風俗慣習	十七日どまり	楳沢	小国	1/17 には嫁は実家にもどり、2/1 のどくぶりまでいる。せんだくどまりともいい、洗濯ものを実家に持ち帰って洗濯する
1345	風俗慣習	小豆粥	法崎・中浜	寺泊	小正月行事 ナルカ・ナランカ、モグラ追いが終わると小豆粥を食べた箸はサイの神で燃やすが川へ流した
1346	風俗慣習	センベイ釣り		寺泊	小正月行事 子どもの遊び
1347	風俗慣習	独楽回し		寺泊	小正月行事 子どもの遊び
1348	風俗慣習	花札		寺泊	小正月行事 大人の遊び
1349	風俗慣習	天神講	法崎	寺泊	二十日正月 菅原道真の軸を下げたり、子どもが手習いをするとか頭がよくなるといった。
1350	風俗慣習	白山媛神社の厄除け行事		寺泊	二十日正月
1351	風俗慣習	ふくでもち	楳沢	小国	小正月の準備 神棚や仏壇にあげるもち
1352	風俗慣習	コモリアナ	楳沢	小国	通称：カマクラ
1353	風俗慣習	トリオイ	楳沢	小国	14 日夜 雪穴から出て集落内を鳥追いの歌を歌って回る。
1354	風俗慣習	十五日朝の行事	楳沢	小国	金属音を立てない。いろいろに口のあるものを置かない、足を出さない。13 日に切ってきた生木とマメガラを燃やしてあたると若返りする など
1355	風俗慣習	タウエ	箕輪	小国	1/15 家の前の一角の雪を平らにならし、四角に棒を立てしめなわを張り、私の葉やマメガラをこす
1356	風俗慣習	タウチ	菅沼	越路	雪の上に田の形をつくり、家の中に飾った松をたて、まわりを鍬で打つまねをする
1357	風俗慣習	仏の正月	楳沢	小国	1/16 魚を食わない
1358	風俗慣習	十八ガイ	楳沢	小国	1/15 朝の小豆粥を残しておいて、この日に食べる 夏やせしない、蜂にさされない、蛇にくつかれない
1359	風俗慣習	ネショウガツ・シマイ正月	楳沢	小国	1/20 小豆粥を食べる
1360	風俗慣習	若連中・氏子青年団・氏子青年会	福島町	長岡	氏神社を中心に結成、祭りの準備や舞の奉納を主要の任務とした任意団体

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1361	風俗慣習	若連中・甲辰会・青年会	栃堀	栃尾	任意集団だが、たいていの若者が入った
1362	風俗慣習	宿	福島町	長岡	青年会の集合場所 分家に出たばかりの家に頼む
1363	風俗慣習	宿	栃堀	栃尾	青年会館「公正館」現・ドライブイン刈谷田
1364	風俗慣習	シメヨリ	福島町	長岡	12/25 鎮守の石の鳥居に張るシメ縄をなう
1365	風俗慣習	百人一首	福島町	長岡	青年の遊び
1366	風俗慣習	カルタ取り（百人一首）	栃堀	栃尾	男女交際の機会
1367	風俗慣習	花カルタ	福島町	長岡	青年の遊び
1368	風俗慣習	将棋	福島町	長岡	青年の遊び
1369	風俗慣習	盆踊り	福島町	長岡	長岡甚句
1370	風俗慣習	盆踊り	栃堀	栃尾	8/16,27
1371	風俗慣習	相撲・草相撲	福島町	長岡	
1372	風俗慣習	ハナ相撲	栃堀	栃尾	8 月裏盆
1373	風俗慣習	ジャリカチの縄引き	福島町	長岡	家屋建築の地業工事
1374	風俗慣習	蓬莱山	福島町	長岡	婚礼の当日、宿に集まり蓬莱山の作り物をこしらえる
1375	風俗慣習	青年会	福島町	長岡	氏子青年会とは性格、活動内容が異なる
1376	風俗慣習	慰労会	福島町	長岡	
1377	風俗慣習	川掃除	福島町	長岡	村が主催 青年会が協力
1378	風俗慣習	運動会	福島町	長岡	
1379	風俗慣習	運動会	栃堀	栃尾	キンヌギツイタチ（7/1）、コアゲ（7/15）
1380	風俗慣習	ツユケ休み	福島町	長岡	田植えが終わってから雨が降るたばに行われる休み
1381	風俗慣習	ツユケ休み	栃堀	栃尾	雨が降るような日に集団で村長に願い出る
1382	風俗慣習	巢守神社裸押合大祭・春祭り	栃堀	栃尾	
1383	風俗慣習	青年芝居	栃堀	栃尾	冬の時期に民家の座敷を借りて行う
1384	風俗慣習	映画大会	栃堀	栃尾	
1385	風俗慣習	弁論大会	栃堀	栃尾	
1386	風俗慣習	講演会・懇親会	栃堀	栃尾	地域交流
1387	風俗慣習	ムラ休み（貝吹き休み）	栃堀	栃尾	盆・正月・鎮守の祭り・コアゲ（7 月半ば、3 日間）・センダク休み（3 日間）

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1388	郷土食	煮菜			中越地方（山間部中心）
1389	郷土食	笹団子			新潟県下広範囲 農業を主とする生活があり、自家で取れたもち米、田んぼのまわりに生えるヨモギ、カヤ、国上山の山すそに生える笹を取ってきて、五月節供や祭りに笹団子を作り、近所や親戚に配った。
1390	郷土食	のっぺ			新潟県下広範囲
1391	郷土食	醤油おこわ（しょうゆおこわ） 醤油赤飯（しょうゆせきはん）			長岡市周辺
1392	郷土食	あぶらげ・油揚げ（あぶらあげ）		栃尾	長岡市栃尾地域（旧栃尾市）
1393	食文化	日本酒（製造）			
1394	食文化	醤油（製造）			
1395	食文化	味噌（製造）			
1396	食文化	コシヒカリ			新潟に行くとし店の飯はコシヒカリが主流になる
1397	食文化	へぎそば			新潟にはつなぎに布海苔を入れたそばがある
1398	生活文化	錦鯉（養鯉業）			
1399	食文化	越後鮭		川口	信濃川
1400	漁法	鮭漁法		川口	
1401	風俗慣習	出稼ぎ（屋根葺き・大工・酒造り）	三島南部 野積	三島	生業は大半が農業であるが、耕地の4割が畑で収益が少なく、冬期間は酒造りなどの出稼ぎに出た大河津分水の土砂堆積や漁業の機械化で出稼ぎが必要になる 屋根葺き、大工の出稼ぎのほか、冬季に酒造りに出た
1402	風俗慣習	飛脚	三島南部	三島	酒造出稼ぎを斡旋する者 便りや給金の受け渡しも行う
1403	風俗慣習	製紙	山葵谷	栃尾	仕事
1404	風俗慣習	製炭	山葵谷	栃尾	仕事 地域の過半が従事 木炭は栃尾、会津へ
1405	風俗慣習	ワラ仕事	山葵谷	栃尾	仕事 俵編 藁編 ミノ、ワラジ、ソウリ、ニナワ
1406	風俗慣習	養蚕	山葵谷	栃尾	仕事 春蚕・秋蚕 生繭のまま売り、一部は真綿・織物にした

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1407	風俗慣習	ゼンマイ取り	山葵谷	栃尾	仕事
1408	風俗慣習	肥入れ	山葵谷	栃尾	仕事 4月
1409	風俗慣習	田打	山葵谷	栃尾	仕事 平鋤
1410	風俗慣習	あぜめり	山葵谷	栃尾	仕事 平鋤
1411	風俗慣習	稲代	山葵谷	栃尾	仕事
1412	風俗慣習	麻づくり・麻織	山葵谷	栃尾	仕事 麻を栽培して織り、山着物、蚊帳などに用いた
1413	風俗慣習	カテ飯	山葵谷	栃尾	主食 米・アワにカテの葉を粉にしてまぜた
1414	風俗慣習	コベリ	山葵谷	栃尾	間食 ニギリメシ
1415	風俗慣習	アズキマンマ	山葵谷	栃尾	赤飯・餅・ダンゴ 初午
1416	風俗慣習	赤飯	山葵谷	栃尾	盆 15日
1417	風俗慣習	ココノカノオコワ	山葵谷	栃尾	9/9 秋祭り
1418	風俗慣習	正月餅	山葵谷	栃尾	1/1,7,15日
1419	風俗慣習	キナコ餅	山葵谷	栃尾	正月 20日
1420	風俗慣習	節句餅	山葵谷	栃尾	4月3日
1421	風俗慣習	餅	山葵谷	栃尾	4/3：節句餅 4/8：春祭り 5/3：シンガサンチ 5月：蚕ハキタテ祝 6/6 7月：蚕アゲ祝 10月：刈リアゲ餅 12月：秋餅、夫婦の里帰り
1422	風俗慣習	ボタモチ	山葵谷	栃尾	11月：神送り
1423	風俗慣習	いろり	山葵谷	栃尾	台所近く 煮炊き、暖、家族の憩 座の名称（主人：カミザ・横座客：マドザンキ 家族：シモザ、タナモト）
1424	風俗慣習	さかもり組	山葵谷	栃尾	社会生活 お宮をまもる組
1425	風俗慣習	オカノエサマ（庚申講）	山葵谷	栃尾	男性のみが集まる
1426	風俗慣習	きのえ講（甲子講）	山葵谷	栃尾	
1427	風俗慣習	馬牛の使用	山葵谷	栃尾	馬をモミ、イネ運びに使った
1428	風俗慣習	物々交換	山葵谷	栃尾	現金収入が一般に少なく、代金がわりに飯米との交換 行商人が来て交換していく 米と衣を日用品と交換
1429	風俗慣習	産婦の食事	山葵谷	栃尾	オカユと塩 3日間は味噌は食べてはならない 3日以降は飯を煮て食べた
1430	風俗慣習	近親婚	山葵谷	栃尾	
1431	風俗慣習	一七夜（ヒトシチヤ）	山葵谷	栃尾	7日目の祝い日 御馳走で祝ったり、命名その他の行事

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1432	風俗 慣習	オビアキ	山葵谷	栃尾	「けがれ者」視されていた産婦が家族に戻り、食事制限も緩和「オビヤカミを立たせる」といい厠の中にコス(敷ワラ)などを捨てた
1433	風俗 慣習	初歩き・初誕生日	山葵谷	栃尾	餅をついて祝う、招かれた人は手拭をもってくる
1434	風俗 慣習	年祝い	山葵谷	栃尾	男25と42、女33日間続けて餅でふるまい
1435	風俗 慣習	まな板流し(年祝い)	山葵谷	栃尾	年祝いの終わりに料理版を正座にすえてふるまい
1436	風俗 慣習	トリモチ役	山葵谷	栃尾	婚姻 仲人
1437	風俗 慣習	約束の固め	山葵谷	栃尾	婚姻の約束 酒・茶・昆布・スルメ・布地を持って仲人だけが出向く
1438	風俗 慣習	ハシドリ	山葵谷	栃尾	婚姻 仮祝言
1439	風俗 慣習	嫁祝い	山葵谷	栃尾	大声で嫁の名を呼び、雪玉を投げつけた
1440	風俗 慣習	おはぐろ	山葵谷	栃尾	結婚すると女はお歯黒をつけた
1441	風俗 慣習	とむらい講	山葵谷	栃尾	葬式の際は村中ぞうじを持ち寄って相互扶助
1442	風俗 慣習	葬儀(出棺・埋葬・野辺おくり)	山葵谷	栃尾	葬式の道具はすべて寺から借りる
1443	風俗 慣習	六尺	山葵谷	栃尾	葬儀(墓掘り・埋葬)の穴掘りの人たち、棺もかつぐ 一度六尺を行うとその年2回は墓を掘らない
1444	風俗 慣習	オビヤ	山葵谷	栃尾	お産の室
1445	風俗 慣習	死に火	山葵谷	栃尾	お産の3日間、煮炊きは家人と別にしていた
1446	風俗 慣習	ツメソロイ場	山葵谷	栃尾	馬のヒツメをそろえた場所 5・6月(土用)、9・11月に馬入れ
1447	風俗 慣習	共同江水・江さらい・江がり	山葵谷	栃尾	飲用、かんがい用 掃除と草刈りの管理
1448	風俗 慣習	薪作り	栖吉	長岡	仕事 現金収入 長岡に担いでいき魚などを買って帰る
1449	風俗 慣習	麻織	栖吉	長岡	仕事 ジバタで織った(座してハタで織る)
1450	風俗 慣習	カテ飯	栖吉	長岡	主食 ドーパン(タウエウツギ)の若葉を干して粉にし、クズ米の粉とまぜ、カテパチで熱湯を入れてこね、飯のたきあがる前に入れてふかす

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1451	風俗 慣習	コビリ	栖吉	長岡	間食 ニギリメシ
1452	風俗 慣習	アズキメシ	栖吉	長岡	2/25:天神講
1453	風俗 慣習	赤飯	栖吉	長岡	4/23 9/10:コンピラ祭
1454	風俗 慣習	ヒザナオシ	栖吉	長岡	婚礼後に嫁の里へ帰る 赤飯みやげ
1455	風俗 慣習	雑煮	栖吉	長岡	正月20日 秋餅:12/15
1456	風俗 慣習	アン餅	栖吉	長岡	山ノ神:3/12
1457	風俗 慣習	ササ餅	栖吉	長岡	コアゲ祭:7/15
1458	風俗 慣習	アンカケ餅	栖吉	長岡	秋餅:12/15
1459	風俗 慣習	ヒガندانゴ	栖吉	長岡	彼岸(3/19)の入り・中日
1460	風俗 慣習	ササダンゴ	栖吉	長岡	節句:6/5
1461	風俗 慣習	チマキ	栖吉	長岡	節句:6/5
1462	風俗 慣習	いろり	栖吉	長岡	横座または台所座の名称(主人:シヨウザ 客:ヨコザ 姑:カカザ 嫁:シモザ)
1463	風俗 慣習	かまど	栖吉	長岡	いろりの隅
1464	風俗 慣習	チユウカ・チヨウカ	栖吉	長岡	組 地縁団体・祭政一致の組織
1465	風俗 慣習	年番	栖吉	長岡	組の世話役
1466	風俗 慣習	(集落名)クミ	栖吉	長岡	若者組の名称 チューカの世話人が世話 祭事の参与、神輿、宮掃除など
1467	風俗 慣習	ワラシゴト	栖吉	長岡	若者組の仕事
1468	風俗 慣習	相撲	栖吉	長岡	若者組の仕事
1469	風俗 慣習	コモツコドモ	栖吉	長岡	子供組が祭の時に2、3日氏神に集まって共同生活をする
1470	風俗 慣習	観音講	栖吉	長岡	普済寺
1471	風俗 慣習	十五日講	栖吉	長岡	善照寺
1472	風俗 慣習	八日講	栖吉	長岡	善照寺
1473	風俗 慣習	物々交換	栖吉	長岡	現金収入が一般に少なく、代金代わりに飯米との交換 浜手は耕地が少なく魚と塩を米、薪と醤油などを交換した 出雲崎のホシコとイリゴ(クズ米)を交換した
1474	風俗 慣習	産婦の食事	栖吉	長岡	味噌、鯉節、ゼンマイに限られた
1475	風俗 慣習	青年会	栖吉	長岡	15才になって青年会に入会すると白い禪をする
1476	風俗 慣習	血族婚	栖吉	長岡	親戚をぞうかせないため

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1477	風俗慣習	嫁の持ち物	栖吉	長岡	一生の用がたりるほどの着物をもたせる
1478	風俗慣習	茶ごと	栖吉	長岡	婚姻の振舞い 披露宴の翌日近隣を招きもてなす
1479	風俗慣習	告げ人（つげと）	栖吉	長岡	死んだことをいち早く寺や親類縁者、近隣に伝える人 必ず2人で行く 夜は提灯を持って廻る
1480	風俗慣習	野団子	栖吉	長岡	人が死ぬと供えられる団子 近所の家で作る 家では友引するため嫌う
1481	風俗慣習	野辺送り	栖吉	長岡	死人の向は進行方向に向ける
1482	風俗慣習	火葬	栖吉	長岡	男はあおむけ 女はうつぶせ
1483	風俗慣習	別火	栖吉	長岡	産婦の食事は別に作った 神棚に白紙を貼り、家族は神社の鳥居をくづらない 妊婦に關係ある衣類の洗濯水は穴を掘って埋める
1484	風俗慣習	マイ玉の祭	栖吉	長岡	1/14 ミズキの木の枝に餅飾りを下げる「寒」三十日を1年と見なした「田植え」
1485	風俗慣習	ムクレモチ追	栖吉	長岡	1/15 横ツチにナワをつけて屋敷内を引きまわる うたいながら横ツチで地面を打つ
1486	風俗慣習	柿の木ぜめ	栖吉	長岡	1/15 柿の木にナタ目をつけ、朝食小豆ガユの残りをすり込み なるうかなるまいかなどと唱える
1487	風俗慣習	サイの神	栖吉	長岡	1/15 竹の骨組を中心に、ワラ、ナマ杉枝をそえ、塔状を作って焼く 煙が多いほど吉など
1488	風俗慣習	マイ玉おろし	栖吉	長岡	1/20「寒」三十日を1年と見なした「稲刈」
1489	風俗慣習	天神講	栖吉	長岡	1/25 (2/25) 天神様の掛軸の前で子供に勉強させる
1490	風俗慣習	山の神祭	栖吉	長岡	2/12 (3/12) アン餅 祭りが済むまで山に入らない
1491	風俗慣習	彼岸	栖吉	長岡	2/12 (3/12) 米粉の団子を仏壇に供える
1492	風俗慣習	栖吉神社の祭礼	栖吉	長岡	春秋2回
1493	風俗慣習	最寄り普請	栖吉	長岡	7/13 (8/13) 村休み 各戸から1人以上出勤して共用の農道修理などに奉仕

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1494	風俗慣習	秋餅	栖吉	長岡	11月 (12/15) カクセツにあたる 雑煮 アンカケなどで食う
1495	風俗慣習	ハネストリ	不動沢	越路	雪が消えると雪で押された茅を刈る 茅屋根に使った
1496	風俗慣習	ハルキとり	不動沢	越路	ハネストリで刈った茅を、4/3の節句が過ぎて、入梅前に家に取り込む
1497	風俗慣習	マクワ・キウリ	不動沢	越路	
1498	風俗慣習	養蚕	不動沢	越路	5月末に掃き立て、6/25日までに繭になるようにした
1499	風俗慣習	ミソ作り	不動沢	越路	彼岸ミソといい、彼岸に煮た ハンギレ (大きなタライ) の中にフカグツをはいてふんだ。玉味噌にして乾かし、包丁で切ってつきこむ
1500	風俗慣習	ワラ仕事	不動沢	越路	
1501	風俗慣習	出稼ぎ	不動沢	越路	稲をとりこんだあと、油しめや酒の米つきにいった今は杜氏で4月の雪消えころ帰る
1502	風俗慣習	川魚とり	不動沢	越路	渋海川 カジカ、コイ、ミゴイ、ハヤイなど
1503	風俗慣習	アゼヌリ	不動沢	越路	
1504	風俗慣習	田打	不動沢	越路	ゆいで行った
1505	風俗慣習	田こなし	不動沢	越路	ゆいで行った
1506	風俗慣習	しろかき	不動沢	越路	ゆいで行った
1507	風俗慣習	田な草、あぜ草とり	不動沢	越路	お盆までに3回づつ実施
1508	風俗慣習	つくるごえ	不動沢	越路	こめか、人糞をまぜて四角に積む
1509	風俗慣習	ハサかけ	不動沢	越路	
1510	風俗慣習	はじめまえづき (前搗)	不動沢	越路	ヌカ取り
1511	風俗慣習	ワラ仕事	不動沢	越路	ワラジ、ゾウリ、ミノ、バタ、フカグツ、タワラ、ムシロなど
1512	風俗慣習	カラムシ織	不動沢	越路	
1513	風俗慣習	オ・オバタケ	不動沢	越路	カラムシを「オ」と呼び、カラムシを作る畑を「オバタケ」と呼ぶ
1514	風俗慣習	クルミの皮 (染料)	不動沢	越路	ウグイス茶
1515	風俗慣習	カリヤス (染料)	不動沢	越路	黄
1516	風俗慣習	山ウルシの葉 (染料)	不動沢	越路	黒
1517	風俗慣習	カテ飯	不動沢	越路	主食

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1518	風俗慣習	コビル	不動沢	越路	間食
1519	風俗慣習	赤飯	不動沢	越路	葬式の通夜、祝言のオオツキ
1520	風俗慣習	ボタモチ（カイモチ）	不動沢	越路	田打ち・田こなし・田植えのコビル
1521	風俗慣習	ヤキ餅	不動沢	越路	クズ米・コボレの粉をこね、シソノミ・アズキ・魚を中に入れて焼く メイニチ（休みの日）に作る
1522	風俗慣習	シンコダンゴ（シンコ餅）	不動沢	越路	
1523	風俗慣習	ソバ	不動沢	越路	11/3 夜 アキゴト
1524	風俗慣習	ヨロ（いろり）	不動沢	越路	横座または台所座の名称（主人：シヨウザ 主婦：ウチマ 入口：ヒタキジル、ボイをくべる座）
1525	風俗慣習	かまど	不動沢	越路	土かまど
1526	風俗慣習	ユイ	不動沢	越路	あぜぬり以外の田仕事
1527	風俗慣習	ワカイシヨグミ	不動沢	越路	年令集団 強制加入 27才で脱退
1528	風俗慣習	カクセツ	不動沢	越路	農仕事が終わると女だけ集まってご馳走を食べる
1529	風俗慣習	お針仲間	不動沢	越路	お針を習いに通っている娘だけ集まる
1530	風俗慣習	山王社（講）	不動沢	越路	酒井マキの氏神
1531	風俗慣習	神明社（講）	不動沢	越路	宮沢マキの氏神
1532	風俗慣習	薬師堂（講）	不動沢	越路	宮沢マキの仏堂
1533	風俗慣習	大日堂（講）	不動沢	越路	西沢マキの仏堂
1534	風俗慣習	八海山（講）	不動沢	越路	八海山に登った人で作る
1535	風俗慣習	松尾様（講）	不動沢	越路	杜氏にいて来た人で作る
1536	風俗慣習	養蚕神（講）	不動沢	越路	蚕を飼っている家を中心
1537	風俗慣習	稲荷様（講）	不動沢	越路	平甚稲荷、佐野助稲荷
1538	風俗慣習	じゅんの木様（講）	不動沢	越路	西沢マキ、山の神をまつる
1539	風俗慣習	ダイモチヒキ	不動沢	越路	雪上でダイモチソリを使って大きな木を運ぶ仕事
1540	風俗慣習	西瓜・まくわ瓜	不動沢	越路	生産品
1541	風俗慣習	ハラオビ	不動沢	越路	妊娠してから5か月目にする 亭主の禪を使う 帯をしないと乳の出が悪いとされた
1542	風俗慣習	胞姫様	不動沢	越路	米山山麓 安産の神を参拝した
1543	風俗慣習	オビヤシナイ	不動沢	越路	子供が生まれると親類や近所の人ゲンマイ、豆腐などを持って見舞いに来た

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1544	風俗慣習	オビヤアキ	不動沢	越路	「けがれ者」視されていた産婦が家族に戻り、食事制限も緩和
1545	風俗慣習	食いそめ	不動沢	越路	100日 飯1粒を口に入れてやる
1546	風俗慣習	きまり酒・結納	不動沢	越路	正式に取り決めが決まると近所や親戚に茶を配った
1547	風俗慣習	ノシ・スエヒロガリ・シオビキ	不動沢	越路	婚姻の取り決めが終わると、男から女の家に届け、半分为男の方へ返ってきた
1548	風俗慣習	高砂	不動沢	越路	出発時と婚家の到着時に謡う謡曲
1549	風俗慣習	嫁祝い	不動沢	越路	若者衆に酒を持っていき乱暴してくれないよう頼んだ
1550	風俗慣習	オツツキ	不動沢	越路	結婚式の済、嫁が婚家に入ると出される赤飯
1551	風俗慣習	披露宴	不動沢	越路	本膳は嫁と限られた人だけが座る
1552	風俗慣習	ヒザナオシ	不動沢	越路	結婚後、嫁が初めて実家に帰ること7日目に帰るのは悪い
1553	風俗慣習	ツゲ	不動沢	越路	死んだことをいち早く寺や親類縁者、近隣に伝える人
1554	風俗慣習	枕団子・野ダンゴ	不動沢	越路	死んだ人の枕に飾る生の団子 葬式の火に焼き場に捨てる カラスが食わないともう一人死ぬ人があるといわれる
1555	風俗慣習	野ゴシラエ	不動沢	越路	村からワラを集めて、そのなかに棺を入れて焼く
1556	風俗慣習	ヒガクシ	不動沢	越路	焼き場の4本の柱からカヤをスタレのように編んだ屋根（ヒガクシ）を吊る 燃え残りでお骨を拾う
1557	風俗慣習	ツケ木	不動沢	越路	1/3 満光寺の方丈と年男が正月に配る
1558	風俗慣習	七草	不動沢	越路	1/7 はやししながら菜を刻む
1559	風俗慣習	サイノカミ	不動沢	越路	1/14 11日に集めた木やシメを焼いた
1560	風俗慣習	横ツチ引き	不動沢	越路	1/15 朝横ツチを引っ張る
1561	風俗慣習	団子の木飾り	不動沢	越路	1/15 団子の木に稲穂を飾る
1562	風俗慣習	カユくれ	不動沢	越路	1/15 柿の木に小豆ガユくれる
1563	風俗慣習	天神講	不動沢	越路	1/25 子どものある家ではご馳走して備えた
1564	風俗慣習	彼岸	不動沢	越路	1/25 彼岸団子中日に作り替える
1565	風俗慣習	正月おさまり	不動沢	越路	1/28

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1566	風俗慣習	イノコロづいたち	不動沢	越路	2/1 禅宗の家では十二支の団子を作った
1567	風俗慣習	初午	不動沢	越路	2/1 初午が早いと火早いという
1568	風俗慣習	節供	不動沢	越路	3/3 この日から山へ出てよい
1569	風俗慣習	ショウブ湯	不動沢	越路	5/5 ショウブ湯に入ると蛇につかれない 禅宗の家では屋根にショウブをさした
1570	風俗慣習	キンヌギづいたち	不動沢	越路	6/1 チマキを作る
1571	風俗慣習	風祭	不動沢	越路	7/7 神主が祝詞をあげる
1572	風俗慣習	土用	不動沢	越路	7/7 ドジョウを食う
1573	風俗慣習	ボダイ寺参り	不動沢	越路	8/1
1574	風俗慣習	草取り	不動沢	越路	8/7
1575	風俗慣習	カグラの虫干し	不動沢	越路	8/7
1576	風俗慣習	盆	不動沢	越路	8/13 墓参り、盆踊り
1577	風俗慣習	熊野社祭	不動沢	越路	8/31 9/1 花火 ミコシ 屋台 メコジ人形芝居
1578	風俗慣習	十五夜	不動沢	越路	9/15
1579	風俗慣習	十三夜	不動沢	越路	ボタ餅 フラ鉄砲を作ってたたく
1580	風俗慣習	秋ゴト	不動沢	越路	11/30 12/1 三十日晩はソバ翌朝は餅
1581	風俗慣習	大師講	不動沢	越路	禅宗の家では大師参り
1582	昔話	三枚の札	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1583	昔話	ワラとスミとマメ	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1584	昔話	夢買長者	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1585	昔話	ガニガニ、ムザムザ	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1586	昔話	見るなの花ざしき	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1587	昔話	宝下駄	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1588	昔話	古やのもり	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1589	昔話	木魂嫁入	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1590	昔話	塩ひきうす	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1591	昔話	ジエンのかかの三ついぼ	長岡	新潟県の昔話と語り手	中村タケ
1592	昔話	竜宮童子	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1593	昔話	犬と猫と宝棒	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1594	昔話	ウグイスの一文銭	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1595	昔話	馬と犬と猫と鶏の旅	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1596	昔話	聞耳ずきん	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1597	昔話	橋の夢	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1598	昔話	ぬかふく、こめふく	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1599	昔話	たましいのハチ	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス
1600	昔話	サルの子ぎも	長岡	新潟県の昔話と語り手	安藤マス

【記念物】（遺跡）

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1601	遺跡	三国街道	川口		歴史の道（高崎～三国峠～長岡～寺泊）幕府が佐渡金山経営のためにいち早く整備した佐渡三道のひとつ
1602	遺跡	川口宿	川口		三国街道 宿場
1603	遺跡	一里塚	川口	川口和南津	三国街道 青面金剛像
1604	遺跡	双体道祖神	川口	川口和南津（八郎場）	三国街道 女神が男神に酒をつぐ
1605	遺跡	とび坂峠の茶屋跡	川口	川口和南津	三国街道
1606	遺跡	上河原の石造物群	川口	川口和南津	三国街道 12の石造物を記る
1607	遺跡	和南津の渡し	川口	川口和南津	三国街道 馬渡船、建造費は村々が負担
1608	遺跡	水難供養塔	川口	川口中山（野田笹本）	三国街道 明治26年の川船転覆の慰霊碑
1609	遺跡	林興庵	川口	川口中山	三国街道 景勝から与えられた天目茶碗や石川雲蝶の欄間彫刻
1610	遺跡	街道元標	川口	川口中山	三国街道 道路付替えを借しみ石柱を埋めたもの
1611	遺跡	船継場	川口	川口	三国街道 川口橋やや下流
1612	遺跡	宝積寺	川口	川口	三国街道 川口宿脇本陣、魚野川の洪水時に村人の避難所になった
1613	遺跡	川合神社	川口	川口	三国街道 水の神として船人や川獺の人々の信仰を集めた
1614	遺跡	飛脚の墓	川口	川口	三国街道 居眠りで刻限までに到着できないことを詫言びて自害した飛脚の供養碑

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1615	遺跡	北国街道	寺泊		歴史の道（中山道追分宿～野尻峠～高田～出雲崎）江戸と佐渡を結ぶ主要幹線のひとつ、脇街道の中でも重要視された北陸諸大名の参勤交代路
1616	遺跡	寺泊宿	寺泊		北国街道・三国街道（中通り）宿場
1617	遺跡	山田宿	寺泊		北国街道 三島郡蒲原五ヶ宿のひとつ
1618	遺跡	玄德寺庚申塔	寺泊	寺泊郷本	北国街道 山門入口 安政3年
1619	遺跡	道祖神	寺泊	寺泊松沢町	北国街道 八幡神社境内
1620	遺跡	円福寺	寺泊	寺泊	北国街道 市指定の工芸品所蔵
1621	遺跡	円福寺多層塔	寺泊	寺泊	北国街道 小塔鎌倉時代末期か
1622	遺跡	生福寺	寺泊	寺泊大町	北国街道 市指定文化財の曼荼羅所蔵
1623	遺跡	聖徳寺	寺泊	寺泊荒町	北国街道 市指定文化財の「初君惜別之図」所蔵 池泉回遊式庭園も市名勝
1624	遺跡	椿の森の船着き場	和島	竜田	北国街道 島崎川の終着点 大河津分水開削と河川改修で旧状をとどめない
1625	遺跡	桐原石部神社	寺泊	寺泊下桐	北国街道 式内社か
1626	遺跡	魚沼街道	越路		歴史の道（柏崎～北条～塚野山～小千谷～川口）中世：高田城下と魚沼、近世：北国街道と三国峠を結ぶ上田銀山と江戸の輸送路
1627	遺跡	塚野山宿	越路		魚沼街道
1628	遺跡	薬師峠	越路		魚沼街道 小千谷・越路の境界
1629	遺跡	松尾神社	越路	東谷	魚沼街道 酒造り絵馬
1630	遺跡	茶屋跡	越路		魚沼街道 草や灌木が繁る
1631	遺跡	地藏	越路		魚沼街道 街道と小国に向かう道の分岐点
1632	遺跡	筆塚	越路	塚野山	魚沼街道 旧長谷川家分家の庭 同家出身で幕末の書家・長谷河里月の門人が建立 薬師峠から移した
1633	遺跡	渋海川の渡し場	越路	塚野山	魚沼街道 対岸に渡る
1634	遺跡	中山城跡	越路		魚沼街道 貞治年間（1362-68）築城と伝わる
1635	遺跡	石造物	越路		魚沼街道 草原の中で石塔と如意輪観音像が土に埋まる
1636	遺跡	広田峠	越路		魚沼街道 越路・柏崎の境界 おまん茶屋があったとされる

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1637	遺跡	妙見宿	長岡		三国街道（中通り）宿場
1638	遺跡	六日市宿	長岡		三国街道（中通り）宿場
1639	遺跡	長岡宿	長岡		三国街道（中通り）宿場
1640	遺跡	妙見津留番所跡	長岡	妙見町	三国街道（中通り）長岡藩が元和4年の設置 下流に対岸の三仏生への渡船場があった
1641	遺跡	三宅神社	長岡	中潟町	三国街道（中通り）延喜式内社の論社の一つ
1642	遺跡	六日市本陣跡	長岡	六日市町	三国街道（中通り）長岡藩主が江戸から帰するにあたってここで一泊した
1643	遺跡	赤坂の石造物群	長岡	六日市町	三国街道（中通り）赤坂地藏堂の内外に天保4年の米山塔、寛政3年の廻国塔など多くの石造物
1644	遺跡	米山塔	長岡	十日町	三国街道（中通り）文化14年の二十三夜塔、安政2年の米山塔などが並ぶ
1645	遺跡	専福寺	長岡	十日町	三国街道（中通り）本尊指定文化財
1646	遺跡	富士神社	長岡	片田町	三国街道（中通り）境内に文化9年の米山塔、文久元年の庚申塔など
1647	遺跡	釜沢観音堂	長岡	釜沢	三国街道（中通り）鯉口が県指定文化財
1648	遺跡	道標	長岡	摂田屋町	三国街道（中通り）稲荷大神向かいの五叉路
1649	遺跡	道標	長岡	千手二丁目	三国街道（中通り）八幡神社入口 明治6年建立
1650	遺跡	千蔵院（千手観音堂）	長岡	柏町一丁目	三国街道（中通り）牧野氏が除地として保護 7/7～13の祭礼で観音市が立ちにぎわった
1651	遺跡	草生津の渡し	長岡	大島本町	三国街道（中通り）分岐する柏崎街道への渡し 明治9年に同位置に長生橋が完成し廃止
1652	遺跡	平潟神社	長岡	表町一丁目	三国街道（中通り）長岡町総鎮守 長岡空襲の慰霊塔
1653	遺跡	国漢学校跡	長岡	大手通	三国街道（中通り）大和長岡店の位置にあった 米百俵の故事で知られる
1654	遺跡	長永寺	長岡	渡里町	三国街道（中通り）県指定文化財「雪之図」所蔵
1655	遺跡	渡里町河戸跡	長岡	渡里町	三国街道（中通り）

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1656	遺跡	西福寺	長岡	渡里町	三国街道（中通り）寺宝阿弥陀如来像が市指定文化財 西福寺河渡（荷揚げ場）にあたる釣鐘は「維新の暁鐘」とよばれ、戊辰戦争時に新政府軍の侵入を長岡城下に知らせた
1657	遺跡	明治天皇行在所跡	長岡	坂之上町三丁目	三国街道（中通り）明治 11 年の御巡幸の行在所 明治記念公園に基段のみ残る
1658	遺跡	山本記念公園	長岡	坂之上町三丁目	三国街道（中通り）山本五十六の実家の高野家跡地 生家が復元される
1659	遺跡	河井継之助邸跡	長岡	長町一丁目	三国街道（中通り）跡地に石碑がある
1660	遺跡	蠟座稻荷社	長岡	呉服町二丁目	三国街道（中通り）藩の蠟専売機関・蠟座役所の脇に勧請 呉服町河渡にあたり荷揚げ作業に従事する人の信仰を集めた
1661	遺跡	栄凉寺	長岡	東神田三丁目	三国街道（中通り）牧野氏発祥の地 菩提所の一つ 多くの長岡藩士が葬られる
1662	遺跡	道標	長岡	新町三丁目	三国街道（中通り）地藏堂前の自然石 金毘羅塔
1663	遺跡	伊東道右衛門碑	長岡	城岡三丁目	三国街道（中通り）戊辰戦争に際し、単独で薩摩藩兵に立ち向かい戦死した大砲隊長の慰霊碑
1664	遺跡	福島江開削記念碑	長岡	城岡	三国街道（中通り）慶安 4 年、福島村庄屋・桑原久右衛門が、妙見村で信濃川の水を取り入れ、全長 20km の福島江を私財を投じて完成させた功績をたたえた記念碑
1665	遺跡	大黒古戦場跡	長岡	大黒町	三国街道（中通り）慶応 4 年見附に本営を置いた奥羽越列藩同盟軍がこの地を前線基地とする新政府軍を襲い激戦を交えた
1666	遺跡	猿橋口留番所跡	長岡	七軒町	三国街道（中通り）文政年間の絵図に描かれる
1667	遺跡	明治天皇行在所跡	長岡	七軒町	三国街道（中通り）明治 11 年の御巡幸の行在所 記念碑が立つ
1668	遺跡	八丁沖古戦場跡	長岡	富島町	三国街道（中通り）慶応 4 年八丁沖の沼地を進んだ長岡藩兵 600 名が上陸、長岡城奪還に成功した

1669	遺跡	渡船場跡	長岡	川辺町	三国街道（中通り）
1670	遺跡	薦都坊の碑	与板	薦都	三国街道 薦都坊が寛文年間の一帯を開発 大正 5 年に墓地把を改め碑を建立
1671	遺跡	観音堂	与板	船戸	三国街道 与板市街地の入口 江戸時代には一里塚があった
1672	遺跡	本願寺与板別院	与板	東与板	三国街道 与板藩主井伊直経の発願で明治 4 年完成 毎年 6/24～27 の報恩講は露天商が並び賑わう
1673	遺跡	与板町道路元標	与板	東与板	三国街道 もとは徳昌寺山道入口、上町と中町の境 資料館前に移設
1674	遺跡	浜街道の馬頭観音	与板	与板	三国街道 元役場裏手の山中 天保 8 年建立
1675	遺跡	大坂塔婆	与板	本与板	三国街道 大坂屋三輪家が立てたといわれるが年代不明 与板藩主井伊氏が遊山した記事が与板割元新木家の記録「関守」に見られる
1676	遺跡	徳昌寺	与板	馬場丁	三国街道 直江氏菩提寺 与板割元新木家菩提寺 良寛の父以南の生家
1677	遺跡	牧野氏陣屋跡	与板	馬場丁	三国街道 与板藩牧野氏の居所
1678	遺跡	井伊氏陣屋跡	与板	長丁	三国街道 文政 6 年以降井伊氏の居所 戊辰戦争で炎上、大手門・切手門が移築現存
1679	遺跡	塩之入峠	与板		三国街道 与板・和島境界 良寛と与板に住む弟由之はしばしば峠を越えて交流した トンネル入口に良寛歌碑
1680	遺跡	滝谷の馬頭観音	与板	滝谷	三国街道 諏訪神社の広場脇
1681	遺跡	妻戸神社	寺泊	野積	北国街道 漁の神 神体は口あけ石という大きな岩で新酒を醸して熟すと必ず岩に注いでから飲んだ
1682	遺跡	西生寺	寺泊	野積	北国街道 弘智法印の即身仏を祀る 松尾芭蕉と曾良が奥の細道で参拝 鈴木牧之も天保 9 年参拝し即身仏をスケッチに残す

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1683	遺跡	明治天皇宮本行在所址附御膳水	長岡	宮本	昭和9年跡地に記念碑建設 安達家：脇本陣の家柄
1684	遺跡	開戦決意の地記念碑	長岡	前島	
1685	遺跡	西軍(新政府軍)上陸の地	長岡	中島	
1686	遺跡	長岡藩本陣跡	長岡	摂田屋	光福寺
1687	遺跡	榎峠古戦場	長岡	妙見町	
1688	遺跡	福島閻魔堂跡	長岡	福島	福島閻魔堂跡の貞心尼歌碑
1689	遺跡	雪村友梅生誕地	長岡	関原町白鳥	雪村友梅詩碑
1690	遺跡	新木家跡	与板	与板町与板	橋以南の句碑
1691	遺跡	松下庵跡	与板	与板町与板	由之宗匠隠栖遺跡碑

【記念物】(名勝地)

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1692	庭園	洞照寺庭園	長岡	村松町	池庭 江戸後期
1693	庭園	定正院庭園	長岡	鷺巣町	池庭 明治(大正改修)
1694	庭園	円融寺庭園	長岡	村松町	池庭 明治
1695	庭園	大竹邸記念館庭園	中之島	中之島	池庭 江戸末期(昭和改修)
1696	庭園	徳昌寺庭園	与板	与板町与板	枯山水 江戸中期
1697	庭園	住雲園	和島	小島谷	池庭 明治 旧久須美家
1698	庭園	山口家庭園	小国	小国町横沢	池庭 明治
1699	庭園	もみじ園	越路	朝日	建築：国登録

【記念物】(動物・植物・地質鉱物)

No.	種別	名称	所在地	地域
1700	動物	蜀鶏(唐丸)		
1701	植物	成願寺の光藻産地	栖吉	長岡
1702	植物	ケヤキ		
1703	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1704	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1705	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1706	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡

No.	種別	名称	所在地	地域
1707	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1708	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1709	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1710	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1711	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1712	植物	ケヤキ	西蔵王	長岡
1713	植物	スギ	宮路町	長岡
1714	植物	モミ	御山町	長岡
1715	植物	モミ	御山町	長岡
1716	植物	モミ	御山町	長岡
1717	植物	スギ	柿町	長岡
1718	植物	スギ	柿町	長岡
1719	植物	スギ	柿町	長岡
1720	植物	ブナ	鷺巣町	長岡
1721	植物	ブナ	鷺巣町	長岡
1722	植物	イチヨウ	六日市町	長岡
1723	植物	イチヨウ	宮本町	長岡
1724	植物	ブナ	柿	長岡
1725	植物	スギ	柿	長岡
1726	植物	スギ	柿	長岡
1727	植物	モミ	御山	長岡
1728	植物	スギ	半蔵金	栃尾
1729	植物	ケヤキ	小貫	栃尾
1730	植物	アカガシ	小貫	栃尾
1731	植物	ヤマグワ		
1732	植物	スギ	栃堀	栃尾
1733	植物	イチヨウ		
1734	植物	スギ		
1735	植物	ケヤキ		
1736	植物	ケヤキ		
1737	植物	アメリカスズカケノキ		
1738	植物	イチヨウ	朝日	越路
1739	植物	スギ	朝日	越路
1740	植物	スギ	朝日	越路
1741	植物	モミ	朝日	越路
1742	植物	モミ	朝日	越路
1743	植物	スギ	千谷沢	越路
1744	植物	スギ	千谷沢	越路
1745	植物	ケヤキ		
1746	植物	ケヤキ		

No.	種別	名称	所在地	地域
1747	植物	ケヤキ		
1748	植物	ケヤキ		
1749	植物	ヒヨクヒバ	浦	越路
1750	植物	スギ	浦	越路
1751	植物	スギ	塚野山	越路
1752	植物	スギ	逆谷	三島
1753	植物	スギ	三島上条	三島
1754	植物	スギ	三島上条	三島
1755	植物	ケヤキ	三島上条	三島
1756	植物	スギ	三島中条	三島
1757	植物	スギ	三島中条	三島
1758	植物	スギ	三島中条	三島
1759	植物	ケヤキ		
1760	植物	スギ	気比呂	三島
1761	植物	スギ	爪生	三島
1762	植物	スギ	三島新保	三島
1763	植物	ケヤキ	脇野町	三島
1764	植物	ケヤキ	脇野町	三島
1765	植物	スギ	上岩井	三島
1766	植物	スギ	上岩井	三島
1767	植物	スギ	上岩井	三島
1768	植物	スギ	七日市	三島
1769	植物	スギ	七日市	三島
1770	植物	ケヤキ	七日市	三島
1771	植物	ケヤキ	七日市	三島
1772	植物	ケヤキ	七日市	三島
1773	植物	スギ	鳥越	三島
1774	植物	モミ	鳥越	三島
1775	植物	スギ	鳥越	三島
1776	植物	モミ	鳥越	三島
1777	植物	イチヨウ	与板町岩方	与板
1778	植物	スギ	与板町馬越	与板
1779	植物	スギ	与板町本与坂	与板
1780	植物	スギ	与板町本与坂	与板
1781	植物	スギ	与板町本与坂	与板
1782	植物	ケヤキ	与板町本与坂	与板
1783	植物	ケヤキ	与板町本与坂	与板
1784	植物	ケヤキ	与板町本与坂	与板
1785	植物	ケヤキ	与板町稻荷町	与板
1786	植物	スギ	与板町長丁	与板

No.	種別	名称	所在地	地域
1787	植物	スギ	与板町長丁	与板
1788	植物	モミ	与板町	与板
1789	植物	ケヤキ	与板町堂前中島町	与板
1790	植物	ケヤキ	与板町堂前中島町	与板
1791	植物	ケヤキ	与板町堂前中島町	与板
1792	植物	ケヤキ	与板町堂前中島町	与板
1793	植物	ケヤキ	与板町馬場丁	与板
1794	植物	スギ	与板町与板乙6044	与板
1795	植物	スギ	与板町与板乙6044	与板
1796	植物	スギ	与板町与板乙6044	与板
1797	植物	スギ	与板町与板乙6044	与板
1798	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1799	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1800	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1801	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1802	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1803	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1804	植物	ケヤキ	与板町与板乙6044	与板
1805	植物	モミ	与板町与板乙6044	与板
1806	植物	ケヤキ	大字村田 1124	和島
1807	植物	スギ	大字村田 1124	和島
1808	植物	イチヨウ	大字村田 1124	和島
1809	植物	ケヤキ	城之丘	和島
1810	植物	スギ		和島
1811	植物	ケヤキ		
1812	植物	イチヨウ	両高 615	和島
1813	植物	ウラジロガシ	小島谷 600	和島
1814	植物	イチヨウ	北野	和島
1815	植物	ケヤキ	北野	和島
1816	植物	ケヤキ	北野	和島
1817	植物	ケヤキ	島崎 4753	和島
1818	植物	スダジイ	島崎 4753	和島
1819	植物	ケヤキ	島崎	和島
1820	植物	スギ	島崎	和島
1821	植物	モミ		
1822	植物	スギ	阿弥陀瀬 1313	和島
1823	植物	スギ	阿弥陀瀬 1313	和島

No.	種別	名称	所在地	地域
1824	植物	ケヤキ	寺泊上田町	寺泊
1825	植物	ケヤキ		
1826	植物	ケヤキ	寺泊大町	寺泊
1827	植物	クロマツ	寺泊大町	寺泊
1828	植物	ケヤキ	寺泊大町	寺泊
1829	植物	ケヤキ	寺泊大町	寺泊
1830	植物	ケヤキ	寺泊上片町	寺泊
1831	植物	ケヤキ	寺泊吉	寺泊
1832	植物	スダジイ	寺泊京ヶ入	寺泊
1833	植物	ケヤキ		
1834	植物	トチノキ	寺泊年友	寺泊
1835	植物	ケヤキ		
1836	植物	ケヤキ	寺泊田頭	寺泊
1837	植物	ケヤキ	寺泊田頭	寺泊
1838	植物	ケヤキ	寺泊田頭	寺泊
1839	植物	スギ	寺泊夏戸	寺泊
1840	植物	ケヤキ	寺泊大和田	寺泊
1841	植物	モミ		
1842	植物	モミ		
1843	植物	ケヤキ		
1844	植物	スギ	寺泊入軽井	寺泊
1845	植物	ケヤキ	寺泊矢田	寺泊
1846	植物	スギ	東川口	川口
1847	植物	スギ	東川口	川口
1848	植物	スギ	川口荒谷	川口
1849	植物	スギ	川口荒谷	川口
1850	植物	スギ	川口荒谷	川口
1851	植物	スギ	川口相川	川口
1852	植物	スギ	川口相川	川口
1853	植物	イチョウ	川口相川	川口
1854	植物	スギ	川口田麦山	川口
1855	植物	スギ	川口田麦山	川口
1856	植物	スギ	川口田麦山	川口
1857	植物	スギ	川口田麦山	川口
1858	植物	ウラジログシ		

【文化的景観】

No.	種別	名称	地域	所在地	文献	備考
1859	文化的景観	山古志の棚田	山古志		農林水産業に関する文化的景観	

【伝統的建造物群】

No.	種別	名称	地域	所在地	備考
1860	伝統的建造物群	栃尾の雁木通り	栃尾	栃尾	
1861	伝統的建造物群	摂田屋地区	長岡	摂田屋	

【埋蔵文化財】

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
1862	遺物包含地	上の沢	長岡	上除町西1丁目	縄	1
1863	遺物包含地	金倉	長岡	柿町字金倉	縄	2
1864	遺物包含地	茨崎	長岡	加津保町字茨崎・大原	縄	3
1865	遺物包含地	栖吉行塚	長岡	栖吉町字岩野	縄	4
1866	遺物包含地	中道	長岡	栖吉町字中道	縄	5
1867	遺物包含地	栖吉	長岡	栖吉町字中道	縄	6
1868	遺物包含地	東片貝Ⅰ	長岡	東片貝町字下山	縄	7
1869	遺物包含地	小毬山	長岡	柿町字南田	縄	8
1870	遺物包含地	山下A	長岡	柿町字南田	縄	9
1871	遺物包含地	青木	長岡	柿町字金倉・平兵衛山	縄	10
1872	遺物包含地	長者原	長岡	村松町・釜沢町長者原甲	縄	11
1873	遺物包含地	山入	長岡	釜沢町字山入	縄	12
1874	遺物包含地	外新田	長岡	六日市町字外新田	縄	13
1875	遺物包含地	南原	長岡	上除町西1丁目字南原	縄	14
1876	遺物包含地	転堂	長岡	上除町字西原	縄	15
1877	遺物包含地	六右衛門清水	長岡	五反田町字三ノ輪	縄	16
1878	遺物包含地	瓜割	長岡	五反田町字瓜割	縄	17
1879	遺物包含地	駒村	長岡	高頭町字大上	縄	19
1880	遺物包含地	火振り坂	長岡	雲出町字上原・下原	縄	20
1881	遺物包含地	城扣	長岡	宮本町1丁目蛇山	縄	21
1882	遺物包含地	鎌田山	長岡	白鳥町字原	縄	22
1883	遺物包含地	松山	長岡	西津町字原	縄	23
1884	遺物包含地	堂ヶ峯	長岡	乙吉町字堂ヶ峯	縄	24
1885	遺物包含地	雉子打場	長岡	深沢町字上ノ山	縄	25
1886	遺物包含地	大平	長岡	大積三島谷町字天ヶ沢	縄	26
1887	遺物包含地	花立	長岡	大積千本町字西ノ田他	縄	28
1888	遺物包含地	新林	長岡	大積田代町新林	縄	29
1889	遺物包含地	笹山	長岡	親沢町字前田・縄手	縄	30

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
1890	遺物包含地	西片貝	長岡	西片貝町字前田	縄	31
1891	遺物包含地	東片貝Ⅱ	長岡	成願寺町字才勝	縄	32
1892	遺物包含地	岩野原	長岡	深沢町字岩野原	縄	34
1893	遺物包含地	親沢山王	長岡	親沢町字前田	縄	35
1894	遺物包含地	七軒町	長岡	大積町1丁目字山本甲	縄	36
1895	遺物包含地	平山	長岡	大積町3丁目須田乙	縄	37
1896	遺物包含地	沢の入	長岡	大積三島谷町沢の入	縄	38
1897	遺物包含地	キザワシ	長岡	大積折渡町字富田乙	縄	39
1898	遺物包含地	金塚A	長岡	大積三島谷町石原坂	縄	40
1899	遺物包含地	焼山	長岡	大積熊上町芝田乙	縄	41
1900	遺物包含地	カラコミ	長岡	大積千本町原新田	縄	42
1901	遺物包含地	三ノ輪	長岡	五反田町字三ノ輪	縄	43
1902	遺物包含地	浄円寺	長岡	上除町字上ノ原・北原	縄	44
1903	遺物包含地	千足山	長岡	妙見町字千足山	縄	45
1904	遺物包含地	村松山王	長岡	村松町字山王	縄	46
1905	遺物包含地	桂貝	長岡	浦瀬町字桂ヶ入	縄	47
1906	遺物包含地	墓沢	長岡	大積代町字熊上	縄	48
1907	遺物包含地	戸左衛門	長岡	悠久町	縄・弥	49
1908	遺物包含地	牛池	長岡	大積千本町字千代ノ越	縄	50
1909	遺物包含地	畑田裏山	長岡	大積町1丁目字山本	縄	51
1910	遺物包含地	上の畑	長岡	大積町1丁目字山本甲	縄	52
1911	遺物包含地	開墾地	長岡	大積善間町字馬ノ平	縄	53
1912	遺物包含地	ホテラバ	長岡	大積町1丁目字天ヶ沢	縄	54
1913	遺物包含地	大明神	長岡	栖吉町	縄	55
1914	遺物包含地	岩野	長岡	宮本町3丁目字岩野甲	縄	56
1915	遺物包含地	中潟	長岡	中潟町中道下	縄	57
1916	遺物包含地	尾立	長岡	西津町字原	縄	58
1917	遺物包含地	長岡高畑	長岡	柿町切通シ	縄・平	59
1918	遺物包含地	五百川	長岡	宮本東方町字西山	縄	61
1919	遺物包含地	御山前山	長岡	御山町字前山	縄・弥	64
1920	遺物包含地	岩村	長岡	乙吉町岩村	弥	65
1921	遺物包含地	鷺巣	長岡	鷺巣町金塚乙	弥	66
1922	遺物包含地	横山	長岡	桂町字横山	弥	67

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
1923	遺物包含地	堅正寺	長岡	御山町字前山	弥	68
1924	遺物包含地	蒼柴神社裏	長岡	悠久町	弥～古墳	69
1925	遺物包含地	鉢ガ峰	長岡	鉢伏町字鉢ガ峰	弥	70
1926	遺物包含地	旧富岡農学校跡	長岡	上富岡町字長峰	弥	71
1927	遺物包含地	下屋敷	長岡	関原町1丁目字下屋敷	古代	72
1928	遺物包含地	竜蔵寺	長岡	親沢町字本堂嶺	古代	73
1929	遺物包含地	火焚面	長岡	宮下町字大荒田	古代	74
1930	窯跡	蒲堤窯跡	長岡	西津町字原	古代	75
1931	窯跡	岩野原窯跡	長岡	深沢町字岩野原	古代	76
1932	窯跡	羽黒窯跡	長岡	深沢町字羽黒	古代	77
1933	遺物包含地	円融寺裏	長岡	村松町岩谷	古代	78
1934	遺物包含地	御山大沢	長岡	御山町字前山	古代	79
1935	遺物包含地	中野内	長岡	東片貝町	平	80
1936	遺物包含地	百間堤	長岡	成願寺町	縄・古代	81
1937	遺物包含地	白鳥蛇山	長岡	白鳥町蛇山	縄・平	82
1938	窯跡	岩村窯跡	長岡	乙吉町字岩村・朴ノ木谷	平	83
1939	窯跡	間野窯跡	長岡	乙吉町字朴ノ木谷	平	84
1940	塚	中之坊経塚	長岡	宮本町1丁目字蛇山甲	鎌・南・室	85
1941	経塚	糠塚	長岡	釜沢町字長者原乙	鎌	86
1942	経塚	熊上経塚	長岡	大積町3丁目字須田	鎌・室	87
1943	塚	麻生田二つ塚	長岡	麻生田町南谷	鎌・南・室	88
1944	城館跡	蛇山城跡	長岡	滝谷町字前山甲	鎌	89
1945	城館跡	高寺城跡	長岡	高頭町字大坪甲	鎌・南・室	90
1946	城館跡	町田城跡	長岡	町田町字金山	鎌	91
1947	城館跡	関原館跡	長岡	関原町1丁目字下屋敷	鎌・室	92
1948	城館跡	堀金館跡	長岡	堀金町字城	鎌・南・室・安	94
1949	城館跡	血の峰城跡	長岡	加津保町字金鉢	南	95
1950	城館跡	村松城跡	長岡	村松町字要害山	南・室・安	96
1951	城館跡	長峰城跡	長岡	福田町字藤橋	南	98
1952	城館跡	中潟城跡	長岡	中潟町字宮塚	南	99
1953	城館跡	芹川城跡	長岡	芹川町字浦田	南	100
1954	城館跡	六日市城跡	長岡	六日市町堂神沢	南・室・安	101
1955	古銭出土地	白鳥の古銭畑	長岡	白鳥町字浦ノ越	室	102
1956	社寺跡	中之坊寺院跡	長岡	宮本町1丁目字曲り田	室	103

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
1957	経塚	北の谷経塚	長岡	深沢町字上ノ山	室	104
1958	塚	大塚	長岡	宮本町4丁目	室	106
1959	城館跡	羽黒城跡	長岡	深沢町	室・中世	107
1960	城館跡	大滝城跡	長岡	深沢町字河内	室	108
1961	城館跡	雲出城跡	長岡	雲出町字中山	室	109
1962	城館跡	岩野城跡	長岡	雲出町水梨	室	110
1963	城館跡	榊形城跡	長岡	大積高鳥町	室	111
1964	城館跡	水梨城跡	長岡	大積灰下町字水梨	室	112
1965	城館跡	片刈城跡	長岡	高頭町大山甲	室	114
1966	城館跡	柿城跡	長岡	柿町字味噌桶	室	115
1967	城館跡	会水城跡	長岡	妙見町字要害	室・安	116
1968	城館跡	高津谷城跡	長岡	浦瀬町字高津谷	室	118
1969	城館跡	乙吉城跡	長岡	乙吉町字堂ヶ峰	室	119
1970	城館跡	西宮本城跡	長岡	宮本町2丁目字西	室	120
1971	城館跡	峠ノ入コ城跡	長岡	大積三島谷町字峠ノ入	安	121
1972	城館跡	五庵谷城跡	長岡	宮本町2丁目字五庵谷	室	122
1973	城館跡	堀之内城跡	長岡	宮本堀之内町小座ノ裏	室	123
1974	城館跡	三丁田城跡	長岡	大積善間町字城ノ腰	室	124
1975	城館跡	御堂山城跡	長岡	大積折渡町字折渡	室	125
1976	城館跡	善間城跡	長岡	大積善間町	室	126
1977	城館跡	乙吉(扣)城跡	長岡	乙吉町字岩村	室	127
1978	城館跡	中沢城跡	長岡	中沢町字西之宮	室	128
1979	城館跡	中渦(妙見)館跡	長岡	妙見町字浄土原	室・安	129
1980	城館跡	(牛が首の)城扣館跡	長岡	宮本町1丁目	室	130
1981	城館跡	上除城跡	長岡	上除町北原甲	室	131
1982	城館跡	富島館跡	長岡	富島町字屋敷添	室・安	132
1983	城館跡	左近館跡	長岡	左近町字笹田	室	133
1984	城館跡	上条城跡	長岡	上条町字八ツ口	室	134
1985	城館跡	摂田屋館跡	長岡	摂田屋町字村越	室・安	135
1986	城館跡	玄蕃館跡	長岡	今井町字大割	室	136
1987	城館跡	下条館跡	長岡	下条町字池田	室	137
1988	城館跡	白倉館跡	長岡	十日町字前ノ橋	室	138
1989	城館跡	御楯城跡	長岡	村松町字御楯	室	139
1990	城館跡	高山城跡	長岡	高島町字新保	安	141
1991	経塚	火振り坂経塚	長岡	雲出町字下原	江	142
1992	塚	瓜割の五ツ塚	長岡	五反田町字瓜割	江	144
1993	塚	地藏塚	長岡	白鳥町蛇山	江	145
1994	城館跡	長岡城跡	長岡	城内町1丁目	中世・江	146
1995	塚	三島谷の金塚	長岡	大積三島谷町石原坂	不明	147
1996	塚	五反田四ツ塚	長岡	五反田町字上ノ山	不明	148
1997	塚	本村金塚	長岡	大積町1丁目字山本甲	不明	149
1998	塚	熊上の塚群A1号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	150
1999	塚	熊上の塚群A2号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	151
2000	塚	熊上の塚群A3号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	152

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2001	塚	熊上の塚群A4号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	153
2002	塚	熊上の塚群A5号塚	長岡	大積熊上町芝田地内	不明	154
2003	塚	熊上の塚群A6号塚	長岡	大積熊上町芝田地内	不明	155
2004	塚	熊上の塚群B1号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	156
2005	塚	いなまんき塚1号塚	長岡	大積高鳥町字上ノ山地内	不明	157
2006	塚	いなまんき塚2号塚	長岡	大積高鳥町字上ノ山地内	不明	158
2007	塚	いなまんき塚3号塚	長岡	大積高鳥町字上ノ山地内	不明	159
2008	塚	いなまんき塚4号塚	長岡	大積高鳥町字上ノ山地内	不明	160
2009	塚	町田の塚1号塚	長岡	高町3・4丁目	不明	161
2010	塚	町田の塚2号塚	長岡	高町4丁目	不明	162
2011	遺物包含地	長峰	長岡	深沢町字新田	不明	163
2012	遺物包含地	観音山	長岡	青葉台1丁目東甲	縄	164
2013	遺物包含地	薬師堂	長岡	雲出町上原	縄	165
2014	遺物包含地	寺田	長岡	宮本町3丁目寺田	縄・平	166
2015	遺物包含地	大萱場	長岡	西陵町	縄	167
2016	遺物包含地	宮本	長岡	宮本町3丁目字広沢	縄	168
2017	遺物包含地	袖谷内	長岡	雲出町字谷内	縄・平	169
2018	遺物包含地	雲出谷内	長岡	雲出町字谷内	縄・室	170
2019	遺物包含地	西陵下屋敷	長岡	西陵町字下原	縄・中世・近世	171
2020	城館跡	鷹射城跡	長岡	大積1丁目畑ヶ田	南～室	172
2021	城館跡	岩野原館跡	長岡	宮本町3丁目岩野原	戦	173
2022	塚	中山1号塚	長岡	宮本東方町二ツ塚	不明	174
2023	塚	中山2号塚	長岡	宮本東方町二ツ塚	不明	175
2024	塚	中山3号塚	長岡	宮本東方町中山	不明	176
2025	塚	中山4号塚	長岡	宮本東方町中山	不明	177
2026	塚	中山5号塚	長岡	宮本東方町三ツ又	不明	178
2027	塚	中山6号塚	長岡	宮本東方町中山	不明	179
2028	塚	蛇山2号塚	長岡	白鳥町字蛇山	不明	180
2029	塚	蛇山3号塚	長岡	白鳥町字蛇山	不明	181
2030	塚	蛇山4号塚	長岡	白鳥町字蛇山	不明	182
2031	塚	蛇山5号塚	長岡	白鳥町字蛇山	不明	183
2032	塚	蛇山6号塚	長岡	白鳥町字蛇山	不明	184
2033	塚	蛇山7号塚	長岡	青葉台1丁目	不明	185
2034	塚	蛇山8号塚	長岡	宮本町1丁目	不明	186
2035	塚	蛇山10号塚	長岡	青葉台5丁目	不明	187
2036	塚	西田1号塚	長岡	宮本町4丁目字西田	不明	188
2037	塚	西田2号塚	長岡	宮本町4丁目字西田	不明	189
2038	塚	西田3号塚	長岡	雲出町(南原)	不明	190
2039	塚	西田4号塚	長岡	宮本町4丁目字西田	不明	191
2040	塚	西田5号塚	長岡	宮本町4丁目字西田	不明	192

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2041	塚	阿弥陀堂1号塚	長岡	宮本町3丁目字岩野	不明	193
2042	塚	阿弥陀堂2号塚	長岡	宮本町3丁目字岩野甲	不明	194
2043	塚	稻荷塚	長岡	宮本町4丁目字西田	不明	195
2044	塚	権現塚	長岡	雲出町二ノ宮	不明	196
2045	塚	上原1号塚	長岡	雲出町字上原	不明	197
2046	塚	上原2号塚	長岡	雲出町字上原	不明	198
2047	塚	上原3号塚	長岡	雲出町字上原	不明	199
2048	塚	上原4号塚	長岡	雲出町字上原	不明	200
2049	塚	上原5号塚	長岡	雲出町字上原	不明	201
2050	塚	上原6号塚	長岡	雲出町字上原	不明	202
2051	塚	上原7号塚	長岡	雲出町字上原	不明	203
2052	塚	大塚の塚	長岡	宮本町3丁目諏訪崎甲	不明	204
2053	塚	下原の塚	長岡	宮本町3丁目字下原甲	不明	205
2054	塚	火振り塚	長岡	雲出町字下原	不明	206
2055	塚	大萱場の塚	長岡	西陵町字下原	不明	207
2056	塚	座禅塚	長岡	雲出町水梨	不明	208
2057	塚	行人塚	長岡	深沢町(新田)	不明	209
2058	遺物包含地	滝谷蛇山	長岡	滝谷町字新江島	平	210
2059	遺物包含地	六日市町	長岡	六日市町字岩田	平	211
2060	遺物包含地	ソウギバ	長岡	妙見町字浄土原	縄	212
2061	塚	富士塚	長岡	濁沢町貫	江	213
2062	城館跡	柿館跡	長岡	柿町字山下	中世	214
2063	遺物包含地	原山	長岡	加津保町字原山	弥～古墳	215
2064	遺物包含地	下条山	長岡	横枕町字下条山	縄	216
2065	城館跡	川袋館跡	長岡	川袋町字北野	不明	217
2066	城館跡	地下城跡	長岡	浦瀬町字地下城	戦	218
2067	城館跡	大沼城跡	長岡	神田町1丁目	鎌	219
2068	城館跡	定明城跡	長岡	定明町字浦田	戦	220
2069	城館跡	鷺巣城跡	長岡	鷺巣町字金塚	戦	221
2070	遺物包含地	三百苅A	長岡	六日市町字三百苅	中世	222
2071	遺物包含地	囲内	長岡	芹川町字囲内	不明	223
2072	遺物包含地	大荒戸前田	長岡	大荒戸町字前田	平	224
2073	遺物包含地	浦	長岡	南新保町字浦	平	225
2074	遺物包含地	テト	長岡	南新保町字内袋	平	226
2075	遺物包含地	福道	長岡	蓮湯町	奈～室	227
2076	遺物包含地	江底	長岡	堺町字江底・上江底	奈～室	228
2077	遺物包含地	十二ノ木	長岡	高瀬町字十二ノ木	鎌～室	229
2078	遺物包含地	長岡浦田	長岡	宝地町字前田	平	230
2079	遺物包含地	村中	長岡	宝地町字村中・浦田	古代～中世	231
2080	遺物包含地	徳平	長岡	王番町字徳平	古代	232
2081	遺物包含地	道成場	長岡	上除町字道成場甲	不明	233

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2082	遺物包含地	源氏川原	長岡	七日町字源氏川原	平	234
2083	城館跡	才津館跡	長岡	才津町字館他	不明	235
2084	遺物包含地	日越原	長岡	日越字原・高寺町字長峰	縄・平	236
2085	遺物包含地	原西	長岡	西津町字原	縄	237
2086	塚	上原10号塚	長岡	雲出町字上原	不明	238
2087	塚	上原9号塚	長岡	雲出町字上原	不明	239
2088	塚	上原8号塚	長岡	雲出町字上原	不明	240
2089	古墳	大萱場古墳	長岡	西陵町	古墳	241
2090	遺物包含地	宮本岩野	長岡	宮本町3丁目字岩野	鎌～室	242
2091	窯跡	前川原窯跡	長岡	大積町3丁目字前川原甲	不明	243
2092	塚	大積須田の塚	長岡	大積町3丁目字須田	不明	244
2093	遺物包含地	宮本下原	長岡	宮本町3丁目字下原	鎌～室	245
2094	遺物包含地	下原	長岡	宮本町3丁目下原	不明	246
2095	遺物包含地	広沢	長岡	宮本町3丁目字広沢甲	不明	247
2096	遺物包含地	諏訪崎	長岡	宮本町3丁目字諏訪崎甲	不明	248
2097	遺物包含地	宮本上稲場	長岡	宮本堀之内町字上稲場	鎌～室	249
2098	遺物包含地	深沢大沢	長岡	深沢町字大沢	不明	250
2099	塚	南河内の塚1号	長岡	大積町2丁目・親沢町	不明	251
2100	塚	南河内の塚2号	長岡	大積町2丁目・親沢町	不明	252
2101	塚	南河内の塚3号	長岡	大積町2丁目・親沢町	不明	253
2102	塚	南河内の塚4号	長岡	大積町2丁目・親沢町	不明	254
2103	塚	南河内の塚5号	長岡	大積町2丁目・親沢町	不明	255
2104	遺物包含地	深沢上ノ山	長岡	深沢町字上ノ山	弥～古墳	256
2105	城館跡	紙屋館跡	長岡	深沢町字上ノ山	不明	257
2106	遺物包含地	新保	長岡	深沢町新保	平	258
2107	遺物包含地	坊ヶ沢	長岡	親沢町字坊ヶ沢	縄	259
2108	遺物包含地	本堂嶺	長岡	親沢町字本堂嶺	縄	260
2109	遺物包含地	親沢前田	長岡	親沢町字前田	縄	261
2110	遺物包含地	金塚B	長岡	大積三島谷町字石原坂	縄	262
2111	塚	熊上の塚群A7号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	263
2112	塚	熊上の塚群A8号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	264
2113	塚	熊上の塚群A9号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	265
2114	塚	熊上の塚群A10号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	266
2115	塚	熊上の塚群A11号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	267

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2116	塚	熊上の塚群 A 12 号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	268
2117	塚	熊上の塚群 A 13 号塚	長岡	大積熊上町芝田	不明	269
2118	塚	芝田の塚	長岡	大積熊上町芝田乙他	不明	270
2119	遺物包含地	芝山神社東	長岡	雲出町（南原）	鎌～室	271
2120	塚	いなまんき塚 5 号塚	長岡	大積高鳥町字上ノ山	不明	272
2121	塚	熊上の塚群 B 2 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	273
2122	塚	熊上の塚群 B 3 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	274
2123	塚	熊上の塚群 B 4 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	275
2124	塚	熊上の塚群 B 5 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	276
2125	塚	熊上の塚群 B 6 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	277
2126	塚	熊上の塚群 B 7 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	278
2127	塚	熊上の塚群 B 8 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	279
2128	塚	熊上の塚群 B 9 号塚	長岡	大積熊上町字熊上	不明	280
2129	塚	川袋塚	長岡	川袋町字君帰	近世	281
2130	城館跡	高瀬館跡	長岡	高瀬町字御館他	室～戦	283
2131	遺物包含地	五荘山	長岡	上除町西 1 丁目	旧	284
2132	城館跡	浦瀬館跡	長岡	浦瀬町字阿字原	戦	285
2133	遺物包含地	金場	長岡	柿町字金倉	縄	286
2134	遺物包含地	松葉	長岡	栖吉町清水田	縄・奈～室	287
2135	城館跡	栖吉支城跡	長岡	栖吉町字出来坊	室～戦	288
2136	墳墓	三貫梨墳墓	長岡	栖吉町字清水田	縄・中世	289
2137	遺物包含地	三貫梨Ⅱ	長岡	栖吉町字清水田	中世・近世	290
2138	城館跡	新田山砦跡	長岡	栖吉町字岩野	南	291
2139	遺物包含地	下山	長岡	六日市町字下山他	平	292
2140	遺物包含地	阿部山	長岡	滝谷町字西平	弥	293
2141	古銭出土地	下ノ坪	長岡	滝谷町字下ノ坪	中世	294
2142	城館跡	羽黒山城跡	長岡	村松町字北羽黒他	戦	295
2143	古墳	麻生田古墳群	長岡	麻生田町字南谷	古墳	296
2144	遺物包含地	藤ヶ森	長岡	亀崎町字藤ヶ森	弥	297
2145	塚	亀崎塚	長岡	亀崎町字藤ヶ森	不明	298
2146	遺物包含地	大石	長岡	亀崎町字大石	中世	299
2147	遺物包含地	大門 A	長岡	亀崎町字大門	弥	300
2148	遺物包含地	大門 B	長岡	亀崎町字大門	縄	301
2149	塚	西ノ谷塚群	長岡	亀崎町字西ノ谷	不明	302

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2150	遺物包含地	亀崎 B	長岡	亀崎町字西ノ谷	不明	303
2151	遺物包含地	西ノ谷 A	長岡	亀崎町字西ノ谷	古代	304
2152	遺物包含地	西ノ谷 B	長岡	亀崎町字西ノ谷	古代	305
2153	遺物包含地	北邑	長岡	桂町字北邑	弥	306
2154	遺物包含地	早生田	長岡	桂町字早生田	弥	307
2155	遺物包含地	南邑	長岡	桂町字南邑	縄	308
2156	遺物包含地	大原 A	長岡	加津保町字大原	中世	309
2157	塚	大原塚	長岡	加津保町字大原	中世	310
2158	遺物包含地	大原 B	長岡	加津保町字大原	平	311
2159	遺物包含地	大原 C	長岡	加津保町字茨崎・大原	平	312
2160	遺物包含地	加津保行塚	長岡	加津保町字行塚	弥	313
2161	遺物包含地	加津保上ノ山	長岡	加津保町字上ノ山	縄	314
2162	遺物包含地	村ノ内	長岡	水穴町字村ノ内	古代・中世	315
2163	塚	山寺塚	長岡	水穴町字山寺	不明	316
2164	遺物包含地	水穴前山	長岡	水穴町字前山	縄	317
2165	遺物包含地	長者原西 A	長岡	水穴町字長者原西	縄	318
2166	遺物包含地	長者原西 B	長岡	水穴町字長者原西	縄	319
2167	遺物包含地	長者原東	長岡	水穴町字長者原東	縄・古墳・中世	320
2168	遺物包含地	阿字原 A	長岡	浦瀬町字阿字原	不明	321
2169	遺物包含地	阿字原 B	長岡	浦瀬町字阿字原	平・江	322
2170	遺物包含地	阿字原 C	長岡	浦瀬町字阿字原	縄・古代・中世	323
2171	遺物包含地	阿字原 D	長岡	浦瀬町字阿字原	古代	324
2172	遺物包含地	阿字原 E	長岡	浦瀬町字阿字原	中世	325
2173	遺物包含地	浦瀬上ノ山	長岡	浦瀬町字上ノ山	不明	326
2174	塚	上ノ山塚	長岡	浦瀬町字上ノ山	不明	327
2175	遺物包含地	石ノ下	長岡	浦瀬町字石ノ下	古代	328
2176	遺物包含地	長表	長岡	麻生田町字長表	縄・弥・平	329
2177	遺物包含地	地下城	長岡	麻生田町字地下城	古代	330
2178	遺物包含地	北谷	長岡	麻生田町字北谷	古代	331
2179	遺物包含地	南谷 A	長岡	麻生田町字南谷	古代	332
2180	遺物包含地	南谷 B	長岡	麻生田町字南谷	中世	333
2181	塚	南谷塚	長岡	麻生田町字南谷	不明	334
2182	遺物包含地	出清水	長岡	宮路町字出清水	縄	335

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2183	塚	出清水塚	長岡	宮路町字出清水	不明	336
2184	塚	菅久保塚	長岡	乙吉町字菅久保	不明	337
2185	遺物包含地	安楽寺	長岡	乙吉町字安楽寺	古代	338
2186	塚	岩村塚	長岡	乙吉町字岩村	不明	339
2187	遺物包含地	朴ノ木谷	長岡	乙吉町字朴ノ木谷	古代	340
2188	遺物包含地	村下	長岡	栖吉町字村下	縄・中世	341
2189	遺物包含地	北原	長岡	栖吉町字北原	中世	342
2190	遺物包含地	栖吉岩野	長岡	栖吉町字岩野	古代・江	343
2191	遺物包含地	岩瀬	長岡	千代栄町字岩瀬	古代	344
2192	遺物包含地	杉本	長岡	千代栄町字杉本	古代	345
2193	遺物包含地	向谷内	長岡	千代栄町字向谷内	古代	346
2194	古墳	七ツ塚古墳群	長岡	東片貝町字下山	古墳	347
2195	遺物包含地	上ノ田	長岡	東片貝町字上ノ田	中世	348
2196	遺物包含地	花ヶ崎	長岡	東片貝町字花ヶ崎	中世	349
2197	遺物包含地	宮ノ前	長岡	東片貝町字宮ノ前	古代	350
2198	遺物包含地	西片貝上ノ山東	長岡	西片貝町字上ノ山	古代・中世	351
2199	遺物包含地	西片貝上ノ山	長岡	西片貝町字上ノ山	古代	352
2200	遺物包含地	戸左衛門西	長岡	悠久町	弥・古墳	353
2201	遺物包含地	栖吉前山	長岡	栖吉町字前山	縄・古代	354
2202	遺物包含地	栖吉前田	長岡	栖吉町字清水田	縄	355
2203	遺物包含地	西谷	長岡	鉢伏町字西谷	奈～中世	356
2204	遺物包含地	西谷東	長岡	鉢伏町字西谷	縄	357
2205	塚	西谷塚(2号塚)	長岡	鉢伏町字西谷	不明	358
2206	塚	西谷塚(1号塚)	長岡	鉢伏町字西谷	不明	359
2207	遺物包含地	山下D	長岡	柿町山下	不明	360
2208	遺物包含地	山下C	長岡	柿町金倉	縄	361
2209	遺物包含地	山下B	長岡	柿町山下	縄	362
2210	遺物包含地	金塚	長岡	鷲巣町字金塚甲	縄	363
2211	遺物包含地	天神山	長岡	釜沢町八坊塚乙・横枕町	縄	364
2212	遺物包含地	八坊塚	長岡	釜沢町八坊塚乙	縄	365
2213	遺物包含地	仲田	長岡	村松町字御盾・仲田他	古代	366
2214	遺物包含地	村松三百刈	長岡	村松町字三百刈	古代	367
2215	遺物包含地	割町	長岡	村松町字割町	古代	368
2216	遺物包含地	諏訪免	長岡	村松町字諏訪免	古代	369

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2217	遺物包含地	早田北	長岡	渡沢町字早田	縄・古代	370
2218	遺物包含地	早田西	長岡	渡沢町字早田	古代	371
2219	遺物包含地	滝谷前山	長岡	滝谷町字前山	古代	372
2220	遺物包含地	柿ノ木	長岡	滝谷町字柿ノ木	古代	373
2221	遺物包含地	三百苅B	長岡	六日市町三百苅	古代	374
2222	遺物包含地	三百苅C	長岡	六日市町三百苅	古代	375
2223	遺物包含地	舞台	長岡	高島町字舞台	中世	376
2224	塚	定明狐塚	長岡	定明町字浦田	不明	377
2225	遺物包含地	横田	長岡	曲新町字横田	古代・中世	378
2226	遺物包含地	山伏	長岡	宮内町山伏	古代・中世	379
2227	遺物包含地	八十刈	長岡	上条町字八十刈	古代	380
2228	遺物包含地	上条谷内	長岡	上条町字谷内	古代・中世	381
2229	遺物包含地	加内	長岡	上条町加内	古代・中世	382
2230	遺物包含地	八枚田	長岡	東片貝町	古代	383
2231	遺物包含地	猫田	長岡	中沢町	古代	384
2232	遺物包含地	原東	長岡	西津町字原	旧	385
2233	遺物包含地	高寺	長岡	深沢町字高寺	旧?	386
2234	塚	下山の塚群	長岡	六日市町字下山	中世	387
2235	遺物包含地	土用木	長岡	悠久町字土用木他	弥・古代	388
2236	集落跡	五斗田	長岡	亀崎町字五斗田	古墳	389
2237	集落跡	ソデクネ	長岡	栖吉町字村下	室	390
2238	集落跡	杉之森	中之島	杉之森	古墳～中世	391
2239	遺物包含地	大口	中之島	大口	奈	392
2240	遺物包含地	坪根	中之島	坪根	平	393
2241	遺物包含地	居掛	中之島	大口小字居掛	平	394
2242	遺物包含地	古宮	中之島	中之島宮内小字古宮	平	395
2243	城館跡	宮内館跡	中之島	中之島宮内鴨田	安	396
2244	遺物包含地	横山権現堂	中之島	横山字権現堂	室	397
2245	遺物包含地	高畑	中之島	中之島高畑字屋敷付	古墳	398
2246	遺物包含地(古銭)	野口	中之島	野口	室	399
2247	遺物包含地	観音寺	中之島	未宝字観音寺	室	400
2248	遺物包含地	カジヤシキ	中之島	中野中字天所	不明	401
2249	遺物包含地	五林跡	中之島	中野中字五林跡	不明	402
2250	石塔	満福寺五輪塔	中之島	中野中	不明	403

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2251	遺物包含地	成台	越路	岩田字成台	縄	404
2252	集落跡	多賀屋敷	越路	神谷字多賀屋敷	縄	405
2253	遺物包含地	上並松	越路	朝日字上ノ山	縄	406
2254	遺物包含地	小坂	越路	小坂	縄	407
2255	遺物包含地	中山	越路	朝日字中山	縄	408
2256	遺物包含地	河内	越路	岩田字細河内	縄	409
2257	遺物包含地	下並松	越路	来迎寺字並松	縄	410
2258	遺物包含地	朝日	越路	来迎寺字巴ヶ岡甲	縄	411
2259	遺物包含地	立矛	越路	来迎寺字立矛	縄	412
2260	遺物包含地	岩田	越路	沢下条字岩田	古代	413
2261	社寺跡	善福寺	越路	塚野山字善福寺	鎌	414
2262	経塚	沢下条の経塚	越路	沢下条字中峠丙	鎌	415
2263	城館跡	勝平城跡	越路	不動沢字西山	鎌	417
2264	城館跡	不動沢城跡	越路	不動沢字箕の輪	鎌	418
2265	経塚	立矛の経塚	越路	来迎寺字立矛	室	419
2266	城館跡	朝日城跡	越路	朝日字西山	室	420
2267	城館跡	来迎寺城跡	越路	来迎寺字切起甲	室	421
2268	城館跡	阿蔵平城跡	越路	東谷字東谷	室	422
2269	城館跡	中山城跡	越路	塚野山字山城	南・室	423
2270	城館跡	小坂城跡	越路	小坂字門前	南・室	424
2271	城館跡	菅沼城跡	越路	菅沼字向山	室	425
2272	城館跡	大谷内城跡	越路	神谷字多賀屋敷	室	426
2273	塚	菅沼1号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	427
2274	塚	菅沼2号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	428
2275	塚	菅沼3号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	429
2276	塚	菅沼4号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	430
2277	塚	菅沼5号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	431
2278	塚	菅沼6号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	432
2279	塚	菅沼7号塚	越路	千谷沢字京塚	不明	433
2280	塚	向山塚	越路	千谷沢字向山	不明	434
2281	遺物包含地	向田	越路	不動沢字向田	平	435
2282	塚	多賀屋敷の塚	越路	神谷字多賀屋敷	不明	436
2283	遺物包含地	本条	越路	本条甲	平	437
2284	遺物包含地	向山	越路	千谷沢字向山	縄	438
2285	城館跡	岩田城跡	越路	岩田字上村	鎌～戦	439
2286	城館跡	十二砦跡	越路	不動沢字袖山	不明	440

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2287	遺物包含地	村前	越路	沢下条丙	平	441
2288	遺物包含地	山屋	越路	岩田	旧	442
2289	遺物包含地	岩田前田	越路	岩田字前田	平	443
2290	塚	北河内の塚	越路	岩田字北河内	不明	444
2291	散布地	浦谷内	越路	浦	中世	445
2292	散布地	みのわ	越路	不動沢字ミノワ	平	446
2293	遺物包含地	朝日原	越路	朝日字原	縄・中世	447
2294	集落跡	浦畑	越路	来迎寺甲	縄・奈・中世	448
2295	遺物包含地	舟岡	三島	鳥越字島原越原	縄	450
2296	遺物包含地	別当山	三島	七日市字別当山	縄	451
2297	遺物包含地	一貫野	三島	逆谷字大沢	縄	452
2298	遺物包含地	脇野下稲場	三島	脇野町字白山	縄	454
2299	遺物包含地	根立	三島	上岩井字根立	縄	455
2300	遺物包含地	市ノ沢北	三島	鳥越字市ノ沢	縄	456
2301	遺物包含地	日吉	三島	鳥越字堰山	古代	458
2302	塚	鳥越経塚	三島	鳥越字香塚	中世	459
2303	城館跡	宮沢城跡	三島	宮沢字合清水・長坂	戦	462
2304	城館跡	中永砦跡	三島	中永字国地田	南～戦	463
2305	城館跡	吉崎城跡	三島	吉崎字千石原・石田坂	鎌～戦	464
2306	石塔	寛益寺宝篋印塔	三島	逆谷字西河内	不明	465
2307	塚	猿塚・経塚	三島	上条字塩ノ入	不明	466
2308	塚	向山1号塚	三島	脇野町字向山	不明	467
2309	塚	向山2号塚	三島	脇野町字向山・下稲場	不明	468
2310	塚	向山3号塚	三島	脇野町字向山	不明	469
2311	塚	向山4号塚	三島	脇野町字向山・上稲場	不明	470
2312	塚	向山5号塚	三島	脇野町字向山・上稲場	不明	471
2313	塚	向山6号塚	三島	脇野町字向山・上稲場	不明	472
2314	塚	向山7号塚	三島	脇野町字向山	不明	473
2315	塚	仏ノ入1号塚	三島	蓮花寺字仏ノ入	不明	474
2316	塚	仏ノ入2号塚	三島	蓮花寺字仏ノ入	不明	475
2317	塚	ドス塚	三島	蓮花寺字坂ノ下	不明	476
2318	塚	寺山の塚	三島	蓮花寺字板ヶ沢寺山	不明	477
2319	塚	板ヶ沢の塚	三島	蓮花寺字板ヶ沢	不明	478
2320	塚	笠拔山の塚	三島	逆谷字西河内・備後	不明	479
2321	城館跡	瓜生館跡	三島	瓜生字餅田	南～戦	480

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2322	塚	根立寺の塚	三島	上岩井字根立	不明	481
2323	遺物包含地	市ノ沢南	三島	鳥越字市ノ沢	不明	482
2324	遺物包含地	根立寺	三島	上岩井字根立	不明	483
2325	塚	守山の塚	三島	逆谷字千保	不明	484
2326	塚	犬塚1号	三島	中永字附耕地	不明	485
2327	塚	犬塚2号	三島	中永字附耕地	不明	486
2328	塚	犬塚3号	三島	中永字附耕地	不明	487
2329	塚	花立の塚群1号塚	三島	上岩井字花立	不明	488
2330	塚	花立の塚群2号塚	三島	上岩井字花立	不明	489
2331	塚	花立の塚群3号塚	三島	上岩井字花立	不明	490
2332	塚	花立の塚群4号塚	三島	上岩井字花立	不明	491
2333	塚	花立の塚群5号塚	三島	上岩井字花立	不明	492
2334	遺物包含地	ソーレン場	三島	逆谷字大沢（ソーレン場）	縄	493
2335	塚	ソーレン場1号塚	三島	逆谷字大沢（ソーレン場）	不明	494
2336	塚	ソーレン場2号塚	三島	逆谷字大沢（ソーレン場）	不明	495
2337	塚	ソーレン場3号塚	三島	逆谷字大沢（ソーレン場）	不明	496
2338	塚	山新光寺の塚	三島	鳥越字山新光寺	不明	497
2339	塚	千保の塚	三島	逆谷字千保	不明	499
2340	塚	逆谷東河内の塚1号	三島	逆谷字東河内（与板町楨原との境界）	不明	500
2341	塚	逆谷東河内の塚2号	三島	逆谷字東河内（与板町楨原との境界）	不明	501
2342	塚	逆谷樺沢の塚1号	三島	逆谷字樺沢他	不明	502
2343	塚	逆谷樺沢の塚2号	三島	逆谷字樺沢	不明	503
2344	塚	逆谷樺沢の塚3号	三島	逆谷字樺沢	不明	504
2345	塚	鳥越城跡の塚1号	三島	七日市字城	不明	505
2346	塚	鳥越城跡の塚2号	三島	七日市字城	不明	506
2347	塚	鳥越城跡の塚3号	三島	七日市字西平	不明	507
2348	塚	袖ヶ谷の塚	三島	宮沢字袖ヶ谷（与板町楨原との境界）	不明	508
2349	石塔	法華寺の五輪塔	三島	蓮花寺字油田	江	509
2350	社寺跡	曼陀羅寺跡	三島	逆谷字深山	中世	510
2351	遺物包含地	樽井川	三島	上岩井	旧	511
2352	遺物包含地	原の	三島	鳥越	縄	512
2353	遺物包含地	釜が入り	三島	蓮花寺	縄	513
2354	遺物包含地	千保	三島	上条	縄	514
2355	遺物包含地	北川内	三島	蓮花寺字北川内	縄	515
2356	遺物包含地	百山	三島	上岩井	縄・平	516

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2357	遺物包含地	上向	三島	鳥越	縄・平	517
2358	遺物包含地	しぐれ山	三島	上岩井	古代	518
2359	遺物包含地	舟沢A	三島	気比宮	古代	519
2360	遺物包含地	舟沢B	三島	気比宮	古代	520
2361	遺物包含地	御堂平	三島	上岩井	平	521
2362	窯跡	城の谷窯跡	三島	鳥越	平	522
2363	経塚	気比神社経塚	三島	気比宮	平	523
2364	経塚	七社宮経塚	三島	蓮花寺	平・室	524
2365	塚	しろやま大塚	三島	脇野町	不明	525
2366	塚	熊ノ木経塚	三島	気比宮字熊ノ木	中世	526
2367	塚	上の平経塚	三島	上岩井	不明	527
2368	塚	榎木の五ツ塚1号	三島	逆谷	不明	528
2369	城館跡	笠拔城跡	三島	逆谷字備後	南～戦	529
2370	塚	南山の塚	三島	気比宮字南山	不明	530
2371	塚	東河内地蔵堂脇の1号塚	三島	逆谷字東河内	不明	531
2372	塚	東河内地蔵堂脇の2号塚	三島	逆谷字東河内	不明	532
2373	塚	東河内地蔵堂脇の3号塚	三島	逆谷字東河内	不明	533
2374	塚	大永寺墓地の塚	三島	鳥越字長蓮寺	不明	534
2375	城館跡	三条山城跡	三島	中永字国地田	不明	535
2376	遺物包含地	小沢	三島	気比宮字小沢	平	536
2377	遺物包含地	赤木	山古志	山古志東竹沢乙（字赤木）	縄	537
2378	遺物包含地	蛇沢	山古志	山古志種芋原字蛇沢	縄	538
2379	城館跡	大谷地城跡	山古志	山古志大谷地字城山	南	539
2380	城館跡	小松倉城跡	山古志	山古志東竹沢字小松倉	室	540
2381	遺物包含地	納ヶ島	小国	小国町三桶字納ヶ島	縄	541
2382	遺物包含地	郷土山	小国	小国町苔野島字郷土山	縄	542
2383	遺物包含地	水吉	小国	小国町法末字水吉	縄	543
2384	遺物包含地	池田	小国	小国町法末字池田	縄	544
2385	遺物包含地	法坂	小国	小国町法坂字南平	縄	545
2386	遺物包含地	新町上の原	小国	小国町新町字上の原	縄	546
2387	遺物包含地	国沢	小国	小国町武石字国沢	縄	547
2388	集落跡	延命寺が原	小国	小国町太郎丸字大原	縄	548
2389	城館跡	小国沢城跡	小国	小国町檜沢字菅沼他	鎌～戦	549
2390	城館跡	釜ヶ入城跡	小国	小国町七日町字城ノ沢	南～戦	550
2391	城館跡	大脇城跡	小国	小国町横沢字大脇	鎌～戦	551

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2392	城館跡	諏訪井城跡	小国	小国町諏訪井字岩ノ入	南～戦	552
2393	城館跡	大沢城跡	小国	小国町小千沢字古城	南～戦	553
2394	城館跡	武石城跡	小国	小国町武石字外の沢	南～戦	554
2395	城館跡	鳥屋城跡	小国	小国町七日町字城ノ沢	南～戦	555
2396	城館跡	桐沢城跡	小国	小国町桐沢字古城・法字北沢	南～戦	556
2397	城館跡	原城跡	小国	小国町原字休ノ入	南～戦	557
2398	城館跡	苔野島	小国	小国町苔野島字川向	南～戦	558
2399	城館跡	御館跡	小国	小国町千谷沢字鷺之島居平	戦～	559
2400	塚	大塔塚	小国	小国町苔野島	不明	560
2401	遺物包含地	森光上の原	小国	小国町森光字上の原	縄	561
2402	遺物包含地	坊屋敷	小国	小国町上岩田字坊屋敷	縄	562
2403	遺物包含地	上の平	小国	小国町苔野島字上の平	縄	563
2404	古銭出土地	坊屋敷古銭出土地	小国	小国町原字坊屋敷	不明	564
2405	遺物包含地	上居平	小国	小国町七日町字上居平	縄	565
2406	遺物包含地	大官免	小国	小国町桐沢字大官免	縄	566
2407	遺物包含地	岩平	小国	小国町上村字岩平	縄	567
2408	遺物包含地	平原	小国	小国町鷺之島字平原	縄	568
2409	遺物包含地	押切	小国	小国町押切字万日平	縄	569
2410	遺物包含地	袋の原	小国	小国町原字袋の原	縄	570
2411	遺物包含地	西巻	小国	小国町上岩田字上の原	古墳	571
2412	遺物包含地	桜ヶ岡	小国	小国町原字桜ヶ岡	平	572
2413	遺物包含地	刈干山	小国	小国町小栗山字源明	縄	573
2414	石塔	七日町の五輪塔	小国	小国町七日町字下居平	中世	574
2415	遺物包含地	ハバムキ	小国	小国町七日町字下居平	縄	575
2416	遺物包含地	武石じゃのげ	小国	小国町武石字外の沢	縄	576
2417	遺物包含地	相野原上ノ原	小国	小国町相野原字上ノ原	縄	577
2418	遺物包含地	上小屋	小国	小国町楯沢字上小屋	縄	578
2419	遺物包含地	堂平	小国	小国町新町字堂平	縄	579
2420	遺物包含地	入鳥場	小国	小国町新町字入鳥場	縄	580
2421	遺物包含地	野田	小国	小国町太郎丸字浦田	縄	581
2422	遺物包含地	宮原	小国	小国町諏訪井字クネガラミ	縄	582
2423	遺物包含地	乙の平	小国	小国町原字細田・平	縄	583
2424	遺物包含地	五日平	小国	小国町太郎丸字五日平	縄	584
2425	遺物包含地	厚刈	小国	小国町苔野島字厚刈	縄	585

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2426	城館跡	上村城跡	小国	小国町横沢字岩手	南～戦	586
2427	城館跡	箕輪山城	小国	小国町横沢字箕輪	南～戦	587
2428	城館跡	白清水城	小国	小国町横沢字大金沢	南～戦	588
2429	城館跡	城	小国	小国町法坂字北平	鎌～戦	589
2430	城館跡	法坂城跡	小国	小国町法坂字南沢	鎌～戦	590
2431	城館跡	猿橋城跡	小国	小国町小栗山字龍ノ入	鎌～戦	591
2432	城館跡	延命寺城跡	小国	小国町小国沢字延命寺	鎌～戦	592
2433	城館跡	小栗山城跡	小国	小国町小栗山字殿入	南～戦	593
2434	城館跡	小国城跡	小国	小国町太郎丸字上ノ山	鎌～戦	594
2435	城館跡	法末城跡	小国	小国町法末字沢中	室～戦	595
2436	城館跡	源明城跡	小国	小国町小栗山字源明	南～戦	596
2437	城館跡	崩沢城跡	小国	小国町太郎丸字崩沢	南～戦	597
2438	城館跡	増沢城跡	小国	小国町原字水沢	南～戦	598
2439	城館跡	三桶城跡	小国	小国町大貝舟ヶ島	南～戦	599
2440	遺物包含地	野田東	小国	小国町太郎丸字野田	平	600
2441	遺物包含地	浦田	小国	小国町太郎丸字浦田	平	601
2442	遺物包含地	築先	小国	小国町七日町字築先	平・中世・近世	602
2443	散布地	水上	小国	小国町新町字水上	弥・平・中世・近世	603
2444	集落跡	上段	小国	小国町相野原	中世・近世	604
2445	遺物包含地	榎町	長岡	宮下町字榎町他	弥・古墳・平	605
2446	遺物包含地	古村	長岡	富島町字古村他	平	606
2447	遺物包含地	浅田	長岡	富島町字浅田	弥・古墳	607
2448	遺物包含地	盲田	長岡	富島町字盲田他	平・中世	608
2449	遺物包含地	五百刈	長岡	富島町字五百刈他	弥・古墳・平・中世	609
2450	遺物包含地	抜間	長岡	富島町字抜間	古代	610
2451	遺物包含地	西八町	長岡	富島町字西八町	古代	611
2452	遺物包含地	島田	栃尾	本津川字島田	縄	612
2453	遺物包含地	杜々森	栃尾	西中野俣字東又	縄	613

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2454	遺物包含地	菅畑野田	栃尾	菅畑字野田	縄	614
2455	遺物包含地	大川戸北	栃尾	大川戸	縄	615
2456	遺物包含地	十二山	栃尾	菅畑（通称十二山）	縄	616
2457	遺物包含地	柿ノ木田	栃尾	菅畑字柿ノ木田	縄	617
2458	遺物包含地	田中島	栃尾	菅畑字田中島	縄	618
2459	遺物包含地	堤返り	栃尾	菅畑字堤返り	縄	619
2460	遺物包含地	宮中	栃尾	上榎出字宮中	縄	620
2461	遺物包含地	上榎出向山	栃尾	上榎出字向山	縄	621
2462	遺物包含地	熊袋	栃尾	熊袋字寅谷	縄	622
2463	遺物包含地	コヨミ	栃尾	入塩川字コヨミ	縄	623
2464	遺物包含地	法華塔	栃尾	入塩川	縄	624
2465	遺物包含地	大フナ	栃尾	入塩川字大フナ	縄	625
2466	遺物包含地	大岡	栃尾	栃堀字大岡	縄	626
2467	遺物包含地	蕨山	栃尾	栃堀字蕨山	縄	627
2468	遺物包含地	下モ山	栃尾	北荷頃字下モ山	縄	628
2469	遺物包含地	金沢A	栃尾	金沢字片桐	縄	629
2470	遺物包含地	吉水	栃尾	吉水字堤北	縄	631
2471	遺物包含地	人面	栃尾	人面	縄	632
2472	遺物包含地	幸九郎	栃尾	熊袋（通称幸九郎）	縄	633
2473	遺物包含地	上塩上の山	栃尾	上塩字上ノ山	縄	634
2474	遺物包含地	野中	栃尾	山葵谷字野中	縄	635
2475	遺物包含地	小貫	栃尾	小貫字寺沢	縄	636
2476	遺物包含地	菅谷内	栃尾	本津川字菅谷内	縄	637
2477	遺物包含地	天下島	栃尾	天下島字諏訪林	縄	638
2478	遺物包含地	下埋田	栃尾	吉水字下埋田	縄	639
2479	遺物包含地	中崎	栃尾	北荷頃字中崎	縄	640
2480	遺物包含地	赤助B	栃尾	栃堀字赤助（村上）	縄	641
2481	遺物包含地	崩	栃尾	金沢字崩	縄	642
2482	遺物包含地	十三塚	栃尾	金沢字十三塚	縄	643
2483	遺物包含地	土ヶ谷	栃尾	土ヶ谷	縄	644
2484	遺物包含地	大川戸南	栃尾	大川戸	縄	645
2485	遺物包含地	横吹	栃尾	菅畑字横吹	縄	646
2486	遺物包含地	小向	栃尾	小向	縄	647

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2487	遺物包含地	三角A	栃尾	下塩字三角	縄	648
2488	遺物包含地	村上	栃尾	熊袋字村上	縄	649
2489	遺物包含地	下埋田北	栃尾	山屋字上の原	縄	650
2490	遺物包含地	塩新町	栃尾	塩新町字堀之内	縄	651
2491	遺物包含地	本所	栃尾	本所	縄	652
2492	遺物包含地	仲山	栃尾	入塩川字仲山	縄	653
2493	遺物包含地	吹谷	栃尾	吹谷	縄	654
2494	遺物包含地	栃尾岩野	栃尾	岩野	縄	655
2495	遺物包含地	赤助A	栃尾	栃堀字赤助（村上）	縄	656
2496	遺物包含地	石倉	栃尾	上塩字石橋	縄	657
2497	遺物包含地	金沢B	栃尾	金沢字片桐	縄	658
2498	遺物包含地	寺尾	栃尾	栃堀字寺尾	縄	659
2499	遺物包含地	大川戸東	栃尾	大川戸	縄	660
2500	遺物包含地	菅畑前田A	栃尾	菅畑字前田	縄	661
2501	遺物包含地	一之貝	栃尾	一之貝	縄	662
2502	遺物包含地	仲崎	栃尾	入塩川字仲崎	縄	663
2503	遺物包含地	下榎出南	栃尾	上榎出	縄	664
2504	遺物包含地	下榎出北	栃尾	下堅出	縄	665
2505	遺物包含地	下塩北	栃尾	下塩	縄	666
2506	遺物包含地	梅野俣	栃尾	梅野俣	縄	667
2507	遺物包含地	九川	栃尾	九川	縄	668
2508	遺物包含地	葎谷	栃尾	葎谷	縄	669
2509	遺物包含地	外野	栃尾	入塩川	縄	670
2510	遺物包含地	門松	栃尾	北荷頃字門松	縄	671
2511	遺物包含地	雷	栃尾	雷	縄	672
2512	遺物包含地	沖布	栃尾	上塩字沖布	縄	673
2513	遺物包含地	競馬場	栃尾	本津川	縄	674
2514	遺物包含地	菅畑前田B	栃尾	菅畑字前田	弥	675
2515	遺物包含地	三角B	栃尾	下塩字三角	縄・室	676
2516	遺物包含地	菅畑前田C	栃尾	菅畑字前田	古代	677
2517	遺物包含地	赤助C	栃尾	栃堀字赤助（村上）	古代	678
2518	社寺跡	瑞麟寺跡	栃尾	宮沢字瑞林寺	室	679
2519	塚	岩ノ原の古墳	栃尾	楡原字岩ノ原	室	680
2520	城館跡	塩新町城跡	栃尾	塩新町字板井堀	室	682

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2521	城館跡	二日町城跡	栃尾	二日町字滝の沢	室	683
2522	石塔	大坂の石塔	栃尾	山葵谷字大坂	安	684
2523	石塔	炭田の供養塔	栃尾	入塩川小字炭田甲	江	685
2524	社寺跡	熊袋の寺院跡	栃尾	熊袋字村上（寅谷）	不明	686
2525	遺物包含地	境沢	栃尾	栃堀字境沢	不明	687
2526	遺物包含地	半蔵金	栃尾	半蔵金	縄	688
2527	遺物包含地	村上B	栃尾	熊袋	縄	689
2528	遺物包含地	上塩上の山B	栃尾	上塩谷	縄	690
2529	遺物包含地	上八原	栃尾	上塩字上八原	縄	691
2530	散布地	入塩川下屋敷	栃尾	入塩川字下屋敷	縄	692
2531	遺物包含地	石畑	栃尾	本所字石畑	縄	693
2532	遺物包含地	四万沢	栃尾	本所字四万沢	縄	694
2533	散布地	上ノ原A	栃尾	大川戸字上ノ原	縄	695
2534	散布地	上ノ原B	栃尾	大川戸字上ノ原	縄	696
2535	遺物包含地	上ノ原C	栃尾	大川戸字上ノ原	縄	697
2536	遺物包含地	上ノ原D	栃尾	大川戸字上ノ原	縄	698
2537	遺物包含地	増土守	栃尾	一之貝字増土守	縄	699
2538	遺物包含地	野田B	栃尾	菅畑字野田	縄	700
2539	板碑	熊袋板碑群	栃尾	熊袋	室	701
2540	板碑	梅野侯板碑	栃尾	梅野侯	室	702
2541	板碑	下塩板碑	栃尾	下塩字内山	室・安	703
2542	石造物	妙楽寺五輪塔	栃尾	栃堀	室	704
2543	石塔	入塩川石塔	栃尾	入塩川（通称古屋敷）	南	705
2544	城館跡	栃尾館跡	栃尾	栃尾大野町字城久保	不明	706
2545	城館跡	西中野侯城跡	栃尾	西中野侯字沢向	南？	707
2546	城館跡	栃堀城跡	栃尾	栃堀字上阿寺沢他	戦	708
2547	城館跡	荷頃城跡	栃尾	北荷頃字野田ヶ沢	南？	709
2548	城館跡	落合城跡	栃尾	文納字久保山	戦	710
2549	城館跡	二日町館跡	栃尾	二日町字山本他	不明	711
2550	城館跡	赤谷城跡	栃尾	赤谷字西山	戦	712
2551	城館跡	田之口城跡	栃尾	田之口字白禿	戦	713
2552	城館跡	山葵谷城跡	栃尾	山葵谷字堀切他	戦？	714
2553	城館跡	人面城跡	栃尾	人面字城ノ腰	戦？	715
2554	城館跡	松尾城跡	栃尾	来伝字西郡	南～戦	716
2555	城館跡	塩川城跡	栃尾	入塩川字関ノ上他	戦？	717
2556	城館跡	森上城跡	栃尾	森上字鈴畠	戦？	718
2557	城館跡	天下島城跡	栃尾	天下島字諏訪林	不明	719

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2558	城館跡	小貫館跡	栃尾	小貫字殿屋敷	不明	720
2559	城館跡	塩新町館跡	栃尾	塩新町字堀の内	不明	721
2560	城館跡	虎谿城跡	栃尾	熊袋字寅谷甲他	戦	722
2561	遺物包含地	几シ沢	栃尾	律谷字几シ沢	縄	723
2562	遺物包含地	十二沢	栃尾	比礼字十二沢	縄	724
2563	遺物包含地	三角C	栃尾	下塩字三角	縄・室	725
2564	遺物包含地	丘ノ前	栃尾	下塩字丘ノ前	平・室	726
2565	板碑	二日町板碑	栃尾	二日町字滝の沢	安	727
2566	遺物包含地	川原田	栃尾	下塩字川原田	縄	728
2567	城館跡	倉下城跡	栃尾	本津川字倉下	戦？	729
2568	遺物包含地	八方台（大谷内）	栃尾	一之貝字大谷内	縄	730
2569	板碑	熊袋美沢板碑	栃尾	熊袋字美沢	中世	731
2570	塚	四ッ割塚	栃尾	栃尾島田字四ッ割	不明	732
2571	塚	大割塚	栃尾	栃尾島田字大割	不明	733
2572	塚	荒田1号塚	栃尾	平中野侯字荒田	不明	734
2573	塚	荒田2号塚	栃尾	平中野侯字荒田	不明	735
2574	塚	荒田3号塚	栃尾	平中野侯字荒田	不明	736
2575	集落跡	四ッ割	栃尾	栃尾島田字四ッ割	不明	737
2576	石仏	長太郎薬師	栃尾	北稻頃字高森	近世	738
2577	塚	井田塚	栃尾	律谷字井田	不明	739
2578	遺物包含地	下稻場	与板	与板町榎原字下稻場	縄	741
2579	遺物包含地	八幡公園	与板	与板町与板	縄	742
2580	遺物包含地	岩方（中沢）	与板	与板町岩方字中沢	縄	743
2581	遺物包含地	上稻場	与板	与板町榎原字上稻場	縄・古代	744
2582	遺物包含地	塩之入	与板	与板町本与板	縄	745
2583	塚	陣ヶ峯の塚1号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入	不明	748
2584	塚	陣ヶ峯の塚2号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入	不明	749
2585	塚	陣ヶ峯の塚3号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入	不明	750
2586	城館跡	当ノ浦城跡	与板	与板町本与板字当ノ浦	戦	751
2587	塚	岩方大塚	与板	与板町岩方字雷塚	不明	752
2588	塚	坂ノ下1号塚	与板	与板町馬越字坂ノ下	不明	753
2589	塚	坂ノ下2号塚	与板	与板町馬越字坂ノ下	不明	754
2590	塚	大坂塔婆塚	与板	与板町本与板字荻岩井	不明	755
2591	塚	鷹ヶ入塚	与板	与板町馬越字北谷・七十刈	不明	756
2592	塚	下の峯塚群1号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	757
2593	塚	下の峯塚群2号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	758

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2594	塚	下の峯塚群 3 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	759
2595	塚	下の峯塚群 4 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	760
2596	塚	下の峯塚群 5 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	761
2597	塚	下の峯塚群 6 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	762
2598	塚	下の峯塚群 7 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	763
2599	塚	下の峯塚群 8 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	764
2600	塚	下の峯塚群 9 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	765
2601	塚	下の峯塚群 10 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	766
2602	塚	下の峯塚群 11 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	767
2603	塚	下の峯塚群 12 号	与板	与板町山沢字下ノ峯	不明	768
2604	塚	泉町山の塚群 1 号	与板	与板町与板	不明	769
2605	塚	泉町山の塚群 2 号	与板	与板町与板	不明	770
2606	塚	泉町山の塚群 3 号	与板	与板町与板	不明	771
2607	塚	泉町山の塚群 4 号	与板	与板町与板	不明	772
2608	塚	泉町山の塚群 5 号	与板	与板町与板	不明	773
2609	塚	泉町山の塚群 6 号	与板	与板町与板	不明	774
2610	塚	泉町山の塚群 7 号	与板	与板町与板	不明	775
2611	塚	泉町山の塚群 8 号	与板	与板町与板	不明	776
2612	塚	泉町山の塚群 9 号	与板	与板町与板	不明	777
2613	塚	泉町山の塚群 10 号	与板	与板町与板	不明	778
2614	塚	泉町山の塚群 11 号	与板	与板町与板	不明	779
2615	塚	泉町山の塚群 12 号	与板	与板町与板	不明	780
2616	塚	泉町山の塚群 13 号	与板	与板町与板	不明	781
2617	塚	泉町山の塚群 14 号	与板	与板町与板	不明	782
2618	塚	荻岩井の塚群 1 号	与板	与板町本与板字荻岩井西萱河内	不明	783
2619	塚	荻岩井の塚群 2 号	与板	与板町本与板字荻岩井西萱河内	不明	784
2620	製鉄跡	扇田たたら	与板	与板町岩方字扇田(スベリ下タ)	不明	785
2621	製鉄跡	鍛冶地たたら	与板	与板町岩方字中沢鍛冶地	不明	786
2622	塚	御経塚(石取山)	与板	与板町馬越字石取山	不明	787
2623	塚	御経塚(七十刈)	与板	与板町馬越字七十刈	不明	788
2624	塚	箸塚	与板	与板町本与板字河内ノ入箸塚	不明	789
2625	塚	田上の塚 1 号塚	与板	与板町模原字竹河内田上	不明	790
2626	塚	田上の塚 2 号塚	与板	与板町模原字竹河内田上	不明	791

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2627	塚	田上の塚 3 号塚	与板	与板町模原字竹河内田上	不明	792
2628	塚	才六山塚群 1 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	793
2629	塚	才六山塚群 2 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	794
2630	塚	才六山塚群 3 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	795
2631	塚	才六山塚群 4 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	796
2632	塚	才六山塚群 5 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	797
2633	塚	才六山塚群 6 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	798
2634	塚	才六山塚群 7 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	799
2635	塚	才六山塚群 8 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	800
2636	塚	才六山塚群 9 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	801
2637	塚	才六山塚群 10 号塚	与板	与板町模原字横尾河内	不明	802
2638	塚	才六山塚群 11 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	803
2639	塚	才六山塚群 12 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	804
2640	塚	才六山塚群 13 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	805
2641	塚	才六山塚群 14 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	806
2642	塚	才六山塚群 15 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	807
2643	塚	才六山塚群 16 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	808
2644	塚	才六山塚群 17 号塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	809
2645	塚	大場坂の塚	与板	与板町模原字竹ノ河内大場坂	不明	810
2646	遺物包含地	美ノ輪	与板	与板町本与板字荻岩井	平	811
2647	塚	模原・逆谷境界の塚	与板	与板町模原字竹ノ河内	不明	812
2648	塚	薦ヶ入 2 号塚	与板	与板町馬越字薦ヶ入	不明	813
2649	塚	七曲頂上の 1 号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入・七曲り	不明	814
2650	塚	七曲頂上の 2 号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入・七曲り	不明	815
2651	城館跡	中村館跡	与板	与板町南中字川西	不明	816
2652	石塔	滝谷の宝篋印塔	与板	与板町本与板字滝谷	不明	817
2653	遺物包含地	万右工門屋敷	与板	与板町本与板字塩ノ入	平・中世	818
2654	社寺跡	殿上庵跡	与板	与板町模原字北河内	不明	819
2655	塚	美ノ輪の塚	与板	与板町本与板字荻岩井	中世	820
2656	製鉄跡	夏井入	与板	与板町模原字夏井入	古代	821
2657	古銭出土地	柳之町古銭出土地	与板	与板町与板字柳之町乙	平～中世	822
2658	遺物包含地	若の浦一本松	和島	若の浦	縄	823
2659	遺物包含地	高稲場	和島	日野浦字イラバ	縄	824
2660	遺物包含地	大稲場	和島	北野字大稲場他	縄	825

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2661	遺物包含地	十二	和島	小島谷字十二	縄	826
2662	遺物包含地	奈良崎	和島	島崎字奈良崎・小谷	縄・弥・古墳・古代・中世	827
2663	遺物包含地	沖の坪	和島	下富岡字沖の坪	縄	828
2664	遺物包含地	坂谷	和島	保内字西保内	弥	829
2665	遺物包含地	松の脇	和島	三瀬ヶ谷字松の脇	不明	830
2666	遺物包含地	上桐の神社裏	和島	上桐字桐畑	不明	831
2667	遺物包含地	梅田	和島	梅田字砂田	不明	832
2668	遺物包含地	北野城	和島	和島北野字城	不明	833
2669	遺物包含地	上畑	和島	北野字上畑	古代	834
2670	遺物包含地	北野大平	和島	和島北野字大平	古代	835
2671	集落跡	下ノ西	和島	小島谷字下の西	縄・飛〜平・中世	836
2672	遺物包含地	オクマンサマ	和島	籠田字椿の森	古代	838
2673	遺物包含地	中蔵	和島	籠田字中蔵・後田	古代	839
2674	遺物包含地	和島中道	和島	和島北野字中道	古代	840
2675	遺物包含地	北辰中学校	和島	小島谷	平	841
2676	城館跡	小島谷城跡	和島	小島谷字殿稲葉	鎌	842
2677	城館跡	上桐城跡	和島	上桐字城山	室	843
2678	城館跡	村岡城跡	和島	落水字川内ヶ入・城の腰	室	844
2679	塚	経塚(あっちむら)1号	和島	日野浦字センマイ田	不明	845
2680	塚	経塚(あっちむら)2号	和島	日野浦字センマイ田	不明	846
2681	塚	経塚(あっちむら)3号	和島	日野浦字センマイ田	不明	847
2682	塚	いらば経塚	和島	日野浦字いらば	不明	848
2683	塚	六方部塚	和島	落水字堀の腰	不明	849
2684	塚	北野大平塚	和島	北野字大平	不明	850
2685	塚	大稲場塚	和島	北野字稲場	不明	851
2686	塚	下富岡十三塚1号塚	和島	下富岡字西山	不明	852
2687	塚	天ヶ谷の塚	和島	上桐字天ヶ谷	不明	853
2688	製鉄跡	かなくそ山	和島	村田字カナクソ	不明	854
2689	製鉄跡	坂谷金山	和島	坂谷字元乗光寺	不明	855
2690	製鉄跡	坂谷金山(飯塚)	和島	坂谷字飯塚	不明	856

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2691	遺物包含地	城の丘	和島	落水(城の丘)	不明	857
2692	塚	中沢丸山塚	和島	和島中沢字吉洲	不明	858
2693	遺物包含地	欠上り	和島	高畑字欠上り	縄	859
2694	塚	北野丸山塚	和島	和島北野字丸山	不明	860
2695	塚	荒巻塚群1号塚	和島	荒巻	不明	861
2696	塚	八幡林1号塚	和島	島崎	不明	862
2697	塚	島崎塚	和島	島崎	不明	863
2698	塚	島崎大塚	和島	島崎字大塚	不明	864
2699	塚	吉田塚1号塚	和島	吉田	不明	865
2700	塚	大平1号塚(島崎)	和島	島崎(大平)	不明	866
2701	塚	荒巻大平1号塚	和島	荒巻字大平	不明	867
2702	塚	荒巻大平2号塚	和島	荒巻字大平	不明	868
2703	塚	石原1号塚	和島	小島谷字石原	不明	869
2704	塚	石原2号塚	和島	小島谷字石原	不明	870
2705	塚	石原3号塚	和島	小島谷字石原	不明	871
2706	塚	奈良崎塚	和島	島崎字小谷	不明	872
2707	城館跡	奈良崎城跡	和島	島崎字奈良崎	南	873
2708	城館跡	高畑城跡	和島	高畑字入山	南	874
2709	製鉄跡	金くそ	和島	黒坂字金くそ	不明	875
2710	塚	桐原石部神社境内の塚	和島	上桐	不明	876
2711	塚	三角点塚群1号	和島	御布施三角点	不明	877
2712	塚	三角点塚群2号	和島	御布施三角点	不明	878
2713	塚	三角点塚群3号	和島	御布施三角点	不明	879
2714	塚	三角点塚群4号	和島	御布施三角点	不明	880
2715	塚	後谷の塚	和島	小島谷字後谷	不明	881
2716	塚	東の峯塚群1号	和島	小島谷字下小島谷	不明	882
2717	塚	東の峯塚群2号	和島	小島谷字下小島谷	不明	883
2718	塚	東の峯塚群3号	和島	小島谷字下小島谷	不明	884
2719	塚	東の峯塚群4号	和島	小島谷字下小島谷	不明	885
2720	塚	東の峯塚群5号	和島	小島谷字下小島谷	不明	886
2721	塚	東の峯塚群6号	和島	小島谷字下小島谷	不明	887
2722	塚	東の峯塚群7号	和島	小島谷字下小島谷	不明	888
2723	塚	塔場の塚1号	和島	阿弥陀瀬字塔場	不明	889
2724	塚	塔場の塚2号	和島	阿弥陀瀬字塔場	不明	890
2725	塚	山谷御経塚群1号	和島	島崎字山谷	不明	891

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2726	塚	山谷御経塚群2号	和島	島崎字山谷	不明	892
2727	塚	山谷御経塚群3号	和島	島崎字山谷	不明	893
2728	塚	別当谷の塚	和島	下富岡字別当谷	不明	894
2729	塚	中山お経塚	和島	下富岡字中山経塚	不明	895
2730	塚	下小島谷の塚	和島	小島谷字下小島谷	不明	896
2731	社寺跡	円入寺跡	和島	小島谷字下ノ東円入寺	不明	897
2732	製鉄跡	東ノ入金くそ	和島	下富岡字東ノ入かなくそ	不明	898
2733	塚	東の峯8号塚	和島	小島谷字下小島谷	不明	899
2734	塚	下の東1号塚	和島	小島谷字下の東	不明	900
2735	塚	下の東2号塚	和島	小島谷字下の東	不明	901
2736	塚	下の東3号塚	和島	小島谷字下の東	不明	902
2737	塚	下の東4号塚	和島	小島谷字下の東	不明	903
2738	塚	下の東5号塚	和島	小島谷字下の東	不明	904
2739	塚	下の東6号塚	和島	小島谷字下の東	不明	905
2740	塚	下の東7号塚	和島	小島谷字下の東	不明	906
2741	塚	下の東8号塚	和島	小島谷字下の東	不明	907
2742	塚	下の東9号塚	和島	小島谷字下の東	不明	908
2743	塚	下の東10号塚	和島	小島谷字下の東	不明	909
2744	塚	下の東11号塚	和島	小島谷字下の東	不明	910
2745	塚	下の東12号塚	和島	小島谷字下の東	不明	911
2746	塚	城ノ腰の塚1号塚	和島	村田字城ノ腰	不明	912
2747	塚	高畑お経塚	和島	和島高畑字お経塚	不明	913
2748	塚	峠の塚1号	和島	上桐字峠	不明	914
2749	塚	円蔵寺塚	和島	和島中沢円蔵寺字シャカンドウ	不明	915
2750	塚	灰塚	和島	阿弥陀瀬字寺谷	不明	916
2751	塚	見立山の塚	和島	日野浦字熊高見立山	不明	917
2752	塚	熊高の塚1号	和島	日野浦字熊高	不明	918
2753	塚	若ノ浦経塚1号	和島	若野浦字経塚	不明	919
2754	塚	若ノ浦経塚2号	和島	若野浦字経塚	不明	920
2755	塚	若ノ浦経塚3号	和島	若野浦字経塚	不明	921
2756	塚	宿屋の経塚	和島	落水字宿屋	不明	922
2757	塚	宿屋塚	和島	落水字宿屋	不明	923
2758	塚	双子塚1号塚	和島	島崎小谷字立野	不明	924
2759	塚	双子塚2号塚	和島	島崎小谷字立野	不明	925

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2760	遺物包含地	赤坂	和島	上桐字赤坂	平・弥生	926
2761	城館跡	中村城跡	和島	和島中沢字中村	戦	927
2762	城館跡	北野城跡	和島	和島北野字城	南～戦	928
2763	塚	戦武塚群1号塚	和島	辺張字岡田	不明	929
2764	塚	戦武塚群2号塚	和島	辺張字岡田	不明	930
2765	塚	戦武塚群3号塚	和島	辺張字岡田	不明	931
2766	塚	戦武塚群4号塚	和島	辺張字岡田	不明	932
2767	塚	戦武塚群5号塚	和島	辺張字岡田	不明	933
2768	塚	戦武塚群6号塚	和島	辺張字岡田	不明	934
2769	塚	荒巻塚群2号塚	和島	荒巻	不明	935
2770	塚	荒巻塚群3号塚	和島	荒巻	不明	936
2771	塚	荒巻塚群4号塚	和島	荒巻	不明	937
2772	塚	荒巻塚群5号塚	和島	荒巻	不明	938
2773	塚	荒巻塚群6号塚	和島	荒巻	不明	939
2774	塚	大平2号塚(島崎)	和島	島崎(大平)	不明	940
2775	塚	峠の塚2号	和島	上桐字峠	不明	941
2776	塚	八幡林2号塚	和島	島崎	不明	942
2777	塚	吉田塚2号塚	和島	吉田	不明	943
2778	塚	笹塚	和島	荒巻字本郷笹塚	不明	944
2779	塚	仏山ノ塚	和島	根小屋字仏山	不明	945
2780	塚	北野大塚	和島	三瀬ヶ谷と北野の境界	不明	946
2781	塚	上桐金塚	和島	上桐字峠金塚	不明	947
2782	遺物包含地	基石ヶ入	和島	黒坂字基石ヶ入	縄	948
2783	城館跡	高森城跡	和島	両高字腰巻	南	949
2784	城館跡	丸山城跡	和島	和島北野字丸山・館	不明	950
2785	塚	北野丸山2号塚	和島	和島北野字丸山	不明	951
2786	城館跡	矢場砦跡	和島	和島中沢字稲場・矢場	不明	952
2787	塚	西福寺裏山塚	和島	和島中沢字川向い	不明	953
2788	塚	狐塚1号	和島	下富岡字大山(鷹ヶ峰)	不明	954
2789	塚	狐塚2号	和島	下富岡字大山(鷹ヶ峰)	不明	955
2790	塚	狐塚3号	和島	下富岡字大山(鷹ヶ峰)	不明	956
2791	社寺跡	法善寺跡	和島	島崎字上法善寺町	不明	958
2792	社寺跡	海門寺跡	和島	和島高畑字入山	不明	959
2793	製鉄跡	無入製鉄跡	和島	和島高畑字無入	不明	960
2794	製鉄跡	乗光寺入製鉄跡	和島	坂谷字乗光寺入	不明	961
2795	製鉄跡	小田ヶ入製鉄跡	和島	坂谷字小田ヶ入	不明	962

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2796	塚	柳田の塚 1号	和島	阿弥陀瀬字柳田	不明	963
2797	塚	柳田の塚 2号	和島	阿弥陀瀬字柳田	不明	964
2798	塚	清水の塚 1号	和島	島崎字清水	不明	965
2799	塚	清水の塚 2号	和島	島崎字清水	不明	966
2800	塚	乗光寺入山頂の塚 1号	和島	坂谷字乗光寺入	不明	967
2801	塚	城塚の塚	和島	坂谷字城塚	不明	968
2802	塚	乗光寺裏山の塚	和島	両高字坂谷	不明	969
2803	塚	鍋かぶり塚	和島	両高字高月	不明	970
2804	塚	海円寺跡の塚	和島	和島高畑字入山	不明	971
2805	塚	台場の塚 1号	和島	若野浦字経塚	不明	972
2806	塚	台場の塚 2号	和島	若野浦字経塚	不明	973
2807	塚	お布施の塚	和島	辺張北組字お布施	不明	974
2808	塚	城の上の大塚	和島	和島北野字城	不明	975
2809	塚	下小島谷古墳群 2号墳	和島	下小島谷	不明	976
2810	塚	下小島谷古墳群 1号墳	和島	下小島谷	不明	977
2811	塚	下小島谷古墳群 3号墳	和島	下小島谷	不明	978
2812	石塔	海円寺跡の五輪塔群	和島	和島高畑字入山	不明	979
2813	石塔	下小島谷の石造遺物群	和島	下小島谷	不明	980
2814	石塔	樋浦家墓地の五輪塔群	和島	和島高畑字入山	不明	981
2815	製鉄跡	立野	和島	島崎小谷字立野	不明	982
2816	塚	池ノ上塚	和島	島崎小谷字池ノ上	不明	983
2817	社寺跡	妙満寺跡	和島	島崎小谷字立野	古代・中世・近世	984
2818	社寺跡	善釈寺跡	和島	島崎字駒林	不明	985
2819	社寺跡	千住寺跡	和島	和島中沢字千住寺	室?	986
2820	社寺跡	法正寺跡	和島	日野浦字千刈	不明	987
2821	遺物包含地	山田郷内	和島	山田郷内	不明	988
2822	塚	小谷御経塚	和島	小谷	不明	989
2823	城館跡	根小屋城跡	和島	根小屋字明神	南～戦	990
2824	城館跡	阿弥陀瀬城跡	和島	阿弥陀瀬字上ノ山	不明	991
2825	塚	神明高山 1号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	992
2826	塚	神明高山 2号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	993

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2827	塚	神明高山 3号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	994
2828	塚	神明高山 4号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	995
2829	塚	神明高山 5号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	996
2830	塚	神明高山 6号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	997
2831	塚	神明高山 7号塚	和島	根小屋字神明高山	不明	998
2832	製鉄跡	釜の沢製鉄跡	和島	島崎字釜の沢	不明	999
2833	製鉄跡	姥ヶ入製鉄	和島	島崎字姥ヶ入	縄・平	1000
2834	製鉄跡	立野大谷製鉄	和島	島崎字立野	中世	1001
2835	窯跡	イブヶ入窯跡	和島	上桐字イブヶ入	不明	1003
2836	遺物包含地	大武	和島	島崎字大武	縄・弥・古墳・中世	1004
2837	遺物包含地	門新	和島	上桐字門新	弥・古墳・平	1005
2838	遺物包含地	姥ヶ入南	和島	島崎字姥ヶ入・立野他	弥・古代	1006
2839	散布地	北野丸山	和島	和島北野字上田・丸山	縄・古墳・平	1007
2840	散布地	浦反甫	和島	島崎	平	1008
2841	遺物包含地	辺張	和島	東保内（辺張）地内	平	1009
2842	遺物包含地	五分一稲場	寺泊	寺泊五分一字稲場	縄・古墳・古代	1010
2843	遺物包含地	岩方大平	寺泊	寺泊田尻字南山・寺泊岩方字大平	縄	1011
2844	遺物包含地	兵九郎林	寺泊	寺泊矢田字五畝作	縄	1012
2845	遺物包含地	京ヶ入	寺泊	寺泊京ヶ入字殿林	縄・古代	1013
2846	遺物包含地	下桐松葉	寺泊	寺泊下桐字松葉	縄・古代	1014
2847	遺物包含地	山王 A	寺泊	寺泊下桐字土手上	縄	1015
2848	遺物包含地	雲出	寺泊	寺泊野積字高屋	縄	1016
2849	遺物包含地	堀切	寺泊	寺泊五分一字堀切	縄	1017
2850	遺物包含地	山王 B	寺泊	寺泊下桐字山王	縄	1018
2851	遺物包含地	渦端	寺泊	寺泊北曾根字大溜	縄	1019
2852	遺物包含地	午新田	寺泊	寺泊敦ヶ曾根字午新田	縄	1020
2853	遺物包含地	藤分	寺泊	寺泊敦ヶ曾根字藤分	縄	1021
2854	遺物包含地	経田	寺泊	寺泊敦ヶ曾根字作田	縄	1022
2855	遺物包含地	本山舞台島	寺泊	寺泊本山字舞台島	弥	1023

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2856	遺物包含地	古屋敷	寺泊	寺泊鰐口字大谷地	弥～古墳	1024
2857	古墳	庚塚	寺泊	寺泊竹森字横滝	古墳	1026
2858	古墳	横滝山舞台塚	寺泊	寺泊竹森字横滝	古墳	1027
2859	遺物包含地	五千石溜	寺泊	寺泊入軽井字五千石溜	古代	1028
2860	遺物包含地	音正寺	寺泊	寺泊入軽井字音正寺	古代	1029
2861	遺物包含地	松割観音畑	寺泊	寺泊入軽井字松割	古代	1030
2862	遺物包含地	谷地	寺泊	寺泊入軽井字谷地	古代	1031
2863	遺物包含地	杉の入	寺泊	寺泊入軽井字杉の入	古代	1032
2864	遺物包含地	五兵の畑	寺泊	寺泊入軽井字五兵衛	古代	1033
2865	遺物包含地	吉竹西	寺泊	寺泊夏戸字吉竹	古代	1034
2866	遺物包含地	柳橋	寺泊	寺泊五分一字柳橋	古代	1035
2867	遺物包含地	小谷地割	寺泊	寺泊五分一字小谷地割	古代	1036
2868	遺物包含地	ごめ	寺泊	寺泊五分一字残地割	古代	1037
2869	遺物包含地	竹森上向	寺泊	寺泊竹森字上向	古代	1038
2870	遺物包含地	中向	寺泊	寺泊竹森字上向	古代	1039
2871	遺物包含地	下向	寺泊	寺泊竹森字下向	古代	1040
2872	遺物包含地	かんろくら	寺泊	寺泊竹森字諏訪田	古代	1041
2873	遺物包含地	おくら	寺泊	寺泊竹森字諏訪田・小屋場	古代	1042
2874	遺物包含地	竹森池田	寺泊	寺泊竹森字池田	古代	1043
2875	遺物包含地	井の脇	寺泊	寺泊竹森字井の脇	古代	1044
2876	遺物包含地	京田三の割	寺泊	寺泊竹森字京田	古代	1045
2877	遺物包含地	京田寄割	寺泊	寺泊竹森字京田	古代	1046
2878	遺物包含地	鳥原田	寺泊	寺泊竹森字鳥原田	古代	1047
2879	遺物包含地	北曽根	寺泊	寺泊北曽根字日光畑	古代	1048
2880	遺物包含地	草薙	寺泊	寺泊小豆曽根	縄・弥・古墳・古代	1049
2881	遺物包含地	居屋敷	寺泊	寺泊小豆曽根字居屋敷	古代	1050
2882	遺物包含地	地藏の木	寺泊	寺泊小豆曽根字地藏の木	古代	1051
2883	遺物包含地	尻地	寺泊	寺泊小豆曽根字尻地	古代	1052
2884	遺物包含地	敦ヶ曽根狐塚	寺泊	寺泊敦ヶ曽根字狐塚	古代	1053
2885	遺物包含地	太屋敷	寺泊	寺泊敦ヶ曽根字太屋敷	古代	1054
2886	遺物包含地	山屋敷	寺泊	寺泊敦ヶ曽根字山屋敷	平	1055
2887	遺物包含地	堂山	寺泊	寺泊万善寺字大坪	不明	1056

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2888	海中	寺泊沖タラバ	寺泊	寺泊沖	不明	1057
2889	窯跡	弁戈天	寺泊	寺泊大地字小丸山・朴の木	平	1058
2890	窯跡	夏戸窯跡	寺泊	寺泊年友字中村	平	1059
2891	庭園	聚感園	寺泊	寺泊大町	鎌	1060
2892	井戸	日蓮上人硯石の霊泉	寺泊	寺泊大町	鎌	1061
2893	城館跡	高内城跡	寺泊	寺泊町軽井字尾瀬戸	南	1062
2894	塚	夏戸四ツ塚 1 号墳	寺泊	寺泊夏戸字城の腰	室	1063
2895	塚	夏戸四ツ塚 2 号墳	寺泊	寺泊夏戸字城の腰	室	1064
2896	塚	夏戸四ツ塚 3 号墳	寺泊	寺泊夏戸字城の腰	室	1065
2897	塚	四ツ塚 1 号墳	寺泊	寺泊入軽井字平軸	室	1066
2898	塚	四ツ塚 2 号墳	寺泊	寺泊入軽井字平軸	室	1067
2899	塚	四ツ塚 3 号墳	寺泊	寺泊入軽井字平軸	室	1068
2900	塚	四ツ塚 4 号墳	寺泊	寺泊入軽井字平軸	室	1069
2901	塚	行塚	寺泊	寺泊高内字中坪	室	1070
2902	城館跡	金ヶ崎城跡	寺泊	寺泊岩方字金ヶ崎	室	1071
2903	城館跡	五分一城跡	寺泊	寺泊五分一字大谷割	室	1072
2904	城館跡	竹森城跡	寺泊	寺泊竹森・小豆曽根字城の山	室	1073
2905	城館跡	木島砦跡	寺泊	寺泊木島字城山	室	1074
2906	城館跡	年友城跡	寺泊	寺泊中村字中村・外谷地	室	1075
2907	城館跡	田頭城跡	寺泊	寺泊田頭字田頭・城の入	室	1076
2908	城館跡	伊那古城跡	寺泊	寺泊郷本字七ツ石	室	1077
2909	遺物包含地	屋舗	寺泊	寺泊入軽井字屋舗	不明	1079
2910	社寺跡	船行寺跡	寺泊	寺泊万善寺字前田	不明	1080
2911	塚	赤沢の経塚	寺泊	寺泊求草字五社	不明	1081
2912	塚	雷塚	寺泊	寺泊矢田字京田	不明	1082
2913	塚	上(又は行)塚	寺泊	寺泊高内字行塚	不明	1083
2914	塚	行人(上)塚	寺泊	寺泊入軽井字栃の浦	不明	1084
2915	塚	三島稲場の塚	寺泊	寺泊入軽井字三島	不明	1085
2916	塚	二ツ塚 1 号墳	寺泊	寺泊入軽井字	不明	1086
2917	塚	二ツ塚 2 号墳	寺泊	寺泊入軽井字	不明	1087
2918	塚	お金塚	寺泊	寺泊田頭字火生石	不明	1088
2919	塚	下桐両塚 1 号塚(北)	寺泊	寺泊下桐字松葉	不明	1089
2920	塚	下桐両塚 2 号塚(南)	寺泊	寺泊下桐字松葉	不明	1090
2921	塚	おしょん塚	寺泊	寺泊五分一字桐原	不明	1091
2922	塚	竹森地藏塚	寺泊	寺泊竹森字二ツ塚	不明	1092

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2923	石塔	佐藤継信・忠信の五輪塔	寺泊	寺泊上荒町	不明	1093
2924	城館跡	板櫓城跡	寺泊	寺泊入軽井字居村	不明	1094
2925	塚	山屋敷塚	寺泊	寺泊敦ヶ曾根字山屋敷	不明	1095
2926	塚	堂窪塚 1 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1096
2927	塚	堂窪塚 2 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1097
2928	塚	堂窪塚 3 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1098
2929	塚	堂窪塚 4 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1099
2930	塚	堂窪塚 5 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1100
2931	塚	堂窪塚 6 号	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1101
2932	その他の墓	屋舗塚 1 号墳	寺泊	寺泊入軽井字屋舗	弥	1102
2933	塚	旧諏訪社跡の塚群 1 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1103
2934	塚	旧諏訪社跡の塚群 2 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1104
2935	塚	旧諏訪社跡の塚群 3 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1105
2936	塚	新田山塚	寺泊	寺泊高内字新田山	不明	1106
2937	塚	林山 1 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1108
2938	塚	林山 2 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1109
2939	塚	林山 3 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1110
2940	塚	林山 4 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1111
2941	塚	林山 5 号塚	寺泊	寺泊万善寺字林山	不明	1112
2942	遺物包含地	今町	寺泊	寺泊郷本字今町	平	1113
2943	遺物包含地	丸田	寺泊	寺泊円上寺字丸田	平	1114
2944	塚	新一道塚	寺泊	寺泊志戸橋新一道	不明	1115
2945	塚	テッコウ塚	寺泊	寺泊明ヶ谷字下稲場	不明	1116
2946	塚	金ヶ崎 1 号塚	寺泊	寺泊岩方字金ヶ崎	不明	1117
2947	塚	金ヶ崎 2 号塚	寺泊	寺泊岩方字金ヶ崎	不明	1118
2948	城館跡	赤坂山城跡	寺泊	寺泊赤坂山	不明	1119
2949	製鉄跡	三反田	寺泊	寺泊夏戸字吉竹	不明	1120
2950	製鉄跡	万吉はざ場	寺泊	寺泊吉竹（万吉はざ場）	不明	1121
2951	製鉄跡	和田	寺泊	寺泊下桐字和田金塚	不明	1122
2952	塚	下桐金塚	寺泊	寺泊下桐字和田金塚	不明	1123
2953	塚	京田塚群 1 号	寺泊	寺泊万善寺字稲場京田	不明	1124
2954	塚	京田塚群 2 号	寺泊	寺泊万善寺字稲場京田	不明	1125
2955	塚	京田塚群 3 号	寺泊	寺泊万善寺字稲場京田	不明	1126

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2956	塚	御経塚	寺泊	寺泊万善寺字御経塚	不明	1127
2957	製鉄跡	金くそ谷	寺泊	寺泊入軽井字金くそ谷	不明	1128
2958	遺物包含地	当新田山下	寺泊	寺泊当新田字山下	平	1129
2959	古墳	大久保古墳群 5 号墳（旧 1 号塚）	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	古墳	1130
2960	塚	大久保 2 号塚	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	不明	1131
2961	古墳	大久保古墳群 1 号墳（旧 3 号塚、9 号塚）	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	古墳	1132
2962	塚	大久保 4 号塚	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	不明	1133
2963	塚	大久保 5 号塚	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	不明	1134
2964	塚	大久保 6 号塚	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	不明	1135
2965	古墳	大久保古墳群 3 号墳（旧 7 号塚）	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	古墳	1136
2966	古墳	大久保古墳群 4 号墳（旧 8 号塚）	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	古墳	1137
2967	古墳	大久保古墳群 2 号墳（旧 10 号塚）	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	古墳	1138
2968	塚	大久保 11 号塚	寺泊	寺泊町軽井沢字大久保	不明	1139
2969	塚	笹ヶ入塚群 1 号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1140
2970	塚	笹ヶ入塚群 2 号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1141
2971	塚	笹ヶ入塚群 3 号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1142
2972	塚	笹ヶ入塚群 4 号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1143
2973	塚	笹ヶ入塚群 5 号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1144
2974	製鉄跡	カナクソバチたたら	寺泊	寺泊田尻字西山	不明	1145
2975	塚	年友お経塚	寺泊	寺泊年友字馬道	不明	1146
2976	塚	念仏塚群 1 号	寺泊	寺泊引岡字信安	不明	1147
2977	塚	念仏塚群 2 号	寺泊	寺泊引岡字信安	不明	1148
2978	塚	念仏塚群 3 号	寺泊	寺泊引岡字信安	不明	1149
2979	塚	中村塚群 1 号	寺泊	寺泊年友字中村	不明	1150
2980	塚	中村塚群 2 号	寺泊	寺泊年友字中村	不明	1151
2981	塚	中村塚群 3 号	寺泊	寺泊年友字中村	不明	1152
2982	塚	中村塚群 4 号	寺泊	寺泊年友字中村	不明	1153
2983	製鉄跡	狐谷地たたら	寺泊	寺泊町軽井沢字狐谷地	不明	1154

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
2984	神社跡	桐原石部神社跡	寺泊	寺泊下桐字五社	江	1155
2985	塚	町軽井金塚1号塚	寺泊	寺泊町軽井字金塚	不明	1156
2986	塚	町軽井金塚2号塚	寺泊	寺泊町軽井字金塚	不明	1157
2987	塚	町軽井金塚3号塚	寺泊	寺泊町軽井字金塚	不明	1158
2988	製鉄跡	金山タタ	寺泊	寺泊矢田字五畝作	不明	1159
2989	製鉄跡	兵九郎林タタ	寺泊	寺泊矢田字五畝作	不明	1160
2990	塚	供養塚(千石塚)	寺泊	寺泊入軽井字千石塚	不明	1161
2991	遺物包含地	家中	寺泊	寺泊矢田字家中	不明	1162
2992	塚	花立塚1号	寺泊	寺泊志戸橋字牛水花立	不明	1163
2993	塚	花立塚2号	寺泊	寺泊志戸橋字牛水花立	不明	1164
2994	塚	花立塚3号	寺泊	寺泊志戸橋字牛水花立	不明	1165
2995	塚	花立塚4号	寺泊	寺泊志戸橋字牛水花立	不明	1166
2996	製鉄跡	明ヶ谷タタ	寺泊	寺泊明ヶ谷字下稲場・金屑	不明	1167
2997	塚	五輪塚	寺泊	寺泊志戸橋字下割町	不明	1168
2998	城館跡	和田城跡	寺泊	寺泊下桐字和田	不明	1169
2999	塚	矢田経塚	寺泊	寺泊矢田字五畝作	不明	1170
3000	塚	五分一屋敷塚	寺泊	寺泊五分一字屋敷	不明	1171
3001	塚	矢田金塚(富士塚)	寺泊	寺泊矢田字京田	不明	1172
3002	塚	赤坂山1号塚	寺泊	寺泊二ノ関	不明	1173
3003	塚	赤坂山2号塚	寺泊	寺泊二ノ関	不明	1174
3004	塚	赤坂山3号塚	寺泊	寺泊二ノ関	不明	1175
3005	塚	赤坂山4号塚	寺泊	寺泊二ノ関	不明	1176
3006	塚	赤坂山5号塚	寺泊	寺泊二ノ関	不明	1177
3007	塚	万能寺1号塚	寺泊	寺泊田頭字万能寺	不明	1178
3008	塚	万能寺2号塚	寺泊	寺泊田頭字万能寺	不明	1179
3009	塚	万能寺3号塚	寺泊	寺泊田頭字万能寺	不明	1180
3010	城館跡	万能寺城跡	寺泊	寺泊田頭字万能寺(城山)	不明	1181
3011	社寺跡	赤沢寺院跡	寺泊	寺泊下桐字赤沢	不明	1182
3012	神社跡	長岡蔵王権現跡	寺泊	寺泊矢田字京田	不明	1183
3013	製鉄跡	火生石製鉄跡	寺泊	寺泊田頭字火生石	不明	1184
3014	製鉄跡	五社製鉄跡	寺泊	寺泊岩方字五社	不明	1185
3015	塚	ジャウダイ屋敷の塚	寺泊	寺泊矢田字大谷	不明	1186
3016	塚	寺路の塚群1号	寺泊	寺泊求草字寺路	不明	1187
3017	塚	寺路の塚群2号	寺泊	寺泊求草字寺路	不明	1188

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3018	塚	寺路の塚群3号	寺泊	寺泊求草字寺路	不明	1189
3019	塚	城山の1号塚	寺泊	寺泊小豆曽根字城山	不明	1190
3020	塚	城山の2号塚	寺泊	寺泊小豆曽根字城山	不明	1191
3021	塚	松田の四ツ塚1号	寺泊	寺泊松田字松田四ツ塚	不明	1192
3022	塚	松田の四ツ塚2号	寺泊	寺泊松田字松田四ツ塚	不明	1193
3023	塚	松田の四ツ塚3号	寺泊	寺泊松田字松田四ツ塚	不明	1194
3024	塚	松田の四ツ塚4号	寺泊	寺泊松田字松田四ツ塚	不明	1195
3025	塚	栄秀塚	寺泊	寺泊片町	不明	1196
3026	石塔	照明寺の五輪塔	寺泊	寺泊片町	不明	1197
3027	塚	石動神社裏の塚	寺泊	寺泊竹森本村字井ノ脇	不明	1198
3028	城館跡	高内北城跡	寺泊	寺泊高内字ぢろ	不明	1199
3029	城館跡	五分一稲葉城跡	寺泊	寺泊五分一字稲葉	不明	1200
3030	製鉄跡	ドンコタタ	寺泊	寺泊夏戸字川西ドンコ	不明	1201
3031	遺物包含地	セツ石	寺泊	寺泊郷本字セツ石	平	1202
3032	塚	齊ヶ平の塚	寺泊	寺泊大和田字鳥越齊ヶ平	不明	1203
3033	塚	坊山1号塚	寺泊	寺泊志戸橋字牛水	不明	1204
3034	塚	坊山2号塚	寺泊	寺泊志戸橋字越巻	不明	1205
3035	塚	坊山3号塚	寺泊	寺泊志戸橋字北ノ入	不明	1206
3036	塚	坊山4号塚	寺泊	寺泊志戸橋字北ノ入	不明	1207
3037	塚	馬道塚群	寺泊	寺泊年友字馬道	不明	1208
3038	遺物包含地	七十歩	寺泊	寺泊弁才天字七十歩	縄	1209
3039	遺物包含地	金八	寺泊	寺泊引岡字山崎	平	1210
3040	遺物包含地	金八雨乞山	寺泊	寺泊引岡字雨乞山	平	1211
3041	遺物包含地	長八	寺泊	寺泊引岡字雨乞山	平	1212
3042	遺物包含地	弥助	寺泊	寺泊引岡字山崎	平	1213
3043	遺物包含地	新田	寺泊	寺泊引岡字雨乞山	平	1214
3044	遺物包含地	諏訪田	寺泊	寺泊竹森字諏訪田	弥・古墳・古代	1215
3045	遺物包含地	寺泊長峰	寺泊	寺泊長峰	縄	1216
3046	窯跡	中道窯跡	寺泊	寺泊大和田字中道	平・中世	1217
3047	塚	大谷塚	寺泊	寺泊引岡字大谷	不明	1218
3048	塚	馬道塚	寺泊	寺泊年友字馬道	不明	1219
3049	塚	金山塚	寺泊	寺泊金山	不明	1220
3050	城館跡	山田砦跡	寺泊	寺泊山田字鎌入	中世	1221
3051	遺物包含地	清水山	寺泊	寺泊谿田字清水山	縄	1222
3052	遺物包含地	割田	寺泊	寺泊五分一字割田	平	1223

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3053	遺物包含地	吉竹東	寺泊	寺泊夏戸字吉竹	縄・古代	1224
3054	遺物包含地	上太	寺泊	寺泊郷本字上太	古代	1225
3055	遺物包含地	三反田南	寺泊	寺泊夏戸字吉竹	古代・中世	1226
3056	塚	坂井町塚	寺泊	寺泊	不明	1227
3057	塚	大野積経塚	寺泊	寺泊野積	不明	1228
3058	遺物包含地	土手上	寺泊	寺泊下桐字土手上	古代	1229
3059	遺物包含地	大溜	寺泊	寺泊北曾根字大溜	古代	1230
3060	遺物包含地	坂ノ裾	寺泊	寺泊大地字坂ノ裾	平	1231
3061	遺物包含地	幾面	寺泊	寺泊大地字幾面	中世	1232
3062	遺物包含地	向屋敷	寺泊	寺泊大地字向屋敷	平	1233
3063	遺物包含地	箕輪	寺泊	寺泊箕輪	古代	1234
3064	遺物包含地	小渦	寺泊	寺泊川崎字小渦	古代	1235
3065	遺物包含地	居村前	寺泊	寺泊本井字居村前	縄	1236
3066	遺物包含地	吉下山	寺泊	寺泊吉字下山	平	1237
3067	遺物包含地	基石ヶ入割	寺泊	寺泊有信字基石ヶ入割	古代	1238
3068	遺物包含地	よふヶ入	寺泊	寺泊有信字よふヶ入	古代	1239
3069	製鉄跡	堀切北	寺泊	寺泊碓田字ホリキリ	不明	1240
3070	製鉄跡	家中東	寺泊	寺泊矢田字家中	不明	1241
3071	製鉄跡	五畝作	寺泊	寺泊矢田字五畝作	不明	1242
3072	遺物包含地	五畝作北	寺泊	寺泊矢田字五畝作	平	1243
3073	遺物包含地	早溝	寺泊	寺泊岩方字早溝	平	1244
3074	塚	朱田	寺泊	寺泊高内字朱田	不明	1245
3075	製鉄跡	五前西	寺泊	寺泊有信字基石ヶ入割	不明	1246
3076	塚	稲場城塚	寺泊	寺泊五分一字屋敷山	不明	1247
3077	遺物包含地	西山	寺泊	寺泊矢田字五畝作・田尻字西山	縄	1248
3078	遺物包含地	稲場	寺泊	寺泊大地字稲場	古代	1249
3079	遺物包含地	五千石	寺泊	寺泊敦ヶ曾根（分水路河川敷）	縄・古墳	1250
3080	遺物包含地	宮内鴨田	中之島	中之島宮内	平	1251
3081	遺物包含地	上狐興野	中之島	上狐興野	平	1252
3082	遺物包含地	長呂	中之島	長呂松ノ木野	平	1253
3083	遺物包含地	飯塚原 A	越路	飯塚	縄	1254
3084	散布地	上屋敷	越路	塚野山字上屋敷	古代・中世	1255
3085	遺物包含地	蔵地面	寺泊	寺泊北曾根	縄・弥・古代	1256

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3086	集落跡	野起	寺泊	寺泊北曾根	縄・弥・古墳	1257
3087	生産遺跡	脇ノ田	寺泊	寺泊大地	不明	1258
3088	塚	幾面 1 号塚	寺泊	寺泊大地	不明	1259
3089	塚	幾面 2 号塚	寺泊	寺泊大地	不明	1260
3090	集落跡	土用木西	長岡	長倉町字土用木	平	1261
3091	遺物包含地	下道	長岡	栖吉町字下道	中世	1262
3092	遺物包含地	立矛南	越路	来迎寺字原	縄	1263
3093	遺物包含地	熊之宮	長岡	宮本東方町字熊之宮字八幡	縄	1264
3094	遺物包含地	吉竹北	寺泊	寺泊夏戸字吉竹	古代	1265
3095	塚	大久保塚	寺泊	寺泊町軽井字大久保	中世・近世?	1266
3096	その他の墓	屋鋪塚 2 号墳	寺泊	寺泊入軽井字屋鋪	弥	1267
3097	遺物包含地	法崎	寺泊	寺泊戸崎字法崎	縄	1268
3098	散布地	袋ヶ谷西	与板	与板町本与板字袋ヶ谷	中世	1269
3099	散布地	袋ヶ谷東	与板	与板町本与板字袋ヶ谷	中世	1270
3100	散布地	倉谷	与板	与板町与板字倉谷	中世?	1271
3101	散布地	南田	与板	与板町蔦都字南田	古代	1272
3102	散布地	柿田	与板	与板町南中字柿田	中世	1273
3103	散布地	地藏清水	三島	気比宮字小沢	中世	1274
3104	散布地	郷山	三島	上岩井字郷山	縄	1275
3105	散布地	鳥越大平	三島	鳥越字大平	古代	1276
3106	遺物包含地	上川原	小国	小国町法坂字上川原	縄	1277
3107	遺物包含地	遠藤	長岡	関原町 1 丁目	縄	1278
3108	遺物包含地	宮本前田	長岡	宮本町 1 丁目字前田	平・中世	1279
3109	その他(海中)	順動丸	寺泊	寺泊上片町沖合い	近世	1280
3110	散布地	熊ノ森	寺泊	寺泊戸崎字熊ノ森	縄	1281
3111	散布地	小丸山	寺泊	寺泊大地字小丸山	縄	1282
3112	遺物包含地	幕島	寺泊	寺泊当新田	縄	1284
3113	遺物包含地	天王	寺泊	寺泊白岩字井崎	古代・中世	1285
3114	集落跡	谷内田	小国	小国町新町字谷内田	中世	1286
3115	塚	下富岡十三塚 2 号塚	和島	下富岡字西山	不明	1287
3116	塚	下富岡十三塚 3 号塚	和島	下富岡字西山	不明	1288
3117	塚	下富岡十三塚 4 号塚	和島	下富岡字西山	不明	1289
3118	塚	下富岡十三塚 5 号塚	和島	下富岡字西山	不明	1290

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3119	塚	下富岡十三塚6号塚	和島	下富岡字西山	不明	1291
3120	塚	下富岡十三塚7号塚	和島	下富岡字西山	不明	1292
3121	塚	下の東13号塚	和島	小島谷字下の東	不明	1293
3122	遺物包含地	宝崎	寺泊	寺泊当新田	縄	1294
3123	遺物包含地	新保入	寺泊	寺泊当新田	縄	1295
3124	城館跡	時水城跡(夏城)	小国	小国町桐沢	南・室	1296
3125	城館跡	小木ノ城跡	三島	蓮花寺	南～戦	1297
3126	城館跡	久田城跡	和島	城之丘	戦	1298
3127	城館跡	コ城跡	三島	蓮花寺	戦	1299
3128	城館跡	南平山城跡	三島	蓮花寺字水ヶ谷、字吉ヶ谷	室～戦	1300
3129	城館跡	田島城跡	小国	小国町八王子	不明	1301
3130	城館跡	二田城跡	長岡	大積三島谷町	戦	1302
3131	城館跡	物見山砦跡	長岡	大積三島谷町	戦	1303
3132	散布地	川東	和島	島崎字川東	弥・古墳・平・中世	1304
3133	城館跡	椿沢城跡	長岡	亀崎町	戦	1305
3134	遺物包含地	延命寺北	小国	小国町上岩田字延命寺	縄	1306
3135	遺物包含地	吉沢	和島	両高	奈・平	1307
3136	遺物包含地	浦反甫東	和島	島崎	平	1308
3137	遺物包含地	上新田	和島	上桐	古墳	1309
3138	遺物包含地	上桐天王	和島	上桐	中世	1310
3139	遺物包含地	新敷	川口	西川口字新敷	縄	1312
3140	遺物包含地	西川口上の原Ⅱ	川口	西川口字上の原	縄	1313
3141	遺物包含地	坂の上	川口	川口牛ヶ島字坂の上	縄	1314
3142	遺物包含地	木沢行塚	川口	川口木沢字行塚	縄	1315
3143	遺物包含地	木沢	川口	川口中山字上野山	縄	1316
3144	遺物包含地	川口中山Ⅰ	川口	川口中山字中山	縄	1317
3145	遺物包含地	木下屋敷	川口	川口中山字中山	近世	1318
3146	遺物包含地	関尻	川口	川口中山字関尻	縄	1319
3147	遺物包含地	中山平山	川口	川口中山字平山	縄	1320
3148	遺物包含地	久保屋敷	川口	川口中山字竹田	縄	1321
3149	遺物包含地	強清水	川口	川口相川字強清水	縄	1322
3150	遺物包含地	丸山A	川口	川口牛ヶ島字丸山	縄	1323
3151	遺物包含地	丸山C	川口	川口牛ヶ島字丸山	縄	1324

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3152	遺物包含地	西川口上の原Ⅰ	川口	西川口字上の原	縄	1325
3153	遺物包含地	安養寺	川口	西川口字新敷	縄	1326
3154	遺物包含地	荒屋C	川口	西川口字荒屋	縄	1327
3155	遺物包含地	宮の脇	川口	西川口字宮の脇	縄	1328
3156	遺物包含地	中山南原	川口	川口中山字南原	縄	1329
3157	遺物包含地	和南津	川口	川口和南津	縄	1331
3158	遺物包含地	堰ノ上	川口	川口中山字堰ノ上	縄	1332
3159	遺物包含地	中山上ノ山	川口	川口中山字上ノ山	縄	1333
3160	遺物包含地	田ノ浦	川口	川口中山字田ノ浦	縄	1334
3161	遺物包含地	天神	川口	西川口字岩出原	縄	1335
3162	遺物包含地	中山小丸山	川口	川口中山字小丸山	平	1337
3163	塚	久保屋敷下の塚	川口	川口中山字竹田	不明	1338
3164	遺物包含地	西川口上の原Ⅲ	川口	西川口字上の原	縄	1339
3165	塚	五郎谷1号塚	川口	東川口字五郎谷	不明	1340
3166	塚	五郎谷2号塚	川口	東川口字五郎谷	不明	1341
3167	遺物包含地	蟹沢	川口	川口牛ヶ島字蟹沢	縄	1342
3168	遺物包含地	浦無沢	川口	川口田麦山字岡平	縄	1343
3169	遺物包含地	上玄入	川口	川口田麦山字上玄入	縄	1344
3170	遺物包含地	牛ヶ首	川口	川口中山字小田口	縄	1345
3171	遺物包含地	荒屋B	川口	西川口字岩出原	縄	1346
3172	遺物包含地	中原Ⅱ	川口	川口和南津字中原	縄	1347
3173	遺物包含地	天納Ⅰ	川口	川口相川字天納	縄	1348
3174	遺物包含地	天納Ⅱ	川口	川口相川字天納	縄	1349
3175	遺物包含地	丸山B	川口	川口牛ヶ島字丸山	縄	1350
3176	遺物包含地	川口スキ一場	川口	川口中山字谷地	縄	1351
3177	遺物包含地	川口中山Ⅱ	川口	川口中山字中山	縄	1352
3178	遺物包含地	五郎谷	川口	東川口字五郎谷	縄	1353
3179	遺物包含地	中山薬師堂	川口	川口中山字野田	縄	1354
3180	遺物包含地	万沢	川口	川口和南津字中原	縄	1355
3181	遺物包含地	谷内	川口	川口和南津字谷内	縄	1356
3182	遺物包含地	中原Ⅰ	川口	川口和南津字中原	縄	1357
3183	遺物包含地	和南津上ノ原	川口	川口和南津字上ノ原	縄	1358
3184	遺物包含地	内ヶ巻	川口	西川口字岩平	縄	1359

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3185	遺物包含地	狐原	川口	西川口字岩原	縄	1360
3186	遺物包含地	山後	川口	西川口字山後	縄	1361
3187	遺物包含地	荒屋D	川口	西川口字荒屋	縄	1362
3188	遺物包含地	宮浦古屋敷	川口	西川口字宮浦	縄	1363
3189	遺物包含地	横平	川口	川口田麦山字岡平	縄	1364
3190	遺物包含地	二つ塚	川口	川口中山字二つ塚	縄	1365
3191	遺物包含地	ササラ	川口	川口中山字ササラ	縄	1366
3192	遺物包含地	相川端	川口	川口田麦山字槩平	縄	1367
3193	遺物包含地	和南津小貴	川口	川口和南津字小貴	平	1368
3194	遺物包含地	深田	川口	川口中山字深田	室	1369
3195	塚	原塚群 1号	川口	川口武道窪字原	不明	1370
3196	塚	原塚群 2号	川口	川口武道窪字原	不明	1371
3197	塚	原塚群 3号	川口	川口武道窪字原	不明	1372
3198	塚	原塚群 4号	川口	川口武道窪字原	不明	1373
3199	塚	原塚群 5号	川口	川口武道窪字原	不明	1374
3200	塚	原塚群 6号	川口	川口武道窪字原	不明	1375
3201	塚	原塚群 7号	川口	川口武道窪字原	不明	1376
3202	塚	坂の上塚	川口	川口牛ヶ島字坂の上	不明	1377
3203	塚	中山二つ塚 1号塚	川口	川口中山字二つ塚	不明	1378
3204	遺物包含地	牛ヶ島	川口	川口牛ヶ島字上ノ山	縄	1379
3205	城館跡	木沢鶴城跡	川口	川口木沢字中田	戦	1380
3206	城館跡	二分山城跡	川口	川口相川字天納	戦	1381
3207	城館跡	伝相川城出城跡	川口	川口相川字大道平	戦	1382
3208	城館跡	松ノ木平	川口	川口武道窪字松沢	戦	1383
3209	城館跡	相川口古城跡	川口	川口相川口字横平	不明	1384
3210	遺物包含地	高清水Ⅰ	川口	川口中山字高清水	縄	1385
3211	遺物包含地	高清水Ⅱ	川口	川口中山字高清水	縄	1386
3212	遺物包含地	砂田	川口	川口中山字砂田	縄	1387
3213	遺物包含地	西倉北	川口	西川口字岩平	縄	1388
3214	遺物包含地	岩出原	川口	西川口字岩出原	縄	1389
3215	遺物包含地	居平	川口	川口牛ヶ島字居平	縄	1390
3216	遺物包含地	牛ヶ島上の山	川口	川口牛ヶ島字上ノ山	古代	1391
3217	散布地	栃ヶ巻	川口	西川口字木ノ実林	縄	1392
3218	遺物包含地	寺泊沖海戦片町弾着地	寺泊	寺泊片町	近世	1393

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3219	塚	薬師堂の塚	長岡	宮本東方町字中山	不明	1394
3220	遺物包含地	川西	寺泊	寺泊夏戸	縄	1395
3221	遺物包含地	浦反甫西	和島	島崎	平	1396
3222	遺物包含地	岩田原	小国	小国町上岩田字岩田原	平	1397
3223	遺物包含地	阿部田	小国	小国町上岩田字阿部田	中世	1398
3224	塚	立野塚群 1号	和島	島崎字立野	不明	1399
3225	塚	立野塚群 2号	和島	島崎字立野	不明	1400
3226	塚	立野塚群 3号	和島	島崎字立野	不明	1401
3227	塚	立野塚群 4号	和島	島崎字立野	不明	1402
3228	塚	立野塚群 5号	和島	島崎字立野	不明	1403
3229	塚	立野塚群 6号	和島	島崎字立野	不明	1404
3230	塚	立野塚群 7号	和島	島崎字立野	不明	1405
3231	塚	立野塚群 8号	和島	島崎字立野	不明	1406
3232	塚	立野塚群 9号	和島	島崎字立野	不明	1407
3233	塚	立野塚群 10号	和島	島崎字立野	不明	1408
3234	塚	立野塚群 11号	和島	島崎字立野	不明	1409
3235	塚	立野塚群 12号	和島	島崎字立野	不明	1410
3236	塚	立野塚群 13号	和島	島崎字立野	不明	1411
3237	遺物包含地	道内	和島	両高	平	1412
3238	遺物包含地	西浦	和島	両高	平	1413
3239	遺物包含地	腰廻	和島	両高	平	1414
3240	遺物包含地	小布施	和島	東保内	平	1415
3241	遺物包含地	本合分	和島	梅田	平・中世	1416
3242	遺物包含地	小坂東	越路	千谷沢	縄・平	1417
3243	塚	中村塚群 5号	寺泊	寺泊年友字中村	不明	1418
3244	塚	金ヶ崎 3号塚	寺泊	寺泊岩方字金ヶ崎	不明	1419
3245	塚	笹ヶ入塚群 6号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1420
3246	塚	笹ヶ入塚群 7号塚	寺泊	寺泊入軽井沢字笹ヶ入	不明	1421
3247	塚	逆谷樺沢の塚 4号	三島	逆谷字樺沢	不明	1422
3248	塚	逆谷樺沢の塚 5号	三島	逆谷字樺沢	不明	1423
3249	塚	経塚	三島	上条字塩ノ入	不明	1424
3250	塚	向山 8号塚	三島	脇野町字向山	不明	1425
3251	塚	七曲頂上の 3号塚	与板	与板町本与板字河内ノ入・七曲り	不明	1426

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3252	塚	乗光寺入山頂の塚 2号	和島	坂谷字乗光寺入	不明	1427
3253	塚	乗光寺入山頂の塚 3号	和島	坂谷字乗光寺入	不明	1428
3254	塚	城ノ腰の塚 2号	和島	村田字城ノ腰	不明	1429
3255	塚	吉田塚 3号塚	和島	吉田	不明	1430
3256	塚	若ノ浦経塚 4号	和島	若野浦字経塚	不明	1431
3257	塚	熊高の塚 2号	和島	日野浦字熊高	不明	1432
3258	塚	京田塚群 4号	寺泊	寺泊万善寺字稲場京田	不明	1433
3259	塚	坂ノ下 3号塚	与板	与板町馬越字坂ノ下	不明	1434
3260	塚	花立の塚群 6号塚	三島	上岩井字花立	不明	1435
3261	塚	花立の塚群 7号塚	三島	上岩井字花立	不明	1436
3262	塚	榎木の五ツ塚 2号	三島	逆谷	不明	1437
3263	塚	榎木の五ツ塚 3号	三島	逆谷	不明	1438
3264	塚	榎木の五ツ塚 4号	三島	逆谷	不明	1439
3265	塚	榎木の五ツ塚 5号	三島	逆谷	不明	1440
3266	塚	村上塚	和島	北野字村上	不明	1441
3267	集落跡	上条	長岡	上条町字ハツ口	平	1442
3268	遺物包含地	上条北	長岡	上条町字ハツ口	平	1443
3269	遺物包含地	金玉	寺泊	寺泊白岩字金玉	中世	1444
3270	遺物包含地	年友上の山	寺泊	寺泊年友字馬道	弥生・古代・中世	1445
3271	遺物包含地	諏訪の下	小国	小国町上岩田字諏訪の下	中世	1446
3272	散布地	角井	和島	村田	不明	1447
3273	遺物包含地	角井東	和島	村田	縄	1448
3274	遺物包含地	木島	寺泊	寺泊木島字稲場	縄・弥生	1449
3275	遺物包含地	月崎	寺泊	寺泊田頭字田頭	縄・古墳	1450
3276	遺物包含地	赤沢西	寺泊	寺泊下桐	縄	1451
3277	塚	イブケ入塚群 1号塚	和島	上桐字イブケ入	不明	1452
3278	塚	イブケ入塚群 2号塚	和島	上桐字イブケ入	不明	1453
3279	塚	五郎右衛門畑の塚	和島	根小屋・三瀬ケ谷	不明	1454
3280	遺物包含地	法善町	和島	島崎	弥生～古墳・古代・中世	1455

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3281	遺物包含地	大塚	和島	島崎字大塚・山谷	弥生・奈良・平安	1456
3282	遺物包含地	江西	与板	与板町与板字江西乙	平	1457
3283	遺物包含地	宮田	三島	瓜生字宮田	平・中世	1458
3284	遺物包含地	上西田	三島	鳥越字上西田	平・中世	1459
3285	遺物包含地	鴨鳥	長岡	五反田町字鴨鳥	平	1460
3286	遺物包含地	北潟	長岡	高野町字北潟	平	1461
3287	塚	上小田ノ入塚	三島	鳥越字上小田ノ入甲	不明	1462
3288	塚	紙漉谷塚群 1号塚	三島	鳥越字紙漉谷甲	不明	1463
3289	塚	紙漉谷塚群 2号塚	三島	鳥越字紙漉谷甲	不明	1464
3290	遺物包含地	川前	寺泊	寺泊鰐口字川前	縄文	1465
3291	遺物包含地	白山	三島	脇野町字白山	縄文	1466
3292	遺物包含地	諏訪宮	和島	島崎字川東	平	1467
3293	遺物包含地	堤下	寺泊	寺泊大和田字堤下	奈良・平安	1468
3294	遺物包含地	竹ノ沢	寺泊	寺泊年友字竹ノ沢	古墳	1469
3295	遺物包含地	五十刈	寺泊	寺泊大地字五十刈	奈良・平安	1470
3296	遺物包含地	中使面北	寺泊	寺泊大地字中使面	奈良・平安	1471
3297	遺物包含地	新保松葉	三島	三島新保字松葉	平安	1472
3298	塚	東の峯塚群 8号	和島	小島谷字下ノ東	不明	1473
3299	遺物包含地	矢ノ谷	和島	城之丘	不明	1474
3300	遺物包含地	飯塚	和島	両高	不明	1475
3301	遺物包含地	山ノ脇	和島	荒巻字山ノ脇	縄文	1476
3302	遺物包含地	西ノ割	長岡	小曾根町字西ノ割	古代	1477
3303	遺物包含地	外ノ窪	長岡	中潟町字外ノ窪	縄文・古代	1478
3304	遺物包含地	大割	長岡	亀貝町字大割	古代	1479
3305	遺物包含地	丸山D	川口	牛ヶ島	縄文	1480
3306	遺物包含地	上田	与板	与板町模原字上田	古代	1481
3307	遺物包含地	北谷	与板	与板町馬越	古代	1482
3308	製鉄跡	信安	寺泊	寺泊引岡	古代	1483
3309	遺物包含地	米ノ粉	寺泊	寺泊入軽井字米ノ粉	古代	1484
3310	遺物包含地	七ツ石海岸	寺泊	寺泊郷本字七ツ石	古代・中世	1485

No.	種別	名称	地域	所在地	時代	遺跡番号
3311	遺物包含地	鮫面	与板	与板町山沢字鮫面	古代・中世	1486
3312	遺物包含地	藤川五百刈	三島	藤川字五百刈	古代	1487
3313	遺物包含地	塩ノ入	与板	与板町本与板字塩ノ入	古代	1488
3314	遺物包含地	ジャケの原	寺泊	寺泊野積字中浜	縄文、古代	1489
3315	塚	大貝原塚群1号	越路	東谷字大貝原	不明	1490
3316	塚	大貝原塚群2号	越路	東谷字大貝原	不明	1491
3317	塚	大貝原塚群3号	越路	東谷字大貝原	不明	1492
3318	塚	大貝原塚群4号	越路	東谷字大貝原	不明	1493
3319	塚	大貝原塚群5号	越路	東谷字大貝原	不明	1494
3320	塚	大貝原塚群6号	越路	東谷字大貝原	不明	1495
3321	塚	大貝原塚群7号	越路	東谷字大貝原	不明	1496
3322	塚	大貝原塚群8号	越路	東谷字大貝原	不明	1497
3323	遺物包含地	ササラ西遺跡	川口	川口中山字ササラ	縄文	1498
3324	遺物包含地	城地免東	寺泊	寺泊田尻	古代	1499
3325	遺物包含地	城地免西	寺泊	寺泊田尻	古代	1500
3326	塚	出戸塚群1号	三島	藤川字出戸	不明	1501
3327	塚	出戸塚群2号	三島	藤川字出戸	不明	1502
3328	塚	出戸塚群3号	三島	藤川字出戸	不明	1503
3329	塚	上ノ峯塚	与板	与板町山沢字上ノ峯	不明	1504
3330	遺物包含地	岩野原西	長岡	深沢町	平安	1505
3331	遺物包含地	蛇塚竹ヶ花	寺泊	寺泊蛇塚	弥生・古墳	1506
3332	遺物包含地	蔵屋敷	寺泊	寺泊新長	古代	1507
3333	塚	用蔵塚	和島	日野浦	不明	1508
3334	塚	龍ヶ崎1号塚	寺泊	寺泊田頭字龍ヶ崎	不明	1510
3335	塚	龍ヶ崎2号塚	寺泊	寺泊田頭字龍ヶ崎	不明	1511
3336	塚	龍ヶ崎3号塚	寺泊	寺泊田頭字龍ヶ崎	不明	1512
3337	塚	上田塚	寺泊	寺泊入軽井字上田	不明	1513

資料編3 調査文献リスト

類型		番号	資料名称	編著者	発行年		
有形文化財	建造物	1	越後の民家 中越編 新潟県民家緊急調査報告 第2	新潟県教育委員会	1979.3		
		2	日本近代建築総覧 各地に遺る明治大正昭和の建物	日本建築学会	1983.11		
		3	新潟県の近世社寺建築 新潟県近世社寺建築緊急調査報告書	新潟県教育委員会	1985.3		
		4	新潟県の近代化遺産 日本近代化遺産総合調査報告書	新潟県教育委員会	1994		
		5	新潟県の近代建築	建設省六日町庁舎 35周年記念行事実行委員会	1994.4		
		6	新潟県近代和風建築総合調査報告書	新潟県教育委員会	2017.3		
	美術工芸品	7	越佐のいしぶみ	新潟拓本研究会	1979.3		
		8	近世の洋学研究資料 新潟県文化財緊急悉皆調査報告書 新潟県文化財調査年報 第23	新潟県教育委員会	1985.3		
		9	越佐の経典 新潟県文化財緊急悉皆調査報告書 新潟県文化財調査年報 第28	新潟県教育委員会	1997		
無形文化財		10	新潟県の緒職 諸職関係民俗文化財調査報告書	新潟県教育委員会	1989		
民俗文化財		11	越後文書宝翰集・弥彦文書 新潟県文化財調査報告書 第2	新潟県教育委員会	1954		
		12	天然記念物篇 新潟県文化財調査報告書 第6	新潟県教育委員会	1960		
		13	新潟県の民俗 新潟県文化財年報 第5	新潟県教育委員会	1965		
		14	越後の和紙 民俗資料特別調査報告書 新潟県文化財年報 第8	新潟県教育委員会	1968		
		15	越後のくそうず 無形の民俗資料記録 第1集	新潟県教育委員会	1976		
		16	越後・佐渡の定期市 無形の民俗資料記録 第2集	新潟県教育委員会	1977.3		
		17	越後の杜氏と酒男 無形の民俗資料記録 第3集	新潟県教育委員会	1978.3		
		18	新潟県民俗地図 緊急民俗文化財分布調査報告書	新潟県教育委員会	1979.3		
		19	新潟県の昔話と語り手 無形の民俗資料記録 第4集	新潟県教育委員会	1979.3		
		20	越佐の小正月行事 越後・佐渡の農耕儀礼調査報告書 第1 無形の民俗資料記録 第7集	新潟県教育委員会	1982.3		
		21	新潟県の作神信仰 越後・佐渡の農耕儀礼調査報告書 2 無形の民俗資料記録 第8集	新潟県教育委員会	1982.3		
		22	新潟県の若者組 越後・佐渡の年齢階梯制調査報告書 無形の民俗資料記録 第9集	新潟県教育委員会	1983.3		
		23	新潟県の民謡 民謡緊急調査報告書	新潟県教育委員会	1986.3		
		24	新潟県の山車 新潟県文化財緊急悉皆調査報告書 新潟県文化財調査年報 第24	新潟県教育委員会	1987.3		
		25	新潟県の民俗芸能 新潟県民俗芸能緊急調査報告書	新潟県教育委員会	1997.3		
		26	新潟県の門付芸	新潟県教育委員会	2017.3		
		27	平成28年度 伝統的生活文化実態調査事業報告書【郷土食】	文化庁文化財部伝統文化課	2017.3		
		28	令和元年度 生活文化調査研究事業 報告書	文化庁地域文化創生本部事務局	2020.3		
		29	生活文化調査研究事業報告書（煎茶道、香道、和装、礼法、盆栽、錦鯉）（令和3・4年度）※暫定版	株式会社文化科学研究所	2023.2		
		30	令和2年度 「日本の食文化等実態調査」報告書	株式会社文化科学研究所	2021.3		
		31	令和4年度「食文化の無形の文化財登録等に向けた調査（すし・てんぷら・うなぎ・そば）」報告書	株式会社T E M研究所	2023.2		
		記念物	遺跡	32	新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第3輯	新潟県	1932
				33	新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第4輯	新潟県	1934.5
				34	新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第9輯	新潟県	1939
				35	新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第10輯	新潟県	1941.8

		36	新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第12輯	新潟県	1944
		37	新潟県史蹟名勝天然記念物	新潟県史蹟名勝天然記念物調査会	1938
		38	新潟県中世城館跡等分布調査報告書	新潟県教育委員会	1987.3
		39	新潟県歴史の道調査報告書 第4集 三国街道Ⅰ・北国脇街道	新潟県教育委員会	1993.3
		40	新潟県歴史の道調査報告書 第5集 北国街道Ⅱ	新潟県教育委員会	1993.3
		41	新潟県歴史の道調査報告書 第6集 魚沼街道・銀山街道・田川入街道	新潟県教育委員会	1994.3
		42	新潟県歴史の道調査報告書 第8集 三国街道（中通り）	新潟県教育委員会	1995.3
		43	新潟県歴史の道調査報告書 第9集 三国街道Ⅱ・北国街道Ⅲ	新潟県教育委員会	1996.3
		44	近代遺跡調査報告書 政治（官公庁等）	文化庁文化財部記念物課	2014.3
		45	近代遺跡調査報告書 軽工業 第2分冊（化学・窯業・セメント・その他）	文化庁文化財部記念物課	2015.3
		46	近代遺跡調査報告書 エネルギー産業	文化庁文化財部記念物課	2016.3
		47	近代遺跡調査報告書 重工業	文化庁文化財部記念物課	2016.3
		48	近代遺跡調査報告書 交通・運輸・通信業 第1分冊（鉄道・道路・橋梁・隧道・港湾）	文化庁文化財部記念物課	2018.3
		49	近代遺跡調査報告書 交通・運輸・通信業 第2分冊（倉庫・灯台・運河・河川・堤防・飛行場・郵便・電信・電話・その他）	文化庁文化財第二課	2019.1
		50	近代遺跡調査報告書 商業・金融業	文化庁文化財第二課	2020.3
		51	近代遺跡調査報告書 農林水産業	文化庁文化財第二課	2021.3
	名勝地	52	新潟県の庭園 上越・中越地区	新潟県教育委員会	1991
		53	近代の庭園・公園等に関する調査研究報告書	近代の庭園・公園等の調査に関する検討会 文化庁文化財部記念物課	2012.6
		54	名勝に関する総合調査－全国的な調査（所在調査）の結果－報告書	文化庁文化財部記念物課	2013.4
		55	新潟県名勝調査報告書	新潟県教育委員会	2016.3
	動物・植物・地質鉱物	56	天然記念物緊急調査植生図・主要動植物地図 第15 新潟県	文化庁	1974
		57	日本の巨樹・巨木林 全国版（自然環境保全基礎調査第4回）	環境庁	1991.12
文化的景観		58	農林水産業に関する文化的景観の保護に関する調査研究	文化庁文化財部記念物課	2003.6
		59	日本の文化的景観農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究報告書	文化庁文化財部記念物課	2005.9
埋蔵文化財		60	新潟県遺跡地図・一覧表	新潟県	2025.6
		61	長岡市遺跡地図	長岡市教育委員会	2026.1